# HP Photosmart 3300 All-in-One series

## ユーザガイド

# HP Photosmart 3300 All-in-One series

## ユーザー ガイド

出版番号: Q5861-90264

初版： 2005年5月

## 注意

HP 製品およびサービスに適用される保証は、当該製品およびサービスに付属する保証書に明記されています。本書の記載事項を追加保証として解釈してはなりません。HP は本書の内容に関する技術上または編集上の誤記または脱落について責任を負わないものとします。

Hewlett-Packard Company は、本製品の設置やパフォーマンス、あるいは本ドキュメントおよび本ドキュメントに記載されているプログラムの使用に関係する、あるいは起因する付帯的なあるいは結果的な損害について責任を負わないものとします。

注記　規制情報は 技術情報 に記載されています。

多くの地域において、次の物のコピーを作成することは法律で禁じられています。疑問がおありの場合は、まず法律の専門家に確認してください。

- 政府が発行する書類や文書：
  - パスポート
  - 入国管理関係の書類
  - 徴兵関係の書類
  - 身分証明バッジ、カード、身分証明章
- 政府発行の証紙：
  - 郵便切手
  - 食糧切符
- 政府機関宛ての小切手や手形
- 紙幣、トラベラーズ チェック、郵便為替
- 定期預金証書
- 著作権で保護されている成果物

## 安全に関する情報

警告　発火や感電を防止するために、本製品を雨やその他の水分にさらさないよう注意してください。

本製品を使用する際は常に基本的な安全上の予防措置を講じるようにしてください。発火や感電によるけがのリスクの引き下げにつながります。

警告　感電の危険性があります

1. セットアップ ガイドに記述されている指示すべてをお読みの上、内容を理解するようにしてください。
2. 本体を電源に接続する際は、接地されているコンセントのみを使用してください。コンセントが接地されているかどうか不明の場合は、資格のある電気技術者にお尋ねください。
3. 製品に表示されているすべての警告と手順に従ってください。
4. 本体のクリーニングを行う際はコンセントから外してから行ってください。
5. 水の近くに本製品を設置したり、あるいは濡れた手で本製品を使用したりしないでください。
6. 本製品は安定した表面にしっかりと設置してください。
7. 電源コードを踏んだり、つまずいたりして電源コードが損傷しないように、本製品は安全な場所に設置してください。
8. 本製品が正常に動作しない場合については、オンスクリーン ヘルプのトラブルシューティングのページを参照してください。
9. お客様ご自身で分解修理しないでください。修理については資格のあるサービス担当者にお問い合わせください。
10. 風通しのよいところでご使用ください。

警告　主電源の供給が停止したときは動作しません。

注意　インク カートリッジ内の圧力が上昇している場合があります。 万一インクカートリッジ内に異物を落とすと、インクが噴き出して皮膚や衣服に付着するおそれがあります。

# 目次

# 1 HP All-in-One の概要

HP All-in-One に備わった機能の多くは、コンピュータを使わなくても直接利用することができます。 コピー、ファクス送信、メモリ カードやストレージ デバイスに保存された写真の印刷などが HP All-in-One ですばやく簡単に行えます。

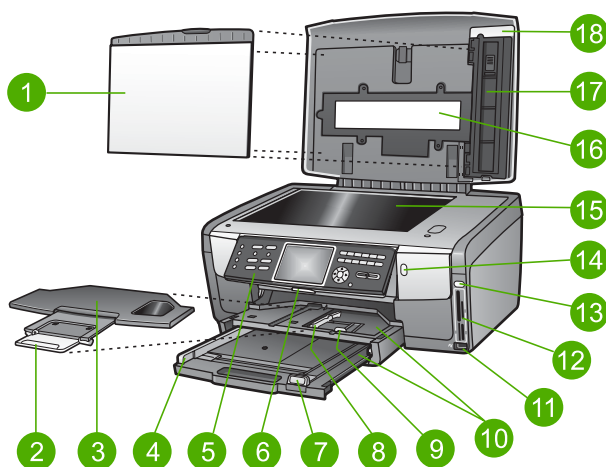
この章では、HP All-in-One のハードウェア機能、コントロール パネルの機能、**[HP ソリューション センター]** ソフトウェアへのアクセス方法を説明します。

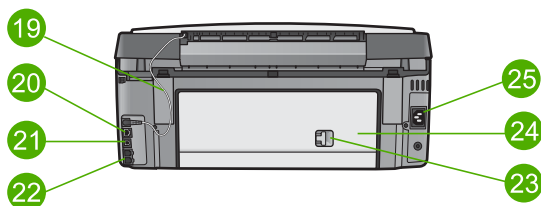
ヒント コンピュータにインストールされている **[HP ソリューション センター]** ソフトウェアを使用すると、HP All-in-One の機能をさらに活用できます。 このソフトウェアには、コピー、ファクス、スキャン、写真などの機能、トラブルシューティングのヒント、製品またはヘルプ情報などが収録されています。 詳細については、**[HP ソリューション センター ヘルプ]** と HP ソリューション センター ソフトウェアの使用 を参照してください。

**[HP Image Zone]** ソフトウェアは Mac OS 9 および OS 10.0.0 ～ 10.1.4 をサポートしません。

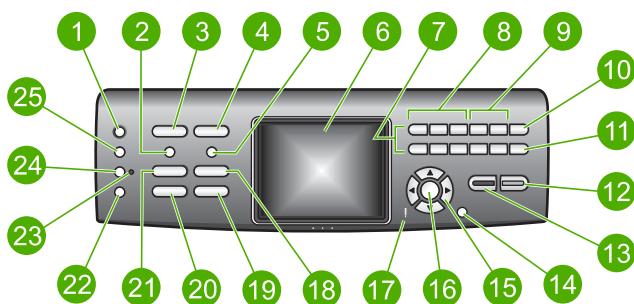
## HP All-in-One の概要

このセクションでは HP All-in-One 各部の名称およびその機能について説明します。

### HP Photosmart 3300 All-in-One series 本体各部

| 番号 | 説明 |
| --- | --- |
| 1 | **保護プレート**： スキャン、ファクス、コピーで使用する真白な裏当てが付いています。 スライドとネガをスキャンするときは外してください。 |
| 2 | **用紙補助トレイ** |
| 3 | **排紙トレイ** |
| 4 | **メイン トレイの横方向用紙ガイド** |
| 5 | **コントロール パネル**： HP All-in-One の各機能の操作に使用します。 コントロール パネル上のボタンについては、HP Photosmart 3300 All-in-One series コントロール パネルの機能 を参照してください。 |
| 6 | **コントロール パネル レバー**： コントロール パネルを上下に移動するにはこのレバーを押します。 |
| 7 | **メイン トレイの縦方向用紙ガイド** |
| 8 | **フォト トレイの横方向用紙ガイド** |
| 9 | **フォト トレイの縦方向用紙ガイド** |
| 10 | **給紙トレイ**： HP All-in-One には紙の用紙と他の種類のメディア用の 2 つのトレイがあります。 メイン トレイは給紙トレイの下部、フォト トレイは上部にあります。 |
| 11 | **前面 USB ポート**： カメラやストレージ デバイスの写真を直接印刷します。 |
| 12 | **メモリ カード スロット**： メモリ カードからの写真を直接印刷します。 |
| 13 | **フォト ランプ**： メモリ カードまたはストレージ デバイスのアクセス状況を示します。 |
| 14 | **ワイヤレス ランプ**： 802.11 b および g 無線がオンになっていることを示します。 |
| 15 | **ガラス板**： スキャン、コピー、ファクスする原稿をこのガラス板の上に置きます。 |
| 16 | **スライド/ネガフィルム ランプ**： このランプによりスライドやネガなどの透明な原稿をスキャンできます |
| 17 | **スライド/ネガフィルム ホルダー**： このホルダーに 35mm のスライドまたはネガをセットしてスキャンします |
| 18 | **カバー** |

| 番号 | 説明 |
|---|---|
| 19 | **スライド/ネガフィルム ランプ用電源コード**： スキャンに使用するランプに電源を供給します |
| 20 | **Ethernet ポートおよび Ethernet インジケータ ランプ**： 有線ネットワークに接続します。 |
| 21 | **後部 USB ポート** |
| 22 | **ファクス ポート (1 - 電話回線接続用、2 - 電話機接続用)** |
| 23 | **後部アクセス ドアのラッチ** |
| 24 | **後部アクセス ドア** |
| 25 | **電源コネクタ** |

## コントロール パネルの概要

ここでは、カラー グラフィック ディスプレイのアイコンおよびスクリーンセーバ、コントロール パネルのボタン、ランプ、およびキーパッドの機能について説明します。

### HP Photosmart 3300 All-in-One series コントロール パネルの機能

| 番号 | 名前と説明 |
| --- | --- |
| 1 | [On]： HP All-in-One の電源をオン/オフにします。 HP All-in-One の電源をオフにしていても、本体には必要最小限の電力が供給されています。 |
| 2 | [フィルム]： オプション選択用の [フィルム メニュー] を表示します。 HP All-in-One のカバーについているスライド/ネガ ホルダ、スライド/ネガ ランプを使用してスライドとネガをスキャンします。 |
| 3 | [フォト]： オプション選択用の [フォト メニュー] を表示します。 このボタンが点灯しているときは、フォト機能が選択されています。 このボタンを使用して、写真の印刷オプションの設定、写真の編集、写真のコンピュータへの転送を行います。 |
| 4 | [ビデオ]： オプション選択用の [ビデオ メニュー] を表示します。 ビデオの再生、ビデオ フレームの表示、ビデオのフレームの印刷などを行います。 |
| 5 | [フォト シート]： HP All-in-One にメモリ カードまたはストレージ デバイスを差し込んで、フォト シートを印刷します。 フォトシートには、メモリカードやストレージ デバイス内のすべての写真のサムネイル ビューが表示されます。 フォトシート上で印刷したい写真を選択し、そのフォトシートをスキャンすることで写真を印刷できます。 |
| 6 | [カラー グラフィック ディスプレイ]： メニュー、写真、メッセージおよびビデオを表示します。 |
| 7 | [キーパッド]： 数字、値、文字を入力したり、メニューを移動するときに使用します。 |
| 8 | [早戻し]、[再生/一時停止]、[早送り]： ビデオを再生したり、ビデオ フレームを移動するときに使用します。 |
| 9 | [ズームイン], [ズームアウト]： トリミング時にカラー グラフィック ディスプレイに表示した写真を拡大または縮小します。 この画像は、印刷後の画像とほぼ同じものになります。 |
| 10 | [回転]： カラー グラフィック ディスプレイに表示している写真の向きを 90 度回転します。続けて押すと、90 度ずつ回転します。<br>[記号] と [*]： ファクス操作で使用する記号とアスタリスクを入力します。 |
| 11 | [フォト選択]： ある範囲の写真またはすべての写真を選択します。<br>[スペース] と [#]： ファクス操作で使用するスペースとポンド記号を入力します。 |
| 12 | [スタート - カラー]： カラーのコピー、スキャン、写真印刷、ファクスを開始します。 |

(続き)

| 番号 | 名前と説明 |
|---|---|
| 13 | [スタート - モノクロ]: モノクロのコピー、スキャン、写真印刷、ファクスを開始します。 |
| 14 | [キャンセル]: ジョブの停止、メニューの終了、設定の終了を行います。 |
| 15 | [上矢印]: 上のメニュー オプションに移動、ズーム モードで表示領域を上に移動、ビデオの音量アップ、およびビジュアル キーボードでの移動に使用します。<br>[下矢印]: 下のメニュー オプションに移動したり、ズーム モードで表示領域を下に動かしたり、ビデオの音量ダウン、ビジュアル キーボードで移動するときに使用します。<br>[右矢印]: 数値を上げたり、ズーム モードで表示領域を右に動かしたり、ビジュアル キーボードで移動したり、カラー グラフィック ディスプレイに表示した写真を先に進ませたりします。<br>[左矢印]: 数値を下げたり、ズームモードで表示領域を左に動かしたり、ビジュアル キーボードで移動したり、カラー グラフィック ディスプレイに表示した写真を前に戻したり、メニューを終了したりします。 |
| 16 | [OK]: カラー グラフィック ディスプレイのメニュー、画像、設定、値を選択します。 |
| 17 | [注意ランプ]: 問題が発生したことを示します。 詳細はカラー グラフィック ディスプレイをご覧ください。 |
| 18 | [スキャン]: (USB ケーブルまたはネットワーク経由で HP All-in-One をコンピュータに接続しているかどうかに応じて)オプション選択用の [スキャンの送信先] メニューまたは [スキャン メニュー] を表示します。スキャン機能を選択します。 このボタンが点灯しているときは、スキャン機能が選択されています。 |
| 19 | [ファクス]: オプション選択用の [ファクス メニュー] を表示します。 ファクス機能を選択します。 ボタンが点灯しているときは、ファクス機能が選択されています。 |
| 20 | [HP Instant Share]: ネットワーク接続した HP All-in-One で画像を直接送受信します。 HP All-in-One を USB 接続すると、コンピュータの HP Instant Share ソフトウェアを使用して画像を送信できます。 |
| 21 | [コピー]: オプション選択用の [コピー メニュー] を表示します。コピー機能を選択します。このボタンが点灯しているときは、コピー機能が選択されています。 このボタンはデフォルトで点灯しています。 |
| 22 | [ヘルプ]: 特定のヘルプ トピックの一覧を表示します。 選択したトピックに関するヘルプがコンピュータ画面に表示されます。 |

| 番号 | 名前と説明 |
| --- | --- |
| 23 | [フォト トレイ ランプ]： フォト トレイが選択されていることを示します。 |
| 24 | [フォト トレイ]： コントロール パネルから特定の写真を印刷またはコピーする場合に、フォト トレイを選択します。 |
| 25 | [セットアップ]： プリンタのプリファレンス、レポート、メンテナンス用のメニューを表示します。 |

### カラー グラフィック ディスプレイのアイコン

カラー グラフィック ディスプレイでは、画面の下部に次のアイコンを表示し、HP All-in-One に関する重要な情報を知らせます。

| アイコン | 用途 |
| --- | --- |
| | アイコンの色はインク カートリッジの色に対応しており、アイコンの残量レベルはインク カートリッジの残量レベルに対応しています。 |
| | 不明なインク カートリッジがセットされていることを示します。 インク カートリッジに他社製のインクが入っている場合にこのアイコンが表示されます。 |
| | カラー グラフィック ディスプレイに別のアイコン セットが表示されていることを示します。 |
| | 有線ネットワーク接続の状態を示します。<br>アイコンが青の場合は、有線接続していることを示します。 アイコンがグレーの場合は、有線接続していないことを示します。 |
| | HP All-in-One はワイヤレス ネットワークに接続できますが、ワイヤレス ネットワークに接続していないことを示しています。 このアイコンはワイヤレス ネットワークに接続していない場合はグレー、接続している場合は青色になります。 これはインフラストラクチャ モード用です。 詳細については、ネットワークへの接続 を参照してください。 |

| アイコン | 用途 |
|---|---|
|     | ワイヤレス ネットワーク接続が存在することを示します 信号強度は曲線の数で示されます。 これはインフラストラクチャモード用です 詳細については、ネットワークへの接続 を参照してください。 |
|  | アドホック (ピア ツー ピア) のワイヤレス ネットワーク接続が存在することを示します。 詳細については、ネットワークへの接続 を参照してください。 |
|  | HP Instant Share メッセージが受信されたことを示します。<br>HP Instant Share が表示されない場合は、新着メールがないか、HP Instant Share がセットアップされていません。<br>HP Instant Share の設定方法については、他の人から画像を受信する を参照してください。<br>HP Instant Share アイコンの色が青ではなくグレーの場合、[自動チェック] 機能がオフになっています。 [自動チェック] 機能の詳細については、オンスクリーンの **[HP Image Zone ヘルプ]** を参照してください。 |
|  | Bluetooth アダプタがインストールされていることを示します (別売の Bluetooth アダプタが必要です)。<br>Bluetooth の設定方法については、接続情報 を参照してください。 |

### カラー グラフィック ディスプレイのスリープ モード

カラー グラフィック ディスプレイを操作しない状態が 2 分間続くと、ディスプレイの寿命を延ばすためにディスプレイが暗くなります。 操作しない状態が 60 分間続くと、カラー グラフィック ディスプレイはスリープ モードになり、画面の表示が完全に消えます。 コントロール パネルのボタン操作、カバーの持ち上げ、メモリ カードの挿入、接続されているコンピュータからの HP All-in-One の操作、前面のUSBポートへのストレージ デバイスやカメラの接続などを行うと、画面が再び表示されます。

## メニューの概要

次のセクションは、HP All-in-One のカラー グラフィック ディスプレイに表示されるメニューの一覧です。

### フォト メニュー

コントロール パネルの [フォト] ボタンを押すと、次の [フォト メニュー] オプションを使用できます。

| 1. 簡単プリントウィザード |
| --- |
| 2. 印刷オプション |
| 3. 特殊機能 |
| 4. 編集 |
| 5. コンピュータへ転送 |
| 6.HP Instant Share |
| 7. スライドショー |
| 8. 壁紙に設定する |

### ビデオ メニュー

コントロール パネルの [ビデオ] ボタンを押すと、次の [ビデオ メニュー] オプションを使用できます。

| 1. 簡単プリントウィザード |
| --- |
| 2. 印刷オプション |
| 3. 特殊機能 |

### フィルム メニュー

コントロール パネルの [フィルム] ボタンを押すと、次の [フィルム メニュー] オプションを使用できます。

| 1. コンピュータにスキャン |
| --- |
| 2. メモリ デバイスにスキャン |
| 3. 表示と印刷 |
| 4. オリジナル タイプ |
| 5. ネガの使用方法を表示 |
| 6. スライドの使用方法を表示 |

### フォト シート メニュー

コントロール パネルの [フォト シート] ボタンを押すと、次の [フォト シート メニュー] オプションを使用できます。 フォト シートを使用すると、メモリ カードやストレージ デバイスの写真をインデックス シート形式で表示したり、それらの写真を簡単に選択して印刷することもできます。

| 1. フォト シートの印刷<br>2. フォト シートのスキャン |
|---|

### コピー メニュー

コントロール パネルの [コピー] ボタンを押すと、次の [コピー メニュー] オプションを使用できます。

| 1. コピー枚数<br>2. コピー プレビュー<br>3. 縮小/拡大<br>4. トリミング<br>5. トレイ選択<br>6. 用紙サイズ<br>7. 用紙の種類<br>8. コピー品質<br>9. 薄く/濃く<br>0. 強調<br>＊. 新しいデフォルトの設定 |
|---|

### [スキャンの送信先] メニュー

コントロール パネルの [スキャン] ボタンを押すと、次の [スキャンの送信先] メニュー オプションを使用できます。 このメニューは、HP All-in-One を USB ケーブルでコンピュータに接続しているときに [スキャン] ボタンを押したときだけ表示されます。 このメニューで使用できるオプションは、コンピュータにインストールされているソフトウェア アプリケーションによって異なります。

注記 HP All-in-One をネットワークに接続している場合、[スキャン] ボタンを押すと [スキャン メニュー] が表示されます。 詳細については、スキャン メニュー を参照してください。

| 1. HP Image Zone |
| --- |
| 2. Microsoft PowerPoint |
| 3. HP Instant Share |
| 4. メモリ デバイス |

### スキャン メニュー

コントロール パネルの [スキャン] ボタンを押すと、次の [スキャン メニュー] オプションを使用できます。 このメニューは、HP All-in-One をネットワークに接続しているときに [スキャン] ボタンを押すと表示されます。 [スキャン メニュー] では、最初に接続先コンピュータを選択してから、その他のスキャン オプションを表示します。

注記 HP All-in-One を USB ケーブルでコンピュータに接続している場合、[スキャン] ボタンを押すと [スキャンの送信先] メニューが表示されます。 詳細については、[スキャンの送信先] メニュー を参照してください。

| 1. コンピュータの選択 |
| --- |
| 2. HP Instant Share |
| 3. メモリ デバイス |

### HP Instant Share メニュー

HP All-in-One がネットワークに接続されている場合のみ、このメニューは適用されます。 HP All-in-One が USB ケーブルでコンピュータに接続されている場合、HP Instant Share にはコンピュータからアクセスできます。

| 1. 送信 |
| --- |
| 2. 受信 |
| 3.HP Instant Share オプション |
| 4. 新しい送信先の設定 |

### ファクス メニュー

コントロール パネルの [ファクス] ボタンを押すと、次の [ファクス メニュー] オプションを使用できます。

| 1. 解像度 |
| --- |
| 2. 薄く/濃く |

(続き)

| 3. 後でファクスを送信<br>4. 新しいデフォルトの設定 |
| --- |

### セットアップ メニュー

コントロール パネルの [セットアップ] ボタンを押すと、次の [セットアップ メニュー] オプションを使用できます。

| 1. レポートの印刷<br>2. 短縮ダイヤルの設定<br>3. ファクスの基本設定<br>4. ファクスの詳細設定<br>5. ツール<br>6. 基本設定<br>7. ネットワーク<br>8. HP Instant Share オプション<br>9. Bluetooth |
| --- |

注記　前面の USB ポートに HP Bluetooth アダプタを挿入していないと、Bluetooth オプションは使用できません。

### 機能の選択メニュー

コントロール パネルの [フォト トレイ] ボタンを押すと、次の [機能の選択] メニュー オプションを使用できます。

注記　[フォト メニュー] または [コピー メニュー] で [フォト トレイ] ボタンを使用すると、これらのオプションは表示されません。 これらのオプションは、アイドル画面から操作したときにのみ表示されます。

| 1. コピー<br>2. 写真 |
| --- |

### ヘルプ メニュー

コントロール パネルの [ヘルプ] ボタンを押すと、次の [ヘルプ メニュー] オプションを使用できます。 特定のヘルプ トピックを選択するとそれらがコンピュータ画面に表示されます。

| 1. 使用方法 |
| --- |

(続き)

| |
|---|
| 2. エラー メッセージ |
| 3. インク カートリッジ |
| 4. 原稿と用紙のセット |
| 5. よくあるトラブルシューティング |
| 6.ネットワークトラブルシューティング |
| 7. ファクス機能を使用 |
| 8. スライドとネガフィルムのスキャン |
| 9. サポートにアクセス |
| 0. アイコン用語集 |

## 文字と記号

コントロール パネルのビジュアル キーボードを使用して文字と記号を入力できます。 これらは、有線または無線ネットワーク、ファクス ヘッダ情報、短縮ダイヤルを設定すると、カラーグラフィック ディスプレイに自動的に表示されます。 また、コントロール パネルのキーパッドを使用して文字と記号を入力することもできます。

ファクス番号や電話番号をダイヤルするときも、キーパッドから記号を入力することができます。 HP All-in-One は、番号をダイヤルするときに、記号に応じた動作をします。 たとえば、ファクス番号の途中にダッシュがある場合は、HP All-in-One はダイヤルするときに、その場所で一定の間隔を置きます。 この間隔は、ファクス番号をダイヤルする前に、外線番号を入力する必要がある場合などに役に立ちます。

注記　ファクス番号にダッシュなどの記号を含める場合は、キーパッドからその記号を入力する必要があります。

### ビジュアル キーボードを使用した文字の入力

文字を入力する場合、カラー グラフィック ディスプレイに自動的に表示されるビジュアル キーボードを利用して、コントロール パネルから文字と記号を入力することができます。 たとえば、有線または無線ネットワーク、ファクスのヘッダー情報、短縮ダイヤルなどの設定の際にビジュアル キーボードは自動的に表示されます。

ヒント　HP All-in-One のコントロール パネルのキーパッドでビジュアル キーボードを操作して文字と記号を入力することもできます。 そのキーに設定されている別の文字を入力するには、必要な回数だけボ

タンを押します。 例えば、「ク」を入力するには、[2] を 3 回押します。

**ビジュアル キーボードを使用して文字を入力するには**

1. ビジュアル キーボードの文字、数字、記号は、◀ ▶ ▲ ▼ を押して選択します。

   **小文字、大文字、数字、記号を入力するには**

   – 小文字を入力するには、ビジュアル キーボード上の [abc] ボタンを選択して、[OK] を押します。
   – 大文字を入力するには、ビジュアル キーボード上の [ABC] ボタンを選択して、[OK] を押します。
   – 数字と記号を入力するには、ビジュアル キーボード上の [123] ボタンを選択して、[OK] を押します。

   **スペースを追加するには**

   スペースを入力するには、ビジュアル キーボードの ▶ を押して、[OK] を押します。

   注記 スペースを入力するには、必ずビジュアル キーボードの ▶ を使用してください。コントロール パネル上の矢印ボタンからは、スペースを入力できません。

2. 入力する文字、数字、記号を強調表示した後で、コントロール パネルの [OK] を押して確定します。
   選択した文字などが、カラー グラフィック ディスプレイに表示されます。

   ヒント 文字、数字、記号を消去するには、ビジュアル キーボード上の [クリア] ボタンを選択して、[OK] を押します。

3. 文字、数字、記号の入力が終わったら、ビジュアル キーボード上の [完了] ボタンを選択して、[OK] を押します。

### コントロール パネルのキーパッドからの文字の入力

コントロール パネルのキーパッドから文字と記号を入力できます。 選択した文字などは、カラー グラフィック ディスプレイのビジュアル キーボードに表示されます。

**コントロール パネルのキーパッドを使用して文字を入力するには**

1. 入力したい文字に対応するキーパッドの数字を押します。 以下のボタンに示すように、a、b、c の文字は数字 [2] に対応しています。

   2 abc

   ヒント　何度もボタンを押すと、そのボタンで入力可能な文字が順に表示されます。 選択した言語と国/地域によって、その他の文字が使用できることもあります。

2. 正しい文字が表示された後で、しばらくしてカーソルが自動的に右に進んで文字が確定されます。または ▶ を押して手動で確定します。
3. 次に入力したい文字に対応する数字を押します。 正しい文字が出てくるまでまた何回か数字ボタンを押してください。 単語の最初の文字は自動的に大文字になります。

   **スペース、間隔、記号を入力するには**

   – スペースを挿入するには、[**スペース (#)**] ボタンを押します。
   – ポーズを入力するには、[*] ボタンを押します。番号にダッシュが入力されます。
   – @ などの記号を入力するには、[*] ボタンを繰り返し押して、記号の一覧をスクロールします。使用可能な記号はアスタリスク ([*])、ダッシュ ([-])、アンパサンド ([&])、ピリオド ([.])、スラッシュ ([/])、カッコ [( )]、アポストロフィ (['])、等記号 ([=])、シャープ ([#])、アット マーク ([@])、下線 ([_])、プラス記号 ([+])、感嘆符 ([!])、セミ コロン ([;])、疑問符 ([?])、カンマ ([,])、コロン ([:])、パーセント ([%])、アプロキシメーション記号 ([~]) です。

4. 誤りを修正するには、矢印ボタンを押してビジュアル キーボード上の [クリア] ボタンを選択し、[OK] を押します。
5. 文字、数字、記号の入力が終わったら、▲ ▶ ▼ または ◀ を押してビジュアル キーボード上の [完了] を選択し、[OK] を押します。

## [HP ソリューション センター] ソフトウェアの使用

**[HP ソリューション センター]** ソフトウェアを使用すれば、コントロール パネルからは利用できない数多くの機能にアクセスすることができます。

HP All-in-One をセットアップすると、**[HP ソリューション センター]** ソフトウェアがコンピュータにインストールされます。 詳細については、プリンタに付属の『セットアップ ガイド』を参照してください。

注記　インストール時に **[Express インストール]** を選択した場合は、**[フルインストール]** した場合と異なり **[HP Image Zone Express]** がインストールされます。**[HP Image Zone Express]** のインストールは、

コンピュータのメモリ リソースに制限がある場合にお勧めします。**[HP Image Zone Express]** には、写真編集機能として **[HP Image Zone]** のフル インストール版に含まれる標準機能ではなく、基本機能が搭載されています。

**[HP Image Zone Express]** ソフトウェアの場合、HP Instant Share を使用してネットワーク接続した HP All-in-One を登録することはできません。 コンピュータの **[HP Image Zone Express]** から HP Instant Share にアクセスすることはできますが、コントロール パネルから HP Instant Share 機能を使用するには、**[HP Image Zone]** のフルバージョンをインストールする必要があります。

本ガイドとオンスクリーン **[HP Image Zone ヘルプ]** の **[HP Image Zone]** ソフトウェア関連の項目では、特に断りのない限り、**[HP Image Zone]** の両方のバージョンについて説明しています。

**[HP Image Zone]** ソフトウェアを使用すると、HP All-in-One の機能の拡張をすばやく簡単に行うことができます。本書全体を通して、このようなボックスを見ると、トピック別のヒントやプロジェクトに役立つ情報が得られます。

**[HP Image Zone]** ソフトウェアへのアクセス方法は、オペレーティング システム (OS) により異なります。 たとえば、Windows コンピュータの場合、**[HP Image Zone]** ソフトウェアのエントリ ポイントは、**[HP ソリューション センター]** です。 Mac の場合、**[HP Image Zone]** ソフトウェアのエントリ ポイントは、**[HP Image Zone]** 画面です。 いずれにしても、エントリ ポイントが **[HP Image Zone]** ソフトウェアおよびサービスの起動となります。

**Windows コンピュータで [HP Image Zone] ソフトウェアを起動するには**

1. 次のいずれかを実行してください。
   – Windows のデスクトップで、**[HP ソリューション センター]** アイコンをダブルクリックします。
   – Windows タスクバーの右端のシステム トレイにある **[HP Digital Imaging Monitor]** アイコンをダブルクリックします。
   – タスクバーで、**[スタート]** をクリックした後、**[プログラム]** または **[すべてのプログラム]** をポイントし、次に、**[HP]** を選択して、**[HP ソリューション センター]** をクリックします。
2. 複数の HP プリンタがインストールされている場合、HP All-in-One タブを選択してください。

注記　Windows コンピュータの場合、**[HP ソリューション センター]** で使用できる機能はインストールしたプリンタによって異なります。 **[HP ソリューション センター]** は、選択したプリンタに関連するアイコンを表示するようにカスタマイズされています。 選択したプリンタに特定の機能が搭載されていない場合は、その機能のアイコンが **[HP ソリューション センター]** に表示されないこともあります。

ヒント　コンピュータ上の **[HP ソリューション センター]** にアイコンが 1 つも表示されない場合は、ソフトウェアのインストール中にエラーが発生していることもあります。 そのような状況を修正するには、Windows のコントロール パネルを使用して、**[HP Image Zone]** ソフトウェアを完全にアンインストールし、 その後、再度インストールします。 詳細は、HP All-in-One に付属の『セットアップ ガイド』を参照してください。

**Mac で [HP Image Zone] ソフトウェアを起動するには**

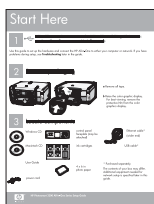
➔ Dock で **[HP Image Zone]** アイコンをクリックし、デバイスを選択します。
　**[HP Image Zone]** ウィンドウが表示されます。

注記　Mac の場合、**[HP Image Zone]** ソフトウェアで使用できる機能は選択したデバイスによって異なります。

ヒント　**[HP Image Zone]** ソフトウェアが起動したらすぐに、Dock の **[HP Image Zone]** アイコンを選択し、その上にマウスを置いた状態にすると、Dock メニューのショートカットにアクセスすることができます。

# 2 各種マニュアルについて

印刷物およびオンスクリーン ヘルプなど、さまざまなリソースから、HP All-in-One の設定と使用方法に関する情報が得られます。

## 情報の種類

| | |
|---|---|
|  | **セットアップ ガイド**<br>『セットアップ ガイド』では、HP All-in-One のセットアップやソフトウェアのインストール方法について説明します。『セットアップ ガイド』に記載された手順を順序どおりに行ってください。<br>注記　HP All-in-One のすべての機能をフルに活用するには、本『ユーザー ガイド』で説明する追加セットアップおよび詳細設定を行う必要があります。 詳細については、HP All-in-One のセットアップの完了 および ネットワークへの接続 を参照してください。<br>セットアップ中に問題が生じた場合、『セットアップ ガイド』の最後のセクションにあるトラブルシューティング、または本『ユーザー ガイド』の トラブルシューティング情報 を参照してください。 |
|  | **ユーザー ガイド**<br>『ユーザー ガイド』では、トラブルシューティングのヒントや手順を追った説明など、HP All-in-One を使用する方法が説明されています。 また、『セットアップ ガイド』の説明を補足するためのセットアップ手順も追加されています。 |
|  | **HP Image Zone Tour** (Windows)<br>HP Image Zone Tour は、HP All-in-One などのソフトウェアの概要を見られる楽しく対話的な方法です。 **[HP Image Zone]** ソフトウェアを使って、写真を編集、整理、印刷する方法がわかります。 |
|  | **[HP Image Zone ヘルプ]**<br>**[HP Image Zone ヘルプ]** は、**[HP Image Zone]** ソフトウェアでしかご利用になれない機能をはじめ、本『ユーザー ガイド』には記載されていない HP All-in-One の機能について詳しく説明します。 |

| | |
|---|---|
|  | **Windows**<br>● **手順を 1 ステップずつ** トピックでは、HP デバイスに関連する **[HP Image Zone]** ソフトウェアの使用方法が説明されています。<br>● **何ができるかな？** のトピックでは、**[HP Image Zone]** ソフトウェアと HP デバイスでできる実用的でクリエイティブなことについての情報が得られます。<br>● この点の詳細や HP ソフトウェアの更新については、**トラブルシューティングとサポート** のトピックを参照してください。<br><br>**Mac**<br>● **使用方法** のトピックでは、**[HP Image Zone]** ソフトウェアと HP デバイスでできる実用的でクリエイティブなことについての情報が得られます。<br>● **はじめに** のトピックでは画像のインポート、変更、共有に関する情報が得られます。<br>● **ヘルプの使用** トピックではオンスクリーン ヘルプに収録された情報の収集方法について詳しく説明します。<br>詳細については、オンスクリーン ヘルプを使う を参照してください。 |
|  | **本体のオンスクリーン ヘルプ**<br>オンスクリーン ヘルプは使用しているデバイスから直接利用でき、選択したトピックについての追加情報が得られます。<br><br>**コントロール パネルからオンスクリーン ヘルプにアクセスするには**<br>1. [ヘルプ] ボタン (コントロール パネルのクエッション マーク [?])を押します。<br>2. 矢印ボタンで目的のヘルプ トピックを選択し、[OK] を押します。 コンピュータ画面にそのヘルプ トピックが表示されます。 |
|  | **Readme**<br>Readme ファイルには、その他の出版物に記載されていない最新情報が収録されています。<br>ソフトウェアをインストールして、Readme ファイルをお読みください。 |
| www.hp.com/support | インターネットにアクセス可能な場合は、HP Web サイトからヘルプやサポートを入手することができます この Web サ |

| | |
|---|---|
| | イトには、技術サポート、ドライバ、消耗品、および注文に関する情報が用意されています。 |

# オンスクリーン ヘルプを使う

本『ユーザー ガイド』は、HP All-in-One の使用を始めるときに利用する機能の一部について説明します。 HP All-in-One が対応するすべての機能については、HP All-in-One ソフトウェアに付属のオンスクリーン **[HP Image Zone ヘルプ]** をよくお読みください。

注記　このオンスクリーン ヘルプのトラブルシューティング関連のトピックでは、HP All-in-One の使用中に発生する問題の対処方法についても説明します。

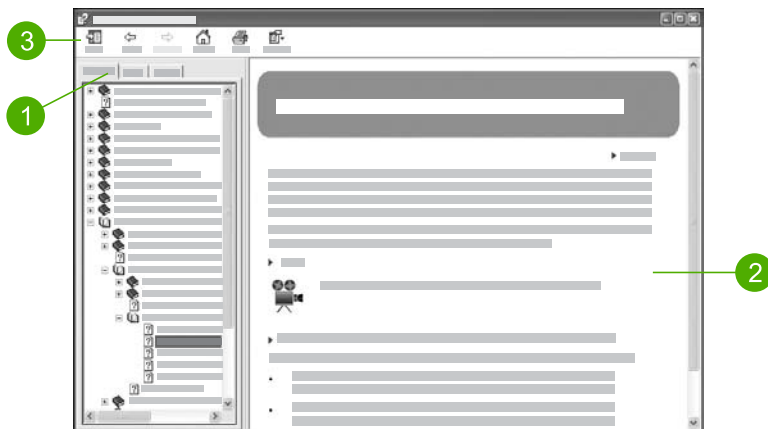
オンスクリーン ヘルプの表示および使用方法は、Windows または Mac のどちらでヘルプをご覧になるかによって、多少異なります。 両方のヘルプの使用方法については、以下のセクションで説明します。

## Windows コンピュータでヘルプを使用する

このセクションでは Windows コンピュータでオンスクリーン ヘルプを使用する方法について説明します。 ヘルプの移動、検索、キーワードなどの機能を使用して、目的の情報を見つける方法が記載されています。

**Windows コンピュータで [HP Image Zone ヘルプ] にアクセスするには**

1. **[HP ソリューション センター]** で、HP All-in-One のタブをクリックします。
   **[HP ソリューション センター]** にアクセスする方法については、HP ソリューション センター ソフトウェアの使用 を参照してください。
2. **[プリンタ サポート]** 領域で、**[オンスクリーン ガイド]** または **[トラブルシューティング]** をクリックします。
   – **[オンスクリーン ガイド]** をクリックすると、ポップアップ メニューが表示されます。 ここで、ヘルプ全体のウェルカム ページを開くか、HP All-in-One 用のヘルプを表示するかどうかを選択できます。
   – **[トラブルシューティング]** をクリックすると、**[トラブルシューティングとサポート]** ページが開きます。

   下の図で、ヘルプでのトピックの調べ方について説明します。

| 1 | 目次、キーワード、検索タブ |
|---|---|
| 2 | 表示領域 |
| 3 | ヘルプ ツールバー |



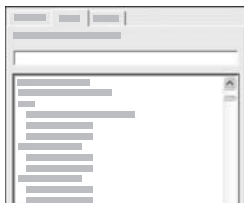
**目次、キーワード、検索タブ**

**[HP Image Zone ヘルプ]** 内のトピックを表示するには、**[目次]**、**[キーワード]**、**[検索]** タブを使用します。

- **[目次]**
  **[目次]** タブは、本の目次と同じように、ヘルプ内のトピックをツリー形式で一覧表示します。 写真の印刷方法など、ある特定の機能に関する情報をまとめて見たいときに便利です。
  - HP All-in-One のコントロール パネルから行える作業と機能については、一覧の一番下にある **[3100, 3200, 3300 series ヘルプ]** を開いてください。
  - HP All-in-One のトラブルシューティングについては、**[トラブルシューティングとサポート]** ブックを開き、次に **[3100, 3200, 3300 series トラブルシューティング]** ブックを開いてください。
  - **[目次]** タブにあるその他のブックでは、**[HP Image Zone]** ソフトウェアを使用し HP All-in-One で各種作業を行う方法について説明します。

サブトピックを持つセクションは、ブック アイコンで判別できます。 ブック内のサブトピック一覧を表示するには、ブック アイコンの横の **+** 記号をクリックします (サブトピックが既に開かれている場合は **+** 記号が **-** に変わっています)。 トピック内の情報を表示するには、**[目次]** タブでブック名ま

たはトピック名をクリックします。 選択したトピックが右側の表示領域に表示されます。

- **[キーワード]**
  **[キーワード]** タブは、**[HP Image Zone ヘルプ]** のトピックに関連するキーワードをアルファベット順に一覧表示します。

  

  別の項目を表示するには、一覧の右側にあるスクロール バーを使用するか、一覧の上にあるテキスト ボックスにキーワードを入力します。 文字を入力するたびに、キーワード画面は入力した文字から始まる項目に自動的に移動します。

  調べたい情報に関連するキーワードが見つかったら、そのキーワードをダブルクリックします。
  – キーワードに関連するトピックが 1 つしかない場合は、そのトピックが右側の表示領域に表示されます。
  – 該当するトピックが複数ある場合は、**[該当するトピック]** ダイアログ ボックスが表示されます。 ダイアログ ボックス内の任意のトピックをダブルクリックすると、そのトピックが表示領域に表示されます。
- **[検索]**
  **[検索]** タブでは、ヘルプ全体から特定の語句 (「フチ無し印刷」など)を検索することができます。

  ヒント 入力する語句がよく使われる語句 (「フチ無し印刷」の「印刷」など) の場合は、検索対象の語句を 2 重引用符 (") で囲います。 これにより、必要な情報により近い検索結果を絞り込むことができます。 この検索では、「フチ無し」または「印刷」のどちらかの単語を含むトピックを返すのではなく、「フチ無し印刷」という語句を含むトピックを返します。

  検索条件を入力し、**[検索開始]** をクリックすると、入力した単語または語句を含むヘルプ トピックがすべて表示されます。 検索結果は、3 つの列で構成されるテーブルに表示されます。 それぞれの列には、**[タイトル]**、そのトピックが記載されたヘルプ内の **[場所]**、検索条件との関連性に応じて割り当てられた **[ランク]** という見出しがついています。

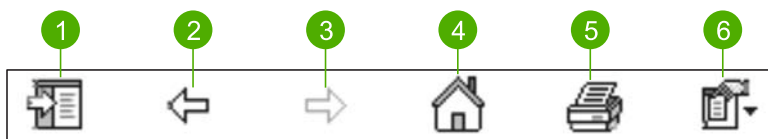
検索結果はデフォルトで **[ランク]** を基準にして並べ替えられ、検索条件と一致するものを最も多く含むトピックが一番上に表示されます。 また、列の見出しをクリックして、検索結果をトピックの **[タイトル]** または **[場所]** で並べ替えることもできます。 トピックの内容を表示するには、検索結果一覧で該当する列をダブルクリックします。 選択したトピックが右側の表示領域に表示されます。

#### 表示領域

ヘルプ画面右側の表示領域には、左のタブのいずれかで選択したヘルプ トピックが表示されます。 ヘルプ トピックには、説明文、ステップ別手順、可能な場合はイラストなどが含まれます。

- トピックには、さらに詳しい説明が得られる、ヘルプ内の別のトピックへのリンクが含まれていることもあります。 また、リンクから新規トピックが表示領域内に自動的に開いたりします。 該当するトピックが複数ある場合もありますが、 このようなときは、**[該当するトピック]** ダイアログ ボックスが表示されます。 ダイアログ ボックス内の任意のトピックをダブルクリックすると、そのトピックが表示領域に表示されます。
- トピックによっては、そのページには表示されていない詳細情報や追加情報があることがあります。 ページの右上に **[すべて表示]** または **[すべて非表示]** があるかどうかを確認してください。 ある場合は、そのページには、表示されていない追加情報があることを意味します。 非表示の情報は矢印と紺色の文字列で表されます。 非表示の情報を見るには、紺色の文字列をクリックします。
- 一部のトピックには、特定の機能の使用方法を示す動画が含まれます。 動画がある場合、「使用方法」の横にビデオ カメラ アイコンが表示されます。 「使用方法」リンクをクリックすると、新しいウィンドウで動画が再生されます。

#### ヘルプ ツールバー

以下に示すヘルプ ツールバーには、ヘルプ内のトピック間を移動するボタンが含まれます。 前後のトピックに移動したり、**[ホーム]** ボタンをクリックして、**[HP Image Zone ヘルプの目次]** ページに戻ったりできます。

| | |
|---|---|
| 1 | 表示/非表示 |
| 2 | 戻る |
| 3 | 進む |
| 4 | ホーム |
| 5 | 印刷 |
| 6 | オプション |

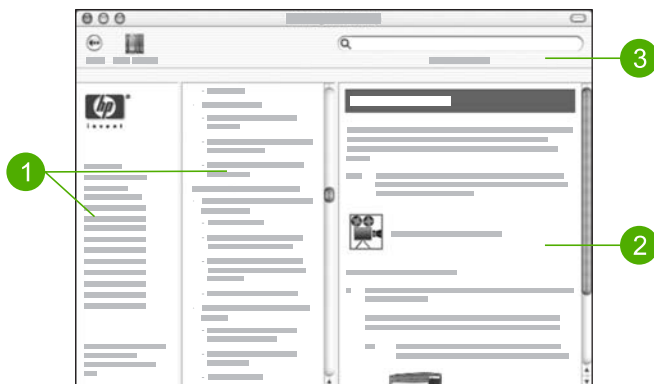
[ヘルプ] ツールバーには、コンピュータの画面でのオンスクリーン ヘルプの表示方法を変更するためのボタンがあります。 例えば、右側の表示領域にヘルプ トピックをもっと大きく表示したい場合は、**[タブの非表示]** ボタンをクリックして、**[目次]**、**[キーワード]** および **[検索]** タブを非表示にすることができます。

**[印刷]** ボタンを押すと、コンピュータの画面に表示されているページを印刷できます。 左側に **[目次]** タブが見えるときに **[印刷]** をクリックすると、**[トピックの印刷]** ダイアログ ボックスが表示されます。 表示領域に表示されているトピックだけを印刷するか、表示中のトピックとそれに関連するすべてのサブトピックを印刷するかを選択できます。 この機能は、ヘルプ画面の右側に **[キーワード]** または **[検索]** タブが見える場合はご利用になれません。

### Mac でのヘルプの使用

このセクションでは Mac でオンスクリーン ヘルプを表示する方法について説明します。 ヘルプ内を移動、検索して必要な情報を取得する方法が記載されています。

**Mac で [HP Image Zone ヘルプ] にアクセスするには**

➔ **[HP Image Zone]** で **[ヘルプ]** メニューを開き、**[HP Image Zone ヘルプ]** を選択します。
**[HP Image Zone]** ソフトウェアを使用するための詳細については、HP ソリューション センター ソフトウェアの使用 を参照してください。
**[HP Image Zone ヘルプ]** が表示されます。 下の図で、ヘルプでのトピックの調べ方について説明します。

| | |
|---|---|
| 1 | ナビゲーション枠 |
| 2 | 表示領域 |
| 3 | ヘルプ ツールバー |

### ナビゲーション枠

**[HP Image Zone ヘルプ]** はヘルプ ビューアで開きます。 このヘルプは 3 つの枠に分かれています。 左と中央の枠では、ヘルプ内のトピックを移動することができます (右側の枠は、次のセクションで説明するように、検索結果を表示する領域です)。

- 左枠にはヘルプ内のすべてのセクションが一覧表示されます。
  - HP All-in-One のコントロール パネルから使用できる操作と機能については、**[3100, 3200, 3300 series ヘルプ]** をクリックしてください。
  - HP All-in-One で発生する問題のトラブルシューティングについては、**[3100, 3200, 3300 series トラブルシューティング]** を参照してください。
  - その他のセクションは、**[HP Image Zone]** ソフトウェアを使用し HP All-in-One で各種作業を行う方法について説明します。
- 中央の枠は、本の目次と同じように、左枠で選択したトピックをツリー形式で一覧表示します。 写真の印刷方法など、ある特定の機能に関する情報をまとめて見たいときに便利です。

### 表示領域

右枠の表示領域には、中央の枠で選択したヘルプ トピックが表示されます。ヘルプ トピックには、説明文、ステップ別手順、可能な場合はイラストなどが含まれます。

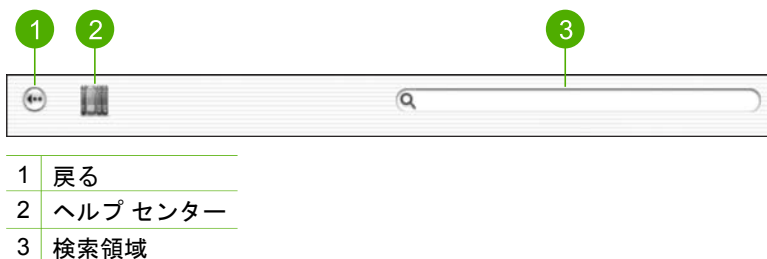
- **[HP Image Zone ヘルプ]** のトピックの多くで、HP All-in-One のコントロール パネルをはじめ Mac 上 の **[HP Image Zone]** ソフトウェアから利用できる機能の使用方法について説明しています。 特定のトピックの内

容をすべて表示するには、表示領域の右側にあるスクロール バーを動かします。 スクロールしないと重要な情報が画面に見えない場合があります。

- トピックには、さらに詳しい説明が得られる、ヘルプ内の別のトピックへのリンクまたは参照が含まれていることもあります。
  - ヘルプの同じセクションに関連トピックが表示されている場合、表示領域にそのトピックが自動的に開きます。
  - 関連トピックがヘルプの別のセクションにもある場合、現在のトピックには、左のナビゲーション枠で選択するセクションへの参照が表示されます。 関連するトピックは中央のナビゲーション枠を操作して見つけるか、次のセクションの説明に従って検索することができます。
- 一部のトピックには、特定の機能の使用方法を示す動画が含まれます。動画がある場合、「使用方法」の横にビデオ カメラ アイコンが表示されます。 ビデオ カメラ アイコンをクリックすると、新しいウィンドウで動画が再生されます。

### ヘルプ ツールバー

以下に示すヘルプ ツールバーには、ヘルプ内のトピック間を移動するボタンが含まれます。 前に見たトピックに戻ったり、**[ヘルプ センター]** ボタンをクリックして、Mac 上の他のソフトウェア アプリケーションのヘルプにアクセスすることができます。

| 1 | 戻る |
|---|---|
| 2 | ヘルプ センター |
| 3 | 検索領域 |

ヘルプ ツールバーには、ヘルプ全体から特定の語句 (「フチ無し印刷」など) を検索できるテキスト ボックスがあります。

検索条件を入力し、キーボードの [RETURN] を押すと、入力した単語または語句を含むヘルプ トピックが すべて表示されます。 検索結果は、3つの列で構成されるテーブルに表示されます。 それぞれの列には、**[トピック]**、検索条件との関連性に応じて割り当てられた **[関連]**、そのトピックが記載されたヘルプ内の **[場所]**、というタイトルがついています。

検索結果はデフォルトで **[関連]** を基準にして並べ替えられ、検索条件と最も一致するトピックが一番上に表示されます。 また、列の見出しをクリックして、**[トピック]** または **[場所]** を基準にして並べ替えることもできます。 トピ

ックの内容を表示するには、検索結果一覧で該当する列をダブルクリックします。 選択したトピックが表示されます。

# 3 HP All-in-One のセットアップの完了

『セットアップ ガイド』に記載された手順が完了したら、次にこの章を参照して HP All-in-One のセットアップを完了させてください。 このセクションには、プリファレンス設定などデバイスのセットアップに関する重要な情報が記載されています。

- 言語と国または地域、日付、呼び出し音やボタンを押したときの音量など、デバイス本体の基本設定を変更します。 詳細については、プリファレンスの設定 を参照してください。
- HP All-in-One に装備された USB、有線、無線ネットワーク接続、Bluetooth、プリンタ共有機能などの接続オプションについて記載しています。 詳細については、接続情報 を参照してください。
- 有線または無線ネットワークのセットアップを完了させます。 詳細については、ネットワークへの接続 を参照してください。
- 応答モード、応答呼び出し回数、呼出し音のパターンなどのファクスのセットアップを完了させます。 詳細については、ファクスのセットアップ を参照してください。

本『ユーザー ガイド』のセットアップ手順に加えて、ネットワークに接続した HP All-in-One に HP Instant Share をセットアップすることにより、お友達や親戚の方々と簡単に画像を共有することができます。 **[HP Image Zone]** ソフトウェアをインストールしたら、ネットワークに接続した HP All-in-One の コントロール パネルにある [**HP Instant Share**] ボタンを押して、接続先のコンピュータ上でセットアップ ウィザードを開始します。 HP Instant Share のセットアップの詳細については、オンスクリーン **[HP Image Zone ヘルプ]** の **[3100, 3200, 3300 series ヘルプ]** を参照してください。

セットアップの完了

## プリファレンスの設定

HP All-in-One の使用を始める前に、このセクションで説明するプリファレンスを設定します。

本『ユーザー ガイド』は、HP All-in-One の使用を始めるときに利用するプリファレンスの一部について説明します。 HP All-in-One の制御に使用するプリファレンスの詳細については、HP All-in-One ソフトウェアに付属のオンスクリーン **[HP Image Zone ヘルプ]** をよくお読みください。 例えば、オンスクリーン **[HP Image Zone ヘルプ]** では、PictBridge による印刷時のデフォルトの給紙トレイの変更方法、カラー グラフィック ディスプレイのヒント、その他のプリファレンスなどについて説明します。 **[HP Image Zone ヘルプ]** の詳細については、オンスクリーン ヘルプを使う を参照してください。

### 言語と国/地域の設定

言語と国/地域の設定内容により、カラー グラフィック ディスプレイのメッセージに使用する言語が決まります。 通常、言語と国/地域は HP All-in-One を初めてセットアップする際に設定します。 ただし、それらの設定は以下の手順によりいつでも変更できます。

1. [セットアップ] ボタンを押します。
2. [6] を押し、次に [1] を押します。
   [基本設定] メニューが表示されたら、[言語と国/地域の設定] を選択します。
   言語が一覧で表示されます。 ▲ か ▼ を押して、言語の一覧をスクロールします。
3. 目的の言語が選択されたら、[OK] を押します。
4. プロンプトが表示されたら、[はい] の場合は [1]、[いいえ] の場合は [2] を押します。
   選択された言語に対応する国/地域が表示されます。▲ または ▼ を押して、一覧をスクロールします。
5. 目的の国または地域が強調表示されたら、[OK] を押します。
6. プロンプトが表示されたら、[はい] の場合は [1]、[いいえ] の場合は [2] を押します。

### 日付と時刻の設定

日付と時間には、現地時間が設定されます。 プリンタのインストール中にコンピュータに接続すると、そのタイム ゾーンに合わせて日付と時刻を変更します。 この日付と時刻の形式は、言語と国/地域の設定に基づいています。

サマータイムなどの影響でコンピュータの時刻を変更した場合、次に HP All-in-One とコンピュータが通信するときに HP All-in-One の時刻もコンピュータの新しい時刻に合わせて自動的に更新されます。 HP All-in-One とコンピュータを接続していなかったり、何らかの理由で時刻が更新されない場合は、コントロール パネルから日付と時刻を手動で更新することができます。

ファクスを送るときに、名前とファクス番号のほかに現在の日付と時刻もファクス ヘッダーの一部として送信されます。

注記　一部の国または地域では、法令等によりファクスのヘッダーに日付スタンプの明記が義務付けられています。

**日付と時刻をコントロール パネルで設定するには**

1. [セットアップ] ボタンを押します。
2. [5] を押し、次に [4] を押します。
   [ツール] メニューが表示されたら、[日付と時刻] を選択します。
3. キーパッドの数字を押して、年、月、日を入力します。言語と国/地域の設定によっては、入力する順序が異なることがあります。
4. 時間と分を入力します。

### 音量の調整

HP All-in-Oneでは、呼び出し音およびスピーカの音量を 3 段階で調整できます。呼び出し音のボリュームとは、電話がかかってきたときに鳴る音のボリュームです。スピーカのボリュームとは、ダイヤル トーンやファクス トーン、ボタンを押したときに鳴る音など、それ以外の音の大きさのことです。デフォルトの設定は [小] です。

1. [セットアップ] を押します。
2. [3] を押し、次に [6] を押します。
   [ファクスの基本設定] メニューが表示され、[呼出し音とプッシュ音の音量] が選択されます。
3. ▼ を押し、[小さい]、[大きい]、[オフ] のいずれかを選択します。

   注記　[オフ] を選択すると、ダイヤル トーン、ファクス受信音、着信の呼び出し音がまったく聞こえなくなります。 [呼出し音とプッシュ音の音量] を [オフ] に設定すると、コーリング カードを使用してファクスを送信するなど、ダイヤルモニタ機能を使用してファクスを送信できなくなります。 ダイヤルモニタ機能の詳細については、ダイヤルのモニタ機能を使用したファクス送信 を参照してください。
4. [OK] を押します。

## 接続情報

HP All-in-One には、USB ポートが付いているので、USB ケーブルを使用して直接コンピュータに接続できます。 HP All-in-One は有線または無線ネットワークのどちらにも接続できます。 デバイス前面の USB ポートに HP bt300 または HP bt400 series Bluetooth® ワイヤレス プリンタ アダプタを取り付けると、PDA やカメラ付き携帯電話などの Bluetooth® デバイスから HP All-in-One に印刷することができます。

注記　本章ではこれ以降、HP bt300 または HP bt400 series Bluetooth® ワイヤレス プリンタ アダプタを HP Bluetooth® アダプタと称します。

### サポートされる接続タイプ

| 説明 | 接続するコンピュータの台数 (最高性能を得るための推奨台数) | サポートされるソフトウェア機能 | セットアップ方法 |
| --- | --- | --- | --- |
| USB 接続 | USB ケーブルで HP All-in-One 背面の USB ポートに接続したコンピュータ。 | すべての機能をサポートします。 | 詳しい手順については、『セットアップ ガイド』に従ってください。 |
| Ethernet (有線) 接続 | ハブまたはルーターで、5 台まで HP All-in-One にコンピュータを接続。 | すべての機能をサポートします。 | 詳細については、『セットアップ ガイド』および本『ユーザー ガイド』の ネットワークへの接続 を参照してください。 |
| 802.11b または 802.11g (ワイヤレス) 接続 | アクセスポイントを使用してコンピュータを 5 台まで接続 (インフラストラクチャ モード) | すべての機能をサポートします。 | 詳細については、『セットアップ ガイド』および本『ユーザー ガイド』の ネットワークへの接続 を参照してください。 |
| HP bt300 または HP bt400 series Bluetooth® ワイヤレス プリンタ アダプタ (HP Bluetooth® アダプタ) | 1 台の Bluetooth® デバイスまたはコンピュータ。 | PDA やカメラ付き携帯電話などの Bluetooth® デバイス、または Bluetooth®対応コンピュータからの印刷。 | PDA やカメラ付き携帯電話などのデバイスから印刷する方法については、**[HP Image Zone ヘルプ]** を参照してください。<br>Bluetooth® 対応コンピュータから印刷する方法については、Bluetooth® |

| 説明 | 接続するコンピュータの台数 (最高性能を得るための推奨台数) | サポートされるソフトウェア機能 | セットアップ方法 |
| --- | --- | --- | --- |
| | | | による接続 を参照してください。 |
| プリンタの共有 | コンピュータ 5 台まで。<br>ホスト コンピュータは常に電源をオンにしておく必要があります。オフの場合、他のコンピュータは HP All-in-One に対して印刷を実行できません。 | ホスト コンピュータに装備されている機能はすべてサポートされます。別のコンピュータからサポートされているのは印刷だけです。 | セットアップ方法については、プリンタ共有の使用 (Windows) またはプリンタ共有の使用 (Mac) を参照してください。 |

## USB ケーブルを使用して接続

USB ケーブルで HP All-in-One を接続するには、『セットアップ ガイド』（印刷物) の指示に従ってください。

コンピュータと HP All-in-One が通信できない場合、HP All-in-One とコンピュータの USB が同じバージョンであることを確認してください。 この HP All-in-One は、USB 2.0 を使用するように設定されています。 従って、コンピュータのポートが USB 1.1 対応の場合、オペレーティング システムを更新するか、HP All-in-One 背面の USB ポートの速度をフルスピード (USB 1.1) に変更する必要があります。

注記 Mac をご使用の場合、内蔵の USB ポートの 1 つを使用して、HP All-in-One に接続してください。 Mac に取り付けた USB カードに HP All-in-One を接続すると、HP ソフトウェアは HP All-in-One を認識しない場合があります。

**コンピュータで USB ポートの接続速度を確認するには (Windows XP)**

注記 XP 以前の Windows バージョンは USB 1.1 にのみ対応しています。

1. Windows のタスク バーで **[スタート]**、**[コントロール パネル]** の順にクリックします。
2. **[システム]** を開きます。

3. **[ハードウェア]** タブをクリックし、**[デバイス マネージャ]** をクリックします。
4. 続いて表示された一覧に **拡張** USB ホスト コントローラがあるかどうか確認します。
   **拡張** USB ホスト コントローラがある場合は、ハイスピード USB (USB 2.0) に対応しており、 ない場合は、フルスピード USB (USB 1.1) に対応しています。

**コンピュータで USB ポートの接続速度を確認するには (Mac OS X)**

1. **[アプリケーション : ユーティリティ]** フォルダから **[システム プロファイラ]** を開きます。
2. 左側の **[USB]** をクリックします。
   **[速度]** が **[最高 12 Mb/秒]** と表示されていれば、接続速度は フルスピード USB (1.1) です。 それより速い場合は、High Speed USB (USB 2.0)と表示されます。

**背面ポートの速度を フルスピード に変更するには (HP All-in-One)**

1. [セットアップ] ボタンを押します。
   [セットアップ] メニューがカラー グラフィック ディスプレイに表示されます。
2. [ツール] が強調表示されるまで ▼ を押して、次に [OK] を押します。
   [ツール] メニューが表示されます。
3. [5] を押し、次に [2] を押します。
   [最大速度 (フルスピード) (USB 1.1)] が選択されます。

## Ethernet による接続

HP All-in-One は 10 Mbps および 100 Mbps Ethernet ネットワーク接続をサポートします。 HP All-in-One を Ethernet (有線) ネットワークに接続する方法の詳細については、デバイスに付属の『セットアップ ガイド』を参照してください。 詳細については、ネットワークへの接続 を参照してください。

## ワイヤレスによる接続

HP Photosmart 3300 All-in-One series はワイヤレス ネットワークをサポートするネットワーク接続コンポーネントを内蔵しています。 HP All-in-One を ワイヤレス (802.11b または g) ネットワークに接続する方法の詳細については、デバイスに付属の『セットアップ ガイド』を参照してください。 詳細については、ネットワークへの接続 を参照してください。

## Bluetooth® による接続

Bluetooth® 接続を使用すると、ケーブルを接続しなくても Bluetooth® 対応コンピュータから画像をすばやく簡単に印刷することが可能になります。 ただ

し、Bluetooth® 接続の場合、コンピュータからスキャンや HP Instant Share などの機能は使用できません。

印刷前に、HP Bluetooth® アダプタを HP All-in-One に接続しておいてください。 詳細については、HP All-in-One に付属のオンスクリーン **[HP Image Zone ヘルプ]** を参照してください。 オンスクリーン **[HP Image Zone ヘルプ]** の使用方法については、オンスクリーン ヘルプを使う を参照してください。

Windows コンピュータに接続する場合は、次のセクションを参照してください。 Mac に接続する場合は、Mac ユーザー を参照してください。

#### Windows ユーザー

HP All-in-One に接続するには、Windows XP を実行し、Microsoft Bluetooth® プロトコル スタックまたは Widcomm Bluetooth® プロトコル スタックのどちらかをインストールしておく必要があります。 コンピュータに Microsoft スタックと Widcomm スタックの両方をインストールすることは可能ですが、HP All-in-One への接続に使用できるのはどちらか 1 つのみです。

- お使いのコンピュータに **Microsoft stack** Service Pack 2がインストールされていれば、Microsoft Bluetooth® プロトコル スタックもインストール済みです。 外部 Bluetooth® アダプタは Microsoft スタックにより自動的にインストールされます。 お使いの Bluetooth® アダプタが Microsoft スタックに対応しているのにアダプタが自動的にインストールされない場合は、Microsoft スタックが元々コンピュータに入っていないことが考えられます。 Bluetooth® アダプタの Microsoft スタックへの対応状況については、アダプタ付属のマニュアルをご確認ください。
- **Widcomm スタック**： Bluetooth® 内蔵の HP コンピュータをご使用の場合、または HP Bluetooth® アダプタをすでにインストールしている場合は、Widcomm スタックもインストール済みです。 HP コンピュータに HP Bluetooth® アダプタを差し込んで使用している場合、アダプタは Widcomm スタックにより自動的にインストールされます。

#### Microsoft スタックを使用してインストールおよび印刷を行うには (Windows)

1. コンピュータに HP All-in-One ソフトウェアがインストールされていることを確認します。

   注記　本ソフトウェアをインストールする目的は、Bluetooth® 接続のためのプリント ドライバを使用できるようにしておくためです。このソフトウェアがすでにインストールされている場合は、再インストールの必要はありません。HP All-in-One に USB と Bluetooth® の両方で接続する場合は、USB 接続を先にインストールしてください。 詳細については、『セットアップ ガイド』(印刷物) を参照してください。 USB 接続にする場合は、**[接続タイプ]**

画面で **[このコンピュータに直接接続]** を選択します。 また、**[デバイスを今すぐ接続]** 画面で、**[デバイスをお使いのコンピュータに接続できない...]** の横のチェックボックスを選択します。

2. HP Bluetooth® アダプタをHP All-in-One 前面のUSB ポートに接続します。
3. 外部 Bluetooth® アダプタを使用する場合は、コンピュータが起動しており、Bluetooth® アダプタをコンピュータの USB ポートに接続していることを確認します。 Service Pack 2 搭載 Windows XP がインストールされている場合は、Bluetooth® ドライバも自動的にインストールされています。 Bluetooth® プロファイルの選択画面が表示されたら、**[HCRP]** を選択します。
   コンピュータが Bluetooth® を内蔵している場合は、コンピュータが起動していることを確認します。
4. Windows のタスク バーで **[スタート]**、**[プリンタと FAX]** の順にクリックします。
5. **[プリンタの追加]** アイコンをダブルクリックします。
6. **[次へ]** をクリックし、次に **[Bluetooth プリンタ]** を選択します。
7. 画面に表示される指示に従って、インストールを行います。
8. 目的のプリンタで印刷を行います。

**Widcomm スタックを使用してインストールおよび印刷を行うには (Windows)**

1. コンピュータに HP All-in-One ソフトウェアがインストールされていることを確認します。

注記　本ソフトウェアをインストールする目的は、Bluetooth^R 接続のためのプリント ドライバを使用できるようにしておくためです。このソフトウェアがすでにインストールされている場合は、再インストールの必要はありません。HP All-in-One に USB と Bluetooth® の両方で接続する場合は、USB 接続を先にインストールしてください。 詳細については、『セットアップ ガイド』(印刷物) を参照してください。 USB 接続にする場合は、**[接続タイプ]** 画面で **[このコンピュータに直接接続]** を選択します。 更に、**[デバイスを今すぐ接続]** 画面で、**[デバイスをお使いのコンピュータに接続できない...]** の横のチェックボックスを選択します。

2. HP Bluetooth® アダプタを HP All-in-One 前面の USB ポートに接続します。
3. デスクトップまたはタスクバーの **[My Bluetooth Places]** アイコンをクリックします。
4. **[範囲内のデバイスの検索]** をクリックします。
5. 使用可能なプリンタが検出されたら、HP All-in-One の名前をダブルクリックしてインストールを完了します。
6. 目的のプリンタで印刷を行います。

**Mac ユーザー**

HP All-in-One を Bluetooth® 内蔵の Mac に接続するか、HP Bluetooth® アダプタなどの外部 Bluetooth® アダプタを取り付けることができます。

**Bluetooth® を使用してインストールおよび印刷を行うには (Mac)**

1. コンピュータに HP All-in-One ソフトウェアがインストールされていることを確認します。
2. HP Bluetooth® アダプタを HP All-in-One 前面の USB ポートに接続します。
3. コントロール パネルの [On] ボタンを押して HP All-in-One の電源を切り、もう一度ボタンを押して電源を入れます。
4. コンピュータに ® アダプタを接続し、アダプタの電源を入れます。 コンピュータに Bluetooth® が内蔵されている場合は、コンピュータの電源だけを入れてください。
5. **[アプリケーション : ユーティリティ]** フォルダから **[プリンタ設定ユーティリティ]** を開きます。

   注記　このユーティリティは 10.3 以降の OS では **[プリンタ設定ユーティリティ]**、 10.2.x では **[プリント センター]** と呼ばれます。

6. ツールバーの **[追加]** をクリックします。ポップアップメニューから、**[Bluetooth]** を選択します。
   HP All-in-One の検索が開始します。
7. プリンター覧で、HP All-in-Oneを選択し、**[追加]** をクリックします。
   プリンター覧に HP All-in-One が追加されます。
8. 目的のプリンタで印刷を行います。

## プリンタ共有の使用 (Windows)

お使いのコンピュータがネットワークに接続され、同じネットワーク上の別のコンピュータに HP All-in-One が USB ケーブルで接続されている場合、Windows のプリンタ共有機能を使用してその HP All-in-One を自分のプリンタとして使用できます。 HP All-in-One に直接接続されているコンピュータがプリンタのホストとして機能し、すべての機能を実行します。 ネットワーク上のその他のコンピュータはクライアントと呼ばれ、印刷機能にのみアクセスでき、 その他の機能はすべてホスト コンピュータで実行します。

Windows のプリンタ共有機能の詳細については、コンピュータに付属のユーザー ガイドまたは Windows オンスクリーン ヘルプを参照してください。

## プリンタ共有の使用 (Mac)

コンピュータがネットワークに接続され、同じネットワーク上の別のコンピュータに HP All-in-One が USB ケーブルで接続されている場合、プリンタ共有機能を使用してそのプリンタを自分のプリンタとして使用できます。 ネ

ットワーク上のその他のコンピュータはクライアントと呼ばれ、印刷機能にのみアクセスでき、 その他の機能はすべてホスト コンピュータで実行されます。

**プリンタの共有機能を有効にするには**

1. クライアントとホスト コンピュータで、以下を実行します。
   a. Dock で **[システム環境設定]** を選択します。
      **[システム環境設定]** ウィンドウが表示されます。
   b. **[共有]** を選択します。
   c. **[サービス]** タブで、**[プリンタ共有]** をクリックします。
2. ホスト コンピュータで、以下を実行します。
   a. Dock で **[システム環境設定]** を選択します。
      **[システム環境設定]** ウィンドウが表示されます。
   b. **[プリントとファクス]** を選択します。
   c. **[プリンタをほかのコンピュータと共有する]** の横のボックスをクリックします。

### Web スキャンの使用

Web スキャン は埋め込み Web サーバーの機能の一部で、Web ブラウザを使用して HP All-in-One の写真や文書をスキャンし、コンピュータに出力することができます。 コンピュータにデバイス ソフトウェアをインストールしなくても、この機能は利用できます。

Webscan の詳細については、埋め込み Web サーバーのオンライン ヘルプを参照してください。 埋め込み Web サーバーの詳細については、ネットワークへの接続 を参照してください。

## ファクスのセットアップ

『セットアップ ガイド』に記載されたすべての手順が完了したら、このセクションの説明を読みファクスのセットアップを行ってください。 『セットアップ ガイド』は後で使用できるように保管してください。

ここでは、ファクス機能が HP All-in-One と同じ電話回線上の機器やサービスと正常に動作するように、HP All-in-One を設定する方法を説明します。

ヒント **[ファクス セットアップ ウィザード]** (Windows) または **[ファクス セットアップ ユーティリティ]** (Mac) を使用して、応答モードやファクスのヘッダー情報などの重要なファクス設定を簡単に設定することもできます。 **[HP Image Zone]** ソフトウェアから **[ファクス セットアップ ウィザード]** (Windows) または **[ファクス セットアップ ユーティリティ]** (Mac) にアクセスできます。 **[ファクス セットアップ ウィザード]** (Windows) または **[ファクス セットアップ ユーティリティ]**

(Mac) を起動したら、このセクションの手順に従ってファクスの設定を行います。

### HP All-in-One でファクスをセットアップする

HP All-in-One のファクス機能のセットアップを開始する前に、お住まいの国または地域でどのタイプの電話システムを使用しているか確認します。HP All-in-One のファクス機能のセットアップの説明は、パラレル方式またはシリアル方式のどちらの電話方式を使用しているかによって異なります。

- お住まいの国または地域が下記の表になければ、シリアル タイプの電話方式をご使用のはずです。 シリアル方式の電話の場合、共有する電話機器 (モデム、電話、留守番電話等) のコネクタの種類が違うため、HP All-in-One の "2-EXT" ポートに接続することはできません。 電話機器はすべて壁の電話ジャックに接続してください。
- お住まいの国または地域が下記の表にあれば、パラレル タイプの電話方式をご使用のはずです。 パラレル タイプの電話の場合、HP All-in-One 背面の "2-EXT" ポートを使用して、共有する電話機器を電話回線に接続することができます。

注記　パラレル タイプの電話の場合、HP All-in-One に付属の 2 線式電話コードを使用して、壁の電話ジャックに HP All-in-One を接続することをお勧めします。

**パラレル タイプの電話の国または地域**

| アルゼンチン | オーストラリア | ブラジル |
|---|---|---|
| カナダ | チリ | 中国 |
| コロンビア | ギリシャ | インド |
| インドネシア | アイルランド | 日本 |
| 韓国 | ラテン アメリカ | マレーシア |
| メキシコ | フィリピン | ポーランド |
| ポルトガル | ロシア | サウジアラビア |
| シンガポール | スペイン | 台湾 |
| タイ | アメリカ | ベネズエラ |
| ベトナム | | |

シリアル方式またはパラレル方式のどちらの電話方式かわからない場合は、最寄りの電話会社にお問い合わせください。

**自宅またはオフィスに合ったファクス設定の選択**

ファクスを適切に送受信するには、HP All-in-One と同じ電話回線で使用する機器およびサービスの種類について知る必要があります。HP All-in-One に既存のオフィス機器を直接接続したり、ファクス設定を変更したりする必要が生じることがあるため、正しく認識することは重要です。

自宅またはオフィスで HP All-in-One を正しくセットアップするには、最初に、ここに記載されている質問をすべて読んで、回答を記入します。次に、表を参照して、ご自分の回答に該当する推奨セットアップ方法を選択します。

以下の質問は、必ず、記載されている順序に従って回答してください。

1. 電話会社からデジタル加入者線 (DSL) を利用していますか。 (DSL は、国/地域によっては ADSL と呼ばれています。)
   - ❑ はい、DSL を利用しています。
   - ❑ いいえ。

   「はい」とお答えの方は ケース B: DSL の環境で HP All-in-One をセットアップ に進んでください。 ここから先の質問に答える必要はありません。
   「いいえ」とお答えの場合、以降の質問に回答してください。
2. 構内電話交換システム (PBX) または統合サービス デジタル通信網 (ISDN) システムを利用していますか。
   「はい」とお答えの方は ケース C: PBX システムまたは ISDN 回線の環境で HP All-in-One をセットアップ に進んでください。 ここから先の質問に答える必要はありません。
   「いいえ」とお答えの場合、以降の質問に回答してください。
3. 複数の電話番号と呼び出し音パターンを使用できる、電話会社の着信識別サービスを利用していますか。
   - ❑ はい、着信識別サービスを利用しています。
   - ❑ いいえ。

   「はい」とお答えの方は ケース D：着信識別サービスを使用している回線でのファクスの送受信 に進んでください。 ここから先の質問に答える必要はありません。
   「いいえ」とお答えの場合、以降の質問に回答してください。
   着信識別サービスを利用しているか不明ですか。多くの電話会社では、1 本の電話回線に対して複数の電話番号を持つ場合に、着信識別音機能が提供されています。
   この着信識別サービスでは、シングル呼び出し音、ダブル呼び出し音、トリプル呼び出し音など、番号によって違う呼び出し音パターンを使用できます。シングル呼び出し音の電話番号を電話に、ダブル呼び出し音の電話番号をファクス受信に割り当てることができます。このサービスを利用すると、電話が鳴った時点で、電話とファクスを区別することが可能です。

4. HP All-in-One でファクスを受信するのと同じ電話番号で電話を受信しますか。
   - ❑ はい、電話を受信します。
   - ❑ いいえ。

   以降の質問に回答してください。
5. HP All-in-One と同じ電話回線でコンピュータ モデムも利用しますか。
   - ❑ はい、コンピュータ モデムを利用します。
   - ❑ いいえ。

   コンピュータ モデムを利用しているかどうか不明ですか。 次のいずれかに当てはまる場合は、コンピュータ モデムを利用しています。
   - ダイヤルアップ接続で、コンピュータのソフトウェア プログラムからファクスを直接送受信しますか。
   - ダイヤルアップ接続で、コンピュータから電子メール メッセージを送受信しますか。
   - コンピュータからダイヤルアップ接続でインターネットにアクセスしますか。

   以降の質問に回答してください。
6. HP All-in-One でファクス受信に使用する電話番号で、電話に応答する留守番電話を使用していますか。
   - ❑ はい、留守番電話を使用しています。
   - ❑ いいえ。

   以降の質問に回答してください。
7. HP All-in-One でファクス受信に使用する電話番号で、電話会社のボイス メール サービスを利用していますか。
   - ❑ はい、ボイス メール サービスを使用しています。
   - ❑ いいえ。

   質問への回答が終了したら、次のセクションに進んで、ご自分の環境に適したファクスのセットアップ方法を選択してください。



### ファクスのセットアップ方法の選択

これで、同じ電話回線で HP All-in-One と機器やサービスを一緒に利用する場合の質問はすべて終了です。自宅またはオフィスに合ったセットアップを選択できます。

表の 1 列目から、自宅やオフィスの設定に当てはまる機器とサービスの組み合わせを選択してください。 ご使用の電話方式に合わせて、2 列目、3 列目から適切なセットアップを選択します。 各方法については、この後手順を追って説明します。

前述の質問にすべて答えたが、どの機器やサービスも利用していなかった場合は、表の 1 列目から「なし」を選択してください。

注記 自宅またはオフィスのセットアップがこのセクションで説明されていない場合、HP All-in-One を通常のアナログ電話のようにセッ

トアップします。 HP All−in−One に付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端を HP All−in−One の背面に「 1-LINE」と書かれているポートに接続します。 他の電話コードを使用している場合は、ファクスの送受信に問題が発生することがあります。

| ファクスと一緒に利用するその他の機器やサービス | パラレル タイプの電話システムに推奨されるファクスのセットアップ | シリアル タイプの電話システムに推奨されるファクスのセットアップ |
|---|---|---|
| なし<br>(すべての質問に「いいえ」と回答しました)。 | ケース A : ファクス専用回線 (電話の着信なし) | ケース A : ファクス専用回線 (電話の着信なし) |
| DSL サービス<br>(質問 1 のみに「はい」と回答しました)。 | ケース B: DSL の環境で HP All−in−One をセットアップ | ケース B: DSL の環境で HP All−in−One をセットアップ |
| PBX または ISDN システム<br>(質問 2 にだけ「はい」と回答した場合) | ケース C: PBX システムまたは ISDN 回線の環境で HP All−in−One をセットアップ | ケース C: PBX システムまたは ISDN 回線の環境で HP All−in−One をセットアップ |
| 着信識別サービス<br>(質問 3 のみに「はい」と回答しました)。 | ケース D : 着信識別サービスを使用している回線でのファクスの送受信 | ケース D : 着信識別サービスを使用している回線でのファクスの送受信 |
| 電話<br>(質問 4 のみに「はい」と回答しました)。 | ケース E : 電話/ファクス共用回線 | ケース E : 電話/ファクス共用回線 |
| 電話とボイス メール サービス<br>(質問 4 および 7 のみに「はい」と回答しました)。 | ケース F: 電話とファクスとボイスメール サービスを一緒に利用する | ケース F: 電話とファクスとボイスメール サービスを一緒に利用する |
| コンピュータのモデム<br>(質問 5 のみに「はい」と回答しました)。 | ケース G: 同じ回線でファクスとコンピュータ モデムを一緒に利用する (電話の着信なし) | 適用できません。 |

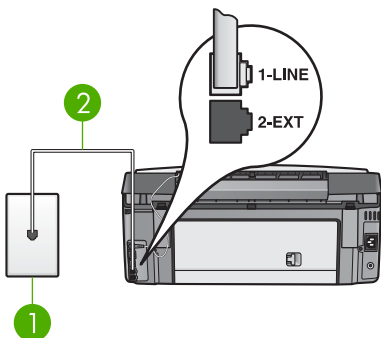
(続き)

| ファクスと一緒に利用するその他の機器やサービス | パラレル タイプの電話システムに推奨されるファクスのセットアップ | シリアル タイプの電話システムに推奨されるファクスのセットアップ |
|---|---|---|
| 電話とコンピュータ モデム<br>(質問 4 および 5 のみに「はい」と回答しました)。 | ケース H: 電話とファクスとコンピュータ モデムを一緒に利用する | 適用できません。 |
| 電話および留守番電話<br>(質問 4 および 6 のみに「はい」と回答しました)。 | ケース I: 電話とファクスと留守番電話を一緒に利用する | 適用できません。 |
| 電話とコンピュータ モデムと留守番電話<br>(質問 4、5 および 6 のみに「はい」と回答しました)。 | ケース J: 電話とファクスとコンピュータ モデムと留守番電話を一緒に利用する | 適用できません。 |
| 電話とコンピュータ モデムとボイスメールサービス<br>(質問 4、5 および 7 のみに「はい」と回答しました)。 | ケース K: 電話とファクスとコンピュータ モデムとボイスメールを一緒に利用する | 適用できません。 |

国または地域ごとのファクスのセットアップ方法の詳細については、以下に示すファクス構成専用 Web サイトを参照してください。

| オーストリア | www.hp.com/at/faxconfig |
|---|---|
| ドイツ | www.hp.com/de/faxconfig |
| スイス(フランス語) | www.hp.com/ch/fr/faxconfig |
| スイス(ドイツ語) | www.hp.com/ch/de/faxconfig |
| イギリス | www.hp.com/uk/faxconfig |

**ケース A : ファクス専用回線 (電話の着信なし)**

電話の着信がないファクス専用回線を使用し、この回線に本体以外の機器を接続しない場合、ここに記載されている手順に従って、HP All-in-One をセットアップしてください。

**HP All-in-One の背面図**

| | |
|---|---|
| 1 | 壁側のモジュラージャック |
| 2 | HP All-in-One に付属の電話コード ("1-LINE" ポートに接続) |

**ファクス専用回線で HP All-in-One をセットアップするには**

1. HP All-in-One に付属の電話コードを使用して、一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端を HP All-in-One の後部にある "1-LINE" ポートに接続します。

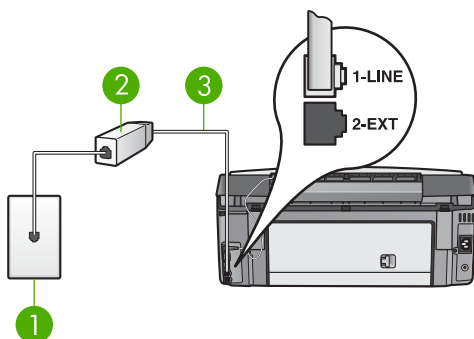
注記　壁側のモジュラー ジャックと HP All-in-One を接続する際に、付属の電話コードを使用しないと、ファクスの送受信に失敗することがあります。この専用電話コードは、自宅またはオフィスで使用している従来の電話コードとは異なります。付属の電話コードが短すぎる場合、延長方法については、HP All-in-One に付属している電話コードの長さが足りない を参照してください。

2. この場合は、[自動応答] 設定を [オン] に設定します。
この設定の変更については、応答モードの設定 を参照してください。
3. [応答呼び出し回数] 設定を最小設定 (呼び出し 2 回) に変更します。
この設定の変更については、応答までの呼び出し回数を設定する を参照してください。
4. ファクス テストを実行します。 詳細については、ファクス設定のテスト を参照してください。

呼び出し音の回数が [応答呼び出し回数] で設定した回数に達すると、HP All-in-One が自動的に応答します。次に、本体は送信側のファクス機にファクス受信トーンを送信し、ファクスを受信します。

**ケース B: DSL の環境で HP All-in-One をセットアップ**

電話会社から DSL サービスを利用する場合は、次のように壁側のモジュラージャックと HP All-in-One の間に DSL フィルタを取り付けます。
HP All-in-One が電話回線と正しくやり取りすることができるように、DSL フィルタで HP All-in-One を妨害する可能性のあるデジタル信号を除去します (DSL は、国/地域によっては ADSL と呼ばれています。)

注記 DSL フィルタを接続せずに DSL 回線を使用している場合、HP All-in-One によるファクスの送受信はできません。

**HP All-in-One の背面図**

| | |
|---|---|
| 1 | 壁側のモジュラージャック |
| 2 | DSL プロバイダより提供される DSL フィルタおよびコード |
| 3 | HP All-in-One に付属の電話コード ("1-LINE" ポートに接続) |

**DSL 使用環境で HP All-in-One をセットアップするには**

1. DSL フィルタは、DSL プロバイダから入手してください。
2. HP All-in-One に付属の電話コードを使用して、一方の端を DSL フィルタの空きポートに、もう一方の端を HP All-in-One の後部にある "1-LINE" ポートに接続します。

注記 壁側のモジュラー ジャックと HP All-in-One を接続する際に、付属の電話コードを使用しないと、ファクスの送受信に失敗することがあります。この専用電話コードは、自宅またはオフィスで使用している従来の電話コードとは異なります。

3. DSL フィルタ コードを壁側のモジュラー ジャックに接続します。

注記　着信識別サービス、留守番電話、ボイスメールなど、他のオフィス機器やサービスなどがこの電話回線に接続されている場合、セットアップの追加手順については、このセクションの該当するセクションを参照してください。

4. ファクス テストを実行します。 詳細については、ファクス設定のテスト を参照してください。

### ケース C: PBX システムまたは ISDN 回線の環境で HP All-in-One をセットアップ

PBX 電話システムまたは ISDN コンバータ/ターミナル アダプタを使用している場合、必ず以下の処理を行ってください。

- PBX または ISDN コンバータ/ターミナル アダプタを使用している場合、HP All-in-One をファクスおよび電話用のポートに接続します。また、ターミナル アダプタがお住まいの国または地域に対応したスイッチ タイプに設定されていることも確認してください。

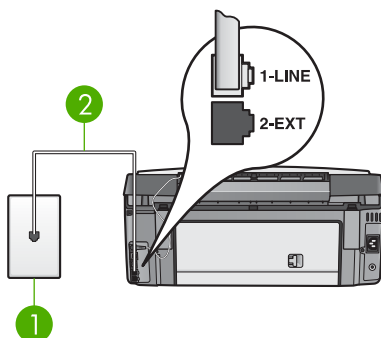
注記　ISDN システムの中には、ユーザーが特定の電話機に応じてポートを設定できるものがあります。たとえば、電話と G3 規格のファクスに 1 つのポートを割り当て、多目的用に別のポートを割り当てることができます。ISDN コンバータのファクス/電話ポートに接続しているときに問題が発生する場合は、多目的用のポート (「多用途」と書かれている場合があります) を使用してください。

- PBX 電話システムを使用している場合、キャッチホン トーンをオフに設定します。

注記　多くのデジタル PBX システムでは、キャッチホン トーンが工場出荷時の設定で「オン」になっています。 キャッチホン トーンは、ファクス送信の妨害となり、HP All-in-One でファクスの送受信ができなくなります。 キャッチホン トーンをオフにする方法については、PBX システム付属のマニュアルを参照してください。

- PBX 電話システムを使用している場合、ファクス番号をダイヤルする前に、外線番号をダイヤルします。
- 付属のコードで 壁側のモジュラー ジャックとお使いの HP All-in-One を正しく接続します。 接続していない場合、ファクスを正しく行うことはできません。 専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは違います。 付属の電話コードが短すぎるときには、延長する方法について、HP All-in-One に付属している電話コードの長さが足りない を参照してください。

**ケース D：着信識別サービスを使用している回線でのファクスの送受信**

1 つの回線で複数の電話番号と呼び出し音を使用可能な電話会社の着信識別サービスを使用している場合、ここに記載されている手順に従って、HP All-in-One をセットアップしてください。

**HP All-in-One の背面図**

| | |
|---|---|
| 1 | 壁側のモジュラージャック |
| 2 | HP All-in-One に付属の電話コード ("1-LINE" ポートに接続) |

**着信識別サービスの使用環境で HP All-in-One をセットアップするには**

1. HP All-in-One に付属の電話コードを使用して、一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端を HP All-in-One の後部にある "1-LINE" ポートに接続します。

注記　壁側のモジュラー ジャックと HP All-in-One を接続する際に、付属の電話コードを使用しないと、ファクスの送受信に失敗することがあります。この専用電話コードは、自宅またはオフィスで使用している従来の電話コードとは異なります。付属の電話コードが短すぎる場合、延長方法については、HP All-in-One に付属している電話コードの長さが足りない を参照してください。

2. この場合は、[自動応答] 設定を [オン] に設定します。
この設定の変更については、応答モードの設定 を参照してください。
3. [応答呼出し音のパターン] 設定を変更して、電話会社がお使いのファクス番号に指定した呼び出し音のパターンに合わせます。
この設定の変更については、応答呼出し音のパターンの変更 (着信識別音) を参照してください。

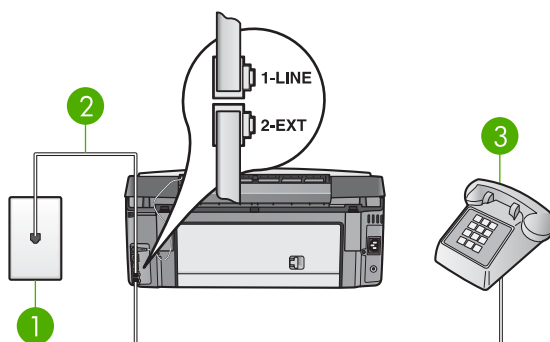
注記　HP All-in-One の工場出荷時の設定では、すべての呼び出し音パターンに応答するよう設定されています。 [応答呼出し音のパターン] がファクス番号に割り当てられていた呼出し音のパターンと 一致するように設定しないと、HP All-in-One が電話とファク

スの両方の呼び出し音に応答してしまったり、まったく応答しなくなったりすることがあります。

4. [応答呼び出し回数] 設定を最小設定 (呼び出し 2 回) に変更します。
   この設定の変更については、応答までの呼び出し回数を設定する を参照してください。
5. ファクス テストを実行します。 詳細については、ファクス設定のテスト を参照してください。

HP All-in-One は、選択した呼び出し回数 ([応答呼び出し回数] 設定) の後、選択した呼び出し音のパターン ([応答呼出し音のパターン] 設定) に一致する着信に自動的に応答します。次に、本体は送信側のファクス機にファクス受信トーンを送信し、ファクスを受信します。

#### ケース E : 電話/ファクス共用回線

電話とファクスを同じ電話番号で受信し、この回線にその他のオフィス機器 (またはボイス メール) を接続していない場合、ここに記載されている手順に従って、HP All-in-One をセットアップしてください。

**HP All-in-One の背面図**

| | |
|---|---|
| 1 | 壁側のモジュラージャック |
| 2 | HP All-in-One に付属の電話コード ("1-LINE" ポートに接続) |
| 3 | 電話機 (オプション) |

**電話/ファクス共用回線で HP All-in-One をセットアップするには**

1. HP All-in-One に付属の電話コードを使用して、一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端を HP All-in-One の後部にある "1-LINE" ポートに接続します。

注記　壁側のモジュラー ジャックと HP All-in-One を接続する際に、付属の電話コードを使用しないと、ファクスの送受信に失敗することがあります。この専用電話コードは、自宅またはオフィスで使用している従来の電話コードとは異なります。付属の電話

コードが短すぎる場合、延長方法については、HP All-in-One に付属している電話コードの長さが足りない を参照してください。

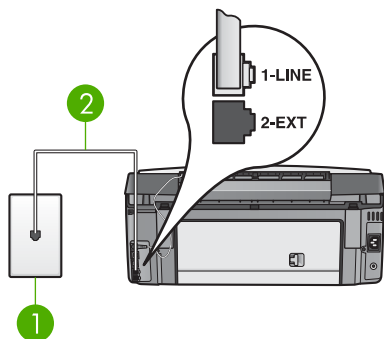
2. ご使用の電話システムに応じて、次のいずれかを実行してください。
   – パラレル タイプの電話システムを使用している場合、HP All-in-One の後部にある "2-EXT" ポートから白いプラグを抜いて、このポートに電話を接続します。
   – シリアル タイプの電話システムを使用している場合、電話を壁側のモジュラー ジャックに直接接続します。
3. 次に、HP All-in-One の応答方法 (自動または手動) について設定する必要があります。
   – 着信に**自動**で応答する設定の場合は、HP All-in-One がすべての着信に応答し、ファクスを受信します。この場合、HP All-in-One が、ファクスと電話を区別できません。着信が電話であると思われる場合、HP All-in-One が着信に応答する前に自分で応答する必要があります。 HP All-in-One が自動的に呼び出しに応答するように設定するには、[**自動応答**] 設定を [**オン**] に変更します。
   – ファクスを**手動**で受信するように HP All-in-One を設定した場合は、ファクス受信に直接応答しなければ、HP All-in-One でファクスを受信できません。 HP All-in-One が手動で呼び出しに応答するように設定するには、[**自動応答**] 設定を [**オフ**] に変更します。

   この設定の変更については、応答モードの設定 を参照してください。
4. ファクス テストを実行します。 詳細については、ファクス設定のテスト を参照してください。

HP All-in-One より前に電話を取ってから、送信側ファクスからのファクスのトーンが聞こえた場合は、手動でファクスに応答しなければなりません。詳細については、ファクスの手動受信 を参照してください。

### ケース F: 電話とファクスとボイスメール サービスを一緒に利用する

電話とファクスを同じ電話番号で受信し、さらに電話会社のボイス メール サービスを利用している場合、ここに記載されている手順に従って、HP All-in-One をセットアップしてください。

注記 ファクスと同じ電話番号でボイス メール サービスを利用している場合、ファクスを自動受信することはできません。この場合、ファクスを手動で受信しなければならないので、ファクスの着信時にその場にいる必要があります。ファクスを自動受信するには、電話会社に連絡して、着信識別サービス、または電話専用回線あるいはファクス専用回線を申し込んでください。

**HP All-in-One の背面図**

| | |
|---|---|
| 1 | 壁側のモジュラージャック |
| 2 | HP All-in-One に付属の電話コード ("1-LINE" ポートに接続) |

**ボイス メール使用環境で HP All-in-One をセットアップするには**

1. HP All-in-One に付属の電話コードを使用して、一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端を HP All-in-One の後部にある "1-LINE" ポートに接続します。

注記　壁側のモジュラー ジャックと HP All-in-One を接続する際に、付属の電話コードを使用しないと、ファクスの送受信に失敗することがあります。この専用電話コードは、自宅またはオフィスで使用している従来の電話コードとは異なります。付属の電話コードが短すぎる場合、延長方法については、HP All-in-One に付属している電話コードの長さが足りない を参照してください。

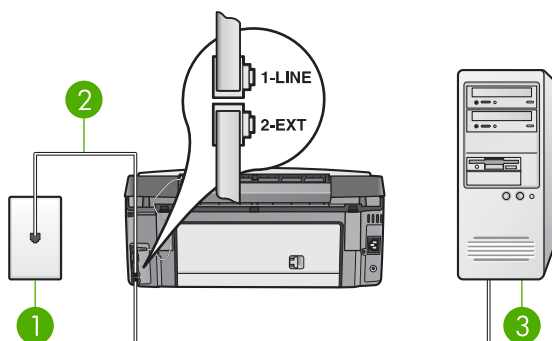
2. これでよければ、[自動応答] 設定を [オフ] に設定してください。
この設定の変更については、応答モードの設定 を参照してください。
3. ファクス テストを実行します。 詳細については、ファクス設定のテスト を参照してください。

受信ファクスに応答するには、ユーザーが手動で受信操作をしなければなりません。この操作を行わないと、HP All-in-One はファクスを受信できません。ファクスの手動受信については、ファクスの手動受信 を参照してください。

### ケース G: 同じ回線でファクスとコンピュータ モデムを一緒に利用する (電話の着信なし)

電話を受け付けないファクス回線を利用し、この回線にコンピュータ モデムを接続する場合は、次のように HP All-in-One を設定します。

電話回線をコンピュータ モデムと HP All-in-One と一緒に利用しているため、同時にコンピュータ モデムと HP All-in-One を使用することはできなくなります。 たとえば、コンピュータ モデムを使用して電子メールを送信した

りインターネットにアクセスしたりしている場合、HP All-in-One をファクスには使用できません。

**HP All-in-One の背面図**

| | |
|---|---|
| 1 | 壁側のモジュラージャック |
| 2 | HP All-in-One に付属の電話コード ("1-LINE" ポートに接続) |
| 3 | モデム付きコンピュータ |

**コンピュータ モデムの環境で HP All-in-One をセットアップするには**

1. HP All-in-One の後部にある "2-EXT" ポートから白いプラグを取り外します。
2. コンピュータ (コンピュータ モデム) の背面と壁側のモジュラージャック間をつなぐ電話コードを見つけます。 そのコードを壁側のモジュラージャックから抜き、HP All-in-Oneの背面の"2-EXT"と書かれているポートに差し込みます。
3. HP All-in-One に付属の電話コードを使用して、一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端を HP All-in-One の後部にある "1-LINE" ポートに接続します。

注記　壁側のモジュラー ジャックと HP All-in-One を接続する際に、付属の電話コードを使用しないと、ファクスの送受信に失敗することがあります。この専用電話コードは、自宅またはオフィスで使用している従来の電話コードとは異なります。付属の電話コードが短すぎる場合、延長方法については、HP All-in-One に付属している電話コードの長さが足りない を参照してください。

4. コンピュータ モデムのソフトウェアでファクスをコンピュータに自動受信するよう設定している場合は、その設定を解除してください。

注記　コンピュータ モデムのソフトウェアで自動ファクス受信の設定を解除しないと、HP All-in-Oneでファクスを受信できなくなります。

5. この場合は、[自動応答] 設定を [オン] に設定します。

この設定の変更については、応答モードの設定 を参照してください。

6. (オプション)[応答呼び出し回数] 設定を最小設定 (呼び出し 2 回) に変更します。
   この設定の変更については、応答までの呼び出し回数を設定する を参照してください。
7. ファクス テストを実行します。 詳細については、ファクス設定のテスト を参照してください。

呼び出し音の回数が [応答呼び出し回数] で設定した回数に達すると、HP All−in−One が自動的に応答します。次に、本体は送信側のファクス機にファクス受信トーンを送信し、ファクスを受信します。

#### ケース H: 電話とファクスとコンピュータ モデムを一緒に利用する

同じ電話番号で電話とファクスを一緒に受け、この電話回線にコンピュータ モデムも接続する場合は、次のように HP All−in−One を設定します。

電話回線をコンピュータ モデムと HP All−in−One と一緒に利用しているため、同時にコンピュータ モデムと HP All−in−One を使用することはできなくなります。 たとえば、コンピュータ モデムを使用して電子メールを送信したりインターネットにアクセスしたりしている場合、HP All−in−One をファクスには使用できません。

コンピュータの電話ポートの数により、コンピュータに HP All−in−One をセットアップする方法は 2 種類あります。 はじめる前に、コンピュータの電話ポートが 1 つか 2 つかを確認してください。

- コンピュータの電話ポートが 1 つだけの場合、下記に示すように、パラレル スプリッタ (カプラと呼ばれます) を購入する必要があります(パラレル スプリッタは前面に RJ-11 ポートが 1 つ、背面に RJ-11 ポートが 2 つあります。前面に 2 つの RJ-11 ポート、背面にプラグがある 2 線式の電話スプリッタ、シリアル スプリッタ、またはパラレル スプリッタは使用しないでください)。 詳細については、オンスクリーン **[HP Image Zone ヘルプ]** の **[3100, 3200, 3300 series トラブルシューティング]** を参照してください。

**パラレル スプリッタの例**

- コンピュータの電話ポートが 2 つなら、下記の手順で HP All−in−Oneを参照してください。

セットアップの完了

**HP All-in-One の背面図**

| | |
|---|---|
| 1 | 壁側のモジュラージャック |
| 2 | コンピュータの "IN" 電話ポート |
| 3 | コンピュータの "OUT" 電話ポート |
| 4 | 電話機 |
| 5 | モデム付きコンピュータ |
| 6 | HP All-in-One に付属の電話コード ("1-LINE" ポートに接続) |

**電話ポート 2 個のコンピュータに対して HP All-in-One をセットアップするには**

1. HP All-in-One の後部にある "2-EXT" ポートから白いプラグを取り外します。
2. コンピュータ (コンピュータ モデム) の背面と壁側のモジュラージャック間をつなぐ電話コードを見つけます。 そのコードを壁側のモジュラージャックから抜き、HP All-in-One の背面の"2-EXT"と書かれているポートに差し込みます。
3. 電話をコンピュータ モデムの背面の「OUT」ポートにつなぎます。
4. HP All-in-One に付属の電話コードを使用して、一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端を HP All-in-One の後部にある "1-LINE" ポートに接続します。

注記 壁側のモジュラー ジャックと HP All-in-One を接続する際に、付属の電話コードを使用しないと、ファクスの送受信に失敗することがあります。 この専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは違います。 付属の電話コードが短すぎるときには、延長する方法について、HP All-in-One に付属している電話コードの長さが足りない を参照してください。

5. コンピュータ モデムのソフトウェアでファクスをコンピュータに自動受信するよう設定している場合は、その設定を解除してください。

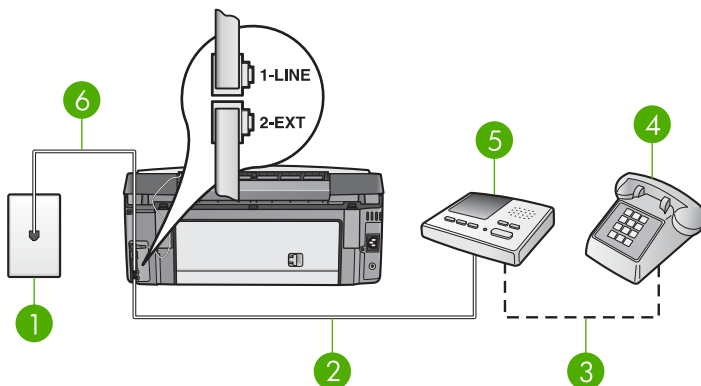
注記　コンピュータ モデムのソフトウェアで自動ファクス受信の設定を解除しないと、HP All-in-Oneでファクスを受信できなくなります。

6. 次に、HP All-in-One の応答方法 (自動または手動) について設定する必要があります。
   – 着信に**自動**で応答する設定の場合は、HP All-in-One がすべての着信に応答し、ファクスを受信します。この場合、HP All-in-One が、ファクスと電話を区別できません。着信が電話であると思われる場合、HP All-in-One が着信に応答する前に自分で応答する必要があります。 HP All-in-One が自動的に呼び出しに応答するように設定するには、[**自動応答**] 設定を [**オン**] に変更します。
   – ファクスを**手動**で受信するように HP All-in-One を設定した場合は、ファクス受信に直接応答しなければ、HP All-in-One でファクスを受信できません。 HP All-in-One が手動で呼び出しに応答するように設定するには、[**自動応答**] 設定を [**オフ**] に変更します。

   この設定の変更については、応答モードの設定 を参照してください。
7. ファクス テストを実行します。 詳細については、ファクス設定のテスト を参照してください。

HP All-in-One より前に電話を取ってから、送信側ファクスからのファクスのトーンが聞こえた場合は、手動でファクスに応答しなければなりません。詳細については、ファクスの手動受信 を参照してください。

### ケース I: 電話とファクスと留守番電話を一緒に利用する

電話とファクスを同じ電話番号で受信し、さらに、この番号で留守番電話を使用している場合、ここに記載されている手順に従って、HP All-in-One をセットアップしてください。

**HP All−in−One の背面図**

| | |
|---|---|
| 1 | 壁側のモジュラージャック |
| 2 | 留守番電話の "IN" ポート |
| 3 | 留守番電話の "OUT" ポート |
| 4 | 電話機 (日本では留守電機能付き電話が一般的です) |
| 5 | 留守番電話 |
| 6 | HP All−in−One に付属の電話コード ("1-LINE" ポートに接続) |

**電話/ファクス共用回線 (留守番電話付き) で HP All−in−One をセットアップするには**

1. HP All−in−One の後部にある "2-EXT" ポートから白いプラグを取り外します。
2. 壁側のモジュラー ジャックから留守番電話の接続を外して、HP All−in−One の後部にある "2-EXT" ポートに接続します。

注記　留守番電話のコードを HP All−in−One に直接接続しないと、送信側のファクス機からのファクス トーンが留守番電話に録音され、HP All−in−One でファクスを受信できないことがあります。

3. HP All−in−One に付属の電話コードを使用して、一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端を HP All−in−One の後部にある "1-LINE" ポートに接続します。

注記　壁側のモジュラー ジャックと HP All−in−One を接続する際に、付属の電話コードを使用しないと、ファクスの送受信に失敗することがあります。この専用電話コードは、自宅またはオフィスで使用している従来の電話コードとは異なります。付属の電話コードが短すぎる場合、延長方法については、HP All−in−One に付属している電話コードの長さが足りない を参照してください。

4. (オプション) 留守番電話に電話機能が内蔵されていない場合、留守番電話の後部にある "OUT" ポートに電話機を接続することができます。
5. この場合は、[自動応答] 設定を [オン] に設定します。

セットアップの完了

この設定の変更については、応答モードの設定 を参照してください。
6. 4 回以下の呼び出し音で応答するように留守番電話を設定します。
7. HP All-in-One の [応答呼び出し回数] 設定をお使いのデバイスでサポートしている最大呼び出し回数に変更します (呼び出しの最大回数は、国/地域によって異なります)。
この設定の変更については、応答までの呼び出し回数を設定する を参照してください。
8. ファクス テストを実行します。 詳細については、ファクス設定のテスト を参照してください。

電話が鳴ると、設定した呼び出し回数の後、留守番電話が応答し、録音メッセージを再生します。この動作の間、HP All-in-One は着信にファクス トーンが含まれていないかモニタします。ファクス トーンが検出されると、HP All-in-One はファクス受信トーンを発信して、ファクスを受信します。ファクス トーンが検出されない場合、HP All-in-One は回線のモニタを停止し、留守番電話が音声メッセージを録音します。

**ケース J: 電話とファクスとコンピュータ モデムと留守番電話を一緒に利用する**

同じ電話番号で電話とファクスを一緒に受け、この電話回線にコンピュータ モデムと留守番電話も接続する場合は、次のように HP All-in-One を設定します。

電話回線をコンピュータ モデムと HP All-in-One と一緒に利用しているため、同時にコンピュータ モデムと HP All-in-One を使用することはできなくなります。 たとえば、コンピュータ モデムを使用して電子メールを送信したりインターネットにアクセスしたりしている場合、HP All-in-One をファクスには使用できません。

コンピュータに搭載されている電話ポートの数に応じて、HP All-in-One は 2 通りの方法でコンピュータに対してセットアップすることができます。セットアップを始める前に、コンピュータに搭載されている電話ポートの数 (1 または 2 個) を確認してください。

- コンピュータの電話ポートが 1 つだけの場合、下記に示すように、パラレル スプリッタ (カプラと呼ばれます) を購入する必要があります(パラレル スプリッタは前面に RJ-11 ポートが 1 つ、背面に RJ-11 ポートが 2 つあります。前面に 2 つの RJ-11 ポート、背面にプラグがある 2 線式の電話スプリッタ、シリアル スプリッタ、またはパラレル スプリッタは使用しないでください)。 詳細については、オンスクリーン **[HP Image Zone ヘルプ]** の **[3100, 3200, 3300 series トラブルシューティング]** を参照してください。

セットアップの完了

**パラレル スプリッタの例**

- コンピュータの電話ポートが 2 つなら、下記の手順で HP All–in–Oneを参照してください。

**HP All–in–One の背面図**

| | |
|---|---|
| 1 | 壁側のモジュラージャック |
| 2 | コンピュータの "IN" 電話ポート |
| 3 | コンピュータの "OUT" 電話ポート |
| 4 | 電話機 (日本では留守電機能付き電話が一般的です) |
| 5 | 留守番電話 |
| 6 | モデム付きコンピュータ |
| 7 | HP All–in–One に付属の電話コード ("1-LINE" ポートに接続) |

**電話ポート 2 個のコンピュータに対して HP All–in–One をセットアップするには**

1. HP All–in–One の後部にある "2-EXT" ポートから白いプラグを取り外します。
2. コンピュータ (コンピュータ モデム) の背面と壁側のモジュラージャック間をつなぐ電話コードを見つけます。 そのコードを壁側のモジュラージャックから抜き、HP All–in–Oneの背面の "2-EXT" と書かれているポートに差し込みます。
3. 留守番電話のコードを壁側のモジュラージャックから抜き、コンピュータ モデムの背面の「OUT」ポートに接続します。
   こうすると、たとえコンピュータ モデムの方が先に回線に接続されていても、HP All–in–One と留守番電話の間を直接接続できます。

注記　この方法で留守番電話を接続しないと、送信側のファクス機からのファクス トーンが留守番電話に録音され、HP All-in-One でファクスを受信できないことがあります。

4. HP All-in-One に付属の電話コードを使用して、一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端を HP All-in-One の後部にある "1-LINE" ポートに接続します。

注記　壁側のモジュラー ジャックと HP All-in-One を接続する際に、付属の電話コードを使用しないと、ファクスの送受信に失敗することがあります。この専用電話コードは、自宅またはオフィスで使用している従来の電話コードとは異なります。付属の電話コードが短すぎる場合、延長方法については、HP All-in-One に付属している電話コードの長さが足りない を参照してください。

5. (オプション) 留守番電話に電話機能が内蔵されていない場合、留守番電話の後部にある "OUT" ポートに電話機を接続することができます。
6. コンピュータ モデムのソフトウェアでファクスをコンピュータに自動受信するよう設定している場合は、その設定を解除してください。

注記　コンピュータ モデムのソフトウェアで自動ファクス受信の設定を解除しないと、HP All-in-Oneでファクスを受信できなくなります。

7. この場合は、[自動応答] 設定を [オン] に設定します。
この設定の変更については、応答モードの設定 を参照してください。
8. 4 回以下の呼び出し音で応答するように留守番電話を設定します。
9. HP All-in-One の [応答呼び出し回数] 設定をお使いのデバイスでサポートしている最大呼出し回数に変更します (呼び出しの最大回数は、国/地域によって異なります)。
この設定の変更については、応答までの呼び出し回数を設定する を参照してください。
10. ファクス テストを実行します。 詳細については、ファクス設定のテスト を参照してください。

電話が鳴ると、設定した呼び出し回数の後、留守番電話が応答し、録音メッセージを再生します。この動作の間、HP All-in-One は着信にファクス トーンが含まれていないかモニタします。ファクス トーンが検出されると、HP All-in-One はファクス受信トーンを発信して、ファクスを受信します。ファクス トーンが検出されない場合、HP All-in-One は回線のモニタを停止し、留守番電話が音声メッセージを録音します。

### ケース K: 電話とファクスとコンピュータ モデムとボイスメールを一緒に利用する

同じ電話番号で電話とファクスを一緒に受け、この電話回線でコンピュータ モデムも利用して電話会社からボイスメール サービスも利用する場合は、次のように HP All-in-One を設定します。

注記　ファクスと同じ電話番号でボイス メール サービスを利用している場合、ファクスを自動受信することはできません。この場合、ファクスを手動で受信しなければならないので、ファクスの着信時にその場にいる必要があります。ファクスを自動受信するには、電話会社に連絡して、着信識別サービス、または電話専用回線あるいはファクス専用回線を申し込んでください。

電話回線をコンピュータ モデムと HP All-in-One と一緒に利用しているため、同時にコンピュータ モデムと HP All-in-One を使用することはできなくなります。 たとえば、コンピュータ モデムを使用して電子メールを送信したりインターネットにアクセスしたりしている場合、HP All-in-One をファクスには使用できません。

コンピュータに搭載されている電話ポートの数に応じて、HP All-in-One は 2 通りの方法でコンピュータに対してセットアップすることができます。セットアップを始める前に、コンピュータに搭載されている電話ポートの数 (1 または 2 個) を確認してください。

- コンピュータの電話ポートが 1 つだけの場合、下記に示すように、パラレル スプリッタ (カプラと呼ばれます) を購入する必要があります(パラレル スプリッタは前面に RJ-11 ポートが 1 つ、背面に RJ-11 ポートが 2 つあります。前面に 2 つの RJ-11 ポート、背面にプラグがある 2 線式の電話スプリッタ、シリアル スプリッタ、またはパラレル スプリッタは使用しないでください)。 詳細については、オンスクリーン **[HP Image Zone ヘルプ]** の **[3100, 3200, 3300 series トラブルシューティング]** を参照してください。

  **パラレル スプリッタの例**

- コンピュータの電話ポートが 2 つなら、下記の手順で HP All-in-Oneを参照してください。

セットアップの完了

**HP All−in−One の背面図**

| | |
|---|---|
| 1 | 壁側のモジュラージャック |
| 2 | コンピュータの "IN" 電話ポート |
| 3 | コンピュータの "OUT" 電話ポート |
| 4 | 電話機 |
| 5 | モデム付きコンピュータ |
| 6 | HP All−in−One に付属の電話コード ("1-LINE" ポートに接続) |

**電話ポート 2 個のコンピュータに対して HP All−in−One をセットアップするには**

1. HP All−in−One の後部にある "2-EXT" ポートから白いプラグを取り外します。
2. コンピュータ (コンピュータ モデム) の背面と壁側のモジュラージャック間をつなぐ電話コードを見つけます。 そのコードを壁側のモジュラージャックから抜き、HP All−in−Oneの背面の "2-EXT" と書かれているポートに差し込みます。
3. 電話をコンピュータ モデムの背面の「OUT」ポートにつなぎます。
4. HP All−in−One に付属の電話コードを使用して、一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端を HP All−in−One の後部にある "1-LINE" ポートに接続します。

注記 壁側のモジュラー ジャックと HP All−in−One を接続する際に、付属の電話コードを使用しないと、ファクスの送受信に失敗することがあります。この専用電話コードは、自宅またはオフィスで使用している従来の電話コードとは異なります。付属の電話コードが短すぎる場合、延長方法については、HP All−in−One に付属している電話コードの長さが足りない を参照してください。

5. コンピュータ モデムのソフトウェアでファクスをコンピュータに自動受信するよう設定している場合は、その設定を解除してください。

注記　モデムのソフトウェアで自動ファクス受信の設定を解除しないと、HP All-in-Oneでファクスを受信できなくなります。

6. これでよければ、[自動応答] 設定を [オフ] に設定してください。
   この設定の変更については、応答モードの設定 を参照してください。
7. ファクス テストを実行します。 詳細については、ファクス設定のテスト を参照してください。

受信ファクスに応答するには、ユーザーが手動で受信操作をしなければなりません。この操作を行わないと、HP All-in-One はファクスを受信できません。ファクスの手動受信については、ファクスの手動受信 を参照してください。

## ファクスを受信するように HP All-in-One の設定を変更する

ファクスを正しく受信するためには、HP All-in-One の設定を一部変更する必要があります。

注記　HP All-in-Oneは、一般的には **[HP Image Zone]** ソフトウェアのインストール中に、**[ファクス セットアップ ウィザード]** (Windows ユーザー) か **[ファクス セットアップ ユーティリティ]** (Mac ユーザー) で、ファクスの受信がセットアップされます。 ウィザードで指定した情報に応じて、ファクスの受信は自動または手動に設定されます。 この設定は、コントロール パネルからいつでも変更することができます。

このセクションで説明するオプションでどの設定を選択してよいかわからないときは、HP All-in-One でファクスをセットアップする を参照してください。

### 応答モードの設定

応答モードは、HP All-in-One が着信に応答するかどうかを決めます。

- 自動でファクスを受信するように設定した場合は、HP All-in-One がすべての着信に応答し、ファクスを受信します。 この場合は、[自動応答] 設定を [オン] に設定します。
- ファクスを手動で受信するように設定した場合は、誰かがファクスの着信時に直接応答しないと、ファクスを受信できません。 これでよければ、[自動応答] 設定を [オフ] に設定してください。 ファクスの手動受信の詳細については、ファクスの手動受信 を参照してください。

どちらの応答モードが適切か判断できない場合は、HP All-in-One でファクスをセットアップする を参照してください。

1. [セットアップ] を押します。
2. [3] を押し、次に [2] を押します。
   [ファクスの基本設定] メニューが表示され、[自動応答] が選択されます。

3. [オン] を選択するには [1] を、[オフ] を選択するには [2] を押します。
4. [OK] ボタンを押して設定を確定します。

### 応答呼出し音のパターンの変更 (着信識別音)

多くの電話会社から、1 本の電話回線に複数の電話番号を持てる着信識別音機能が提供されています。 この着信識別サービスでは、 HP All-in-One は、特定の呼び出し音のパターンの着信に応答するようにセットアップすることができます。

着信識別音が設定されている電話回線に HP All-in-One を接続する場合は、電話会社に音声着信の呼び出し音とファクス受信の呼び出し音を、それぞれ別に割り当ててもらいます。 ファクス番号には、2 回または 3 回の呼び出し音を割り当てることをお勧めします。 HP All-in-One は、指定した呼び出し音のパターンを検出したときに、ファクスの受信を開始します。

着信識別サービスを使用していない場合は、デフォルトの呼び出し音パターン、すなわち [すべての呼び出し] を使用してください。

#### コントロール パネルで応答呼び出し音のパターンを変更するには

1. HP All-in-One がファクスの呼び出しに自動応答するよう設定されていることを確認してください。 詳細については、応答モードの設定 を参照してください。
2. [セットアップ] を押します。
3. [4] を押し、次に [1] を押します。
   [ファクスの詳細設定] メニューが表示され、[応答呼出し音のパターン] が選択されます。
4. ▼ を押してオプションを選択してから [OK] を押します。
   ファクス回線に割り当てられた呼び出し音で電話が鳴ると、HP All-in-One は着信に応答して、ファクスを受信します。

### 応答までの呼び出し回数を設定する

[自動応答] 設定を [オン] に設定した場合、HP All-in-One が着信に自動応答するまでの呼び出し回数を指定することができます。

[応答呼び出し回数] 設定は、特に HP All-in-One と同じ電話回線で留守番電話を使用している場合に重要です。HP All-in-One が応答する前に留守番電話で応答する必要があるからです。 HP All-in-One の [応答呼び出し回数] を、留守番電話が応答する回数よりも多く設定する必要があります。

たとえば、留守番電話の呼び出し回数を 4 回またはそれ以下に設定し、HP All-in-One の呼び出し回数を、お使いの機器でサポートされている最大回数に設定してください (呼び出しの最大回数は、国/地域によって異なります)。 この設定では、留守番電話が電話に応答し、HP All-in-One が電話回線を監視します。 HP All-in-One がファクス受信音を検出した場合は、

HP All-in-One はファクスを受信します。 音声の場合には、留守番電話が着信メッセージを録音します。

**コントロール パネルで応答までの呼び出し回数を設定するには**

1. [セットアップ] を押します。
2. [3] を押して、次にもう一度 [3] を押します。
   [ファクスの基本設定] メニューが表示され、[応答呼び出し回数] が選択されます。
3. キーパッドを使用して呼び出し回数を入力するか、◀ または ▶ を押して呼び出し回数を変更してください。
4. [OK] ボタンを押して設定を確定します。

## ファクス設定のテスト

ファクス設定をテストして HP All-in-One の状態を確認し、正常にファクス送信できるように設定されたことを確認することができます。このテストは、HP All-in-One のファクス機能のセットアップが完了した後に実行してください。テストでは、次の処理が実行されます。

- 正しい電話コードが HP All-in-One に接続されていることを確認します。
- 電話線が正しいポートに接続されていることを確認します。
- ダイヤル トーンを確認します。
- 電話回線が有効であることを確認します。
- 電話回線の接続状態のテスト

テスト結果は、レポートとして HP All-in-One から印刷されます。テストに失敗した場合、レポートを参照して、問題の解決方法を確認してから、テストをもう一度実行します。

**コントロール パネルからファクス機能のセットアップをテストするには**

1. この章に記載されているセットアップ手順に従って、HP All-in-One のファクス機能をセットアップします。
2. テストを行う前に、インク カートリッジを取り付け、メイン トレイに普通紙をセットします。
   詳細については、インク カートリッジの交換 および フルサイズ用紙のセット を参照してください。
3. [セットアップ] を押します。
4. [5] を押し、次に [8] を押します。
   [ツール] メニューが表示され、[ファクス テストを実行] が選択されます。
   HP All-in-One のカラー グラフィック ディスプレイにテストの状態が表示され、レポートが印刷されます。

5. レポートを確認します。
   – テストに合格しても、ファクスに問題がある場合は、レポートに記載されているファクス設定が正しいかどうかを確認します。空白または不適切なファクス設定がファクス使用時の問題の原因となることがあります。
   – テストに失敗した場合、レポートを参照し、問題の解決方法を確認してください。
6. HP All-in-One からファクス レポートを取り出した後、[OK] を押します。
   必要に応じて、問題を解決し、テストをもう一度実行します。
   テストで見つかった問題を解決するための詳細については、ファクス テストに失敗した を参照してください。

### ファクス ヘッダーの設定

ファクスのヘッダーを使用すると、すべての送信ファクスの上部に名前とファクス番号が印刷されます。 **[HP Image Zone]** ソフトウェアのインストール中に、**[ファクス セットアップ ウィザード]** (Windows ユーザー) か **[ファクス セットアップ ユーティリティ]** (Mac ユーザー) で、ファクスのヘッダーを設定することをおすすめします。 また、コントロール パネルからファクスのヘッダーを設定することもできます。

**注記 1** 一部の国または地域では、法令等によりファクスのヘッダー情報の明記が義務付けられています。

**注記 2** ハンガリーでは、電話加入者識別コード (ファクスのヘッダー) の設定や変更ができるのは許可がある人のみです。 詳細については、HP 認定の代理店にお問い合わせください。

1. [セットアップ] を押します。
2. [3] を押し、次に [1] を押します。
   [ファクスの基本設定] メニューが表示され、[ファクスのヘッダー] が選択されます。
3. 個人または会社の名前を入力します。
   コントロール パネルからテキストを入力する方法については、文字と記号 を参照してください。
4. ユーザー名または会社名の入力が完了したら、ビジュアル キーボードの [完了] を選択して、[OK] を押します。
5. キーパッドを使用して、ファクス番号を入力します。
6. [OK] を押します。

セットアップの完了

ファクスのヘッダー情報を入力するには、コントロール パネルよりも HP All-in-One ソフトウェアに付属する **[HP Image Zone]** を使用する方が簡単です。 ファクスのヘッダー情報、カバー ページの情報も入力できます。 この情報は、コンピュータからファクスを送信する際のカバー ページに印刷されます。 詳細については、オンスクリーン **[HP Image Zone ヘルプ]** を参照してください。

## 短縮ダイヤルの設定

短縮ダイヤル エントリをよく使うファクス番号に登録できます。 コントロール パネルからすぐにダイヤルすることができます。

短縮ダイヤルでファクスを送信する詳細については、基本的なファクスの送信 を参照してください。

HP All-in-One に付属する **[HP Image Zone]** ソフトウェア を使用すると、短縮ダイヤルをコンピュータから簡単に設定できます。 詳細については、オンスクリーン **[HP Image Zone ヘルプ]** を参照してください。

### 個別短縮ダイヤルの登録

よく使うファクス番号について短縮ダイヤル番号を登録できます。 必要に応じて、登録した短縮ダイヤルの名前やファクス番号を編集できます。

ヒント　グループ短縮ダイヤルに個人の短縮ダイヤルを追加することができます。 これによりファクスをグループまたは複数の相手に一度に送信することが可能になります (グループ短縮ダイヤルに登録できる個人の短縮ダイヤルの最大数は、モデルによって異なります)。 グループ短縮ダイヤルの設定方法については、グループ短縮ダイヤル番号の登録 を参照してください。

1. [セットアップ] を押します。
2. [2] を押し、次に [1] を押します。
   [短縮ダイヤルの設定] メニューが表示され、次に [個別の短縮ダイヤル] が選択されます。
   まだ登録されていない短縮ダイヤルの最初の番号が、カラー グラフィック ディスプレイに強調表示されます。
3. [OK] ボタンを押して、強調表示された短縮ダイヤルを選択します。 まだ登録されていない別の短縮ダイヤルを選択するには、▼ または ▲ を押して、次に [OK] を押します。
4. その短縮ダイヤル番号に登録するファクス番号を入力し、[OK] ボタンを押します。
   ビジュアル キーボードが、カラー グラフィック ディスプレイに自動的に表示されます。

セットアップの完了

5. 名前を入力します。名前の入力が完了したら、ビジュアル キーボードの [完了] を選択して、[OK] を押します。
   ビジュアル キーボードを使用した文字の入力の詳細については、文字と記号 を参照してください。
6. 別の番号を設定する場合は [1] を、[短縮ダイヤルの設定] メニューを終了する場合は [キャンセル] を押します。

#### グループ短縮ダイヤル番号の登録

設定済みの個別短縮ダイヤルをグループ短縮ダイヤルに追加して、複数の受信者に一度に同じ文書をファクスすることができます。 必要に応じて、登録済みのグループの短縮ダイヤルから番号を追加したり削除したりすることもできます (グループ短縮ダイヤルに登録できる個人の短縮ダイヤルの最大数は、モデルによって異なります)。

1. [セットアップ] ボタンを押します。
2. [2] を押して、次にもう一度 [2] を押します。
   [短縮ダイヤルの設定] メニューが表示され、次に [グループ短縮ダイヤル] が選択されます。
   まだ登録されていない短縮ダイヤルの最初の番号が、カラー グラフィック ディスプレイに強調表示されます。
3. [OK] ボタンを押して、強調表示された短縮ダイヤルを選択します。 まだ登録されていない別の短縮ダイヤルを選択するには、▼ または ▲ を押して、次に [OK] を押します。
   HP All-in-One に設定されている個別短縮ダイヤル一覧が表示されます。
4. ▼ または ▲ を押して 個別短縮ダイヤルを選択し、次に [OK] を押します。 グループ短縮ダイヤルに追加する番号に対して同じ手順を繰り返します。
5. すべての該当するファクス番号を選択したら、▲ を押して、[選択完了] を強調表示し、次に [OK] を押します。
   ビジュアル キーボードが、カラー グラフィック ディスプレイに自動的に表示されます。
6. グループ短縮ダイヤルの名前を入力します。 名前の入力が終わったら、ビジュアル キーボード上の [完了] ボタンを選択して、[OK] を押します。
   ビジュアル キーボードを使用した文字の入力の詳細については、文字と記号 を参照してください。
7. 別の短縮ダイヤルを設定する場合は、コントロール パネルの [1] または [2] を押し、[短縮ダイヤルの設定] メニューを終了する場合は [キャンセル] を押します。

# 4　ネットワークへの接続

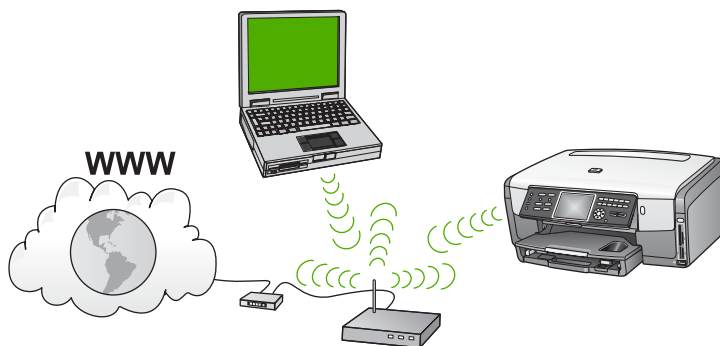
この章では HP All-in-One のネットワークへの接続方法、ネットワーク設定の表示および管理方法、ネットワーク接続に関する問題のトラブルシューティングについて説明します。

| 実行する項目 | 参照先 |
| --- | --- |
| アクセス ポイントを使用してワイヤレス ネットワークに接続する (802.11 b または g) | ワイヤレス インフラストラクチャ ネットワークの設定 |
| アクセス ポイントを使用しないでワイヤレス ネットワークに接続する | ワイヤレス アドホック ネットワークの設定 |
| 有線 (Ethernet) ネットワークに接続する | 有線ネットワークの設定 |
| ネットワーク環境で使用するために HP All-in-One ソフトウェアをインストールする | ネットワーク接続用のソフトウェアをインストールする |
| ネットワークの複数のコンピュータへの接続を追加する | ネットワーク上の複数のコンピュータに接続する |
| USB 接続からネットワーク接続へ HP All-in-One を切り替える<br><br>注記　この手順は、USB 接続を使用して設置した HP All-in-One を後からワイヤレスまたは Ethernet ネットワーク接続に変更する場合に参照します。 | HP All-in-One を USB 接続からネットワーク接続に切り替える |
| ネットワーク設定を表示または変更する | ネットワーク設定の変更 |
| トラブルシューティング情報を取得する | ネットワークのトラブルシューティング |

注記　HP All-in-One はワイヤレスまたは有線ネットワークのどちらにも接続できますが、両方同時に接続することはできません。

ネットワーク用語の定義については、HP All−in−One に付属のオンスクリーン **[HP Image Zone ヘルプ]** のネットワーク用語集を参照してください。 オンスクリーン **[HP Image Zone ヘルプ]** の使用方法については、オンスクリーン ヘルプを使う を参照してください。

# ワイヤレス インフラストラクチャ ネットワークの設定

ワイヤレス ネットワークの性能とセキュリティを最大限に高めるため、HP All−in−One およびその他のネットワーク構成要素との接続には、ワイヤレス アクセス ポイント (802.11b または g) を使用することをお勧めします。 ネットワーク構成要素がアクセス ポイント経由で接続されることを、**インフラストラクチャ** ネットワークと呼びます。 アクセス ポイントを使用しないワイヤレス ネットワークは**アドホック** ネットワークと呼ばれます。

アドホック ネットワークと比較すると、ワイヤレス インフラストラクチャ ネットワークには次のような利点があります。

- ネットワーク セキュリティの強化
- 信頼性の強化
- ネットワークの柔軟性
- パフォーマンスの向上（特に802.11 g モードで)
- ブロードバンド インターネット アクセスの共有
- HP Instant Share 機能が使用可能 (ケーブル モデムや DSL などのブロードバンド インターネット アクセスによる)

HP All-in-One をワイヤレス インフラストラクチャ ネットワークに接続するには、以下が必要になります。

- 最初に、次のセクション ワイヤレス インフラストラクチャ ネットワークに必要なもの で説明する、必要なものをすべて用意します。
- 次に、HP All-in-One をアクセス ポイントに接続し、ワイヤレス 設定 ウィザードを実行します。 ワイヤレス インフラストラクチャ ネットワークへの接続 を参照してください。
- 最後に、ネットワーク接続用のソフトウェアをインストールする の説明に従って、ソフトウェアをインストールします。

## ワイヤレス インフラストラクチャ ネットワークに必要なもの

HP All-in-One をワイヤレス ネットワークに接続するには、以下が必要になります。

❑ ワイヤレス アクセス ポイントを持ったワイヤレス 802.11b または g のネットワーク。

注記　お使いのコンピュータが Mac の場合は、AirMac という名前の設定が簡単なアクセス ポイントが販売されています。AirMac は Mac に接続しなければなりませんが、任意の 802.11b 互換ワイヤレス ネットワーク デバイス (PC か Mac のいずれに搭載されているかに関係なく) からの信号を受信できます。

❑ ワイヤレス ネットワーク サポートまたはネットワーク インタフェース カード (NIC) を備えたデスクトップ コンピュータやノートパソコン。 コンピュータからアクセス ポイントへは、Ethernet （有線) 接続でもワイヤレス接続でもどちらでも可能です。 アクセス ポイントに Ethernet で接続する場合は、有線ネットワークの設定 の指示に従ってください。

注記　Mac の場合、ワイヤレス ネットワーク サポートは通常 AirMac カードで行われます。

❑ ケーブルまたは DSL などのブロードバンドによるインターネット アクセス (推奨)
インターネット アクセスを行っているワイヤレス ネットワーク上の HP All-in-One を接続する場合には、Dynamic Host Configuration Protocol (DHCP) を使用したワイヤレス ルーター（アクセス ポイントまたは無線基地局) を使用することをお勧めします。

注記　デバイスから直接 HP Instant Share にアクセスする場合には、ブロードバンドによるインターネット アクセスが必要です。

❑ ネットワーク名 (SSID)
❑ WEP キーまたは WPA パスフレーズ (必要な場合)

### ワイヤレス インフラストラクチャ ネットワークへの接続

ワイヤレス設定ウィザードを使用すると、HP All-in-One をネットワークに簡単に接続できます。 また、アクセス ポイントが Secure EzSetup または Windows Connect Now Technology (Windows XP Service Pack 2) に対応していれば、接続はもっと簡単です。 アクセス ポイントがどちらの機能をサポートするかについては、アクセス ポイントに付属のマニュアルをご覧ください。 EzSetup またはWindows Connect Now を使用した場合の追加セットアップ手順については、アクセス ポイントに付属のマニュアル (印刷物) を参照してください。

注意　他のユーザーがお客様のワイヤレス ネットワークにアクセスするのを防ぐために、パスワードまたはパスフレーズを使用したり、アクセス ポイントに一意の SSID を使用することをお勧めします。 お客様のアクセス ポイントはデフォルトの SSID が設定された状態で出荷されるため、同じデフォルトの SSID を持つ他のユーザーがアクセスできてしまう可能性があります。 SSID の変更方法の詳細については、アクセス ポイントに付属のマニュアルを参照してください。

**ワイヤレス設定ウィザードで HP All-in-One を接続するには**

1. アクセス ポイントに関する次の情報を書き留めてください。
   – ネットワーク名（SSID とも呼ばれる)
   – WEP キー、WPA パスフレーズ(必要に応じて)

   あとで参照しやすいように、このマニュアルに書き留めておくことができます。 こうした情報がどこにあるのかわからない場合は、お使いのワイヤレス アクセス ポイントに付属のマニュアルを参照してください。 SSID、WEP キーまたは WPA パスフレーズは、アクセス ポイント用の埋め込み Web サーバー (EWS) に見つかる場合があります。 アクセス ポイントの EWS を表示する方法については、アクセス ポイントに付属のマニュアルを参照してください。

   注記　Mac ユーザーの場合： ネットワークに Apple AirMac ベース ステーションが設定され、WEP HEX や WEP ASCII ではなくパスワードを使用してこのネットワークにアクセスする場合は、該当する WEP キーを入手する必要があります。 詳細については、Apple AirMac ベース ステーションに付属のマニュアルを参照してください。

2. HP All-in-One のコントロール パネルの [セットアップ] ボタンを押します。
3. [ネットワーク] が強調表示されるまで ▼ を押して、次に [OK] を押します。
   [ネットワーク メニュー] が表示されます。
4. [4] を押します。

[ワイヤレス設定ウィザード] が起動します。 このセットアップ ウィザードは利用可能なネットワークを検索し、検出されたネットワーク名（SSID) の一覧を表示します。 インフラストラクチャ ネットワークが一覧の最初に表示されます。 最も強い信号のネットワークが最初に、最も弱い信号のネットワークが最後に表示されます。

5. ▼ を押し、ステップ1で書き留めたネットワーク名を選択して、 [OK] を押します。
   ご使用になるネットワーク名が見つからない場合は、以下の手順に従ってください。
   a. [新規ネットワーク名 (SSID) を入力する] を選択します。 必要に応じて、▼ を使って選択し、 [OK] を押します。
      ビジュアル キーボードが表示されます。
   b. SSID を入力します。 HP All-in-One のコントロール パネルの矢印ボタンを使用してビジュアル キーボード上の文字や数字を選択し、[OK] を押して確定します。
      ビジュアル キーボードの使用方法の詳細については、ビジュアル キーボードを使用した文字の入力 を参照してください。

      注記 大文字と小文字は **正確に** 区別して入力してください。 大文字と小文字を間違えると、ワイヤレス接続に失敗します。

   c. 新しい SSID の入力が終了したら、矢印ボタンを使用してビジュアル キーボード上の [完了] を選択し、 [OK] を押します。
   d. [1] を押して、インフラストラクチャ モードを選択します。
   e. [2] を押して、WEP 暗号化を選択します。
      または
      [3] を押して、WPA 暗号化を選択します。
6. プロンプトが表示されたら、次のように WPA または WEP キーを入力します。
   a. 矢印ボタンを使用してビジュアル キーボード上の文字や数字を選択し、[OK] を押して確定します。

      注記 大文字と小文字は **正確に** 区別して入力してください。 大文字と小文字を間違えると、ワイヤレス接続に失敗します。

      入力した WPA または WEP キーが無効というメッセージが表示された場合は、新しいネットワーク用に書き留めたキーを確認し、再度キーを入力してください。
   b. WPA または WEP キーの入力が終了したら、矢印ボタンを使用してビジュアル キーボード上の [完了] を選択します。
   c. [OK] を押して確認します。
      HP All-in-One がネットワークに接続を試みます。 接続に失敗した場合は、画面の指示に従ってキーを正しく入力し、接続をやり直し

ます。 ネットワークのトラブルシューティング も参照してください。

7. HP All-in-One がネットワークに正しく接続されたら、お使いのコンピュータに戻ってネットワークを使用するコンピュータに本ソフトウェアをインストールしてください。 ネットワーク接続用のソフトウェアをインストールする を参照してください。

**Secure EzSetup で HP All-in-One を接続するには**

1. アクセス ポイントの Secure EzSetup を起動します。
2. HP All-in-One のコントロール パネルの [セットアップ] ボタンを押します。
3. [ネットワーク] が強調表示されるまで ▼ を押して、次に [OK] を押します。
   [ネットワーク メニュー] が表示されます。
4. [4] を押します。
   [ワイヤレス設定ウィザード] が起動します。
5. HP All-in-One がネットワークの接続に成功したら、お使いのコンピュータに戻ってソフトウェアをインストールしてください。 ネットワーク接続用のソフトウェアをインストールする を参照してください。

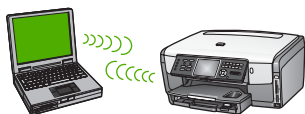
**Windows Connect Now Technology で HP All-in-One を接続するには**

1. ネットワーク設定を含むストレージ デバイスを HP All-in-One 前面の USB ポートまたは適切なメモリ カード スロットに挿入します。
   [設定が見つかりました] メニューが表示されます。
2. [1] を押します。
   続いて、[はい、メモリ デバイスのワイヤレス設定を使用してネットワークにプリンタを設定します] が選択され、[設定の確認] 画面にキーまたはパスフレーズを含む設定が表示されます (未設定の場合)。
3. [OK] ボタンを押して確認します。
   HP All-in-One がネットワークに接続を試みます。 接続に失敗した場合は、画面の指示に従って問題を訂正し、接続をやり直します。 ネットワークのトラブルシューティング も参照してください。
4. HP All-in-One がネットワークの接続に成功したら、お使いのコンピュータに戻ってソフトウェアをインストールしてください。 ネットワーク接続用のソフトウェアをインストールする を参照してください。



## ワイヤレス アドホック ネットワークの設定

このセクションは、アクセス ポイントを使用せずに HP All-in-One をワイヤレス ネットワーク上のコンピュータに接続する場合にお読みください。 これを、**ピア ツー ピア** または **アドホック** ネットワークと呼ぶこともあります。 Mac では、これを **ピア ツー ピア** ネットワークと呼びます。 アクセス

ポイントをわざわざ購入したくない場合、またよりシンプルなネットワークを構築したい場合は、アドホック接続を使用することをお勧めします。

**注記** アクセス ポイントがない場合でも、アドホック接続は可能ですが、 フレキシビリティや、ネットワーク セキュリティのレベルは低下し、アクセス ポイントを使用した場合に比べてネットワーク パフォーマンスは遅くなります。 さらに、ブロードバンド アクセス (ケーブルやDSLなど) をおそらく共有しないため、HP All-in-One の HP Instant Share 機能を使うことができません。

アクセス ポイントを使用して HP All-in-One をネットワークに接続する方法については、ワイヤレス インフラストラクチャ ネットワークの設定 を参照してください。

HP All-in-One をコンピュータに接続するには、コンピュータでネットワーク プロファイルを作成します。 ネットワーク プロファイルは、ネットワーク名 (SSID)、通信モード (アドホックまたはインフラストラクチャ)、暗号化の有効または無効化などのネットワーク設定で構成されます。 アドホック接続用のネットワーク プロファイルを作成する方法については、下記のオペレーティング システム別の手順をご覧ください。

HP All-in-One をワイヤレス アドホック ネットワークに接続するには、以下が必要になります。

- 最初に、必要なものをすべて用意します。 このタイプの設定には、ワイヤレス ネットワーク アダプタを取り付けた Windows コンピュータまたは AirMac カードを取り付けた Mac が必要です。
- 次に、コンピュータをネットワークに接続する準備をし、次のセクションの説明に従って、オペレーティング システム別にネットワーク プロファイルを作成します。
- 次に、ワイヤレス アドホック ネットワークへの接続 の説明に従って、ワイヤレス設定ウィザードを実行します。
- 最後に、ネットワーク接続用のソフトウェアをインストールする の説明に従って、本ソフトウェアをインストールします。

### Windows XP コンピュータの準備

コンピュータをネットワークに接続する準備をし、ネットワーク プロファイルを作成しておきます。

**コンピュータの準備をするには**

1. 実行中の全てのアプリケーションを終了し、OS 内の XP ファイアウォールやその他のファイアウォール、ウイルス対策用ソフトウェアを一時的に無効にします。
2. ウィルス感染からコンピュータを守るために、インターネット接続を無効にします。 ケーブルまたは DSL の場合には、コンピュータの背面から Ethernet ケーブルを取り外します。 ダイアルアップ接続の場合は、電話コードを取り外します。
3. ワイヤレス接続以外の、 LAN 接続（Ethernet を含む）をすべて無効にする。 また、 Ethernet の IEEE 1394（Firewire、 i.LINK または Lynx）もすべて無効にする。

**Windows XP で LAN 接続を無効にするには**

a. **[Windows の[スタート]]** ボタンをクリックし、 **[コントロール パネル]** をクリックし、 **[ネットワーク接続]** をダブルクリックします。
b. 各 **[ローカル エリア接続]** を右クリックし、 **[無効]** をクリックします。 ポップアップ メニューに **[有効]** が表示される場合は、 **[ローカル エリア接続]** はすでに無効になっています。

**Windows XP Service Pack 2 で Windows ファイアウォールを無効にするには**

a. Windows の **[コントロール パネル]** で、**[セキュリティ センター]** をクリックします。
b. **[Windows ファイアウォール]** をクリックし、**[無効]** を選択します。

**Windows XP Service Pack 1 で Windows ファイアウォールを無効にするには**

a. Windows の **[コントロール パネル]** で、**[ネットワーク接続]** をクリックします。
b. **[この接続の設定を変更する]** をクリックします。
c. **[詳細設定]** タブをクリックします。
d. ファイアウォールの保護チェックボックスをオフにします。

**ネットワーク プロファイルを作成するには**

注記 HP All-in-One には、SSID として **hpsetup** というネットワーク プロファイルがあらかじめ設定されています。 しかし、セキュリティとプライバシーの点では、ここで説明した手順に従ってコンピュータに新しいネットワーク プロファイルを作成することをお勧めします。次に、ワイヤレス設定ウィザードを実行し (次のセクションで説明する手順で) 新しいネットワークを検出してください。

1. 下記の手順どおりにコンピュータの準備が終わっていることを確認します。
2. **[コントロール パネル]** で、 **[ネットワーク接続]** をダブルクリックしてください。

ネットワーク設定

3. **[ネットワーク接続]** ウィンドウで、**[ワイヤレス ネットワーク接続]** を右クリックしてください。 ポップアップ メニューに **[有効]** が表示されている場合は、[有効] を選択してください。 逆に、メニューに **[無効]** が表示される場合は、ワイヤレス接続はすでに有効になっています。
4. **[ワイヤレス ネットワーク接続]** のアイコンを右クリックし、 **[プロパティ]** をクリックします。
5. **[ワイヤレス ネットワーク]** タブをクリックします。
6. **[Windows を使ってワイヤレス ネットワークの設定を構成する]** のチェック ボックスをオンにします。
7. **[追加]** をクリックし、 以下の手順に従ってください。
   a. **[ネットワーク名 (SSID)]** のボックスに、 **Mynetwork** （またはイニシャルなど、何か意味のある語）の名前を入力してください。

      注記 **Mynetwork** の **M** は大文字で、残りの文字は小文字であることに注意してください。 このことは、後にワイヤレス設定ウィザードで SSID を入力する必要がある場合に重要なので覚えておいてください。

   b. **[Network Authentication]** リストがあれば **[開く]** を選択し、ないときは次のステップに進みます。
   c. **[データの暗号化]** リストで、**[WEP]** を選択します。

      注記 WEP キーを使用しないネットワークを作成することも可能です。 しかし、ネットワークの安全性を確保するためには、WEP キーを使用することをお勧めします。

   d. **[キーは自動的に提供される]** の横のチェックボックスが選択されて**いない** ことを確認します。 選択されている場合は、クリックしてオフにします。
   e. **[ネットワーク キー]** ボックスに、**ぴったり** 5 文字、または **ぴったり** 13 文字の英数字 (ASCII) の WEP キーを入力してください。例えば 5 文字入力する場合は、**ABCDE** または **12345** のように入力します。 また、13 文字入力する場合は、**ABCDEF1234567** のように入力します。
      あるいは、WEP キーに、HEX (16進数) の数字を使用することもできます。 HEX WEP キーは 40 ビット 10 文字 の暗号か、128 ビット 26 文字の暗号でなければなりません。 ASCII および HEX の定義については、HP All-in-One に付属のオンスクリーン **[HP Image Zone ヘルプ]** のネットワーク用語集を参照してください。 オンスクリーン **[HP Image Zone ヘルプ]** の使用方法については、オンスクリーン ヘルプを使う を参照してください。
   f. **[ネットワーク キーの確認入力]** ボックスに、前のステップで入力したのと同じ WEP キーを入力してください。

g. 大文字と小文字の区別も含め、入力したとおりに正確にWEP キーを書き留めてください。

注記　大文字と小文字の区別は正確に記憶しておかなければなりません。 HP All-in-One に間違った WEP キーを入力すると、ワイヤレス接続に失敗します。

h. **[これはコンピュータ相互 (ad-hoc) のネットワークで、ワイヤレスアクセスポイントを使用しない]** のチェック ボックスを選択します。
i. **[OK]** をクリックし、 **[ワイヤレス ネットワーク プロパティ]** ウィンドウを閉じて、再び **[OK]** をクリックします。
j. 再び **[OK]** をクリックして **[ワイヤレス ネットワーク プロパティ接続]** ウィンドウを閉じます。

8. HP All-in-One に戻り、[ワイヤレス設定ウィザード] を使って HP All-in-One をワイヤレス ネットワークに接続してください。 ワイヤレス アドホック ネットワークへの接続 を参照してください。

## Mac OS X の準備

**コンピュータの準備をするには**

➔ コンピュータで実行中のアプリケーションをすべて終了し、すべてのファイアウォールを一時的に無効にします。

**新規ネットワーク プロファイルを作成するには**

注記　HP All-in-One には、SSID として **hpsetup** というネットワーク プロファイルがあらかじめ設定されています。 しかし、セキュリティとプライバシーの点では、ここで説明した手順に従ってコンピュータに新しいネットワーク プロファイルを作成することをお勧めします。次に、ワイヤレス設定ウィザードを実行し (次のセクションで説明する手順で) 新しいネットワークを検出してください。

1. AirPort の電源が入っていることを確認してください。
AirMac の電源を入れると、メニュー バーに次のようなアイコンが表示されます。

確認するには、**[AirMac]** アイコンをクリックします。
**[AirMac を入にする]** が表示されている場合はこれを選択し、AirMac の電源を入れてください。
ツールバーの AirMac アイコンが表示されていない場合は、以下の手順に従ってください。

a. システム環境設定の **[ネットワーク]** の画面上で、 **[AirMac]** を選択して **[設定]** ボタンを押します。
b. **[このコンピュータがネットワークを作成するのを許可する]** を有効にします。
c. **[メニューバーに AirMac の状況を表示する]** を有効にします。
2. ツールバーの **[AirMac]** アイコンをクリックします。
3. **[ネットワークの作成...]** を選択します。
4. **[コンピュータ ツー コンピュータ]** ダイアログで、 **[名前]** ボックスをクリックし、新しいネットワーク ネームを入力します。
例えば、**Mynetwork** の名前 (またはイニシャルなど、何か意味のある語) を入力します。

注記 **Mynetwork** の **M** は大文字で、残りの文字は小文字であることに注意してください。 このことは、後にワイヤレス設定ウィザードで SSID を入力する必要がある場合に重要なので覚えておいてください。

5. **[チャンネル]** ボックスでは、デフォルトの **[自動]** の設定を使用してください。
6. **[オプションを表示]** をクリックします。
7. セキュリティのための暗号化を有効にするには、**[暗号化]** のチェックボックスを選択します。
8. **[パスワード]** ボックスに、**ぴったり** 5 文字、または **ぴったり** 13 文字の英数字 (ASCII) のパスワードを入力してください。例えば 5 文字入力する場合は、**ABCDE** または **12345** のように入力します。 また、13 文字入力する場合は、**ABCDEF1234567** のように入力します。
あるいは、パスワードに、HEX (16進数) の数字を使用することもできます。 HEX パスワードは 40 ビット 10 文字 の暗号か、128 ビット 26 文字の暗号でなければなりません。 ASCII および HEX の定義については、HP All-in-One に付属のオンスクリーン **[HP Image Zone ヘルプ]** のネットワーク用語集を参照してください。 オンスクリーン **[HP Image Zone ヘルプ]** の使用方法については、オンスクリーン ヘルプを使う を参照してください。
9. **[確認]** ボックスに、同じパスワードを入力します。
10. **WEPキー** と呼ばれるパスワードを書き留めます。 ワイヤレス設定ウィザードを実行するときにこの WEP キーが必要になります。
11. **[OK]** をクリックします。
12. HP All-in-One に戻り、[ワイヤレス設定ウィザード] を使って HP All-in-One をワイヤレス ネットワークに接続してください。 ワイヤレス アドホック ネットワークへの接続 を参照してください。

### その他のオペレーティング システム用のネットワーク プロファイルを作成する

Windows XP または Mac OS X 以外のオペレーティング システムの場合は、ワイヤレス LAN カードに付属の設定プログラムの使用をお勧めします。 ご使用のワイヤレス LAN カード用の設定プログラムを調べるには、コンピュータのプログラム一覧にアクセスしてください。

LAN カードの設定プログラムを使用し、以下の値に設定したネットワーク プロファイルを作成します。

- **ネットワーク名 (SSID)**： Mynetwork
- **接続モード**： アドホック
- **暗号化** ： 有効

**注記** ご自分のイニシャルなど、ここに示すサンプル以外のネットワーク名を作成してください。 ただし、ネットワーク名は大文字と小文字を区別します。 従って、使用した文字が大文字か小文字か覚えておいてください。

### ワイヤレス アドホック ネットワークへの接続

Windows と Mac コンピュータのどちらでもワイヤレス設定ウィザードを使用して HP All-in-One をワイヤレス ネットワークに接続できます。

1. HP All-in-One のコントロール パネルの [セットアップ] ボタンを押します。
2. [ネットワーク] が強調表示されるまで ▼ を押して、次に [OK] を押します。
   [ネットワーク メニュー] が表示されます。
3. [4] を押します。
   [ワイヤレス設定ウィザード] が起動します。 このセットアップ ウィザードは利用可能なネットワークを検索し、検出されたネットワーク名 (SSID) の一覧を表示します。 複数のネットワークが検出された場合、インフラストラクチャ ネットワークが一覧の一番上、アドホックが一番下に表示されます。
4. カラー グラフィック ディスプレイ上で、作成したネットワーク名（例えば、Mynetwork）を確認してください。
5. 矢印ボタンを使用してネットワーク名を選択し、[OK] を押します。
   ネットワーク名を確認して選択したら、ステップ 6に進んでください。
   ネットワーク名がリストに**ない**場合は、以下の手順に従ってください。
   a. [新規ネットワーク名 (SSID) を入力する] を選択します。
      ビジュアル キーボードが表示されます。
   b. SSID を入力します。 HP All-in-One のコントロール パネルの矢印ボタンを使用してビジュアル キーボード上の文字や数字を選択し、[OK] を押して確定します。

注記　大文字と小文字は **正確に** 区別して入力してください。大文字と小文字を間違えると、ワイヤレス接続に失敗します。

ビジュアル キーボードの使用方法の詳細については、ビジュアル キーボードを使用した文字の入力 を参照してください。

c. 新しい SSID の入力が終了したら、矢印ボタンを使用してビジュアル キーボード上の [完了] を選択し、 [OK] を押します。
d. [2] を選択し、アドホック モードを選択します。
e. [2] を押して [はい、このネットワークは WEP 暗号化を使用] を選択し、ビジュアル キーボードを表示します。
   WEP 暗号化を使用したく **ない** 場合は、[1] を押して、[いいえ、このネットワークは暗号化を使用しない] を選択し、ステップ 7 に進みます。

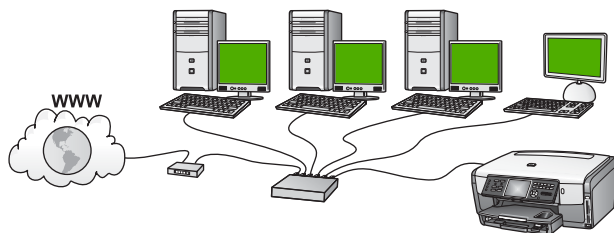
6. WEP キーを使用する場合は、次の手順を実行します。 使用しない場合は、ステップ 7 に進みます。
   a. 矢印ボタンを使用してビジュアル キーボード上の文字や数字を選択し、[OK] を押して確定します。

      注記　大文字と小文字は **正確に** 区別して入力してください。大文字と小文字を間違えると、ワイヤレス接続に失敗します。

      WEP キーが無効 のメッセージが表示された場合は、新しいネットワーク用に書き留めたキーを確認し、再度キーを入力してください。
   b. WEP キーの入力が終了したら、矢印ボタンを使用してビジュアル キーボード上の [完了] を選択します。
7. [OK] をもう一度押して確定します。
   HP All-in-One が SSID に接続を試みます。 接続に失敗した場合は、WEP キーを正しく入力し直すプロンプトに従ってもう一度試行します。
8. HP All-in-One がネットワークの接続に成功したら、お使いのコンピュータに戻ってソフトウェアをインストールしてください。 ネットワーク接続用のソフトウェアをインストールする を参照してください。

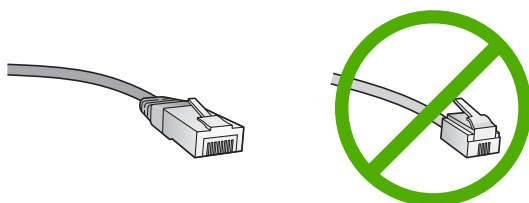
注記　問題が発生した場合は、ネットワークのトラブルシューティング を参照してください。

## 有線ネットワークの設定

このセクションでは、HP All-in-One をルーター、スイッチ、またはアクセス ポイントに Ethernet ケーブルを使用して接続する方法について説明します。 この方法は有線または Ethernet ネットワークとして知られています。有線 ネットワークは高速性、信頼性、セキュリティ確保において優れています。

HP All−in−One を有線ネットワークに接続するには、以下が必要になります。

- 最初に、次のセクション 有線ネットワークに必要なもの で説明する、必要なものをすべて用意します。
- 次に、ルーター、スイッチ、ワイヤレス アクセス ポイントに HP All−in−One を接続します。 HP All−in−One をネットワークに接続する を参照してください。
- 最後に、ネットワーク接続用のソフトウェアをインストールする の説明に従って、本ソフトウェアをインストールします。

### 有線ネットワークに必要なもの

- ❑ Ethernet ルーター、スイッチまたはワイヤレス アクセス ポイントをもつ、稼働中の Ethernet ネットワーク
- ❑ CAT-5 Ethernet ケーブル

標準の Ethernet ケーブルは普通の電話ケーブルと似ていますが、互換性はありません。 この2種類のケーブルでは線の本数が異なり、また異なるコネクタが付いています。 Ethernet ケーブル コネクタ (すなわち RJ-45 コネクタ) は幅が広く厚みがあり、末端の接触部分は常に8箇所あります。 電話ケーブルのコネクタは接触部分が2箇所から6箇所の間です。

- ❑ ルーターまたはアクセス ポイントへ有線またはワイヤレス接続をもつデスクトップ コンピュータまたはノートパソコン

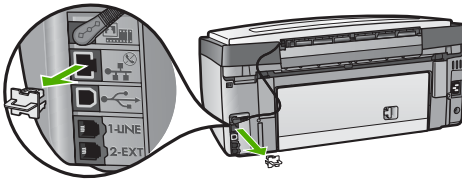
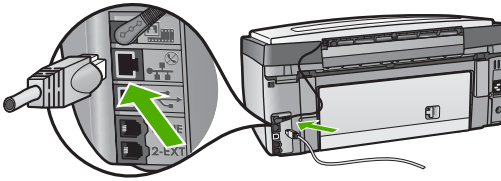
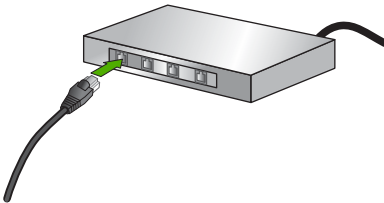
注記　HP All−in−One は 10 Mbps および 100 Mbps Eithernet ネットワークへ接続可能です。 ネットワーク インターフェース カー

ド (NIC) の購入をお考え場合、または既にご購入済みの場合、この両方の速度で動作することを確認してください。

- ❑ ケーブルまたは DSL などのブロードバンド インターネット アクセスを推奨します。 デバイスから直接 HP Instant Share にアクセスする場合には、ブロードバンドによるインターネット アクセスが必要です。
HP Instant Share の詳細については、友達や家族と画像を共有する を参照してください。

### HP All-in-One をネットワークに接続する

Ethernet ポートは、HP All-in-One の背面に装備されています。

1. HP All-in-One の後部から黄色のプラグを抜きます。

2. HP All-in-One の後部にある Ethernet ポートに Ethernet ケーブルを接続します。

3. Ethernet ケーブルのもう一方の端を Ethernet ルーター、スイッチまたはワイヤレス アクセス ポイントの空いているポートに接続します。

4. HP All-in-One のネットワークへの接続が完了したら、コンピュータへソフトウェアをインストールします。ネットワーク接続用のソフトウェアをインストールする を参照してください。

# ネットワーク接続用のソフトウェアをインストールする

本章では HP All-in-One のソフトウェアの Windows または Macintosh コンピュータへのインストールについて説明します。 ソフトウェアをインストールする前に、これまでの章を参考にして HP All-in-One がネットワークに接続されていることを確認してください。

注記 1　コンピュータが一連のネットワーク ドライブに接続するよう設定する場合、ソフトウェアをインストールする前に、コンピュータが現在それらのドライブに接続されていることを確認してください。さもないと、インストール ソフトウェアがネットワーク ドライブに割り当てられた予約済みドライブ名を使用する可能性があり、そのネットワーク ドライブ名へのアクセスが不可能になります。

注記 2　インストールに要する時間は、お使いの OS、空いているディスク スペース、プロセッサの速度などによって異なりますが、20 分から 45 分かかります。

お手持ちのコンピュータの OS が Windows または Mac コンピュータかに応じて、下記の手順を参照してください。

### Windows 用のHP All-in-One ソフトウェアをインストールするには

注記　この後の説明は、Windows コンピュータだけに適用されます。

1. コンピュータで実行中のアプリケーションおよびファイアウォールまたはウィルス検出ソフトウェアをすべて終了します。
2. HP All-in-One に付属する Windows 用の CD をお使いのコンピュータの CD-ROM ドライブに挿入します。
3. 続けてダイアログ ボックスが表示されたら、以下のように対応します。
   - **[インストール停止の問題]**： 実行中のファイアウォールにより HP ソフトウェアのインストールが妨害されている可能性があります。 インストール中は、一時的にファイアウォールを無効にしてください。 手順については、ファイアウォール付属のマニュアルを参照してください。 インストールが完了したら、ファイアウォールをまた有効にしてください。
   - **[ファイアウォールに関する注意]**： Microsoft のインターネット接続用ファイアウォールが有効です。 **[次へ]** をクリックして、セットアップ プログラムで必要なポートをオープンし、インストールを続行できるようにします。 HP 提供のプログラムに対して **[Windows のセキュリティ警告]** が表示された場合、このプログラムのブロックを解除してください。
4. **[接続タイプ]** 画面で **[ネットワーク経由で接続する]** を選択し、**[次へ]** をクリックします。

セットアップ プログラムがネットワーク上の HP All-in-One を探している間、**[検索中]** 画面が表示されます。

5. **[プリンタが見つかりました]** 画面で、そのプリンタについての詳細が正しいことを確認してください。
   ネットワーク上で複数のプリンタが検出されると、**[複数のプリンタが見つかりました]** 画面が表示されます。接続するデバイスを選択してください。
   お使いの HP All-in-One に対してのデバイスの設定を参照するには
   a. お使いのデバイスのコントロール パネルを開きます。
   b. [**ネットワーク メニュー**] で [**ネットワーク設定を表示**] を選択した後、ネットワークの種類に応じて、[**概要を表示 (有線LANの場合)**] または [**概要を表示 (無線LANの場合)**] を選択します。
6. デバイスの説明が正しい場合、**[はい、このプリンタをインストールします]** を選択します。
7. コンピュータの再起動をメッセージに合わせて行い、インストール処理を終了します。
   ソフトウェアのインストールが完了したら、HP All-in-One の準備は完了です。
8. ファイアウォールやウィルス検出ソフトウェアを無効にしていた場合は、もう一度有効にしてください。
9. ネットワークへの接続を確認するには、お使いのコンピュータから HP All-in-One へテスト ページの印刷を行います。 詳細については、HP All-in-One に付属の 『ユーザー ガイド』 (印刷物) を参照してください。

**Mac 用の HP All-in-One ソフトウェアをインストールするには**

注記　この後の説明は、Mac コンピュータだけに適用されます。

1. 実行中の全てのアプリケーションを終了します。
2. HP All-in-One に付属の Mac 用の CD を、お使いのコンピュータ の CD-ROM ドライブに挿入します。
3. HP All-in-One の **[インストーラ]** アイコンをダブルクリックします。
4. **[認証]** 画面で、コンピュータやネットワークへのアクセスに使用される、管理者用パス フレーズ (パス フレーズ) を入力してください。
   このインストーラ ソフトウェアは HP All-in-One デバイスを検索して一覧を表示します。
5. [デバイスの選択] 画面で、HP All-in-One を選択します。
6. 画面上の指示に従って、**[設定アシスタント]** を含む全てのインストール作業を完了してください。

ソフトウェアのインストールが完了したら、HP All-in-One の準備は完了です。

7. ネットワークへの接続を確認するには、お使いのコンピュータから HP All-in-One へテスト ページの印刷を行います。 詳細については、お買い求めのデバイスに付属の『ユーザー ガイド』(印刷物) を参照してください。

## ネットワーク上の複数のコンピュータに接続する

小規模のコンピュータ ネットワーク上の複数のコンピュータに HP All-in-One を接続することができます。 HP All-in-One をネットワーク上の 1 台のコンピュータに既に接続している場合、追加するコンピュータごとに、ネットワーク接続用のソフトウェアをインストールする の説明に従って、HP All-in-One ソフトウェアをインストールする必要があります。 このソフトウェアは、ワイヤレス接続のインストール中に既存ネットワークの SSID (ネットワーク名) を自動的に検出します。 HP All-in-One のネットワーク接続を行っておけば、次回コンピュータを追加する際、再び設定を行う必要がなくなります。

注記　有線またはワイヤレス、および USB 接続のいずれでも HP All-in-One に接続できますが、 同じ HP All-in-One に有線とワイヤレスで同時に接続することはできません。

## HP All-in-One を USB 接続からネットワーク接続に切り替える

USB 接続を使用して設置した HP All-in-One は、後から変更してワイヤレス ネットワークに接続することができます。ワイヤレス ネットワークの設定方法をすでに理解している場合は、次の一般的な手順を用いてアップグレードしてください。 HP All-in-One をネットワークに接続する方法の詳細については、ワイヤレス インフラストラクチャ ネットワークの設定、ワイヤレス アドホック ネットワークの設定、または 有線ネットワークの設定 を参照してください。

注記　ワイヤレス ネットワークの性能とセキュリティを最大限に高めるため、HP All-in-One の接続にはアクセス ポイント (ワイヤレス ルーターなど) を使用するようにしてください。

**USB 接続をワイヤレス接続に変更するには**

1. HP All-in-One の背面から USB 接続ケーブルを取り外します。
2. HP All-in-One のコントロール パネルの [セットアップ] を押します。
   [セットアップ メニュー] が表示されます。
3. [ネットワーク] が強調表示されるまで ▼ を押して、次に [OK] を押します。

ネットワーク設定

[ネットワーク メニュー] が表示されます。
4. **[4]** を押します。
   [ワイヤレス設定ウィザード] が起動します。 詳細については、ワイヤレス インフラストラクチャ ネットワークへの接続 を参照してください。
5. インストール CD を実行し、ネットワーク インストールを選択します。
   詳細については、ネットワーク接続用のソフトウェアをインストールする を参照してください。
6. (Windows のみ) インストールが完了したら、**[コントロール パネル]** の **[プリンタと FAX]** を開き、USB を使用してインストールしたプリンタを削除します。

**USB 接続を有線 (Ethernet) 接続に変更するには**

1. HP All-in-One の背面から USB 接続ケーブルを取り外します。
2. HP All-in-One 背面の Ethernet ポートとルーター、スイッチ、またはアクセス ポイントの Ethernet ポートを Ethernet ケーブルで接続します。
3. インストール CD を実行し、ネットワーク インストールを選択します。
   詳細については、ネットワーク接続用のソフトウェアをインストールする を参照してください。
4. (Windows のみ) インストールが完了したら、**[コントロール パネル]** の **[プリンタと FAX]** を開き、USB を使用してインストールしたプリンタを削除します。

# ネットワーク設定の変更

次のセクションで説明する手順に従って、HP All-in-One のコントロール パネルでHP All-in-One のネットワーク設定を管理することができます。 また、埋め込み Web サーバーを使用すればより詳細なネットワーク設定を行うことができます。この Web サーバーは既存のネットワーク接続を使用して Web ブラウザからアクセスできるネットワーク構成およびステータス ツールです。 詳細については、埋め込み Web サーバーの使用 を参照してください。

## コントロール パネルから基本的なネットワーク設定を変更する

HP All-in-One のコントロール パネルではワイヤレス接続の設定や管理を行ったり、さまざまなネットワーク管理タスクを実行したりできます。 このタスクには、ネットワーク設定の表示、ネットワークのデフォルト設定の復元、ワイヤレスのオン・オフ設定、ネットワーク設定の変更などが含まれます。

### ワイヤレス設定ウィザードの使用

ワイヤレス設定ウィザードを使用すると、HP All-in-One へのワイヤレス接続を簡単に設定したり、管理したりできます。 ワイヤレス接続のセットアッ

プ方法の詳細については、ワイヤレス インフラストラクチャ ネットワークの設定 または ワイヤレス アドホック ネットワークの設定 を参照してください。

1. [セットアップ] ボタンを押します。
2. [ネットワーク] が強調表示されるまで ▼ を押して、次に [OK] を押します。
   [ネットワーク メニュー] が表示されます。
3. [4] を押します。
   [ワイヤレス設定ウィザード] が選択されます。

### ネットワーク設定の表示と印刷

ネットワーク設定の一覧を HP All-in-One のコントロール パネルに表示したり、より詳細な構成ページを印刷することができます。 [ネットワーク構成] ページには、IP アドレス、リンク速度、DNS、mDNS など、重要なネットワーク設定の一覧が表示されます。 ネットワーク設定については、ネットワーク構成ページの定義 を参照してください。

1. [セットアップ] ボタンを押します。
2. [ネットワーク] が強調表示されるまで ▼ を押して、次に [OK] を押します。
   [ネットワーク メニュー] が表示されます。
3. 次のいずれかの操作を実行します。
   – 有線ネットワーク設定を表示するには、[1] を押し、次に [2] を押します。
     [概要を表示 (有線LANの場合)] が選択され、有線 (Ethernet) ネットワーク設定の一覧が表示されます。
   – ワイヤレス ネットワーク設定を表示するには、[1] を押し、次に [3] を押します。
     [概要を表示 (無線LANの場合)] が選択され、ワイヤレス ネットワーク設定の一覧が表示されます。
   – ネットワーク構成ページを印刷するには、[1] を押し、もう一度 [1] を押します。
     [ネットワーク設定ページの印刷] が選択され、ネットワーク構成ページが印刷されます。

### ネットワークをデフォルトに戻す

ネットワーク設定を HP All-in-One 購入時の設定に戻すことができます。

注意　この場合、入力された全てのワイヤレスの設定情報が消去されます。 この情報を再度保存するには、ワイヤレス設定 ウィザードを再度実行する必要があります。

1. [セットアップ] ボタンを押します。
2. [ネットワーク] が強調表示されるまで ▼ を押して、次に [OK] を押します。
   [ネットワーク メニュー] が表示されます。
3. [2] を押し、次に [1] または [OK] を押して確定します。
   [ネットワーク デフォルトに戻す] が選択されます。

#### ワイヤレスをオンまたはオフに設定する

ワイヤレスはデフォルトでオンに設定されています。ワイヤレスがオンの場合は、HP All-in-One 前面のブルーのインジケータが点灯します。 ワイヤレス ネットワークへの接続を保つには、無線を常にオンにしておく必要があります。 しかし、HP All-in-One が有線ネットワークに接続されていたり、USB で接続されている場合は、無線は使用されません。 この場合、無線をオフにしておくことをお勧めします。

1. [セットアップ] ボタンを押します。
2. [ネットワーク] が強調表示されるまで ▼ を押して、次に [OK] を押します。
   [ネットワーク メニュー] が表示されます。
3. 無線をオンにするには、[5]、[1] の順に押し、無線をオフにするには、[2] を押します。
   [ワイヤレス] メニューが表示されたら、無線をオンまたはオフに設定します。

### コントロール パネルからネットワークの詳細設定を変更する

ネットワークを詳細に設定することができます。 ただし、ネットワーク管理に詳しくない場合は、これらの設定を変更しないでください。 詳細設定には、[リンク速度]、[IP 設定]、および [メモリ カード セキュリティ] があります。

#### リンク速度の設定

ネットワーク上でのデータ送信速度を変更することができます。 デフォルトの設定は [自動] です。

1. [セットアップ] ボタンを押します。
2. [ネットワーク] が強調表示されるまで ▼ を押して、次に [OK] を押します。
   [ネットワーク メニュー] が表示されます。
3. [3] を押し、次に [1] を押します。

[詳細設定] メニューが表示され、次に [リンク速度] 画面が表示されます。

4. リンク速度の横の、お使いのネットワーク機器と一致する番号を押します。
   – [**1. 自動**]
   – [**2. 10 Mb/sec 全二重通信**]
   – [**3. 10 Mb/sec 半二重通信**]
   – [**4. 100 Mb/sec 全二重通信**]
   – [**5. 100 Mb/sec 半二重通信**]

### IP 設定の変更

デフォルトの IP 設定は [自動] で、IP 設定を自動的に行いますが、 ネットワーク管理に詳しい場合は、IP アドレス、サブネット マスク、デフォルト ゲートウェイを手動で変更できます。 HP All-in-One の IP アドレスとサブネット マスクを確認するには、HP All-in-One からネットワーク構成ページを印刷します。 ネットワーク構成ページの印刷方法の詳細については、ネットワーク設定の表示と印刷 を参照してください。 IP アドレスやサブネット マスクなど、構成ページのアイテムの説明については、ネットワーク構成ページの定義 を参照してください。

注意　IP アドレスを手動で割り当てる場合は注意が必要です。 インストール時に無効な IP アドレスを割り当てると、各ネットワーク コンポーネントから HP All-in-One に接続できなくなります。

1. [セットアップ] ボタンを押します。
2. [ネットワーク] が強調表示されるまで ▼ を押して、次に [**OK**] を押します。
   [ネットワーク メニュー] が表示されます。
3. [**3**]、[**2**] の順に押し、もう一度 [**2**] を押します。
   [詳細設定]、[IP 設定] の順に選択され、次に [IP の手動設定] 画面が表示されます。
4. IP 設定の横にある以下の番号を押します。
   – [**1. IP アドレス**]
   – [**2. サブネットマスク**]
   – [**3. デフォルト ゲートウェイ**]
5. 変更を入力し、設定を完了したら [**OK**] を押します。

### メモリ カードまたはストレージ デバイスのセキュリティの変更

[詳細設定] メニューの [メモリ カード セキュリティ] オプションでは、HP All-in-One が **ワイヤレス** ネットワーク上のコンピュータとメモリ カード (およびその他のストレージ デバイス) のデータを共有しないように設定することができます。 ただし、この設定を行うと、お使いのコンピュータから

ネットワーク設定

メモリ カードへアクセスできなくなるため、お勧めしません。 また、この機能は Ethernet ネットワークまたは USB 接続では機能しません。 Ethernet ネットワーク上の全てのコンピュータはそのネットワークに接続されている HP All-in-One のメモリ カードにアクセスすることができます。

メモリ カードのセキュリティを確保したい場合、WEP または WPA-PSK セキュリティの使用をお勧めします。 ネットワークのセキュリティ設定を変更するには、HP All-in-One に付属の埋め込みサーバーを使用できます。 詳細については、埋め込み Web サーバーの使用 を参照してください。 また、アクセス ポイントに付属のマニュアルも合わせて参照してください。

## 埋め込み Web サーバーの使用

お使いのコンピュータをネットワーク上の HP All-in-One に接続している場合、HP All-in-One に内蔵の埋め込みサーバーを使用できます。 埋め込み Web サーバーは Web ベースのユーザ インタフェースを採用しており、ネットワーク セキュリティの詳細設定など、HP All-in-One のコントロールパネルにはないオプションがいくつかあります。 また、埋め込み Web サーバーではネットワークのステータス監視およびプリンタ サプライ品の注文なども行うことができます。

埋め込み Web サーバーで使用可能な機能の使用方法については、埋め込み Web サーバーのオンスクリーン ヘルプを参照してください。 埋め込み Web サーバーのヘルプにアクセスするには、埋め込み Web サーバーを開き、**[ホーム]** タブ上の **[他のリンク]** にある **[ヘルプ]** リンクをクリックします。

注記　埋め込み Web サーバーは、ネットワーク設定を変更しようとしても HP All-in-One コントロール パネルにアクセスできない場合、またはコントロール パネルにはない高度なオプション設定を変更するときにのみご使用ください。

### 埋め込み Web サーバーへのアクセス

埋め込み Web サーバ-には、ネットワーク上の HP All-in-One に接続したコンピュータからのみアクセスできます。

1. [セットアップ] ボタンを押します。
2. [ネットワーク] が強調表示されるまで ▼ を押して、次に [OK] を押します。
   [ネットワーク メニュー] が表示されます。
3. [1] を押し、もう一度 [1] を押します。
   [ネットワーク設定] メニューが選択され、続いて IP アドレスを含む HP All-in-One の構成ページが印刷されます。 次のステップで、IP アドレスを使用します。

4. コンピュータの Web ブラウザの **[アドレス]** ボックスに、ネットワーク構成ページに記載されている HP All-in-One の IP アドレスを入力します。 例： http://192.168.1.101 。
   HP All-in-One 情報を示す、埋め込み Web サーバーの **[ホーム]** ページが表示されます。

   注記 ブラウザでプロキシ サーバーを使用している場合は、埋め込み Web サーバーにアクセスする前に無効にしておいてください。

5. 埋め込み Web サーバーで使用されている言語を変更する必要がある場合、以下の手順に従います。
   a. **[設定]** タブをクリックします。
   b. **[設定]** ナビゲーション メニューの **[言語の選択]** をクリックします。
   c. **[言語の選択]** 一覧で、適切な言語をクリックします。
   d. **[適用]** をクリックします。
6. **[ホーム]** タブをクリックすると、プリンタとネットワークに関する情報を確認できます。また、**[ネットワーク]** タブをクリックすると、ネットワーク情報の詳細を確認したり、ネットワーク情報を変更したりできます。
7. 必要に応じて構成内容を変更します。
   詳細については、埋め込み Web サーバーのセットアップ ウィザードの使用 を参照してください。
8. 埋め込み Web サーバーを終了します。

### 埋め込み Web サーバーのセットアップ ウィザードの使用

埋め込み Web サーバーのネットワーク セットアップ ウィザードには、ネットワーク接続パラメータを設定するための直感的インタフェースが用意されています。 埋め込み Web サーバーの表示方法については、埋め込み Web サーバーへのアクセス を参照してください。

1. **[ネットワーク]** タブをクリックします。
2. **[接続]** ナビゲーション メニューの **[有線 (802.3)]** または **[ワイヤレス (802.11)]** をクリックします。
3. **[ウィザードの開始]** をクリックしてウィザードの指示に従います。

## ネットワーク構成ページの定義

構成ページには HP All-in-One のネットワーク設定が表示されます。 一般情報、802.3 有線 (Ethernet)、802.11 ワイヤレスおよび Bluetooth® などの設定があります。

ネットワーク構成ページの印刷方法については、ネットワーク設定の表示と印刷 を参照してください。 ここで説明する用語の詳細については、HP All-in-One に付属のオンスクリーン **[HP Image Zone ヘルプ]** のネットワ

ーク用語集を参照してください。 オンスクリーン **[HP Image Zone ヘルプ]** の使用方法については、オンスクリーン ヘルプを使う を参照してください。

### 全般ネットワーク設定

次の表に、ネットワーク構成ページに表示される全般ネットワーク設定について説明します。

| パラメータ | 説明 |
|---|---|
| ネットワーク状態 | HP All-in-One の状態には以下のようなものがあります。<br>● **準備完了**： HP All-in-One はデータ送受信の待機中です。<br>● **オフライン**： HP All-in-One は現在ネットワークに接続されていません。 |
| アクティブな接続の種類 | HP All-in-One のネットワーク モードを以下に示します。<br>● **有線**： HP All-in-One を Ethernet ケーブルで IEEE 802.3 ネットワークに接続します。<br>● **ワイヤレス**： HP All-in-One はワイヤレスで IEEE 802.11b または g ネットワークに接続されています。<br>● **なし**： ネットワーク接続がありません。<br>注記 1 度に使用できる接続方式は 1 方式だけです。 |
| URL | 埋め込み Web サーバーの IP アドレス。<br>注記 埋め込み Web サーバーを開くには、この URL が必要です。 |
| ファームウェア リビジョン | 内部ネットワーク接続コンポーネントおよび本体ファームウェアのバージョン コード。<br>注記 HP サポートに問い合わせると、問題にもよりますが、このファームウェア バージョン コードを問われることがあります。 |
| ホスト名 | インストール ソフトウェアがデバイスに割り振っている TCP/IP 名。 デフォルトでは、文字 HP の後に MAC (媒体アクセス制御) アドレスの最後の 6 桁が続きます。 |

(続き)

| パラメータ | 説明 |
|---|---|
| 管理者パスワード | 埋め込み Web サーバーで使用する管理者のパスワード状態。以下のような状態があります。<br>● **設定**： パスワードが指定されています。 埋め込み Web サーバーのパラメータを変更するには、パスワードの入力が必要です。<br>● **設定なし**： パスワードが設定されていません。 埋め込み Web サーバーのパラメータを変更するには、パスワードの入力は必要ありません。 |
| mDNS | Rendezvous は、中央の DNS サーバーを使用しないようなローカル ネットワークおよびアドホック ネットワークで使用されます。 Rendezvous でネーム サービスを行うには、DNS の代わりに mDNS を使用します。<br>mDNS を使用すると、LAN に接続されているすべての HP All-in-One をご使用のコンピュータから認識できます。 また、Ethernet 対応のデバイスであれば、ネットワーク上のどのコンピュータでも取り扱うことができます。 |

### 有線 (802.3) ネットワーク設定

次の表に、ネットワーク構成ページに表示される 802.3 有線設定について説明します。

| パラメータ | 説明 |
|---|---|
| ハードウェア アドレス (MAC) | HP All-in-One ごとに付けられている MAC (媒体アクセス制御) アドレス。 これは、ルーター、スイッチ、その他のデバイスなどのネットワーク ハードウェアに割り振られた 12 桁の固有の識別番号です。 同一の MAC アドレスを持つハードウェアは存在しません。<br>**注記** 取り付け時にケーブル モデムや DSL モデムに接続したネットワーク カードや LAN アダプタの MAC アドレスを登録するように求めるインターネット サービス プロバイダ (ISP) もあります。 |
| IP アドレス | ネットワーク上のデバイスを識別する固有のアドレスです。 IP アドレスは、DHCP または AutoIP から動的に割り当てられます。 静的 IP アドレスを設定することもできますが、推奨しません。 |

(続き)

| パラメータ | 説明 |
| --- | --- |
| | 注意　IP アドレスを手動で割り当てる場合は注意が必要です。 無効な IP アドレスをインストール時に割り当てると、各ネットワーク コンポーネントから HP All-in-One を参照できなくなります。 |
| サブネット マスク | サブネットはインストール ソフトウェアが割り当てる IP アドレスで、これを使うと大きなネットワークの中の一部分としてネットワークを利用できるようになります。 サブネットは、サブネット マスクで指定されます。 このマスクによって、HP All-in-One の IP アドレスを構成するビットのうちネットワークとサブネットを示す部分が決まります。また、本体自体を示すビットも決まります。<br><br>注記　サブネットを利用するすべての HP All-in-One とコンピュータに、同じサブネットを割り当てることをお奨めします。 |
| デフォルト ゲートウェイ | 他のネットワークの入り口となる、ネットワーク上のノード。 このインスタンスのノードには、コンピュータやその他機器を使用できます。<br><br>注記　デフォルト ゲートウェイのアドレスはインストール ソフトウェアが割り当てます。 |
| 構成ソース | IP アドレスを HP All-in-One に割り当てるためのプロトコル。以下のものがあります。<br>● **AutoIP**： インストール ソフトウェアによって自動的に構成パラメータが決められます。<br>● **DHCP**： 構成パラメータは、そのネットワーク上の動的ホスト構成プロトコル (DHCP) サーバーから提供されます。 小さなネットワークでは、ルーターがこれに当たります。<br>● **手動**： 静的 IP アドレスなどの構成パラメータが手動で設定されます。<br>● **指定なし**： HP All-in-One の初期化に使用するモード。 |
| DNS サーバー | ネットワークのドメイン名サービス (DNS) の IP アドレス。 Web の使用や電子メールの送信には、ドメイン名が使用されています。 たとえば、URL http://www.hp.com には、ドメイン名の hp.com が含まれています。インターネット上の DNS は、このドメイン名を IP アドレスに変換しま |

(続き)

| パラメータ | 説明 |
|---|---|
| | す。この IP アドレスを使用して、デバイス間で相互に参照が行われます。<br>● **IP アドレス**： ドメイン名サーバーの IP アドレス。<br>● **指定なし**： IP アドレスが指定されていないか、本体が初期化中です。<br><br>注記　DNS の IP アドレスがネットワーク構成ページに表示されるか確認してください。 表示されていない場合は、インターネット サービス プロバイダ (ISP) から DNS の IP アドレスを入手してください。 |
| リンク構成 | ネットワークのデータ転送速度。以下の種類があります。<br>● **10TX-Full**： 有線ネットワーク用。<br>● **10TX-Half**： 有線ネットワーク用。<br>● **100TX-Full**： 有線ネットワーク用。<br>● **100TX-Half**： 有線ネットワーク用。<br>● **なし**： ネットワーク接続は無効です。 |
| 転送されたパケットの合計 | HP All-in-One が起動してから正常に送信したパケットの数。 このカウンタは、HP All-in-One の電源をオフにするとクリアされます。 パケット交換方式ネットワークでメッセージを送信すると、メッセージはパケット単位に分けられます。 各パケットにはデータだけでなく宛先アドレスが格納されます。 |
| 受信したパケットの合計 | HP All-in-One が起動してから正常に受信したパケットの数。 このカウンタは、HP All-in-One の電源をオフにするとクリアされます。 |

### ワイヤレス (802.11) ネットワーク設定

次の表に、ネットワーク構成ページに表示される 802.11 ワイヤレス設定について説明します。

| パラメータ | 説明 |
|---|---|
| ハードウェア アドレス (MAC) | HP All-in-One ごとに付けられている MAC (媒体アクセス制御) アドレス。 これは、ワイヤレス アクセス ポイント、ルーター、その他のデバイスなどのネットワーク ハードウェアに割り振られた 12 桁の固有の識別番号です。 同一の MAC アドレスを持つハードウェアは存在しません。 |

(続き)

| パラメータ | 説明 |
| --- | --- |
| | 注記　取り付け時にケーブル モデムや DSL モデムに接続したネットワーク カードや LAN アダプタの MAC アドレスを登録するように求めるインターネット サービス プロバイダ (ISP) もあります。 |
| IP アドレス | ネットワーク上のデバイスを識別する固有のアドレスです。 IP アドレスは、DHCP または AutoIP から動的に割り当てられます。 静的 IP アドレスを設定することもできますが、推奨いたしません。<br><br>注記　無効な IP アドレスをインストール時に手動で割り当てると、各ネットワーク コンポーネントから HP All-in-One を参照できなくなります。 |
| サブネット マスク | サブネットはインストール ソフトウェアが割り当てる IP アドレスで、これを使うと大きなネットワークの中の一部分としてネットワークを利用できるようになります。 サブネットは、サブネット マスクで指定されます。 このマスクによって、HP All-in-One の IP アドレスを構成するビットのうちネットワークとサブネットを示す部分が決まります。また、本体自体を示すビットも決まります。<br><br>注記　サブネットを利用するすべての HP All-in-One とコンピュータに、同じサブネットを割り当てることをお奨めします。 |
| デフォルト ゲートウェイ | 他のネットワークの入り口となる、ネットワーク上のノード。 このインスタンスのノードには、コンピュータやその他機器を使用できます。<br><br>注記　デフォルト ゲートウェイのアドレスはインストール ソフトウェアが割り当てます。 |
| 構成ソース | IP アドレスを HP All-in-One に割り当てるためのプロトコル。以下のものがあります。<br>● **AutoIP**：インストール ソフトウェアによって自動的に構成パラメータが決められます。<br>● **DHCP**：構成パラメータは、そのネットワーク上の動的ホスト構成プロトコル (DHCP) サーバーから提供されます。 小さなネットワークでは、ルーターがこれに当たります。 |

(続き)

| パラメータ | 説明 |
| --- | --- |
| | • **手動**： 静的 IP アドレスなどの構成パラメータが手動で設定されます。<br>• **指定なし**： HP All-in-One の初期化に使用するモード。 |
| DNS サーバー | ネットワークのドメイン名サービス (DNS) の IP アドレス。 Web の使用や電子メールの送信には、ドメイン名が使用されています。 たとえば、URL http://www.hp.com には、ドメイン名の hp.com が含まれています。インターネット上の DNS は、このドメイン名を IP アドレスに変換します。この IP アドレスを使用して、デバイス間で相互に参照が行われます。<br>• **IP アドレス**： ドメイン名サーバーの IP アドレス。<br>• **指定なし**： IP アドレスが指定されていないか、本体が初期化中です。<br>注記 DNS の IP アドレスがネットワーク構成ページに表示されるか確認してください。 表示されていない場合は、インターネット サービス プロバイダ (ISP) から DNS の IP アドレスを入手してください。 |
| ワイヤレス状態 | ワイヤレス ネットワークの状態<br>• **接続**： HP All-in-One はワイヤレス LAN に接続され、動作中です。<br>• **切断**： 設定が間違っているか (不正な WEP キーなど)、HP All-in-One が通信範囲外にある、Ethernet ケーブルが差し込まれ、稼動中のネットワークに接続されている、などの理由で、HP All-in-One はワイヤレス LAN に接続されていません。<br>• **無効**： 無線がオフになっています。<br>• **適用できません**： このパラメータはこの種類のネットワークには適用されません。 |
| 接続モード | 機器やステーションがやりとりを行う IEEE 802.11 ネットワーキング フレームワーク。<br>• **インフラストラクチャ**： HP All-in-One が無線ルーターや無線基地局などの無線アクセス ポイント経由で、他のネットワーク機器とやりとりします。<br>• **アドホック**： HP All-in-One はネットワーク上の機器と直接やりとりします。 無線アクセス ポイントは使用しません。 別名ピア ツー ピア ネットワークとも呼ば |

(続き)

| パラメータ | 説明 |
|---|---|
| | れます。 Mac では、アドホック モードはコンピュータ ツー コンピュータ モードと呼ばれます。<br>● **適用できません** : このパラメータはこの種類のネットワークには適用されません。 |
| ネットワーク名 (SSID) | サービス設定 ID。 ワイヤレス LAN (WLAN) の識別に使用される 32 文字までの固有の識別子。 SSID はネットワーク名とも呼ばれます。このフィールドは、HP All-in-One が接続されているネットワークの名前を示しています。 |
| 信号強度 (1 ～ 5) | 送信信号または帰還信号は 1 段階から 5 段階に分けられます。<br>● **5** : 最高<br>● **4** : 良い<br>● **3** : 普通<br>● **2** : 悪い<br>● **1** : 最低<br>● **信号なし** : ネットワーク上に信号が検出されません。<br>● **適用できません** : このパラメータはこの種類のネットワークには適用されません。 |
| チャネル | 現在無線通信に使用しているチャネル数。 ご使用のネットワークによって異なります。また、要求されたチャネルの番号と異なる場合もあります。 値は 1 ～ 14 です。ただし、国/地域によっては認可チャネルの範囲が制限されていることがあります。<br>● **(番号)** : 1 から 14 までの値。 国/地域によって異なります。<br>● **なし** : 使用中のチャネルはありません。<br>● **適用できません** : WLAN は無効に設定されているか、この種類のネットワークには適用されません。<br><br>注記 アドホック モードを使用していて、コンピュータと HP All-in-One の間でデータを送受信できない場合は、コンピュータと HP All-in-One の通信チャネルが同じかどうかを確認してください。 インフラストラクチャ モードの場合、チャネルはアクセス ポイントを見れば分かります。 |
| 認証の種類 | 使用中の認証方式には、次の種類があります。<br>● **なし** : 使用中の認証がありません。<br>● **オープン システム** (アドホック、インフラストラクチャ両用) : 認証不要 |

(続き)

| パラメータ | 説明 |
|---|---|
| | • **共有キー** (インフラストラクチャのみ) ： WEP キーが必要です。<br>• **WPA-PSK** (インフラストラクチャのみ) ： 事前共有キーを使用する WPA 。<br>• **適用できません**： このパラメータはこの種類のネットワークには適用されません。<br><br>認証によってユーザーとデバイスの身元を確かめてからネットワークへのアクセスを認めるため、無許可のユーザーがネットワーク リソースにアクセスしにくくなります。 このセキュリティ方式は無線ネットワークによく使われています。<br><br>**オープン システム**認証を使うネットワークでは、ネットワーク ユーザーを身元に応じて選別しません。 あらゆる無線ユーザーがネットワークからアクセス可能です。 しかし、このようなネットワークでは一時的な傍受を防ぐ第 1 レベルのセキュリティとして、WEP (Wired Equivalent Privacy) 暗号化が使用されることがあります。<br><br>**共有キー**による認証を行うネットワークでは、ユーザーやデバイスに対し、静的キー (16 進数または英数字からなる文字列) を使用して本人 (本物) であることを証明するように求めるという方法で、セキュリティを高めています。 ネットワーク上のすべてのユーザーまたはデバイスは同じキーを共有します。 WEP 暗号化は、共有鍵による認証とともに使用されます。 このとき、認証と暗号化の両方に同じ鍵を使用します。<br><br>サーバー ベースの認証 (**WPA-PSK**) を行うネットワークは、セキュリティが大いに強化されます。このようなネットワークは、ほとんどのワイヤレス アクセス ポイントとワイヤレス ルーターでサポートされています。 アクセス ポイントやルーターは、ネットワークへのアクセスを求めるユーザーやデバイスの身元を検証した上で、アクセスを許可します。 認証サーバーでは、複数の異なる認証プロトコルが使用される場合があります。 |
| 暗号化 | ネットワークで使用されている暗号化方式には次のようなものがあります。<br><br>• **なし**： 使用中の暗号化方式はありません。<br>• **64-bit WEP**： 5 文字の英数字または 10 桁の 16 進数の WEP キーが使用されています。<br>• **128-bit WEP**： 13 文字の英数字または 26 桁の 16 進数の WEP キーが使用されています。 |

ネットワーク設定

| パラメータ | 説明 |
| --- | --- |
| | ● **WPA-AES**： Advanced Encryption Standard 暗号化方式が使用されています。 これはセキュリティを確保するための暗号化アルゴリズムですが、アメリカ合衆国の当局に認定されていない規格です。<br>● **WPA-TKIP**： Temporal Key Integrity Protocol の略。高度な暗号化プロトコルが使用されます。<br>● **自動**： AES または TKIP が使用されています。<br>● **適用できません**： このパラメータはこの種類のネットワークには適用されません。<br>WEP は、電波を経由するデータを暗号化することで、エンド ツー エンドの転送の場合と同様のデータ保護を実現することを目的としています。 このセキュリティ方式は無線ネットワークによく使われています。 |
| アクセス ポイントのハードウェア アドレス | HP All-in-One が接続されているネットワークにあるアクセス ポイントの、ハードウェア アドレス。 以下のような種類があります。<br>● **(MAC アドレス)**： アクセス ポイントの固有 MAC (媒体アクセス制御) ハードウェア アドレス。<br>● **適用できません**： このパラメータはこの種類のネットワークには適用されません。 |
| 送信したパケットの合計 | HP All-in-One が起動してから正常に送信したパケットの数。 このカウンタは、HP All-in-One の電源をオフにするとクリアされます。 パケット交換方式ネットワークでメッセージを送信すると、メッセージはパケット単位に分けられます。 各パケットにはデータだけでなく宛先アドレスが格納されます。 |
| 受信したパケットの合計 | HP All-in-One が起動してから正常に受信したパケットの数。 このカウンタは、HP All-in-One の電源をオフにするとクリアされます。 |

### Bluetooth 設定

次の表に、ネットワーク構成ページに表示される Bluetooth 設定について説明します。

| パラメータ | 説明 |
| --- | --- |
| デバイス アドレス | Bluetooth デバイスのハードウェア アドレス。 |

(続き)

| パラメータ | 説明 |
| --- | --- |
| デバイス名 | プリンタに割り当てられたデバイス名。プリンタを Bluetooth デバイスとして識別できます。 |
| パスキー | Bluetooth 経由で印刷するためにユーザ入力が必要な値。 |
| 表示 | 通信範囲内にある Bluetooth デバイスに対する HP All-in-One の表示/非表示を切り替えます。<br>● **すべての表示**： 範囲内のどの Bluetooth デバイスからでも、HP All-in-One を使って印刷できます。<br>● **非表示**： HP All-in-One のデバイス アドレスを記憶している Bluetooth デバイスだけが印刷できます。 |
| セキュリティ | Bluetooth で接続した HP All-in-One に設定されるセキュリティ レベル<br>● **低**： HP All-in-One はパスキーを要求しません。 範囲内のどの Bluetooth デバイスからも印刷できます。<br>● **高**： HP All-in-One は、Bluetooth デバイスが印刷ジョブを送信するのを許可する前に、パスキーを要求します。 |

# ネットワークのトラブルシューティング

このセクションでは、ネットワークの設定中に発生する問題とその対処方法について説明します。

SecureEZ Setup または Windows Connect Now Technology 使用時のワイヤレス設定に関する問題については、SecureEZ Setup または Windows Connect Now の設定エラー を参照してください。

## ワイヤレス設定 ウィザードのトラブルシューティング

このセクションでは、HP All-in-One 前面のコントロール パネルからワイヤレス設定ウィザードを使用してネットワークを設定するときに発生する問題とその対処方法について説明します。

### SSID が見えない

お使いのアクセス ポイントが自身のネットワーク名 (SSID) をブロードキャストしていません。

ワイヤレス設定ウィザードの [新規ネットワーク名 (SSID) を入力する] オプションを使用してください。詳細については、ワイヤレス インフラストラクチャ ネットワークへの接続 を参照してください。 また、アクセス ポイントに付属のユーザー ガイドを参照して、アクセス ポイントの設定も確認してください。

| SSID が見えない |
| --- |
| アクセス ポイント (インフラストラクチャ) またはコンピュータ (アドホック) が通信範囲外にあります。<br>HP All-in-One とアクセス ポイント (インフラストラクチャ) またはコンピュータ (アドホック) 間での良好な信号のやりとりを確立するには、いくつかの方法を試みる必要があります。 機器が正しく機能していると仮定して、次のような処置を個別に、あるいは組み合わせてみます。<br>● コンピュータまたはアクセス ポイントと HP All-in-One の間が離れている場合には、お互いが近づくよう移動させてください。<br>● 送信経路に金属製の障害物 (金属製の本箱や冷蔵庫など) が置いてある場合、HP All-in-One とコンピュータまたはアクセス ポイントの間の障害物を取り除いてください。<br>● コードレス電話や電子レンジなど、2.4 GHz の無線信号を発する電子機器が周辺にある場合は、無線干渉を低減するためにそれらの機器を遠ざけて置いてください。 |
| リストの末尾にSSIDが見当たりません。<br>▼ を押して、リストの末尾までスクロールしてください。 インフラストラクチャのエントリは最初に、アドホックは最後にリストされています。 |
| アクセス ポイントのファームウェアを更新する必要があります。<br>製造メーカーの Web サイトで、お使いのアクセス ポイントを対象とするファームウェアのアップデートがあるか調べます。 アクセス ポイントのファームウェアを更新します。 |
| コンピュータのワイヤレス アダプタが SSID (アドホック) をブロードキャストしていません。<br>ワイヤレス アダプタが SSID をブロードキャストしていることを確認します。 HP All-in-One からネットワーク構成ページを印刷し (ネットワーク設定の表示と印刷 を参照してください)、SSID のワイヤレス アダプタがネットワーク構成ページに表示されていることを確認します。 ワイヤレス アダプタが SSID をブロードキャストしていない場合は、コンピュータに付属のマニュアルを参照してください。 |
| コンピュータに取り付けたワイヤレス アダプタのファームウェアを更新する必要があります (アドホック)。<br>製造メーカーの Web サイトで、お使いのワイヤレス アダプタを対象とするファームウェアのアップデートがあるか調べます。 |
| アクセス ポイントの MAC フィルタ機能が有効に設定されています。<br>MAC フィルタ機能は有効にしておきますが、アクセス ポイントと HP All-in-One が通信できるように設定を変更してください。 |

(続き)

**SSID が見えない**

Ethernet ケーブルが HP All-in-One に接続されています。

Ethernet ケーブルを HP All-in-One に接続していると、無線機能はオフになります。 Ethernet ケーブルを取り外してください。

**エラー メッセージ： ネットワークに接続できません**

機器の電源がオフになっています。

インフラストラクチャ ネットワークのアクセス ポイント、またはアドホック ネットワークのコンピュータなど、ネットワークでつながれたデバイスの電源をオンにしてください。 アクセス ポイントの電源をオンにする方法については、アクセス ポイントに付属のマニュアルを参照してください。

HP All-in-One が信号を受信していません。

アクセス ポイントと HP All-in-One の距離を近づけます。 次に、HP All-in-One のワイヤレス設定ウィザードをもう一度実行します。 ワイヤレス設定ウィザードの詳細については、ワイヤレス インフラストラクチャ ネットワークの設定 を参照してください。

SSID が正しく入力されていません。

SSIDを正しく入力してください。 SSID は大文字と小文字を区別します。 SSIDの入力方法の詳細については ワイヤレス インフラストラクチャ ネットワークへの接続 を参照してください。

間違ったモード (アドホックまたはインフラストラクチャ)、またはセキュリティ タイプを入力しました。 アドホックおよびインフラストラクチャ ネットワークの詳細については、ワイヤレス インフラストラクチャ ネットワークへの接続 および ワイヤレス アドホック ネットワークの設定 を参照してください。

正しいモード、またはセキュリティ タイプを選択してください。

アクセス ポイントの MAC フィルタ機能が有効に設定されています。

MAC フィルタ機能は有効にしておきますが、アクセス ポイントと HP All-in-One が通信できるように設定を変更してください。

**エラー メッセージ： ネットワークに接続できません。 サポートされていない認証か暗号化タイプです。**

インストール ソフトウェアがサポートしていない認証プロトコルがネットワークに設定されています。

埋め込み Web サーバーにリストされた、サポートしている認証プロトコルのいずれかを使用してください。 サポートされていないプロトコル タイプ

**エラー メッセージ： ネットワークに接続できません。 サポートされていない認証か暗号化タイプです。**

は、 LEAP、PEAP、EAP-MD5、EAP-TLS、EAP-TTLS です。 詳細については、埋め込み Web サーバーの使用 を参照してください。

**エラー メッセージ： WEP キーが無効**

無効な WEP キーが入力されました。

WEP キーを知らない場合は、アクセス ポイントに付属のマニュアルを参照してください。 WEP キーはアクセス ポイント内に保存されています。 通常は、お使いのコンピュータからアクセス ポイントにログインすると、WEP キーを確認することができます。

**エラー メッセージ： パスフレーズが無効**

WPA パスフレーズが正しく入力されていません。

パスフレーズが 8 文字から 63 文字までの英数字であることを確認し、正しく入力してください。

### SecureEZ Setup または Windows Connect Now の設定エラー

このセクションでは、ワイヤレス設定ウィザードで SecureEZ Setup または Windows Connect Now Technology (Windows XP Service Pack 2) を使用してネットワークを設定するときに見られるエラー メッセージとその対処方法について説明します。

**エラー メッセージ： 接続が確立する前に、アクセス ポイントが時間切れになりました。**

アクセス ポイントの待ち時間が短いため、設定を完了する前に時間切れになりました。

設定をもう一度始めて、時間内に終わらせてください。

**エラー メッセージ： 複数の Secure Ez Setup アクセス ポイントが見つかりました。**

周辺の誰かが SecureEZ Setup を使用してデバイスを設定しています。

設定を中止して、最初からやり直してください。

### エラー メッセージ： お使いのデバイスを接続する前に、他のデバイスがアクセス ポイントに接続しようとしました。

HP All-in-One が接続可能になる前に、周辺の他のデバイスがアクセス ポイントに接続しようとしました。

設定を中止して、最初からやり直してください。

### エラー メッセージ： 低信号

アクセス ポイントが遠すぎるか、干渉が発生しています。

HP All-in-One とアクセス ポイント間での良好な信号のやりとりを確立するには、いくつかの方法を試みる必要があります。 機器が正しく機能していると仮定して、次のような処置を個別に、あるいは組み合わせてみます。

- コンピュータまたはアクセス ポイントと HP All-in-One の間が離れている場合には、お互いが近づくよう移動させてください。
- 送信経路に金属製の障害物 (金属製の本箱や冷蔵庫など) が置いてある場合、HP All-in-One とコンピュータまたはアクセス ポイントの間の障害物を取り除いてください。
- コードレス電話や電子レンジなど、2.4 GHz の無線信号を発する電子機器が周辺にある場合は、無線干渉を低減するためにそれらの機器を遠ざけて置いてください。

### エラー メッセージ： Problem with wireless settings on memory device (メモリ デバイスのワイヤレス設定に問題があります)

HP All-in-One がメモリ カードやストレージ デバイスを読み取れません。

別のストレージ デバイスに換えてみるか、ワイヤレス設定ウィザードを使用して接続してください。

## ネットワーク ソフトウェアのインストール時のトラブルシューティング

このセクションでは、ネットワークを接続したときや CD を挿入し、ソフトウェアのインストールを開始したときに発生する、ネットワーク設定関連の問題とその対処方法について説明します。

### 「システム要件エラー：TCP/IP がありません」というメッセージが表示された

ローカル エリア ネットワーク (LAN) カード (NIC) が正しく取り付けられていません。

LAN カードが正しく装着され、TCP/IP 用に設定されていることを確認します。LAN カードに付属しているマニュアルを参照してください。

### インストール中に [プリンタが検出されませんでした] という画面が表示される

ファイアウォールにより HP All-in-One がコンピュータにアクセスできません。

ファイアウォールを一時的に無効にし、HP All-in-One ソフトウェアをいったんアンインストールしてから、再インストールします。 ファイアウォール プログラムはインストールの完了後に有効に設定してください。 ファイアウォールのポップアップ メッセージが表示されたら、そのメッセージを承認または許可してください。

詳細については、ファイアウォール ソフトウェアに付属のマニュアルを参照してください。

仮想プライベート ネットワーク (VPN) により HP All-in-One がコンピュータにアクセスできません。

VPN を一時的に無効にしてから、インストールを続けてください。

注記　HP All-in-One の機能は、VPN セッションの間制限されます。

ソフトウェアは HP All-in-One の検出に失敗しました。

インストール ソフトウェアを使用し、以下の IP アドレスで HP All-in-One を指定します。

➔ **[プリンタが検出されませんでした]** という画面で、**[次へ]** をクリックし、画面の指示に従って HP All-in-One の IP アドレスを検索します。

HP All-in-One の IP アドレスを決める必要がある場合は、ネットワーク設定の表示と印刷 を参照してください。

HP All-in-One は DHCP ではなく AutoIP アドレスを割り当てられています。 これは、HP All-in-One がネットワークに正しく接続されていないことを示します。

次の点を確認してください。

- すべてのケーブルが正しくしっかりと接続されていることを確認します。
- ケーブルが正しく接続されている場合、アクセス ポイント、ルーター、ゲートウェイがアドレスを送信していない可能性があります。 この場合は、デバイスをリセットする必要があります。
- HP All-in-One が正しいネットワーク上にインストールされていることを確認します。

HP All-in-One が間違ったサブネットまたはゲートウェイに設定されています。

(続き)

### インストール中に [プリンタが検出されませんでした] という画面が表示される

ネットワーク構成ページを印刷し、ルーターと HP All-in-One が同一のサブネットとゲートウェイ上にあることを確認します。 詳細については、ネットワーク設定の表示と印刷 を参照してください。

HP All-in-One の電源が入っていません。

HP All-in-One の電源をオンにします。

(ワイヤレス) ネットワーク接続がアクティブになっていません。

ネットワーク接続がアクティブになっていることを確認してください。

**ネットワーク接続を確認するには**

1. HP All-in-One の前面にある無線 ON インジケータで、ワイヤレスがオンになっていることを確認してください。
2. ワイヤレスがオンの場合、カラー グラフィック ディスプレイのワイヤレス ネットワークのアイコンがアクティブになっており、信号強度が強いかどうかを確認します。 青のアイコンはワイヤレス ネットワークがアクティブであることを示します。 信号の線が 3 本か 4 本あれば、信号が強いことを示します。 詳細については、カラー グラフィック ディスプレイのアイコン を参照してください。
   ワイヤレス ネットワークのアイコンがアクティブになっていない場合は、すべてのケーブルが正しく接続されているか確認してください。 ケーブルまたは DSL のモデム、ゲートウェイ、ルーターの接続も確認してください。
3. インジケータ ランプが点灯していない場合は、次の手順に従います。
   a. [セットアップ] ボタンを押します。
   b. [ネットワーク] が強調表示されるまで ▼ を押して、次に [OK] を押します。
      [ネットワーク メニュー] が表示されます。
   c. [5] を押し、もう一度 [1] を押して無線をオンにします。
4. ランプが点灯しているか、またはステップ2の結果として点灯した場合は、[On] ボタンを押して HP All-in-One の電源を切り、再度同じボタンを押して電源を入れ直します。 ルーターの電源も一度切って入れ直してください。

(ワイヤレス) 無線が干渉しています。

コンピュータと HP All-in-One の間が離れている場合には、お互いが近づくよう移動させてください。 可能な場合、コンピュータとプリント サーバーの間の経路の障害を取り除き、無線による干渉を最小限にしてください。 コードレス電話や電子レンジなどのデバイスも、無線干渉の原因になることがあります。

| インストール中に [プリンタが検出されませんでした] という画面が表示される |
| --- |
| (ワイヤレス) AutoIP/DHCP がまだ実行中です。<br>ワイヤレス接続を再確立するにはしばらく時間がかかることがあります。5 分ほど待ってから、もう一度ネットワーク接続を試みてください。 |
| (ワイヤレス) 間違ったネットワークが選択されています。<br>ネットワーク構成ページを印刷し、SSID がアクセス ポイントの SSID と一致していることを確認します。 詳細については、ネットワーク設定の表示と印刷 を参照してください。 また、アクセス ポイントの SSID 名を製造元が設定したデフォルト以外の名前に変更してください。 |

# 5 原稿および用紙のセット

ここでは、ガラス板に原稿をセットしてコピー、スキャン、またはファクスを実行する方法、ジョブに最適な用紙の種類を選択する方法、メイン トレイとフォト トレイに用紙をセットする方法、および紙詰まりを防ぐ方法について説明します。

## 文書、写真、スライド、ネガをセットする

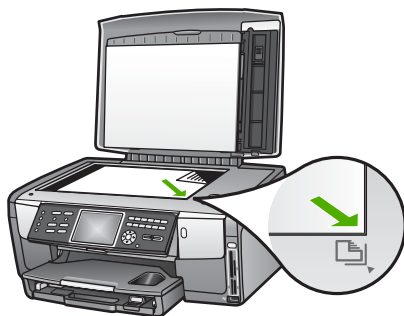
HP All-in-One には、 A4 またはレター用紙、フォト用紙、 OHP フィルム、封筒など、さまざまなサイズと種類の用紙をセットできます。 デフォルトでは、HP All-in-One は、メイン トレイにセットされた用紙のサイズと種類を自動的に検出し、その用紙に応じた最高の画質で印刷されるように設定を調整します。

### 原稿のセット

最大 30.5 cmの原稿をガラス板にセットして、コピー、スキャン、ファクスできます。 また、フォト シートをガラス板にセットして写真を印刷する場合も、同様にセットしてください。

**注記** ガラス板やカバーの裏に汚れが付着していると、多くの特殊機能が正常に機能しなくなる可能性があります。詳細については、HP All-in-One のクリーニング を参照してください。

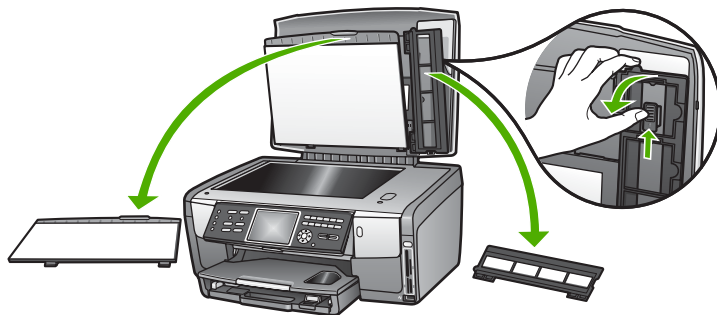
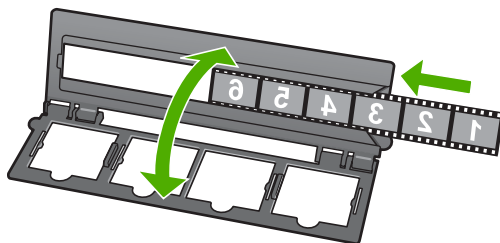
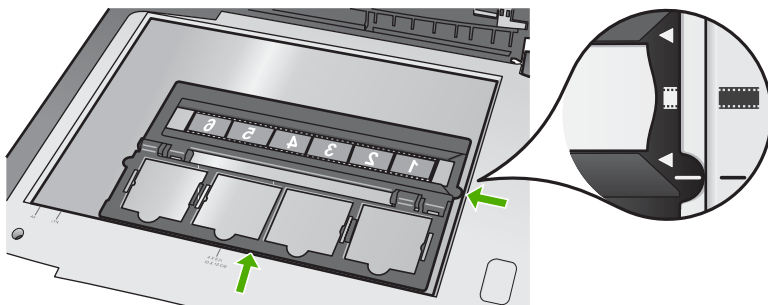
**ガラス板に原稿をセットするには**

1. カバーを上げて、原稿の印刷面を下にし、ガラス板の右下隅に合わせてセットします。 原稿をガラス板の端にぴったりと合わせてください。
   フォトシートの場合は、フォトシートの上端をガラス板の右端と下端に合わせてセットします。

2. カバーを閉じます。

### スライド/ネガフィルム ホルダに原稿をセットする

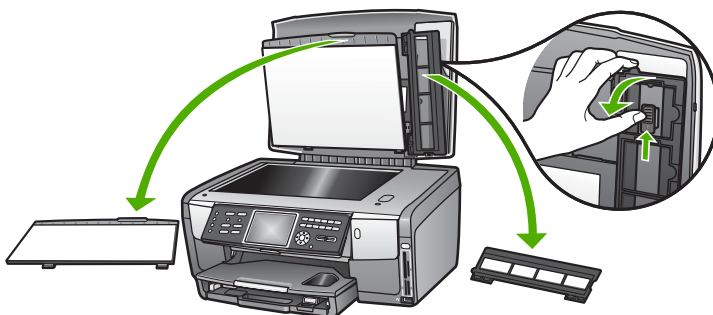
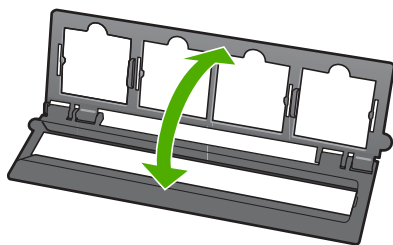
スライド/ネガフィルム ホルダを使用して HP All−in−One で 35 mm のスライドとネガをスキャンできます。

**35 mm のネガをセットするには**

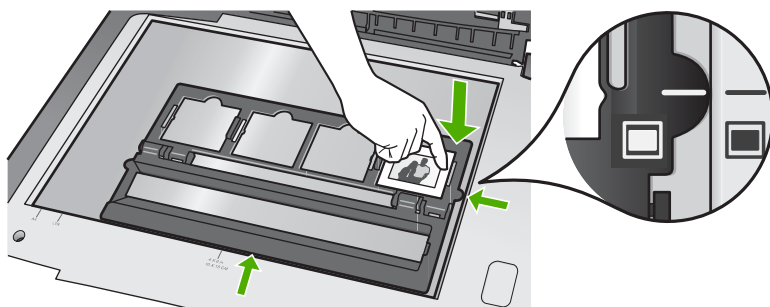
1. カバーを上げて、スライド/ネガフィルム ホルダと保護プレートを取り外します。 保護プレートは破損したり汚れたりしない場所に置いてください。

2. ホルダのネガフィルム挿入部が上、フィルム挿入口が右側にくるようにしてホルダを開きます。
3. ネガフィルムの正面を自分と反対側に向けて、ネガフィルムをホルダの中央にスライドさせます。

4. ガラス板にホルダを置き、ホルダの下端をガラス板の下端に合わせます。 次に、ホルダの上半分の右端にあるタブをガラス板の右端に合わせます。

スライドとネガフィルムのスキャン方法については、スライドまたはネガ フィルムをスキャンする を参照してください。

**35 mm のスライドをセットするには**

注記　プラスチックや厚紙でできたスライドにセットしたネガフィルムのスキャンは行えません。

1. カバーを上げて、スライド/ネガフィルム ホルダと保護プレートを取り外します。 保護プレートは破損したり汚れたりしない場所に置いてください。

2. ホルダの4 つのスライド用開口部がある部分を上にしてホルダを開きます。

3. ガラス板にホルダを置き、ホルダの下端をガラス板の下端に合わせます。 次に、ホルダの上半分の右端にあるタブをガラス板の右端に合わせます。
4. スライドの正面が下に向くようにして(裏面が上)、スライドをホルダに置きます。 カチッという音がするまでスライドをゆっくりと押し込みます。

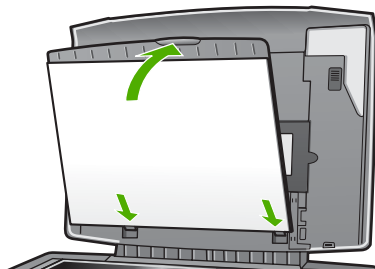
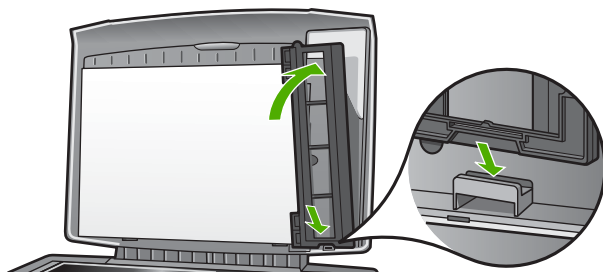
**注記** 画像を正しくスキャンするには、スライドを所定の位置にカチッとはめてください。 スライドとガラス板が密着していないと、画像がはっきりと読み込めません。

**ヒント** スライドがホルダの所定の位置にカチッとはまらない場合は、スライドを 180度 回転してみてください。 スライドの周囲に溝があったりすると、ホルダにぴったりと入らない場合があります。

スライドとネガフィルムのスキャン方法の詳細については、スライドまたはネガ フィルムをスキャンする を参照してください。

## スライド/ネガフィルム ホルダと保護プレートを取り付ける

スライドまたはネガフィルムをホルダから取り外したら、ホルダと保護プレートをカバーに取り付けます。

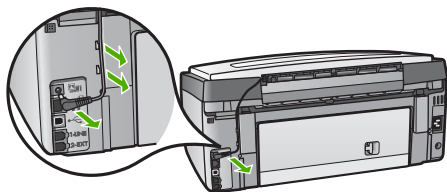
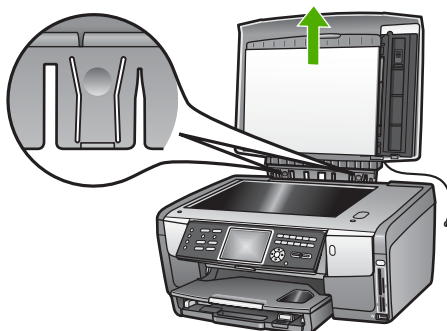
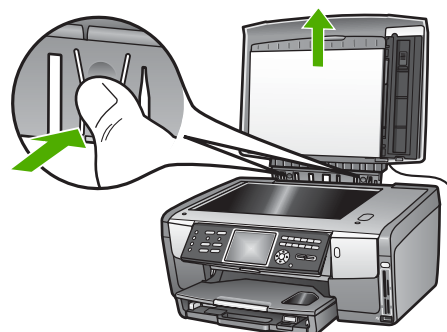
**スライド/ネガフィルム ホルダと保護プレートを取り付けるには**

1. 保護プレート下部にあるタブをカバーの下部にあるスロットにはめ込みます。
2. カチッという音がして所定の位置にはまるまで保護プレートを上に回します。

3. スライド/ネガフィルム ホルダ下部の切欠きをカバーの右下隅のタブの下にはめ込みます。
4. スプリング式の留め金を持ち上げてホルダの切欠きと合わせます。

## サイズの大きな原稿のセット

HP All-in-One からカバーを取り外すと、原稿がガラス板に収まらなくてもコピー、スキャンまたはファクスしたりできます。 HP All-in-One は、カバーを取り外した状態でも正常に機能します。

ヒント サイズの大きな原稿をコピーする場合は、原稿の上にカバーを置きます。 これによりコピー品質が向上し、インクの使用を抑えることができます。

**カバーを取り外すには**

1. 必要に応じて、スライド/ネガランプの電源コードを抜いて、HP All−in−One 背面のコードクリップからも取り外します。

2. カバーを持ち上げて開き、カバーの端をつかんで、カバーを止まるまで持ち上げます。

3. ヒンジ リリースを押して、カバーを HP All−in−One から完全に外します。

4. コピー、ファクス、スキャンを行ったあとは、ヒンジ上のタブをそれぞれ対応するスロットにはめ込んでカバーを取り付け、スライド/ネガ ランプの電源コードを接続してください。 HP All−in−One の背面のコード クリップに電源コードを取り付けます。

# 印刷およびコピー用紙の選択

HP All-in-One ではさまざまな種類とサイズの用紙を使用することができます。印刷またはコピーを美しく仕上げるために、次の推奨事項をお読みください。用紙の種類またはサイズを変更する場合、必ず設定を変更してください。

## 推奨する印刷およびコピー用紙

最高の印刷品質を得るには、印刷するプロジェクトのタイプに合わせて設計された HP 専用紙を推奨します。 たとえば、写真を印刷するには、光沢またはつや消しフォト用紙をご使用ください。 カタログやプレゼンテーションを印刷するには、その用途で専用に設計された種類の用紙を使用します。

HP 用紙の詳細については、オンスクリーンの **[HP Image Zone ヘルプ]** をご覧になるか、次の HP Web サイトを参照してください。

www.hp.com/support/inkjet_media

このサイトは現在、英語サイトとなっております。

HP All-in-One のサポートについては、次のサイトを参照してください。

japan.support.hp.com

HP 用紙のご購入については、次のサイトを参照してください。

japan.support.hp.com

## 使ってはいけない用紙

薄すぎる用紙、表面がつるつるの用紙、伸縮性のある用紙などを使用すると、紙詰まりが起こりやすくなります。表面がでこぼこの用紙やインクをはじく用紙を使用すると、印刷された画像がにじんだり、かすれたりすることがあります。

国/地域によっては、入手できない用紙もあります。

**次のような用紙は印刷に使用しないでください。**

- 切り抜きやミシン目のある用紙 (HP インクジェット デバイスで使用できるように設計されている場合を除く)。
- リネンなど、肌触りの粗い紙。 均等に印刷されないこともあり、用紙の上にインクがにじむこともあります。
- HP All-in-One で使用するように設計されていない、極端になめらかな用紙や光沢のある用紙、あるいは極端なコーティングがされている用紙。HP All-in-One に紙詰まりが起きたり、インクが定着しないことがあります。

- 複写用紙 (2 枚重ねあるいは 3 枚重ねの複写用紙など)。 しわになったり詰まったりする可能性があります。また、インクもこすれやすくなります。
- 留め具付きの封筒や窓付き封筒。 ローラに引っかかって紙詰まりの原因となる場合があります。

**次のような用紙はコピーに使用しないでください。**

- 技術情報 に記載された以外のサイズの用紙。
- 切り抜きやミシン目のある用紙 (HP インクジェット デバイスで使用できるように設計されている場合を除く)。
- 封筒。
- プレミアム OHP フィルムまたはプレミアム プラス インクジェット OHP フィルム以外の OHP フィルム。
- 複写用紙やラベル用紙。

## 給紙トレイの選択

このセクションでは、給紙トレイの選択方法について説明します。
HP All-in-One はフルサイズの用紙と小さなサイズの用紙に使用できるメイン トレイがあります。 小さなサイズの用紙専用のフォト トレイもあります。

給紙トレイは印刷やコピー中にいつでも選択できます。 デフォルトの給紙トレイはメイン トレイで、用途に応じて、フォト トレイを選択することもできます。選択するには、[コピー メニュー] と [フォト メニュー] オプションまたはコントロール パネルの [フォト トレイ] ボタンを使用します。

**写真またはコピー メニューで設定を調整したあとにフォト トレイを選択するには**

1. 必要に応じて、[フォト メニュー] または [コピー メニュー] 設定を調整します。
2. コントロール パネルの [フォト トレイ] を押して、フォト トレイを選択します。
   [フォト トレイ] ランプが点灯します。
3. [スタート - カラー] または [スタート - モノクロ] を押します。

**どの設定も調整しないで給紙トレイを選択するには**

1. コントロール パネルの [フォト トレイ] を押します。
   [機能の選択] メニューが表示されます。
2. [コピー] を選択するには [1]、[写真] を選択するには [2] を押します。
   選択したオプションに応じて、**[コピー]** メニューまたは **[写真]** メニューに **[トレイ選択]** メニュー オプションが表示されます (写真の場合は、メモリカードが必要です)。
3. ▲ または ▼ を押して使用したいトレイを選択し、[OK] を押します。

フォト トレイを選択すると、[フォト トレイ] ランプが点灯します。 メイン トレイを選択すると、フォト トレイ ランプは消灯します。

[フォト トレイ] ランプは最後にボタンが押されてから、または最後にコピーまたは印刷を行ってから 5 分間点灯し続けます。 この間に追加印刷やコピーを行えば、そのたびにフォト トレイを選択しなくても済みます。 メイン トレイを使用したい場合は、[フォト トレイ] をもう一度押して、[フォト トレイ] ランプをオフにします。

# 用紙のセット

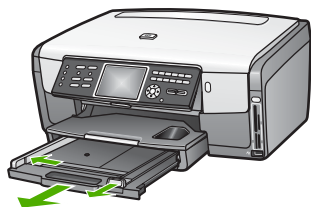
コピー、印刷、ファクスができるように、HP All-in-One にさまざまな種類およびサイズの用紙をセットする手順を説明します。

ヒント 破れたり、しわが寄ったり、波打ったり、折れたりしないように、用紙はすべて密閉可能な袋に入れ、平らな状態で保管してください。用紙を正しく保管していないと、温度や湿度の急激な変化によって用紙が波打ち、HP All-in-One でうまく利用できないことがあります。

## フルサイズ用紙のセット

HP All-in-One のメイン トレイには、A4 および 8.5 x 11 インチ フォト用紙を含む、レター、A4 サイズ、リーガル用紙など、さまざまな種類の用紙をセットできます。

### フルサイズの用紙をセットするには

1. メイン トレイを引き出し、横方向用紙ガイドと縦方向用紙ガイドを一番外側の位置までスライドさせます。

2. 用紙の端を揃え、次の点を確認します。
   – 用紙に破れ、ほこり、しわ、端の折れや波打ちがないこと
   – セットするすべての用紙が同じサイズ、同じ種類であること
3. 用紙の短いほうの辺を奥にし、印刷面を下にしてメイン トレイに挿入します。 用紙の束を奥まで差し込んでください。

   ヒント レター ヘッドを使用する場合は、ページの上側から先に入れ、印刷面を下にしてください。 フルサイズ用紙およびレター

ヘッドのセット方法については、メイン トレイの底面にある図を参照してください。

4. 横方向用紙ガイドと縦方向用紙ガイドを、用紙の端に当たって止まるまでスライドします。
   メイン トレイに用紙を入れすぎないようにしてください。 用紙の束がきちんとメイン トレイの中に収まり、横方向用紙ガイドの上端より低いことを確認してください。

5. メイン トレイを HP All−in−One に押し込んで戻します。
6. 用紙補助トレイが止まるまで手前に引き出します。 用紙補助トレイの端にあるペーパーキャッチを持ち上げ、補助トレイを完全に開きます。

**L 判/10 x 15 cm (4 x 6 インチ) フォト用紙のセット**

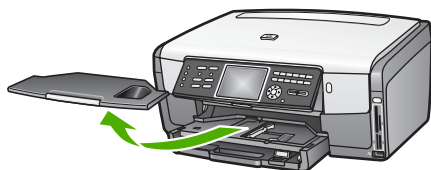
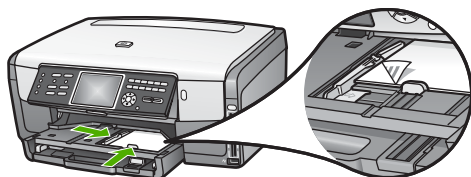
HP All−in−Oneのフォト トレイには L 判/10 x 15 cm のフォト用紙、ハガキ、ポストカード、および 10 x 15 cm 以内の小さなサイズの用紙をセットできます。 最高の印刷結果を得るには、L 判/10 x 15 cm の HP プレミアム フォト用紙、または HP プレミアム プラス フォト用紙を使用して、印刷またはコピー用途に応じた用紙の種類を設定してください。 詳細については、オンスクリーン **[HP Image Zone ヘルプ]** を参照してください。

メイン トレイには小さなサイズの用紙もセットできます。 詳細については、ポストカード、ハガキ、HP パノラマ フォト用紙 を参照してください。

ヒント　破れたり、しわが寄ったり、波打ったり、折れたりしないように、用紙はすべて密閉可能な袋に入れ、平らな状態で保管してください。用紙を正しく保管していないと、温度や湿度の急激な変化によって用紙が波打ち、HP All-in-One でうまく利用できないことがあります。

**フォト トレイに L判/10 x 15 cm (4 x 6 インチ) のフォト用紙をセットするには**

1. 排紙トレイを取り外します。

   ヒント　インク カートリッジのアクセス ドアを開けると、フォト トレイに手が届きやすくなります。

2. 短いほうの辺を奥に、**印刷面を下にして**フォト用紙の束をフォト トレイに挿入します。 フォト用紙を奥まで差し込んでください。
   お使いのフォト用紙にミシン目付きのタブがある場合は、そのタブが自分のほうに向くようにフォト用紙をセットしてください。
3. 横方向用紙ガイドと縦方向用紙ガイドが、フォト用紙の端に当たって止まるまでスライドします。
   フォト トレイに用紙を入れすぎないようにしてください。 フォト用紙の束がきちんとフォト トレイの中に収まり、横方向用紙ガイドの上端より低いことを確認してください。

4. 排紙トレイを元に戻します。
5. コントロール パネルの [フォト トレイ] を押して、フォト トレイを選択します。
   [フォト トレイ] を押すと、メニュー オプションがカラー グラフィック ディスプレイに表示されます。
6. [コピー] を選択するには [1]、[写真] を選択するには [2] を押します。

選択したオプションに応じて、[コピー メニュー] または [フォト メニュー] が表示されます。

7. 矢印を使用してフォト トレイを選択し、[OK] を押します。

### ポストカード、ハガキ、HP パノラマ フォト用紙

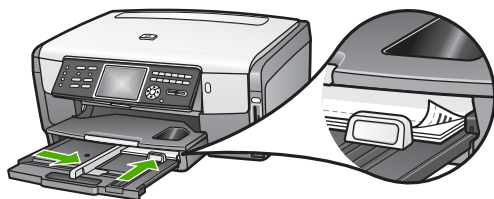
HP All-in-Oneのメイン トレイには L 判/10 x 15 cm のフォト用紙、ハガキ、ポストカード、またはパノラマ フォト用紙をセットできます。

フォト トレイには、小さなサイズの用紙(10 x 15 cm のフォト用紙、ポストカード、ハガキなど) もセットできます。 詳細については、L 判/10 x 15 cm (4 x 6 インチ) フォト用紙のセット を参照してください。

最高の印刷結果を得るには、印刷またはコピーの前に用紙の種類とサイズを設定してください。 詳細については、オンスクリーン **[HP Image Zone ヘルプ]** を参照してください。

#### メイン トレイにポストカード、ハガキ、パノラマ フォト用紙をセットするには

1. メイン トレイを最初の停止位置の外側まで引き出します。ただし、完全には取り出さないでください。
2. メイン トレイから用紙をすべて取り出し、横方向用紙ガイドと縦方向用紙ガイドを一番外側の位置までスライドさせます。

3. ポストカードまたはハガキの束を短いほうの辺を奥にし、**印刷面を下にして**メイン トレイの右端に挿入します。 カードの束を奥まで差し込んでください。
4. 横方向用紙ガイドと縦方向用紙ガイドが、カードの端に当たって止まるまでスライドします。
   メイン トレイに用紙を入れすぎないようにしてください。 カードの束がきちんとメイン トレイの中に収まり、横方向用紙ガイドの上端より低いことを確認してください。

5. メイン トレイを HP All-in-One に押し込んで戻します。

### 封筒のセット

HP All-in-One のメイン トレイには、1 枚または複数の封筒をセットすることができます。 光沢紙を使った封筒、エンボス加工された封筒、留め具付きの封筒、窓付き封筒などは使わないでください。

注記　文字を封筒に印刷するために書式設定する方法については、お使いのワープロ ソフトのヘルプ ファイルを参照してください。より美しく仕上げるために、封筒の差出人住所にはラベルの使用をおすすめします。

#### 封筒をセットするには

1. メイン トレイを最初の停止位置の外側まで引き出します。ただし、完全には取り出さないでください。
2. メイン トレイから用紙をすべて取り出します。
3. メイン トレイの右端に 1 枚または複数の封筒を入れ、封筒のふたを上に向け、ふた側を左側または奥側にしてセットします。 封筒の束を奥まで差し込んでください。

   ヒント　封筒のセット方法については、メイン トレイの底面にある図を参照してください。

4. 横方向用紙ガイドと縦方向用紙ガイドが、封筒の端に当たって止まるまでスライドします。
   メイン トレイに用紙を入れすぎないようにしてください。 封筒の束がきちんとメイン トレイの中に収まり、横方向用紙ガイドの上端より低いことを確認してください。

5. メイン トレイを HP All-in-One に押し込んで戻します。

### その他の用紙のセット

特定の種類の用紙をセットするときのガイドラインを次の表に示します。 最高の印刷結果を得るには、用紙サイズまたは用紙の種類を変更するたびに用紙設定を調整してください。 ソフトウェア アプリケーションから印刷するときに用紙設定を変更する方法、以下の用紙に関する情報は、オンスクリーンの **[HP Image Zone ヘルプ]** を参照してください。

注記　用紙の種類とサイズの中には、HP All-in-One の一部の機能が対応していないものがあります。 用紙のサイズや種類によっては、ソフトウェア アプリケーションの **[印刷]** ダイアログ ボックスから印刷を開始するとき、またはコピーを行うときにしか使用できないものがあります。 このような用紙のサイズや種類は、メモリ カード、デジタル カメラ、ストレージ デバイスの写真をファクスまたは印刷するときには使用できません。 ソフトウェア アプリケーションからの印刷のみに対応する用紙は、次の表に注記があります。

| 用紙 | ヒント |
|---|---|
| HP用紙 | **HP 高画質フォト用紙 または HP フォト用紙**<br>用紙の非印刷面に表示されている矢印を見つけ、その矢印が表示されている側を上にして用紙をメイン トレイに挿入します。 HP All-in-One のセンサーは印刷速度と品質を自動的に最適化します。<br><br>**HP プレミアム インクジェット OHP フィルム**<br>OHP フィルムの白い縦線 (矢印と HP のロゴが表示されている) が上になるように、縦線のあるほうから先にメイン トレイにフィルムを入れます。 最高の印刷結果を得るには、印刷またはコピーの前に用紙の種類を **[OHP フィルム]** に設定してください。 |

| 用紙 | ヒント |
| --- | --- |
| | 注記　正しくセットされていなかったり、他社製 OHP フィルムを使用している場合、HP All-in-One では OHP フィルムを検出できないことがあります。 |
| | **HP アイロン プリント紙**<br>アイロン プリント紙を使用する前に用紙を平らにします。 カールしたアイロンプリント紙はセットしないでください。 用紙の非印刷面に青い線があります。その線がある面を上にして、1 回に 1 枚ずつアイロン プリント紙を持ってメイン トレイに挿入します。<br>ヒント　アイロン プリント紙がカールするのを防ぐには、使う直前までアイロン プリント紙を購入時のパッケージに入れて封をしたままにしておきます。<br>この用紙は、ソフトウェア アプリケーションからの印刷にのみ対応しています。 |
| | **HP つや消しグリーティング カード、HP フォト グリーティング カード、HP テクスチャ グリーティング カード**<br>印刷面を下にして、グリーティング カード用紙の束をメイン トレイに挿入します。カードの束を奥まで差し込んでください。<br>最高の印刷結果を得るには、印刷またはコピーの前に用紙の種類を **[プレミアム フォト用紙]** に設定してください。 |
| ラベル | A4 サイズまたはレター サイズのラベル紙 (HP インクジェット ラベル紙など) で、製造日から 2 年以内のものを使用してください。 古いシートのラベルはプリンタから排出されるまでに剥がれ落ちて、紙詰まりの原因となることがあります。<br>1. ページどうしがくっつかないように、ラベルを広げます。<br>2. フルサイズの普通紙をメイン トレイにセットし、その上に印刷面を下にしたラベル シートの束をセットします。 ラベルを 1 シートずつセットすることはしないでください。<br>この用紙は、ソフトウェア アプリケーションからの印刷にのみ対応しています。 |

# 紙詰まりの防止

紙詰まりを防止するために、次のことに注意してください。

- 未使用の用紙は密閉可能な袋に平らに入れ、用紙が波打ったり、しわが寄ったりしないように保管してください。
- 排紙トレイから印刷された用紙を頻繁に取り除くようにしてください。

- 用紙をメイン トレイに平らに置き、端が折れたり破れたりしないようにセットしてください。
- メイン トレイに種類やサイズの異なる用紙を一緒にセットしないでください。 メイン トレイにセットした用紙は、すべて同じサイズと種類でなければなりません。
- 用紙がぴったり収まるように、メイン トレイの用紙ガイドを調整してください。 用紙ガイドでメイン トレイの用紙を折らないようにしてください。
- 用紙をメイン トレイの奥に入れすぎないでください。
- ご使用の HP All-in-One で推奨している用紙の種類をお使いください。 詳細については、印刷およびコピー用紙の選択 を参照してください。

紙詰まりの解消方法については、用紙のトラブルシューティング を参照してください。

# 6 写真およびビデオ機能の使用

HP All-in-One はメモリ カードやストレージ デバイスにアクセスできるため、これらに保存されている写真やビデオを印刷、保存、管理、共有することができます。 HP All-in-One にメモリカードを差し込んだり、前面の USB ポートにストレージ デバイス (USB キーチェーン ドライブなど) やデジタル カメラを接続することで、HP All-in-One はこれらに記録されているデータを読み取ります。 PictBridge モード対応デジタル カメラをプリンタ前面の USB ポートに接続して、カメラから直接写真を印刷することもできます。

この章では、HP All-in-One でメモリ カード、ストレージ デバイス、またはデジタル カメラを使用するための情報が得られます。 HP All-in-One で写真やビデオを表示、選択、編集、保存、印刷、共有する方法について、この章をよくお読みください。



## メモリ カードの挿入

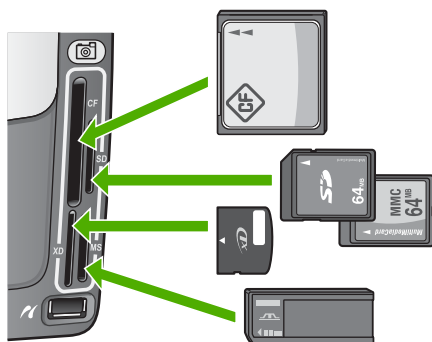
デジタル カメラで撮った写真をメモリ カードに保存している場合、そのメモリ カードを HP All-in-One に挿入し、写真を印刷したり保存したりすることができます。

注意　アクセス中はメモリ カードを絶対に取り出さないでください。カードを取り出すとカード上のファイルが損傷することがあります。フォト ランプが点滅していないときだけ、カードを安全に取り外すことができます。 メモリ カードは 1 度に 1 枚だけ挿入してください。万一差し込んでしまうと、メモリ カードのファイルが損傷することがあります。

フォト シートはメモリ カードやストレージ デバイスに保存されている写真をサムネイル で表示できます。フォトシートは印刷できますが、長さは数ページになることもあります。 HP All-in-One をコンピュータに接続していなくても、メモリ カードやストレージ デバイスの写真を印刷することができます。 詳細については、フォト シートを使用した写真の印刷 を参照してください。

HP All-in-One では、次のメモリ カードを読み取ることができます。 CompactFlash (I、II)、Memory Sticks、MultiMediaCard (MMC)、Secure Digital および xD-Picture Card。

注記　文書、写真、スライド、ネガフィルムをスキャンし、スキャンした画像を装着したメモリ カードやストレージ デバイスに送信できます。 詳細については、画像のスキャン を参照してください。

HP All−in−One には、各メモリ カードを挿入できるように 4 つのスロットが用意されています。 次の図に、各スロットと対応するメモリ カードを示します。

スロットは次のように構成されています。

- 左上のスロット -CompactFlash (I、II) 用
- 右上のスロット: Secure Digital、MultiMediaCard (MMC)、 Secure MultiMedia Card
- 左下のスロット: xD-Picture カード
- 右下のスロット -Memory Stick、Magic Gate Memory Stick、Memory Stick Duo (専用アダプタが必要)、Memory Stick Pro

**メモリ カードを挿入するには**

1. メモリ カードのラベルが左側、接点が HP All−in−One 側を向くようにメモリ カードを回転させます。
2. メモリ カードを対応するメモリ カード スロットに挿入します。

## デジタル カメラの接続

HP All−in−One は PictBridge モードをサポートしています。このモードでは、PictBridge 対応のデジタル カメラを前面の USB ポートに接続すると、カメラのメモリ カードに記録されている写真を印刷することができます。 お使いのカメラの PictBridge の対応状況については、カメラに付属のマニュアルをご覧ください。

前面の USB ポートはメモリ カード スロットの下にあります。

お使いのカメラが PictBridge モードに設定されていなかったり、PictBridge をサポートしなくても、カメラをストレージ デバイス モードで使用すれば、カメラに記録されている写真にアクセスできます。 詳細については、ストレージ デバイスの接続 を参照してください。

1. カメラに付属する USB ケーブルを使用して、HP All-in-One 前面の USB ポートにカメラを接続します。
2. カメラの電源をオンにして、PictBridge モードになっていることを確認します。

注記 USB モードを PictBridge モードに変更する方法を確認するには、カメラのマニュアルを参照してください。 PictBridge モードの説明には、カメラによって異なる用語が用いられています。 例えば、一部のカメラには **デジタル カメラ** の設定と **ディスク ドライブ** の設定があります。 このような場合、**デジタル カメラ** の設定が PictBridge モードの設定になります。

PictBridge モードのカメラを HP All-in-One に正しく接続したら、写真を印刷することができます。 HP All-in-One にセットされている用紙のサイズが、カメラの設定と一致していることを確認します。 カメラの用紙サイズ設定がデフォルトに設定されている場合、HP All-in-One では PictBridge 対応カメラからの印刷用に選択されている、デフォルトの給紙トレイに現在セットされている用紙が使用されます。 PictBridge を使用してカメラから直接印刷する方法の詳細については、カメラに付属するユーザー ガイドを参照してください。

注記 PictBridge 対応カメラから印刷するときに使用するデフォルトの給紙トレイを変更するには、[**PictBridge トレイ選択**] プリファレンスを変更します。 詳細については、オンスクリーン **[HP Image Zone ヘルプ]** を参照してください。

## ストレージ デバイスの接続

ストレージ モードに設定したキーチェーン ドライブ、ポータブル ハード ドライブ、デジタル カメラなどのストレージ デバイスは HP All-in-One 前面の USB ポートに接続できます。 前面の USB ポートはメモリ カード スロットの下にあります。

注記 ストレージ モードに設定されたデジタル カメラを前面の USB ポートに接続できます。 HP All-in-One はこのモードのカメラを普通のストレージ デバイスとして認識します。 このセクションでは、スト

レージ モードのデジタル カメラをストレージ デバイスと呼びます。 お使いのカメラが PictBridge に対応している場合は、デジタル カメラの接続 を参照してください。

USB モードをストレージ モードに変更する方法を確認するには、カメラのマニュアルを参照してください。 ストレージ モードを表すには、カメラによってさまざまな用語が用いられています。 例えば、一部のカメラには **デジタル カメラ** 設定と **ディスク ドライブ** 設定があります。 このような場合、**ディスク ドライブ** 設定がストレージ モード設定になります。

ストレージ デバイスを接続したら、ストレージ デバイスに保存されたファイルを使って以下のことが行えます。

- コンピュータにファイルを転送する
- 写真とビデオを表示する
- コントロール パネルを使用して写真とビデオを編集する
- HP All-in-One で写真を印刷する
- お友達や家族に写真やビデオを送る

注意　アクセス中はストレージ デバイスの接続を絶対に切断しないでください。 切断してしまうとストレージ デバイスのファイルが損傷するおそれがあります。 フォト ランプが点滅していないときだけ、ストレージ デバイスを安全に取り外すことができます。

# 写真とビデオの表示

HP All-in-One のカラー グラフィック ディスプレイに写真とビデオを表示することができます。 また、HP All-in-One に付属する **[HP Image Zone]** ソフトウェアを使用しても写真を表示することができます。

## HP All-in-One を使用して写真とビデオを表示する

HP All-in-One のカラー グラフィック ディスプレイに写真とビデオを表示して選択することができます。

HP All-in-One は音声付ビデオに対応しています。 音量の調整の詳細については、ビデオの表示 を参照してください。

### 写真を表示する

HP All-in-One のコントロール パネルを使用して写真を表示できます。

#### 写真を表示するには

1. メモリ カードを HP All-in-One の適切なスロットに挿入するか、またはストレージ デバイスを前面の USB ポートに接続します。
2. カラー グラフィック ディスプレイに見たい写真が表示されるまで ◀ または ▶ を押します。

ヒント ◀ または ▶ を押し続けると、すべての写真とビデオをすばやく確認することができます。

### スライドショーの表示

[フォト メニュー] の [スライド ショー] オプションを使用すると、メモリ カードやストレージ デバイスのすべての写真がスライドショーで表示されます。

#### スライドショーを表示するには

1. メモリ カードを HP All-in-One の適切なスロットに挿入するか、またはストレージ デバイスを前面の USB ポートに接続します。
2. [フォト] を押して、[フォトメニュー] を表示します。
3. [7] を押して、スライドショーを開始します。
4. スライドショーを終了するには [キャンセル] を押します。
5. [フォト] をもう一度を押して、写真の画面に戻ります。

### ビデオの表示

HP All-in-One ではビデオ ファイルを再生できます。 コントロール パネルのボタンを使用して、ビデオを再生、早送り、早戻し、停止することができます。

コントロール パネルを使用して音声付きビデオを聞くことができます。 また、ビデオの音量を調整することもできます。

ビデオが停止または一時停止しているときに、ビデオ フレームを 1 つ選択して印刷することができます。 詳細については、写真とビデオの選択 を参照してください。

注記 サイズの大きなビデオ ファイルの場合、カラー グラフィック ディスプレイにすぐに表示されない場合があります。

#### ビデオを表示するには

1. メモリ カードを HP All-in-One の適切なスロットに挿入するか、またはストレージ デバイスを前面の USB ポートに接続します。
2. [ビデオ] を押します。 メモリ カードまたはストレージデバイスに保存されている最初のビデオの最初のフレームがカラー グラフィック ディスプレイに表示されます。
3. ◀ または ▶ を押して、表示したいビデオの最初のフレームまで移動します。
   ビデオの場合、カラー グラフィック ディスプレイにビデオ アイコンがつきます。
4. [2] を押して、ビデオを再生します。
   ビデオの再生中に、以下のボタンを押すことができます。

| ボタン | 機能 |
| --- | --- |
| ⏮ | ビデオを早戻しするには、[1] を押し続けます。 ビデオ フレームを1つずつ早戻しするには、ビデオを一時停止してこのボタンを押します。 |
| ⏯ | ビデオを一時停止するには、[2] を押します。 ビデオ再生を再開するには、[2] をもう一度を押します。 |
| ⏭ | ビデオを早送りするには、[3] を押し続けます。 ビデオ フレームを1つずつ早送りするには、ビデオを一時停止してこのボタンを押します。 |
| [キャンセル] | ビデオを停止するには、[キャンセル] を押します。 |
| ▲ または ▼ | ビデオの音量を調整するには、これらのボタンを押します |

### コンピュータを使用して写真を表示する

HP All-in-One に付属する **[HP Image Zone]** ソフトウェアを使用して写真を表示および編集できます。

詳細については、オンスクリーン **[HP Image Zone ヘルプ]** を参照してください。

## 写真とビデオの選択

HP All-in-One のコントロール パネルを使用して、写真とビデオを選択できます。

### 個々の写真とビデオの選択

写真とビデオを 1 つずつ選択して、編集、印刷したり、コンピュータに保存したりすることができます。

**写真とビデオを 1 つずつ選択するには**

1. メモリ カードを HP All-in-One の適切なスロットに挿入するか、またはストレージ デバイスを前面の USB ポートに接続します。
2. ◀ または ▶ を押して、選択したい写真またはビデオ ファイルまで移動します。

ヒント ◀ または ▶ を押したままにすると、すべての写真とビデオをすばやく確認することができます。

注記 ビデオの最初のフレームがカラー グラフィック ディスプレイに表示され、フレーム下部にビデオ アイコンが表示されます。

3. [OK] を押して、カラー グラフィック ディスプレイに現在表示されている写真またはビデオを選択します。
   選択した写真またはビデオの横には、チェック マークがつきます。
4. 上の手順を繰り返して、必要な写真またはビデオをすべて選択します。

## すべての写真とビデオの選択

コントロール パネルからメモリ カードやストレージ デバイス上の写真やビデオをすべて選択することができます。

### すべての写真とビデオを選択するには

1. メモリ カードを HP All-in-One の適切なスロットに挿入するか、またはストレージ デバイスを前面の USB ポートに接続します。
2. [フォト選択] ボタンを押します。

3. [OK] を押します。 メモリ カードやストレージ デバイスに記録されている最初の写真が選択されます。

   注記 メモリ カードやストレージ デバイス上の写真にはそれぞれ HP All-in-One によって番号が割り当てられています。 この写真番号は、カラー グラフィック ディスプレイで写真の右下隅に表示されます。 スラッシュ ([/]) の左側の数字が写真の番号で、 スラッシュの右側の数字がメモリ カードやストレージ デバイスに記録された写真の合計枚数を示します。

4. [OK] をもう一度押します。 メモリ カードやストレージ デバイスに記録されている最後の写真が選択されます。
   選択した写真とビデオの横には、チェック マークがつきます。

## ある範囲の写真またはビデオの選択

コントロール パネルからメモリ カードやストレージ デバイス上のある範囲内の写真やビデオを選択することができます。

**ある範囲の写真またはビデオを選択するには**

1. メモリ カードを HP All-in-One の適切なスロットに挿入するか、または ストレージ デバイスを前面の USB ポートに接続します。
2. [フォト選択] ボタンを押します。

3. キーパッドを使用して、選択したい最初の写真の番号を入力するか、◀ または ▶ を押して、選択したい番号まで移動します。

注記　メモリ カードやストレージ デバイス上の写真にはそれぞれ HP All-in-One によって番号が割り当てられています。 この写真番号は、カラー グラフィック ディスプレイで写真の右下隅に表示されます。 スラッシュ ([/]) の左側の数字が写真の番号で、 スラッシュの右側の数字がメモリ カードやストレージ デバイスに記録された写真の合計枚数を示します。

4. [OK] を押します。
5. キーパッドを使用して、選択したい最後の写真の番号を入力するか、◀ または ▶ を押して、選択したい番号まで移動します。
6. [OK] を押します。
   指定した範囲内の写真がすべて選択されます。 選択した写真とビデオの横には、チェック マークがつきます。

## 1 つのビデオ フレームの選択

コントロール パネルで、メモリ カードやストレージ デバイスに記録されているビデオ フレームを 1 つずつ選択して印刷することができます。

**1つのビデオ フレームを選択するには**

1. メモリ カードを HP All-in-One の適切なスロットに挿入するか、または ストレージ デバイスを前面の USB ポートに接続します。
2. ◀ または ▶ を押して、選択したいビデオ ファイルまで移動します。
3. [2] を押します。
   ビデオの再生が始まります。
4. 印刷したいフレームに近づいたら、[2] をもう一度押して、ビデオを一時停止します。
5. 次のいずれかを実行してください。
   – カラー グラフィック ディスプレイに印刷したいフレームが表示されるまで [1] を押して、ビデオ フレームを 1 つずつ逆戻しします。
   – カラー グラフィック ディスプレイに印刷したいフレームが表示されるまで [3] を押して、ビデオ フレームを 1 つずつ先送りします。
6. [OK] を押します。

選択したビデオ フレームの横には、チェック マークがつきます。

注記　ビデオ フレームは 10 個まで選択できます。

### 写真とビデオの選択解除

メモリ カードやストレージ デバイスの写真とビデオを 1 つずつ選択解除したり、一度に選択解除することができます。

➔ 次のいずれかを実行してください。
- カラー グラフィック ディスプレイに現在表示されている写真またはビデオの選択を解除するには、[OK] を押します。
- **すべての**写真とビデオを選択解除して、アイドル画面に戻るには、[キャンセル] を押します。

## 写真の編集

HP All-in-One には、カラー グラフィック ディスプレイに表示中の画像に適用できる、基本的な編集機能が搭載されています。 この編集機能には、明度調整、特殊カラー効果、トリミング、回転などがあります。

コントロール パネルを使用した写真の編集方法については、オンスクリーン **[HP Image Zone ヘルプ]** を参照してください。

注記　印刷前に選択したビデオ フレームを補正することができます。 詳細については、写真の印刷オプションの設定 を参照してください。

**[HP Image Zone]** ソフトウェアを使用して、画像の表示や編集を行うこともできます。 画像を印刷したり、家族や友人に画像付きの電子メールを送ったり、Web サイトに画像をアップロードしたり、画像を娯楽やクリエイティブな印刷用途に使うこともできます。 **[HP Image Zone]** ソフトウェアを使うと可能性がさらに広がります。 HP All-in-One の機能を十分に活用するには、ソフトウェアをいろいろと使ってみてください。 **[HP Image Zone]** ソフトウェアを使用した写真の編集方法については、オンスクリーン **[HP Image Zone ヘルプ]** を参照してください。

## コントロール パネルから写真とビデオを印刷する

コントロール パネルを使用して、メモリ カードやストレージ デバイスから写真を印刷できます。 PictBridge 対応のカメラからは写真を直接印刷することもできます。 詳細については、デジタル カメラの接続 を参照してください。

メモリ カードの挿入方法については、メモリ カードの挿入 を参照してください。 ストレージ デバイスの接続方法については、ストレージ デバイスの接続 を参照してください。

このセクションでは、一般的な印刷タスクに関する情報について説明します。 オンスクリーン **[HP Image Zone ヘルプ]** には、次のように特殊な写真印刷に関する情報が記載されています。

- カメラで指定した写真 (DPOF) の印刷
- ビデオ アクション（動画）写真の印刷
- パノラマ写真の印刷
- パスポート写真の印刷

これらの機能の詳細については、オンスクリーン **[HP Image Zone ヘルプ]** を参照してください。

注記　写真とビデオを印刷する場合、最適な印刷を行うために、写真の印刷オプションが自動的に選択されます。 これらのオプションは、[印刷オプション] メニューで変更できます。 詳細については、写真の印刷オプションの設定 を参照してください。

**[HP Image Zone]** ソフトウェアを使用すると、単なる写真の印刷以上のことができます。 このソフトウェアを使用すると、アイロン プリント紙、ポスター、バナー、ステッカーなどのクリエイティブなプロジェクトで写真を使用することができます。 詳細については、オンスクリーン **[HP Image Zone ヘルプ]** を参照してください。



## 簡単プリントウィザードの使用

[簡単プリントウィザード] を使用すれば、最もよく使われる写真印刷オプションからお好きな設定を選択することができます。 [簡単プリントウィザード] を使用して写真印刷オプションを選択すると、写真は自動的に印刷されます。

### 簡単プリントウィザードを使用するには

1. メモリ カードを HP All-in-One の適切なスロットに挿入するか、またはストレージ デバイスを前面の USB ポートに接続します。
   [フォト] ボタンが点灯します。
2. カラー グラフィック ディスプレイに印刷したい写真やビデオが表示されるまで ◀ または ▶ を押し、次に [OK] を押します。
   印刷したい写真がすべて選択されるまでこのステップを繰り返します。
3. [フォト] を押して、[フォト メニュー] を表示します。
4. [1] を押して [簡単プリントウィザード] を選択します。
   [レイアウト] メニューが表示されます。
5. 選択したい [レイアウト] オプションの横にある番号を押します。
   [トレイ選択] メニューが表示されます。
6. [メイン トレイ] を選択するには [1]、[フォト トレイ] を選択するには [2] を押します。

[印刷できます] というメッセージが表示されます。

7. 給紙トレイに印刷面を下にして用紙がセットされていることを確認したら、[OK] を押して、選択しておいたオプションを使用して写真を印刷します。

## 選択した写真とビデオの印刷

フォト シートを使用しないで、コントロール パネルから直接写真やビデオ フレームを印刷することができます。

注記　ビデオ ファイルを選択した場合、印刷したいビデオ フレームを個別に選択しないとビデオの最初のフレームだけが印刷されます。 詳細については、写真とビデオの選択 を参照してください。

1. メモリ カードを HP All-in-One の適切なスロットに挿入するか、またはストレージ デバイスを前面の USB ポートに接続します。
   [フォト] ボタンが点灯します。
2. ◀ または ▶ を押すと、次の写真を表示するか前の写真に戻ります。写真は 1 枚ずつ表示されます。 ◀ または ▶ を押し続けると、さらに早く写真を表示できます。
3. カラー グラフィック ディスプレイに印刷したい写真が表示されたら、[OK] を押します。 選択した写真の横には、チェック マークがつきます。
4. [フォト] を押して [フォトメニュー] を表示し、写真の印刷オプションに必要な変更を加えます。
5. [スタート - モノクロ] または [スタート - カラー] を押して、選択した写真を印刷します。
6. [フォト] をもう一度を押して、写真の画面に戻ります。

## トリミングした写真の印刷

コントロール パネルのズーム機能を使用して印刷する写真をトリミングできます。 カラー グラフィック ディスプレイの画像で、写真の印刷時のイメージを確認できます。

注記　トリミングした内容は元の写真には保存されません。 写真は印刷後に元のサイズに戻ります。

### トリミングした写真を印刷するには

1. カラー グラフィック ディスプレイに写真を表示します。
   詳細については、写真を表示する を参照してください。
2. 写真をズームインまたはズームアウトして、異なるサイズで写真を表示するには、[ズーム] ボタン ([4] または [5]) を押します。

3. 矢印ボタンを使用して表示中の画像を動かし、大体の印刷範囲を確認します。
4. 写真を選択して、印刷用のズーム設定を維持しながら、ズーム モードを終了するには、[OK] を押します。
   選択した写真の横には、チェック マークがつきます。
5. [スタート - カラー] または [スタート - モノクロ] を押して、選択した写真を印刷します。



## フォト シートを使用した写真の印刷

フォト シートを使うと、コンピュータを使わずに直接メモリ カードやストレージ デバイスから写真を選択して印刷を行うことができて便利です。 フォト シートにはメモリ カードに保存されている写真のサムネイル ビューが表示され、長さは数ページになることもあります。 各サムネイルにはファイル名、インデックス番号、日付が表示されています。 フォト シートは、写真の簡単なカタログ作成にも利用できます。

**注記 1**　メモリ カードまたはストレージデバイスに保存されているビデオがある場合、ビデオの最初のフレームだけがフォト シートに印刷されます。

**注記 2**　PictBridge モードではカメラに保存されたフォト シートを印刷できません。 印刷するには、カメラをストレージ モードに設定しておく必要があります。 詳細については、ストレージ デバイスの接続 を参照してください。

フォトシートからの写真の印刷は、3 つのステップで実行されます。 フォト シートの印刷、フォト シートの記入、フォト シートのスキャンです。

### フォト シートの印刷

フォト シートから写真を印刷するための最初のステップは、HP All-in-One からのフォト シートの印刷です。

1. メモリ カードを HP All-in-One の適切なスロットに挿入するか、またはストレージ デバイスを前面の USB ポートに接続します。
2. [フォト シート] を押し、次に [1] を押します。
   これで [フォト シート メニュー] が表示され、[フォト シートの印刷] が選択されます。

   **注記**　メモリ カード内の写真枚数によって、フォト シートの印刷にかかる時間は異なります。

3. 20 枚以上の写真がカードに入っている場合、[写真の選択] メニューが表示されます。 コマンドを選び、その番号を押します。
   – [**1. すべて**]
   – [**2. 最後の 20 枚**]
   – [**3. カスタム範囲**]

   
   注記　カスタム範囲内で、印刷したい写真の番号を選択します。この番号は、デジタル カメラで写真に付けられた番号とは異なります。 写真の番号は、カラー グラフィック ディスプレイに表示されている写真の一番下にあります。

   ビデオを選択した場合、ビデオの最初のフレームだけがフォト シートに印刷されます。
4. [カスタム範囲] を選択した場合、印刷したい写真の最初と最後の写真の番号を入力し、[**OK**] を押します。

   注記　戻る記号の ◀ を押すことで写真の番号を消去できます。

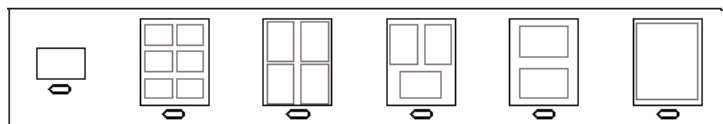
5. フォト シートに記入します。 詳細については、フォト シートの記入 を参照してください。

**フォト シートの記入**

フォト シートを印刷したら、印刷する写真を選択します。

1. フォト シートのサムネイル画像の下にある円を黒いペンか鉛筆で塗りつぶして、印刷する写真を選択します。

   注記　フォト シートでビデオを選択した場合、ビデオの最初のフレームだけが印刷されます。

2. フォト シートの ステップ 2 から 円を塗りつぶして、レイアウト スタイルを 1 つだけ選択します。

   注記　フォト シートでできる印刷設定よりも、詳細な設定が必要な場合は、コントロール パネルから写真を直接印刷してください。 詳細については、コントロール パネルから写真とビデオを印刷する を参照してください。

3. フォト シートをスキャンします。 詳細については、フォト シートのスキャン を参照してください。

**フォト シートのスキャン**

フォト シートから写真を印刷する最後のステップは、スキャナのガラス板にセットした記入済みフォト シートのスキャンです。

1. フォトシートの印刷面を下にして、ガラス板の右下隅に合わせてセットします。 フォトシートの短辺と長辺が、ガラス板の右端と前端に揃っていることを確認します。 カバーを閉じます。
2. メイン トレイまたはフォト トレイにフォト用紙をセットします。 フォト シートのスキャン中は、そのフォト シートの印刷に使用したメモリ カードまたはストレージ デバイスが HP All-in-One に挿入されているか、接続されていることを確認してください。
3. [フォト シート] を押し、次に [2] を押します。
   [フォト シート メニュー] が表示され、[フォト シートのスキャン] が選択されます。
   HP All-in-One でフォト シートがスキャンされて、選択した写真が印刷されます。



## 写真の印刷オプションの設定

[印刷オプション] メニューからは、枚数や用紙の種類などの写真の印刷方法について、さまざまな設定ができます。デフォルトの単位とサイズは、国/地域によって異なります。

1. メモリ カードを HP All-in-One の適切なスロットに挿入するか、またはストレージ デバイスを前面の USB ポートに接続します。
2. [フォト] を押します。
   [フォト メニュー] が表示されます。
3. [2] を押して [印刷オプション] メニューにアクセスし、変更したい設定の横の番号を押します。

   注記 写真印刷オプションの詳細については、オンスクリーン **[HP Image Zone ヘルプ]**を参照してください。

4. 設定を変更してから [OK] を押します。
5. [フォト] をもう一度を押して、写真の画面に戻ります。

## コンピュータに写真を保存する

デジタル カメラで写真を撮った後、すぐに印刷することも、コンピュータに保存することもできます。 写真をコンピュータに保存するには、メモリ カードをカメラから取り出して、HP All-in-One の適切なメモリ カード スロットに挿入します。 また、カメラをストレージ モードに設定してデバイス前面の USB ポートに接続し、写真をコンピュータに保存することもできます。

ストレージ モードに設定したデジタル カメラを接続する方法については、ストレージ デバイスの接続 を参照してください。 メモリ カードの挿入方法については、メモリ カードの挿入 を参照してください。

注記 HP All-in-One で一度に使用できるメモリ カードは 1 つだけです。 メモリ カードとストレージ デバイスまたは PictBridge 対応カメラを同時に使用することはできません。

1. メモリ カードを HP All-in-One の適切なスロットに挿入するか、またはストレージ デバイスを前面の USB ポートに接続します。
   ファイルのアクセス中は、フォト ランプが点滅します。

   注意 アクセス中はメモリ カードを絶対に取り出さないでください。 カードを取り出すとカード上のファイルが損傷することがあります。 フォト ランプが点滅していないときだけ、カードを安全に取り外すことができます。

2. 次のいずれかを実行してください。
   – HP All-in-One が USB ケーブルでコンピュータに直接接続されている場合、転送を示すダイアログがコンピュータに表示されます。 コンピュータの画面に表示される指示にしたがって、コンピュータに写真を保存します。
     転送ソフトウェアのダイアログ ボックスの詳細については、ソフトウェアに付属のオンスクリーン **[HP Image Zone ヘルプ]** を参照してください。
   – HP All-in-One がネットワーク上にある場合、[フォト] を押して [フォト メニュー] を表示し、[5] を押して [コンピュータへ転送] を選択します。次に、表示された一覧からお使いのコンピュータを選択します。 転送オプションを選択するには、コンピュータの画面に戻り、画面に表示される指示にしたがってください。

   画面の指示どおりに操作すると、写真はメモリカードまたはストレージデバイスからお使いのコンピュータに保存されます。
   – **Windows の場合**：デフォルトでは、ファイルはその写真を撮った月と年のフォルダに保存されます。Windows XP および Windows 2000 の場合、**C:\Documents and Settings\ユーザー名\My Documents\My Pictures** フォルダに作成されます。
   – **Mac の場合**： デフォルトでは、ファイルはコンピュータの **Hard Drive:Users:ユーザー名:Pictures:HP Photos** フォルダに保存されます。

3. メモリ カードの読み取りが終わると、フォト ランプは点滅から点灯した状態になります。 最初の写真がカラー グラフィック ディスプレイに表示されます。
   写真を見るには、◀ または ▶ を押して、1 枚ずつ順に (逆に) 表示させます。 ◀ または ▶ を押し続けると、前の写真または次の写真をさらに早く表示できます。

## 友達や家族と写真を共有する

HP Instant Share のオンライン サービスを使えば、ご家族やお友達と写真を簡単に共有することができます。HP Instant Share では、電子メールで写真を送ったり、オンライン フォト アルバムまたはフォト プリント サービスに写真をアップロードしたり、ネットワークに接続した別の HP All-in-One に写真を送ってそこから印刷することも可能です。

**注記** ここで説明するサービスの内容は、国/地域によって異なります。 一部のサービスは、国/地域によってはご利用になれない場合があります。

ネットワークに接続した HP All-in-One のコントロール パネルから利用できる HP Instant Share の機能を十分に活用するには、HP All-in-One で HP Instant Share をセットアップする必要があります。 HP Instant Share のセットアップ方法については、オンスクリーン **[HP Image Zone ヘルプ]**を参照してください。

# 7　友達や家族と画像を共有する

HP Instant Share オンライン サービスを使えば、ご家族やお友達と画像を簡単に共有することができます。HP Instant Share ではご家族やお友達に画像を送ったり、HP All-in-One をネットワークに接続して HP Instant Share に登録していれば、他の人から届いた画像を表示したり、印刷したりすることもできます。

ネットワークに接続した HP All-in-One のコントロール パネルで利用できる HP Instant Share の機能を十分に活用するには、HP All-in-One で HP Instant Share をセットアップする必要があります。 **[HP Image Zone]** ソフトウェアをインストールしたら、ネットワークに接続した HP All-in-One の コントロール パネルにある [**HP Instant Share**] ボタンを押して、接続先のコンピュータ上でセットアップ ウィザードを開始します。 HP All-in-One で HP Instant Share をセットアップする方法および本章で説明する機能の使用方法については、オンスクリーン **[HP Image Zone ヘルプ]** を参照してください。 **[HP Image Zone ヘルプ]** の詳細については、オンスクリーン ヘルプを使う を参照してください。

## 画像を他の人に送信する

HP Instant Share オンライン サービスを使えば、ご家族やお友達と画像を簡単に共有することができます。HP Instant Share では画像のサムネイルをご家族やお友達に電子メールで送ることができます。 メールを受け取った相手は、好きなときに HP Instant Share サーバーにアクセスして、フルサイズの画像を閲覧できます。サーバーで閲覧できるため、メールに添付された大きなサイズの画像をダウンロードしなくて済みます。

ヒント　HP Instant Share を使用すると、送信相手がファクス機を利用できない場合も、ファクス機のように文書を送信することができます。 ファクス機を使う代わりに、ガラス板に置いた文書をスキャンし、スキャンしたデータを HP Instant Share を使用して相手のメール アドレスに送ってください。

お友達やご家族がネットワークに接続した HP デバイスをお持ちで、HP Instant Share を登録している場合は、その人たちの HP デバイスに画像を直接送り、そこから印刷することもできます。 さらに、画像をオンライン フォト アルバムにアップロードしたり、フォト プリント サービスを利用して、高画質プリントを注文することも可能です。

注記　ここで説明するサービスの内容は、国/地域によって異なります。 一部のサービスは、国/地域によってはご利用になれない場合があります。

**画像を送信するには**

➔ HP All-in-One のコントロール パネルの [**HP Instant Share**] ボタンを押して HP Instant Share を起動します。 画面上の指示に従って操作してください。

## 他の人から画像を受信する

HP All-in-One をネットワークに接続して HP Instant Share に登録していれば、他の HP Instant Share ユーザーからお使いの HP All-in-One に直接画像を送信することができます。 画像受信用に設定しておいた権限に応じて、画像は印刷前に確認するためにサーバーに保存されるか、受信時に自動的に印刷されます。

他の人から画像を受信して印刷するほかに、お好きな画像のコレクションを別の送り先に送信したり、それらを HP All-in-One に挿入したメモリ カードやストレージ デバイスに保存することもできます。

**これらの機能を使用するには**

➔ HP All-in-One のコントロール パネルの [**HP Instant Share**] ボタンを押して HP Instant Share を起動します。 画面上の指示に従って操作してください。

注記 HP All-in-One が USB ケーブルで直接コンピュータに接続されている場合、ユーザーは画像をこの HP All-in-One に直接送信できません。 この場合、このセクションで説明する内容は該当しませんが、ただし、HP Instant Share を使用して画像をメール メッセージとして送信することができます。

### 印刷前に画像を確認する

HP Instant Share セットアップ時に選択した設定と権限に応じて、受信する画像をサーバーに保存しておいて、印刷前に確認することができます。 [**自動チェック**] をオンにしておけば、誰かが画像を送ってきていないかどうか HP All-in-One は HP Instant Share サーバーを自動的にチェックします。HP Instant Share サーバーに画像が新しくアップロードされている場合は、カラー グラフィック ディスプレイ下部の HP Instant Share アイコンが青く点灯します。

HP Instant Share アイコンの詳細については、カラー グラフィック ディスプレイのアイコン を参照してください。

### 写真を確認しないで印刷する

HP Instant Share セットアップ時に選択した設定と権限に応じて、HP All-in-One には受信した画像コレクションの画像を自動的に印刷することができます。 この機能を有効にするには、次の手順を実行します。

- HP Instant Share で [**自動チェック**] をオンにします。
- 一人または複数の HP Instant Share ユーザーに、お使いの HP All-in-One に画像を直接送って自動印刷できる権限を与えます。

これらの 2 つの条件に当てはまる場合に、HP All-in-One は承認したユーザーから受信した画像を自動的に印刷します。

### 受信した画像コレクションの転送

受信した画像コレクションを別の共有用送り先に転送することができます。 これにより、受信した画像を家族のほかのメンバーやお友達と共有したり、画像をオンライン フォト アルバムにアップロードしたり、オンラインのフォト プリント サービスに画像を送って高画質プリントを注文したりすることができます。

**注記** ここで説明するサービスの内容は、国/地域によって異なります。 一部のサービスは、国/地域によってはご利用になれない場合があります。

### メモリ カードまたはストレージ デバイスに受信した画像を保存する

他の人から画像を受信して印刷するほかに、お好きな画像コレクションを HP All-in-One に挿入したメモリ カードやストレージ デバイスに保存することもできます。 これにより、画像の保存期限が過ぎて HP Instant Share サーバーから画像が削除されたあとでも、その画像のコピーを保持することができます (画像コレクションの保存が切れるまでの日数は変更される場合があります。 最新の情報については、HP Webサイトにある HP Instant Share サービス条件を参照してください)。

## 遠隔地から HP All-in-One に印刷する

HP Instant Share アカウントを利用して、ネットワークに接続して HP Instant Share に登録してある HP デバイスに Windows コンピュータから印刷することができます。 たとえば、HP リモート プリンタ ドライバを使用することで、喫茶店でノートパソコンを操作しながら、ネットワークに接続した自宅の HP All-in-One に印刷できるようになります。 また、プリンタを持たないお友達や親戚の方々でも、HP リモート プリンタ ドライバを自分のコンピュータにダウンロードして、許可を得れば、そこからこの HP All-in-One に印刷することもできます。

HP リモート プリンタ ドライバは、HP All-in-One 用ソフトウェアをインストールした Windows コンピュータにインストールされます。 ノートブック

など、別の Windows コンピュータに HP リモート プリンタ ドライバをインストールする場合は、HP All-in-One に付属の **[HP Image Zone]** ソフトウェアをインストールします。

➔ HP リモート プリンタ ドライバをインストールしたら、ソフトウェア アプリケーションの **[ファイル]** メニュー の **[印刷]** を選択し、使用プリンタとして **[HP リモート プリンタ]** を選択することで、離れた場所から HP All-in-One に印刷することができます。

## HP Instant Share の構成

ここで説明するオプションを使用して、HP Instant Share の動作をカスタマイズすることができます。 これらの設定の詳細については、オンスクリーン **[HP Image Zone ヘルプ]** を参照してください。

1. コントロール パネルの [**セットアップ**] を押します。
2. ▼ を押して [**HP Instant Share オプション**] を強調表示し、次に [**OK**] を押します。
   [**HP Instant Share のオプション**] メニューが表示されます。 このメニューには HP Instant Share の動作を設定する次のようなオプションがあります。

| | |
|---|---|
| [**アカウントを管理**] | コンピュータの **[HP Instant Share]** ソフトウェアが起動するので、ログインし、共有用送り先の追加、特定の個人から画像を受信する際のプリファレンスの設定など、詳細設定を行います。 |
| [**デバイス名を表示**] | HP Instant Share にデバイスを登録した際に HP All-in-One に割り当てられた名前を表示します。 他の HP Instant Share ユーザーから直接画像を HP All-in-One に送信してもらう場合は、この名前を相手に知らせる必要があります。 |
| [**受信オプション**] | 画像を受信するときのモードを [**プライベート**] または [**開く**] のどちらかに設定します。<br>– [**プライベート**] モードでは、HP All-in-One は承認したユーザーの画像だけを受信します。<br>– [**開く**] モードでは、HP All-in-One のデバイス名を知っている HP Instant Share ユーザーなら誰でも HP All-in-One に画像を送信できます。 |
| [**デフォルト印刷サイズ**] | 受信する画像をどのサイズで印刷するかを指定できます (画像サイズがプリセットされていない場合)。 |

画像の共有

| | |
|---|---|
| | 画像 を 10 x 15 cm などの指定サイズで印刷したり、メイン トレイにセットした用紙のサイズに合わせて印刷するように設定できます。 |
| [自動チェック] | 受信画像がないかどうか HP Instant Share サーバを自動的にチェックするように HP All-in-One を設定します。<br><br>ヒント　休暇などで留守にし、プリンタが用紙切れの場合に用紙を追加できないようなときは、この設定をオフにしておいてください。 [自動チェック] を [オフ] に設定しても、[HP Instant Share] ボタンを押して [受信] を選択することで受信画像をいつでもチェックできます。 |
| [コレクションを削除] | [受信] メニューから受信した画像コレクションを削除できます。 画像コレクションは、期限が切れるまで HP Instant Share で引き続き利用することができます。 |
| [HP Instant Share をリセット] | デバイス名やその他のアカウント情報など、HP All-in-One に保存した HP Instant Share 設定をクリアします。 これにより、HP All-in-One を売ったり譲ったりする場合にプライバシー情報を保護できます。HP Instant Share は画像の送受信時の登録プリンタとして、今後 HP All-in-One を認識しなくなります。<br><br>ヒント　このオプションを間違って設定してしまった場合、以前と同じ HP Passport アカウントで HP All-in-One をもう一度登録しなおしてください。 デバイスは以前と同じ名前で登録されます。共有用送り先と各設定も同様に再適用されます。 |

# 8 コピー機能の使用

HP All-in-One を使用すると、高品質のカラー コピーおよびモノクロ コピーをさまざまな種類の用紙で作成できます。 この章では、コピーの作成、コピーのプレビュー、トリミングする領域の選択、その他のコピー設定の変更方法などを説明します。

本『ユーザー ガイド』は、HP All-in-One でコピーを行う際に利用できるコピー機能の一部について説明します。 HP All-in-One が対応するコピー機能の詳細については、HP All-in-One ソフトウェアに付属のオンスクリーン **[HP Image Zone ヘルプ]** をご覧ください。 例えば、オンスクリーン **[HP Image Zone ヘルプ]** では複数ページの文書のコピー、コピーした文書の明るさの調整などについて説明しています。 **[HP Image Zone ヘルプ]** の詳細については、オンスクリーン ヘルプを使う を参照してください。

## コピーの作成

コントロール パネルから高画質のコピーを作成できます。

**コントロール パネルからコピーを作成するには**

1. メイン トレイまたはフォト トレイに用紙をセットします。
   フォト トレイには、最大 10 x 15 cm のフォト用紙 (切り取りラベルなし) をセットできます。 これより大きいサイズのフォト用紙は、メイン トレイにセットしてください。
   – 正しいトレイの選択方法については、給紙トレイの選択 を参照してください。
   – トレイへの用紙のセット方法については、用紙のセット を参照してください。
2. 印刷面を下にしてガラス板の右下隅に合わせて原稿をセットします。
3. 以下のいずれかの操作を実行します。
   – モノクロ コピーを行うには、[スタート - モノクロ] を押します。
   – カラー コピーを行うには、[スタート - カラー] を押します。

注記　カラー原稿の場合は、[スタート - モノクロ] を押すとモノクロ コピーになり、[スタート - カラー] を押すとフルカラー コピーになります。

## コピー設定の変更

HP All-in-One のコピー設定をカスタマイズすれば、ほぼすべてのコピーに対応することができます。

コピー設定を変更しても、その変更は現在のコピー操作にのみ反映されます。 今後すべてのコピー操作にその設定を適用するようにするには、その変更をデフォルトとして設定する必要があります。

**現在のジョブのコピー設定のみを変更するには**

1. [コピー] を押して [コピー メニュー] を表示します。
2. 変更したい設定に対応する番号のボタンを押します。 以下のオプションのいずれかを選択します。
   – [**1. コピー枚数**]
   – [**2. コピー プレビュー**]
   – [**3. 縮小/拡大**]
   – [**4. トリミング**]
   – [**5. トレイ選択**]
   – [**6. 用紙サイズ**]
   – [**7. 用紙の種類**]
   – [**8. コピー品質**]
   – [**9. 薄く/濃く**]
   – [**0. 強調**]
   – [***. 新しいデフォルトの設定**]
3. ▼ を押して適切な設定を選択し、次に [OK] を押します。
4. 必要な設定をすべて変更したら、[スタート - カラー] または [スタート - モノクロ] を押して、コピーを行います。

**現在の設定を今後も使用できるようにデフォルトとして保存するには**

1. 必要に応じて、[コピー メニュー] の設定に変更を加えます。
2. ▼ を押して、[コピー メニュー] から [新しいデフォルトの設定] を選択します。
3. [OK] を押して、デフォルト設定の変更を確定します。

コピーの拡大、縮小、1 ページに複数コピーの作成、コピー画質の補正など、特別なコピー機能の実行方法については、オンスクリーン **[HP Image Zone ヘルプ]** をご覧ください。

## コピー ジョブのプレビューの表示

[コピー プレビュー] を使用すると、カラー グラフィック ディスプレイにコピー結果がプレビュー表示されます。

プレビューは [コピー メニュー] から [コピー プレビュー] を選択するか、以下のコピー設定のいずれかを変更すると表示されます。

- [縮小/拡大]
- [用紙サイズ]
- [用紙の種類]

- [トリミング]
- [トレイ選択]

上記の設定のいずれかを変更すると、カラー グラフィック ディスプレイにコピーのプレビューが自動的に表示されます。 [コピー プレビュー] を選択する必要はありません。 ただし、プレビュー表示されたテキストやグラフィックが実際のものとは異なる場合があります。 正確でクリアなプレビューを望む場合、または設定を変更しないでコピー結果をプレビューする場合は、ここでの説明に従って、[コピー メニュー] から [コピー プレビュー] を選択してください。

**注記** 正確なプレビュー結果を得るには、コピーの設定を手動で行う必要があります。 自動設定ではセットされている用紙のサイズと種類は認識されず、デフォルト設定が使用されるからです。

**コントロール パネルからコピーをプレビューするには**

1. [コピー] を押し、次に [2] を押します。
   [コピー メニュー] が表示され、[コピー プレビュー] が選択されます。
2. 次のいずれかの操作を実行します。
   – [OK] を押してプレビューを確定し、[コピー メニュー] に戻ります。
   – ▶ を押して、原稿をもう一度スキャンします。

## 写真のフチ無しコピーの作成

大判および小さなサイズのフォト用紙の両方にフチ無しコピーを行うことができます。 高画質で写真をコピーするときは、フォト トレイにフォト用紙をセットします。次に、コピー設定を適切な用紙の種類および写真の強調に変更します。

1. 給紙トレイにフォト用紙をセットします。
   フォト トレイには、最大 10 x 15 cm のフォト用紙 (切り取りラベルなし) をセットできます。 これより大きいサイズのフォト用紙は、メイン トレイにセットしてください。
2. 印刷面を下にしてガラス板の右下隅に合わせて写真をセットします。
   写真の長い辺をガラス板の底辺に合わせて置きます。
3. 次のいずれかの操作を実行します。

   **10 x 15 cm(4 x 6 インチ) のフォト用紙にフチ無しコピーする場合**

   a. [フォト トレイ] ボタンを押して、フォト トレイを選択します。
   b. [スタート - モノクロ] または [スタート - カラー] を押します。
      HP All-in-One で、元の写真のフチ無しコピーを作成します。

   **メイン トレイにセットした用紙からフチ無しコピーする場合**

   a. [コピー] を押し、次に [3] を押します。
      [コピー メニュー] が表示され、[縮小/拡大] が選択されます。

b. [3] を押して [ページ全体に印刷] を選択します。
c. [スタート - モノクロ] または [スタート - カラー] を押します。
HP All-in-One で、元の写真のフチ無しコピーを作成します。

ヒント 出力がフチ無しにならない場合は、メニューで用紙サイズをフチ無しの適切なサイズに設定し、用紙の種類を [フォト用紙] に設定してから、もう一度やり直します。

コピー設定の変更の詳細については、コピー設定の変更 を参照してください。

## 原稿のトリミング

原稿をコピーする前に、[コピー メニュー] の [トリミング] 設定を使用して、コピーする領域を選択することができます。 [トリミング] 設定を選択するとスキャンが始まり、カラー グラフィック ディスプレイに原稿のプレビューが表示されます。

トリミングを行うと画像の寸法が変わり、ファイル サイズは小さくなります。

ヒント [縮小/拡大] 設定を変更することで、トリミングした画像のサイズを調整できます。 [ページ全体に印刷] を使用すると、トリミングされた画像のフチ無しコピーが作成されます。 [ページに合わせる] を使用すると、フチありのコピーが作成されます。 トリミングした画像を拡大すると、画像の解像度によっては印刷の品質が低下する可能性があります。

**コントロール パネルで画像をトリミングするには**

1. [コピー] を押し、次に [4] を押します。
   [コピー メニュー] が表示され、[トリミング] が選択されます。
2. 矢印ボタンを使用して、トリミング領域の左上隅の位置を設定します。
3. [OK] を押します。
4. 矢印ボタンを使用して、トリミング領域の右下隅の位置を設定します。
5. [OK] を押します。
   カラー グラフィック ディスプレイにトリミングされた画像が表示されます。

## コピーの中止

➔ コピーを中止するには、コントロール パネルの [キャンセル] を押します。

# 9 コンピュータからの印刷

HP All-in-One は印刷が可能な任意のソフトウェアから使用できます。 Windows PC から印刷するか Mac から印刷するかによって、手順は多少異なります。 この章では、お使いのオペレーティング システムの説明に従ってください。

このセクションで説明した印刷機能に加えて、メモリ カード、デジタル カメラ、その他のストレージ デバイスから直接画像を印刷することもできます。 カメラ付き携帯電話、携帯端末 (PDA) など、サポートする Bluetooth デバイスから印刷することもできます。 また **[HP Image Zone]** の画像の使用などが可能です。 Windows ユーザーの場合、ネットワーク接続したリモート デバイスに印刷することもできます。

- メモリ カードまたはデジタル カメラからの印刷の詳細については、写真およびビデオ機能の使用 を参照してください。
- 特殊な印刷ジョブや **[HP Image Zone]** での画像印刷の詳細については、オンスクリーンの **[HP Image Zone ヘルプ]** を参照してください。
- リモート デバイスに印刷する方法の詳細については、オンスクリーンの **[HP Image Zone ヘルプ]** を参照してください。

本『ユーザー ガイド』は、HP All-in-One でソフトウェア アプリケーションから印刷を行う際に利用できる印刷機能の一部について説明します。
HP All-in-One が対応する印刷機能の詳細については、HP All-in-One ソフトウェアに付属のオンスクリーン **[HP Image Zone ヘルプ]** をご覧ください。 例えば、オンスクリーン **[HP Image Zone ヘルプ]** ではポスターの印刷、1枚のシートに複数ページを印刷する方法などについて説明しています。
**[HP Image Zone ヘルプ]** の詳細については、オンスクリーン ヘルプを使うを参照してください。

## ソフトウェア アプリケーションからの印刷

印刷設定のほとんどは、印刷元のソフトウェア アプリケーションまたは HP の ColorSmart テクノロジによって自動的に処理されます。 印刷品質の変更、特定の種類の用紙やフィルムへの印刷、特殊機能の使用の場合にのみ、手動で設定を変更する必要があります。

### ソフトウェア アプリケーションから印刷するには (Windows)

1. 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2. お使いのソフトウェア アプリケーションで、**[ファイル]** メニューの **[印刷]** をクリックします。
3. HP All-in-One をプリンタとして選択します。
4. 設定を変更する必要がある場合は、**[プロパティ]** ダイアログ ボックスを開くボタンをクリックします。

ソフトウェア アプリケーションによって、このボタンは **[プロパティ]**、**[オプション]**、**[プリンタ設定]**、**[プリンタ]** などの名前になっています。

5. **[用紙/品質]**、**[レイアウト]**、**[効果]**、**[詳細設定]**、**[カラー]** タブなどで、印刷ジョブのための適切なオプションを選択します。
6. **[OK]** をクリックして、**[プロパティ]** ダイアログ ボックスを閉じます。
7. 印刷を開始するには、**[印刷]** か **[OK]** をクリックします。

**ソフトウェア アプリケーションから印刷するには (Mac)**

1. 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2. 印刷を開始する前に、**[プリント センター]** (OS 10.2)、または **[プリンタ設定ユーティリティ]** (OS 10.3 以降) で HP All-in-One を選択します。
3. ご使用のソフトウェア アプリケーションで、**[ファイル]** メニューの **[ページ設定]** をクリックします。
   **[ページ設定]** ダイアログ ボックスが表示され、用紙のサイズ、方向、倍率を指定することができます。
4. ページ属性を指定します。
   – 用紙のサイズを選択します。
   – 方向を選択します。
   – 倍率を入力します。
5. **[OK]** をクリックします。
6. ご使用のソフトウェア アプリケーションで、**[ファイル]** メニューの **[印刷]** をクリックします。
   **[プリント]** ダイアログ ボックスが表示され、**[印刷部数と印刷ページ]** パネルが開きます。
7. 印刷するプロジェクトに適するように、ポップアップ メニューでそれぞれのオプションの印刷設定を変更します。
8. 印刷を開始するには、**[印刷]** をクリックします。

# 印刷設定の変更

HP All-in-One の印刷設定をカスタマイズすれば、ほぼすべての印刷に対応することができます。 コンピュータで変更した印刷設定は、ソフトウェアの印刷ジョブにのみ適用されます。

HP All-in-One から写真の印刷設定を変更する方法については、写真の印刷オプションの設定 を参照してください。

## Windows ユーザーの場合

印刷設定を変更する前に、現在の印刷ジョブの設定のみを変更するのか、これ以後のすべての印刷ジョブに適用されるデフォルトとして設定するのか決める必要があります。設定変更を今後すべての印刷ジョブに適用するのか、現在の印刷ジョブのみに適用するのかによって、印刷設定の表示のさせ方が異なります。

**今後すべての印刷ジョブに適用される設定を変更するには**

1. **[HP ソリューション センター]** で、**[設定]** をクリックし、**[印刷設定]** をポイントして、次に **[印刷設定]** をクリックします。
2. 印刷設定を変更し、**[OK]** をクリックします。

**現在のジョブに対して印刷設定を変更するには**

1. お使いのソフトウェア アプリケーションで、**[ファイル]** メニューの **[印刷]** をクリックします。
2. HP All-in-One がプリンタに選択されていることを確認します。
3. **[プロパティ]** ダイアログ ボックスを開くボタンをクリックします。
   ソフトウェア アプリケーションによって、このボタンは **[プロパティ]**、**[オプション]**、**[プリンタ設定]**、**[プリンタ]** などの名前になっています。
4. 印刷設定を変更し、**[OK]** をクリックします。
5. ジョブを印刷するには、**[印刷]** ダイアログ ボックスで **[印刷]** または **[OK]** をクリックします。

### Mac ユーザー

印刷ジョブの設定を変更するには、**[ページ設定]** と **[印刷]** ダイアログ ボックスを使用します。使用するダイアログ ボックスは、設定の変更によります。

**用紙のサイズ、方向、倍率 (%) を変更するには**

1. ご使用のソフトウェア アプリケーションで、**[ファイル]** メニューの **[ページ設定]** をクリックします。
2. HP All-in-One がプリンタに選択されていることを確認します。
3. 用紙のサイズ、方向、倍率 (%) の設定を変更し、**[OK]** をクリックします。

**その他のすべての印刷設定を変更するには**

1. ご使用のソフトウェア アプリケーションで、**[ファイル]** メニューの **[印刷]** をクリックします。
2. 印刷設定を変更し、**[印刷]** をクリックしてジョブを印刷します。

## 印刷ジョブの中止

印刷ジョブを中止する場合、HP All-in-One とコンピュータの両方から操作できますが、HP All-in-One から中止することをおすすめします。

注記 Windows ユーザーの場合： Windows 用ソフトウェア アプリケーションのほとんどは Windows の印刷スプーラーを使用しますが、ソフトウェア アプリケーションによってはこのスプーラーを使用しないものがあります。 Windows の印刷スプーラーを使用しないソフトウェア アプリケーションの一例が Microsoft Office 97 の PowerPoint です。以下の手順を用いても印刷ジョブをキャンセルできない場合は、

ソフトウェア アプリケーション付属のオンライン ヘルプで、バックグラウンド印刷をキャンセルする方法を確認してください。

**HP All-in-One から印刷ジョブを中止するには**

➔ コントロール パネルで、[キャンセル] を押します。カラー グラフィック ディスプレイに表示される [プリントがキャンセルされました] というメッセージを確認します。このメッセージが表示されない場合は、[キャンセル] ボタンをもう一度押します。

**コンピュータから印刷ジョブを中止するには (Windows XP ユーザー)**

1. Windows のタスク バーで **[スタート]**、**[コントロール パネル]** の順にクリックします。
2. **[プリンタと FAX]** コントロール パネルを開きます。
3. HP All-in-One アイコンをダブルクリックします。
4. キャンセルする印刷ジョブを選択します。
5. **[ドキュメント]** メニューで **[印刷のキャンセル]** または **[キャンセル]** を選択するか、キーボードの [DELETE] キーを押します。
   印刷のキャンセルにはしばらく時間がかかることがあります。

**コンピュータから印刷ジョブを中止するには (Windows 9x または 2000 ユーザー)**

1. Windows のタスク バーで **[スタート]** ボタンをクリックし、**[設定]**、**[プリンタ]** の順に選択します。
2. HP All-in-One アイコンをダブルクリックします。
3. キャンセルする印刷ジョブを選択します。
4. **[ドキュメント]** メニューで **[印刷のキャンセル]** または **[キャンセル]** を選択するか、キーボードの [DELETE] キーを押します。
   印刷のキャンセルにはしばらく時間がかかることがあります。

**コンピュータから印刷ジョブを中止するには (Mac ユーザー)**

1. **[アプリケーション：ユーティリティ]** フォルダから **[プリント センター]** (OS 10.2) または **[プリンタ設定ユーティリティ]** (OS 10.3 以降) を開きます。
2. HP All-in-One がプリンタに選択されていることを確認します。
3. **[プリンタ]** メニューから、**[ジョブの表示]** をクリックします。
4. キャンセルする印刷ジョブを選択します。
5. **[削除]** をクリックします。
   印刷のキャンセルにはしばらく時間がかかることがあります。

# 10 スキャン機能の使用

この章では、コンピュータでアプリケーション、HP Instant Share の送り先、メモリ カード、ストレージ デバイスにスキャンする方法について説明します。 また、コントロール パネルを使用してスライドとネガフィルムをスキャンする方法についても説明します。

スキャンとは、コンピュータで使用できるよう、テキストや写真を電子的な形式に変換する過程のことです。 HP All-in-One のガラス面に傷をつけないように注意しながら、写真、雑誌記事、書類など、さまざまなものをスキャンできます。 メモリ カードやストレージ デバイスにスキャンすれば、スキャンした画像を携帯しやすくなります。

注記　Mac の場合、**[HP Scan Pro]** のデフォルトのスキャン設定を変更できます。 詳細については、オンスクリーン **[HP Image Zone ヘルプ]** を参照してください。

## 画像のスキャン

コンピュータからのスキャン方法や、スキャン画像の調整、サイズ変更、回転、トリミング、鮮明度調整については、ソフトウェアに付属のオンスクリーン **[HP Image Zone ヘルプ]**を参照してください。

スキャン機能を使用するには、HP All-in-One とコンピュータを接続して電源をオンにします。 また、スキャンを実行するに先だってコンピュータに HP All-in-One ソフトウェアをインストールし、実行しておく必要もあります。 Windows コンピュータで HP All-in-One ソフトウェアが動作していることを確認するには、画面右下の時刻の横にあるシステム トレイに HP All-in-One のアイコンが表示されていることを確認します。 Mac の場合、HP All-in-One ソフトウェアは常に動作しています。

注記　Windows システム トレイにある HP Digital Imaging Monitor アイコンを閉じると、HP All-in-One からスキャン機能の一部が失われ、[**接続していません。**] エラー メッセージが表示されます。 このエラー メッセージが表示された場合、コンピュータを再起動するか、または **[HP Image Zone]** ソフトウェアを起動することで、機能を回復させてください。

### 原稿をコンピュータにスキャンする

ガラス板にセットした原稿を、コントロール パネルの操作で直接スキャンすることができます。

1. 印刷面を下にしてガラス板の右下隅に合わせて原稿をセットします。
2. スキャン ランプが点灯していない場合は、[スキャン] を押します。
   – HP All-in-One を USB ケーブルで直接コンピュータに接続している場合は、[スキャンの送信先] メニューがカラー グラフィック ディスプレイに表示されます。 ステップ 4 に進んでください。
   – HP All-in-One をネットワークに接続している場合は、[スキャン メニュー] がカラー グラフィック ディスプレイに表示されます。 次の手順に進んでください。
3. HP All-in-One をネットワーク上の1つまたは複数のコンピュータに接続している場合は、以下を実行します。
   – [1] を押して [コンピュータの選択] を強調表示し、次に [OK] を押します。
     [コンピュータの選択] メニューが表示され、HP All-in-One に接続されているコンピュータが一覧で表示されます。

     
     注記 [コンピュータの選択] には、ネットワーク接続されているコンピュータの他に、USB 接続されているコンピュータも一覧に表示されることがあります。

   – デフォルトのコンピュータを選んで [OK] を押すか、矢印ボタンで別のコンピュータを強調表示し、[OK] を押します。
     [スキャンの送信先] が表示され、スキャン画像の送信先 (アプリケーション名を含む) リストが表示されます。
4. スキャンを受信するデフォルトのアプリケーションを選んで [OK] を押すか、矢印ボタンで別のアプリケーションを強調表示し、[OK] を押します。
   スキャンのプレビュー画像が、コンピュータの **[HP Scan]** (Windows) または **[HP Scan Pro]** (Mac) ウィンドウに表示され、ここで画像を編集することができます。
5. プレビュー画像の編集を行います。 編集が終了したら、**[開始]** をクリックします。
   プレビュー画像の編集については、ソフトウェアに付属のオンスクリーン **[HP Image Zone ヘルプ]** を参照してください。
   スキャン画像が HP All-in-One から選択したアプリケーションに送信されます。たとえば、**[HP Image Zone]** を送信先に選択している場合は、HP Image Zone が自動的に開いて、画像を表示します。

### メモリ カードまたはストレージ デバイスに原稿をスキャンする

挿入してあるメモリ カードや前面 USB ポートに接続したストレージ デバイスにスキャンした画像を JPEG 画像として送信することができます。 また、写真印刷オプションを使用して、スキャンした画像からフチ無しプリントを作成したり、アルバム ページを作成したりできます。

注記　HP All-in-One をネットワークに接続している場合、スキャンした画像をメモリ カードまたはストレージ デバイスがネットワーク共有に設定されている場合のみ送信できます。 詳細については、オンスクリーン **[HP Image Zone ヘルプ]** を参照してください。

1. 印刷面を下にしてガラス板の右下隅に合わせて原稿をセットします。
2. スキャン ランプが点灯していない場合は、[**スキャン**] を押します。
   – HP All-in-One をネットワークに接続している場合は、さまざまなオプションや送り先一覧を含む [**スキャン メニュー**] が表示されます。 デフォルトのスキャン先には、前回このメニューを使用したときに選択したスキャン先が指定されます。
   – HP All-in-One をコンピュータに直接接続している場合、[**スキャンの送信先**] メニューが表示されます。
3. ▼ を押して [**メモリ デバイス**] を選択し、[**OK**] を押します。
   HP All-in-One によって画像がスキャンされ、そのファイルがメモリ カードまたはストレージ デバイスに JPEG 形式で保存されます。

### スライドまたはネガ フィルムをスキャンする

スライド/ネガフィルム ホルダを使用して、コントロール パネルからスライトとネガフィルムをスキャンできます。 スライドとネガをスキャンする前に、カバーから保護プレートを取り外し、スライド/ネガフィルム ホルダをセットする必要があります。 詳細については、スライド/ネガフィルム ホルダに原稿をセットする を参照してください。

#### スライドまたはネガをスキャンするには

1. スライド/ネガフィルム ホルダの表を下にし、ガラス板の右下隅に合わせてセットします。
   詳細については、スライド/ネガフィルム ホルダに原稿をセットする を参照してください。
2. [**フィルム**] を押して、[**フィルム メニュー**] を表示します。
3. 選択したいアイテムの横にある番号を押して、最終スキャンの送り先を選択します。
   – コンピュータにスキャンを送信するには、[**1**] を押します。

スキャン

HP All-in-One をネットワーク上の 1 台または複数のコンピュータに接続している場合、[コンピュータの選択] メニューが表示されます。 選択したいコンピュータ名の横にある番号を選択します。
– [2] を押して、スキャンした画像をメモリ カード スロットに装着したメモリ カード、またはお使いの HP All-in-One 前面の USB ポートに接続したストレージ デバイスに送信します。
– [3] を押して、スキャンした画像を今すぐ印刷するか、画像をカラー グラフィック ディスプレイの壁紙として設定したい場合は、スキャンした画像をカラー グラフィック ディスプレイに送信します。

4. スキャンした内容が選択した送信先に送信されます。
   – [1] を押すと、スキャンした画像がコンピュータに送信されます。
   – [2] を押すと、メモリ カードやストレージ デバイスに送信されます。
   – [3] を押した場合、 [スタート - モノクロ] または [スタート - カラー] を押して変更を加えずに写真を印刷します。 [フォト] を押して [フォト メニュー] を表示し、印刷する前に印刷オプションを変更することもできます。
   [簡単プリント ウィザード] の使用の詳細については、簡単プリント ウィザードの使用 を参照してください。



### スキャンの中止

➔ スキャンを中止するには、コントロール パネルの [キャンセル] を押します。

## 友人や家族とスキャン画像を共有

スキャンした画像を電子メールに添付して送ったり、HP Instant Share を使用して送ることで、お友達やご家族と共有することができます。

### 電子メールに添付して送信する

スキャン画像をコンピュータに保存し、その後電子メールに添付して送信することができます。

スキャンした画像を保存する方法については、原稿をコンピュータにスキャンする を参照してください。

スキャンした画像をメールに添付して送信する方法については、オンスクリーンの **[HP Image Zone ヘルプ]** を参照してください。

### HP Instant Share で送信する

HP Instant Share オンライン サービスを使えば、ご家族やお友達とスキャンした画像を簡単に共有することができます。HP Instant Share では、電子メールで画像を送ったり、オンライン フォト アルバムまたはフォト プリント サービスに画像をアップロードしたり、ネットワークに接続した別の HP All-in-One に画像を送ってそこから印刷することも可能です。

注記　ここで説明するサービスの内容は、国/地域によって異なります。 一部のサービスは、国/地域によってはご利用になれない場合があります。

ネットワークに接続した HP All-in-One のコントロール パネルから利用できる HP Instant Share の機能を十分に活用するには、HP All-in-One で HP Instant Share をセットアップする必要があります。 HP Instant Share のセットアップおよび使用方法については、オンスクリーン **[HP Image Zone ヘルプ]** を参照してください。

# スキャンした画像の印刷

スキャンした画像を **[HP Image Zone]** ソフトウェアを使用して印刷できます。 詳細については、オンスクリーン **[HP Image Zone ヘルプ]** を参照してください。

# スキャンした画像の編集

**[HP Image Zone]** ソフトウェアを使用してスキャンした画像を編集できます。 OCR (光学式文字認識) ソフトウェアを使用して、スキャンした文書を編集することもできます (Windowsのみ)。

## スキャンした写真またはグラフィックの編集

**[HP Image Zone]** ソフトウェアを使用して、スキャンした写真またはグラフィックを編集できます。 このソフトウェアでは、明度、コントラスト、彩度などさまざまな調整を行うことができます。 **[HP Image Zone]** ソフトウェアを使用して、スキャンした画像を回転することもできます。

詳細については、オンスクリーン **[HP Image Zone ヘルプ]** を参照してください。

## スキャンした文書の編集

テキストのスキャン (光学式文字認識または OCR) を活用すると、雑誌記事や本などの印刷物の中身を編集可能なテキストとして、ワード プロセッサやその他のさまざまなプログラムに取り込むことができます。 最高の読み取り結果を得るには、OCR の使用方法を知ることが大切です。 OCR ソフトウェアを初めてお使いになるときは、スキャンしたテキスト文書の文字が完璧に認識されない場合があります。 OCR ソフトウェアの操作は 1 つの技能なので、習得するには時間と練習が必要です。 文書、特にテキストとグラフィックの両方を含む文書のスキャンについては、市販の OCR ソフトウェアに付属するヘルプを参照してください。

# 11 ファクス機能の使用

HP All-in-One を使用して、カラー ファクスなどのファクスの送受信ができます。

注記　ファクスを開始する前に、ファクスできるように HP All-in-One を正しく設定しておいてください。 詳細については、ファクスのセットアップ を参照してください。

本『ユーザー ガイド』は、HP All-in-One でファクスを送受信する際に利用できるファクス機能の一部について説明します。 HP All-in-One が対応するすべてのファクス機能については、HP All-in-One ソフトウェアに付属のオンスクリーン **[HP Image Zone ヘルプ]** をご覧ください。 例えば、オンスクリーン **[HP Image Zone ヘルプ]** ではファクス送信のスケジュール設定、複数の受信者への一括送信などについて説明しています。 **[HP Image Zone ヘルプ]** の詳細については、オンスクリーン ヘルプを使う を参照してください。

## ファクスの送信

ファクスはさまざまな方法で送信することができます。HP All-in-One のコントロール パネルからモノクロまたはカラーでファクスを送信できます。接続されている電話から、手動でファクスを送信することもできます。この場合、ファクスを送信する前に、受信者と話をすることができます。

同じ番号にファクスを頻繁に送信する場合、短縮ダイヤルを設定できます。短縮ダイヤルの設定方法については、短縮ダイヤルの設定 を参照してください。



### 基本的なファクスの送信

ここで説明するように、1 ページまたは複数ページのモノクロ ファクスをコントロール パネルを使って簡単に送信できます。 カラー ファクスや写真付きファクスを送信する場合は、オンスクリーン **[HP Image Zone ヘルプ]** を参照してください。

注記　ファクスの送信に成功したことを示す確認メッセージを印刷する必要がある場合は、ファクスを送信する**前に**ファクス送受信の確認を有効にします。 詳細については、ファクス確認レポートの印刷 を参照してください。

ヒント　電話やダイヤル モニタ機能を使用して、ファクスを手動で送信することもできます。 この機能では、ダイヤルするペースを指定できます。 通話料金をテレフォン カードで支払いたいときなど、ダイヤル中にトーン音に応答する必要があるときに、この機能は役に立ちま

す。 詳細については、電話からのファクスの手動送信 または ダイヤルのモニタ機能を使用したファクス送信 を参照してください。

1. [ファクス] を押します。
   [番号を入力] 画面が表示されます。
2. キーパッドを使用してファクス番号を入力するか、▲ を押してダイヤルした最後の番号をリダイヤルするか、▼ を押して短縮ダイヤルを利用します。
3. [スタート - モノクロ] ボタンを押します。
   直前に送信したモノクロ ファクスがメモリに保存されている場合は、[ファクス モード] 画面が表示されます。 新しいファクスを送信するには、[1] を押します。
4. 指示に従って、印刷面を下にし、ガラス板の右下隅に合わせて原稿をセットします。
5. もう一度 [スタート - モノクロ] ボタンを押します。
6. [他にファクスしますか ?] が表示されたときには、以下を実行します。

   **他にファクス送信するページがある場合**
   a. [1] を押して [はい] を選択します。
   b. 指示に従って、原稿の次のページの印刷面を下にし、ガラス板の右下隅に合わせて原稿をセットします。
   c. [スタート - モノクロ] ボタンを押します。

   **他にファクス送信するページがない場合**
   ➔ [2] を押して [いいえ] を選択します。
   HP All-in-One は、すべてのページをスキャンした後でファクスを送信します。



### 電話からのファクスの手動送信

電話のダイヤル ボタンのほうが HP All-in-One のコントロール パネルのキーパッドよりもダイヤルしやすい場合など、HP All-in-One と同一電話回線上の電話からファクスを送信することができます。 このようなファクスの送信方法は、手動でのファクス送信と呼ばれます。 ファクスを手動で送信するときは、発信音、音声ガイダンス、その他の音声が電話の受話器から聞こえます。

受信者側のファクス機の設定状態によって、受信者が電話に出たり、ファクス機が応答する場合があります。 受信者が電話に出たら、ファクスを送信する前に会話をすることができます。 ファクス機が応答した場合、受信中のファクス機からトーン音が聞こえてから、そのファクス機に直接ファクスを送信できます。

電話からモノクロやカラーのファクスを送信できます。 このセクションでは、ファクスをモノクロで送信するための方法について説明します。

**電話からファクスを手動送信するには**

1. HP All-in-One に接続された電話のキーパッドから、番号をダイヤルします。

   注記　番号をダイヤルするには、電話のキーパッドを使用する必要があります。HP All-in-One のコントロール パネルのキーパッドは使用しないでください。

2. 受信者が応答した場合、ファクスを送信する前に会話をすることができます。

   注記　ファクス機が応答すると、受信中のファクス機からのファクストーン音が聞こえます。 次の手順に進んで、ファクスを送信します。

3. ファクスを送信する準備ができたら、[ファクス] を押します。
   [ファクス モード] 画面が表示されます。
4. 新しいファクスを送信するには、[1] を押します。

   ヒント　直前に送信したモノクロ ファクスがメモリに保存されている場合は、[ファクス モード] 画面のオプションを使って、メモリ内のファクスを送信できます。

5. 指示に従って、印刷面を下にし、ガラス板の右下隅に合わせて原稿をセットします。

   ヒント　受信側のファクス機にファクスを直接送信し、ファクス送信前に受信者と話さない場合は、ファクスを開始する前にガラス板の上に原稿の最初のページをセットしておくと便利です。

6. [スタート - モノクロ] ボタンを押します。

   注記　ファクス送信前に受信者と話している場合は、ファクスのトーン音が聞こえたらファクス機の [スタート] ボタンを押すように、前もって受信者に知らせてください。

7. [他にファクスしますか ?] が表示されたときには、以下を実行します。

   **他にファクス送信するページがある場合**

   a. [1] を押して [はい] を選択します。
   b. 指示に従って、原稿の次のページの印刷面を下にし、ガラス板の右下隅に合わせて原稿をセットします。
   c. [スタート - モノクロ] ボタンを押します。

   **他にファクス送信するページがない場合**

   ➔ [2] を押して [いいえ] を選択します。

ファクスの送信中は、電話回線から音がしません。 この時点で、受話器を置くことができます。 ファクス受信が完了した後、受信者と続けて話をする場合は、電話を切らないでください。

## ダイヤルのモニタ機能を使用したファクス送信

ダイヤル モニタ機能を使用すると、通常電話するように、コントロール パネルから番号をダイヤルすることができます。 ファクスをダイヤル モニタ機能で送信するときは、発信音、音声ガイダンス、その他の音声が電話のスピーカーから聞こえます。 これにより、ダイヤル中に音声ガイダンスに応答することも、ダイヤルするペースを指定することもできます。

ダイヤルのモニタ機能を使ってモノクロやカラーのファクスを送信できます。 このセクションでは、ファクスをモノクロで送信するための方法について説明します。

注記　音量をオンにしないと、ダイヤル トーンは聞こえません。 詳細については、音量の調整 を参照してください。

**コントロール パネルからダイヤルのモニタ機能を使用してファクスを送信するには**

1. [ファクス] を押します。
   [番号を入力] 画面が表示されます。
2. [スタート - モノクロ] ボタンを押します。
3. 指示に従って、印刷面を下にし、ガラス板の右下隅に合わせて原稿をセットします。
4. もう一度 [スタート - モノクロ] ボタンを押します。
5. [他にファクスしますか ?] が表示されたときには、以下を実行します。

   **他にファクス送信するページがある場合**

   a. [1] を押して [はい] を選択します。
   b. 指示に従って、原稿の次のページの表を下にし、ガラス板の右下隅に合わせて原稿をセットします。
   c. [スタート - モノクロ] ボタンを押します。

   **他にファクス送信するページがない場合**

   ➔ [2] を押して [いいえ] を選択します。
6. 音声ガイダンスがあれば、従ってください。

   ヒント　ファクスの送信にコーリング カードを使用する場合、PIN の入力を求められたら、▼ を押して PIN が登録された短縮ダイヤル番号を選択し、[OK] を押して確定します。

受信側のファクス機が応答したときに、ファクスは送信されます。

ファクス

# ファクスの受信

[自動応答] の設定によって、HP All-in-One がファクスを自動で受信できるか、手動で受信する必要があるかが決まります。 [自動応答] オプションを [オフ] に設定すると、手動でファクスを受信する必要があります。 [自動応答] オプションを [オン] に設定している場合 (デフォルト設定)、HP All-in-One は着信に自動応答し、[応答呼び出し回数] で指定した呼び出し回数の後にファクスを受信します (デフォルトの [応答呼び出し回数] 設定は 5 回です)。 [自動応答] の詳細については、応答モードの設定 を参照してください。

## ファクスの手動受信

ファクスを手動で受信するように HP All-in-One を設定した ([自動応答] オプションを [オフ] に設定した) 場合、または電話を取って、ファクスのトーンが聞こえた場合、このセクションの説明を参照してファクスを受信してください。

1. HP All-in-One の電源がオンになっており、用紙がメイン トレイにセットされていることを確認します。
2. 送信者と電話がつながっている場合は、相手のファクス機で [スタート] を押すように指示します。
3. 送信中のファクス機からファクス トーンが聞こえたら、次を実行してください。
   a. HP All-in-One のコントロール パネルの [ファクス] ボタンを押します。
   b. [ファクスを手動で受信] が強調表示されるまで、▼ を押して、次に [**OK**] を押します。
   c. **[スタート - モノクロ]** または [スタート - カラー] を押します。
   d. ファクスの受信が始まったら、受話器を置いてください。

   ヒント　使用中の電話が HP All-in-One と同じ電話回線を使用していても、電話を HP All-in-One 背面の "2-EXT" ポートに接続していない場合は、HP All-in-One と離れすぎていて、HP All-in-One のコントロール パネルに手が届かない場合があります。 コントロール パネルに手が届かない場合は、数秒後に、電話で **1 2 3** と押します。

   HP All-in-One のファクス受信が始まらない場合、もう数秒後に再び **1 2 3** と押します。 ファクスの受信が始まったら、受話器を置いてください。

## バックアップ ファクス受信のセットアップ

好みとセキュリティ要件に応じて、HP All-in-One が受信したファクスをすべて保存するか、エラー状態の間に受信したファクスのみ保存するか、どのファクスも保存しないかを設定することができます。

注記 HP All-in-One の電源をオフにすると、メモリに保存されたすべてのファクスは消去されます。 [セットアップ メニュー] でファクス ログをクリアしたり、[バックアップ ファクス受信] モードを [オフ] に変更することで、メモリにファクスデータを保存させなくすることもできます。 詳細については、オンスクリーン **[HP Image Zone ヘルプ]** を参照してください。

[オン]、[エラーの場合のみ]、[オフ] の 3 つの [バックアップ ファクス受信] モードが利用できます。

- [オン] がデフォルト設定値です。 [バックアップ ファクス受信] が [オン] のとき、HP All-in-One は、受信したすべてのファクスをメモリに保存します。 これにより、メモリにまだ保存されていれば、最近印刷したファクスを最大 8 件まで再印刷することができます。 詳細については、受信済みファクスのメモリからの再印刷 を参照してください。

  注記 メモリがいっぱいになると、HP All-in-One は新たにファクスを受信するたびに、印刷済みのファクスを古い順に消去します。 メモリが印刷待ちのファクスでいっぱいになると、HP All-in-One は着信ファクスに応答しなくなります。

- [エラーの場合のみ] では、HP All-in-One は、エラーによってファクスの印刷ができない場合 (用紙切れなど) にだけ、ファクスをメモリに保存します。 HP All-in-One はメモリの容量が許す限り、受信したファクスを保存し続けます (メモリがいっぱいになると、HP All-in-One は着信ファクスに応答しなくなります)。 エラー状態が解消すると、メモリに保存されたファクスは自動的に印刷され、メモリから消去されます。
- [オフ] の場合、ファクスはメモリにまったく保存されません (セキュリティ確保のために [バックアップ ファクス受信] をオフにした場合など)。 印刷できないエラー状態 (用紙切れな) が発生すると、HP All-in-One は着信ファクスに応答しなくなります。

注記 [バックアップ ファクス受信] がオンの状態で HP All-in-One の電源をオフにすると、エラー発生中に受信してあった印刷待ちのファクスも含め、メモリに保存されたファクスはすべて消去されます。 このような場合、印刷していないファクスをもう一度送ってもらうように送信者に依頼してください (受信したファクス一覧を見るには、ファクス ログを印刷してください。 ファクス ログにはファクスの送信元の電話番号一覧が記載されており、HP All-in-One の電源をオフにしても消去されません。 ファクス ログの詳細については、オンスクリーン **[HP Image Zone ヘルプ]** を参照してください)。

**コントロール パネルでバックアップ ファクス受信を設定するには**

1. [セットアップ] を押します。
2. [4] を押し、次に [5] を押します。

[ファクスの詳細設定] メニューが表示され、[バックアップ ファクス受信] が選択されます。
3. ▼ を押して [オン]、[エラーの場合のみ]、または [オフ] を選択します。
4. [OK] を押します。

### 受信済みファクスのメモリからの再印刷

[バックアップ ファクス受信] モードを [オン] に設定すると、HP All-in-One は、デバイスにエラーがあるかないかに関係なく、受信したファクスをメモリに保存します。 [バックアップ ファクス受信] の詳細については、バックアップ ファクス受信のセットアップ を参照してください。

注記 HP All-in-One の電源をオフにすると、メモリに保存されたすべてのファクスは消去されます。 [セットアップ メニュー] でファクス ログをクリアしたり、[バックアップ ファクス受信] モードを [オフ] に変更することで、メモリからファクスを消去することもできます。 詳細については、オンスクリーン **[HP Image Zone ヘルプ]** を参照してください。

メモリに保存されたファクスの容量に応じて、メモリにまだ保存されていれば、最近印刷したファクスを最大 8 件まで再印刷することができます。 たとえば、最後のプリントアウトをなくした場合、ファクスを再印刷できます。

1. 用紙がメイン トレイにセットされていることを確認します。
2. [セットアップ] を押します。
3. [5] を押し、次に [7] を押します。
   [ツール] メニューが表示され、[メモリのファクスを再印刷] が選択されます。
   受信したときとは逆の順序で、直前に受信したファクスが最初に印刷されます。
4. メモリ内のファクスの印刷を中止する場合は、[キャンセル] を押します。

## レポートの印刷

HP All-in-One を、エラー レポートを自動印刷し、かつファクスの送受信のたびに確認のレポートを印刷するよう設定できます。 システム レポートを必要なときだけ手動で印刷することもできます。 これらのレポートには、HP All-in-One に対する有効なシステム情報が記載されています。

生成できるシステム レポートの詳細については、オンスクリーン **[HP Image Zone ヘルプ]** を参照してください。

### ファクス確認レポートの印刷

ファクスの送信に成功したことを示す確認メッセージを印刷する必要がある場合は、以下の手順に従って、ファクスを送信する前に、ファクス送受信の確認を有効にします。 [送信] または [送受信] を選択します。

1. [セットアップ] を押します。
2. [1] を押し、次に [2] を押します。
   [レポートの印刷] メニューが表示され、次に [ファクスの確認] が選択されます。
3. ▼ を押して以下のいずれかを選択し、次に [OK] を押します。

| | |
|---|---|
| [送信] | ファクスの送信ごとにファクス確認レポートを印刷します。 |
| [受信] | ファクスの受信ごとにファクス確認レポートを印刷します。 |
| [送受信] | ファクスの送受信ごとにファクス確認レポートを印刷します。 |
| [オフ] | ファクスの送受信に問題がない時には、ファクス確認レポートを印刷しません。 これがデフォルト設定値です。 |

### ファクス エラー レポートの印刷

送受信中にエラーが起きたときにレポートを自動印刷するように HP All-in-One を設定できます。

1. [セットアップ] を押します。
2. [1] を押し、次に [3] を押します。
   [レポートの印刷] メニューが表示され、次に [ファクス エラー レポート] が選択されます。
3. ▼ を押して以下のいずれかを選択し、次に [OK] を押します。

| | |
|---|---|
| [送信] | 送信エラーが発生するたびにレポートが印刷されます。 |
| [受信] | 受信エラーが発生するたびにレポートが印刷されます。 |
| [送受信] | 各種ファクス エラーが発生するたびにレポートが印刷されます。 これがデフォルト設定値です。 |
| [オフ] | ファクス エラー レポートを印刷しません。 |

## ファクスの中止

送受信中のファクスはいつでもキャンセルすることができます。

**コントロール パネルでファクス送信を中止するには**

➔ 送受信しているファクスを中止するには、コントロール パネルで [キャンセル] を押します。カラー グラフィック ディスプレイに表示される [ファクス取消済] メッセージを確認します。このメッセージが表示されない場合は、[キャンセル] ボタンをもう一度押します。
しばらく時間がかかる場合があります。

**番号のダイヤルを中止するには**

➔ ダイヤルを中止するには、[キャンセル] を押します。

# 12 サプライ品の注文

HP 推奨の印刷用紙、インク カートリッジ、アクセサリなどの HP 製品は、HP Web サイトでオンライン注文できます。

## 用紙や OHP フィルムなどのメディアの注文

HP プレミアム用紙、HP プレミアム プラスフォト用紙、HP プレミアム インクジェット OHP フィルム などの用紙を注文するときは、japan.support.hp.com にアクセスしてください。

## インク カートリッジの注文

インク カートリッジの注文番号は国/地域によって異なります。 このガイドに出ている注文番号が、ご使用の HP All-in-One に現在取り付けられているインク カートリッジの番号と一致しない場合は、現在取り付けられているものと同じ番号の新しい HP Vivera インク カートリッジを注文してください。 ご使用の HP All-in-One では、次のインク カートリッジがサポートされています。

| インク カートリッジ | 記号 | HP注文番号 |
| --- | --- | --- |
| 黒インク カートリッジ | ⬠ | HP 177 黒インク カートリッジ |
| シアン インク カートリッジ | △ | HP 177 シアン インク カートリッジ |
| ライトシアン インク カートリッジ | ▽ | HP 177 ライトシアン インク カートリッジ |
| マゼンタ インク カートリッジ | □ | HP 177 マゼンタ インク カートリッジ |
| ライトマゼンタ インク カートリッジ | ◇ | HP 177 ライトマゼンタ インク カートリッジ |
| イエロー インク カートリッジ | ○ | HP 177 イエロー インク カートリッジ |

ご使用のデバイスがサポートするすべてのインク カートリッジの注文番号は、次の手順で確認できます。

- **Windows ユーザーの場合**： **[HP ソリューション センター]**で、**[設定]** をクリックし、**[印刷設定]** を選択して、**[プリンタ ツールボックス]** をクリ

ックします。 **[推定インクレベル]** タブをクリックし、**[インク カートリッジ情報]** をクリックします。
- **Mac ユーザーの場合**： **[HP Image Zone]** で、**[デバイス]** タブをクリックします。 **[デバイスの選択]** で、HP All-in-One のアイコンをクリックします。 **[デバイス オプション]** 領域で、**[設定]** をクリックし、**[プリンタの保守]** をクリックします。 入力を要求されたら、使用している HP All-in-One を選択し、**[ユーティリティ]** をクリックします。 ポップアップ メニューから、**[サプライ品]** を選択します。

また、最寄りの HP 販売代理店にお尋ねいただくか、japan.support.hp.com にアクセスしてください。

HP All-in-One 用のインク カートリッジを注文するには、japan.support.hp.com にアクセスしてください。

## アクセサリの注文

HP All-in-One 用のアクセサリを注文するには、japan.support.hp.com にアクセスしてください。

| アクセサリと HP モデル番号 | 説明 |
| --- | --- |
| HP Bluetooth® ワイヤレス プリンタ アダプタ<br>bt300 / bt400 / bt450 | Bluetooth デバイスから、ご使用の HP All-in-One へ印刷できます。 このワイヤレス アダプタを HP All-in-One の前面の USB ポートに取り付けると、HP All-in-One はカメラ付き携帯電話、PDA (携帯端末)、Bluetooth 対応 Windows または Mac コンピュータなど、対応する Bluetooth デバイスからの印刷ジョブを受け付けます。 |

## その他のサプライ品の注文

HP All-in-One 用ソフトウェア、ユーザー ガイド (印刷物)、セットアップ ポスター、またはユーザーが交換できるその他の部品を注文するときは、次の該当する電話番号にお問い合わせください。

- 米国またはカナダ国内の場合は、**1-800-474-6836 (1-800-HP invent)**。
- ヨーロッパの場合は、+49 180 5 290220 (ドイツ) または +44 870 606 9081 (イギリス) 。

その他の国または地域から HP All-in-One ソフトウェアを注文するには、お住まいの国または地域のサポート サービスまでお問い合わせください。 以下に記載されている電話番号は、このガイドの発行日の時点での番号です。 最新の注文用電話番号の一覧については、www.hp.com/support にアクセスしてください。 情報の入力を要求された場合は、国または地域を選択し、**[お問い合わせ]** をクリックしてテクニカルサポートにお問合せください。

| 国/地域 | 注文用電話番号 |
| --- | --- |
| アジア太平洋地域 (日本を除く) | 65 272 5300 |
| オーストラリア | 1300 721 147 |
| ヨーロッパ | +49 180 5 290220 (ドイツ)<br>+44 870 606 9081 (イギリス) |
| ニュージーランド | 0800 441 147 |
| 南アフリカ | +27 (0)11 8061030 |
| 米国およびカナダ | 1-800-HP-INVENT (1-800-474-6836) |

# 13 HP All-in-One のメンテナンス

HP All-in-One では、メンテナンスはほとんど必要ありません。 ガラス板と保護プレートに付いたほこりを掃除し、きれいな状態でコピーとスキャンができるようにしてください。 時々、インク カートリッジの交換、プリンタの調整、プリント ヘッドのクリーニングも必要です。 この章では、HP All-in-One を最高の状態に保つための方法について説明します。 必要に応じてこれらの簡単な保守手順を実行してください。

## HP All-in-One のクリーニング

指紋、汚れ、髪の毛などのごみがガラス板や保護プレートに付着していると、パフォーマンスが低下したり、[ページに合わせる] などの特別な機能の精度に影響する可能性があります。きれいにコピーやスキャンをするには、ガラス板と保護プレートをクリーニングしてください。また、HP All-in-One の外側のほこりも拭き取ってください。

### ガラス板のクリーニング

指紋、汚れ、髪の毛、およびほこりでガラス板が汚れていると、パフォーマンスが低下したり、[ページに合わせる] などの機能の精度に影響する可能性があります。

1. HP All-in-One の電源をオフにし、電源ケーブルを抜き、カバーを上げます。

   **注記** HP All-in-One の電源をオフにすると、メモリ内に保存されていたファクスが消去されます。

2. 非摩耗性のガラス クリーナで、少し湿らせた柔らかい布かスポンジでガラス板を拭きます。

   **注意** 研磨剤、アセトン、ベンゼン、四塩化炭素などでガラス板を拭かないでください。ガラス板を傷める可能性があります。 また、液体を直接ガラス板にかけないでください。 ガラス板の下に液体が入り込んで本体を傷める可能性があります。

3. しみにならないよう、セーム革かセルロース スポンジでガラス板を拭きます。

### 保護プレートのクリーニング

HP All-in-One のカバーの裏側にある白い保護プレートの表面に、ほこりがたまることがあります。

1. HP All-in-One の電源をオフにし、電源ケーブルを抜き、カバーを上げます。

   注記　HP All-in-One の電源をオフにすると、メモリ内に保存されていたファクスが消去されます。

2. 刺激性の少ない石鹸とぬるま湯で、少し湿らせた柔らかい布かスポンジで原稿押さえを拭きます。
3. 原稿押さえを軽く拭いて汚れを落とします。力を入れてこすらないでください。
4. セーム革あるいは柔らかい布で保護プレートを拭いて乾かしてください。

   注意　保護プレートを傷つける可能性があるので、紙でできたクロスは使用しないでください。

5. さらにクリーニングが必要な場合には、イソプロピル (消毒用) アルコールを使用して上記の手順を繰り返してから、湿らせた布で保護プレートに残ったアルコールを完全に拭き取ってください。

   注意　ガラス板または HP All-in-One の塗装部品にアルコールをこぼさないように注意してください。デバイスに損傷を与える場合があります。

### 外側のクリーニング

柔らかい布か、または少し湿らせたスポンジで、外側のほこり、しみ、汚れなどを拭き取ります。HP All-in-One の内側のクリーニングは必要はありません。HP All-in-One のコントロール パネルや内側に液体がかからないようにしてください。

注意　HP All-in-One の塗装部品を傷めますので、コントロール パネル、カバー、本体のその他の塗装部品に対してアルコールやアルコールベースの洗浄液を使用しないでください。

## 推定インクレベルの確認

インク残量を簡単にチェックして、いつ頃インク カートリッジを交換すれば良いか知ることができます。 インク レベルは、インク カートリッジの推定インクレベルを示しています。

ヒント　セルフテスト レポートを印刷して、インク カートリッジの交換が必要かどうかを調べることもできます。 詳細については、セルフテスト レポートの印刷 を参照してください。

**カラー グラフィック ディスプレイのアイドル画面からインク レベルを確認するには**

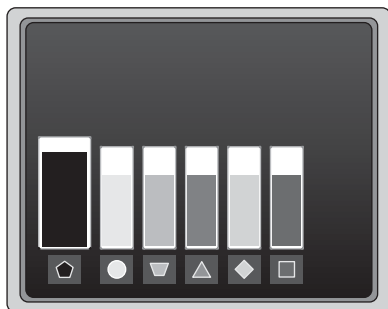
➔ カラー グラフィック ディスプレイの一番下にある 6 つのアイコンを確認します。 これらのアイコンは、黒、イエロー、ライトシアン (青)、ダークシアン、ライトマゼンタ(ピンク)、ダークマゼンタの 6 種類のカラー インク カートリッジのインク残量を示します。
インク レベルをより大きく、正確に表示するには、[セットアップ] メニューからインク ゲージを表示します。 詳細については、セットアップ メニューからインク レベルを確認するには を参照してください。
他社製のインクが入ったインク カートリッジを使用している場合、カートリッジのアイコンにインクの減り具合ではなく疑問符が表示されます。 HP All-in-One は、他社製のインクが入ったインク カートリッジのインク残量を検出できません。

**注記** HP では、HP 製以外のインクの品質や信頼性については保証できません。 HP 製以外のインクの使用が原因で発生したプリンタの不具合や損傷に対するプリンタのサービスや修理は、保証対象外になります。

ほとんど空を示すアイコンが表示されたら、そのアイコンのインク カートリッジのインクが残りわずかになっているので、交換が必要になります。 プリント ヘッド部分に残っているインクで、短時間だけ、印刷を続行できます。 カラー グラフィック ディスプレイに [すぐに交換してください] という警告メッセージが表示されたら、インク カートリッジを交換してください。
カラー グラフィック ディスプレイに [空のインク] メッセージが表示されたときには、示されたインク カートリッジとプリント ヘッド部分のインクが完全になくなっています。 示されたインク カートリッジをすぐに交換してください。
カラー グラフィック ディスプレイのアイコンの詳細については、カラー グラフィック ディスプレイのアイコン を参照してください。

インク カートリッジの推定インク残量は、コンピュータからも確認できます。 **[プリンタ ツールボックス]** からインク残量を確認する方法については、オンスクリーン **[HP Image Zone ヘルプ]** を参照してください。 詳細については、オンスクリーン ヘルプを使う を参照してください。

**セットアップ メニューからインク レベルを確認するには**

1. [セットアップ] ボタンを押します。
2. [5] を押し、次に [1] を押します。
   [ツール] メニューが表示され、[インク ゲージの表示] が選択されます。
   カラー グラフィック ディスプレイに 6 つのインク カートリッジのゲージが表示されます。

## セルフテスト レポートの印刷

印刷に問題がある場合は、セルフテスト レポートを印刷します。 このレポートは印刷問題の診断に利用でき、レポートには HP カスタマ サポートに問い合わせる場合の情報も含まれています。

1. メイン トレイに、A4 サイズの未使用の白い普通紙をセットします。
2. [セットアップ] ボタンを押します。
3. [1] を押し、もう一度 [1] を押します。
   [レポートの印刷] メニューが表示され、[セルフテスト レポート] が選択されます。
   HP All-in-One がセルフテスト レポートを印刷します。レポートには以下の情報が含まれています。
   – **製品情報** : モデル番号、シリアル番号、その他の製品情報が含まれます。
   – **リビジョン情報** : ファームウェア バージョン番号と、HP 両面印刷モジュールを取り付けているかどうかが含まれます。
   – **インク供給システム情報** : 取り付けられた各インク カートリッジのおおよそのインク レベル、各インク カートリッジの状態、各カートリッジの取り付け日、各カートリッジの有効期限を表示します。
   – **印刷品質パターン** : それぞれが取り付けられた 6 つのカートリッジを表す、6 つのカラー ブロックを表示します。 どのカラー ブロックも均一に塗りつぶされているときは、印刷品質に問題ありません。 縞模様が表示されたり、欠けているブロックがあるときには、プリント ヘッドのクリーニング に説明する手順に従ってプリント ヘッドのクリーニングを行います。 プリント ヘッドのクリーニング後にカラー ブロックに印刷品質の問題が示される場合、プリンタの調整 に説明する手順に従ってプリンタの調整を行います。 クリーニングと調整を行ってもカラー ブロックに引き続き印刷品質の問題が示される場合、HP カスタマ サポートに連絡してください。
   – **Bluetooth 情報** : オプションの Bluetooth デバイスの設定を示します。
   – **履歴ログ** : HP カスタマ サポートに問い合わせる必要がある場合、診断に使用できる情報が含まれます。

# インク カートリッジのメンテナンス

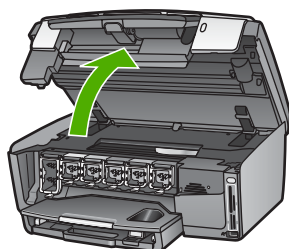
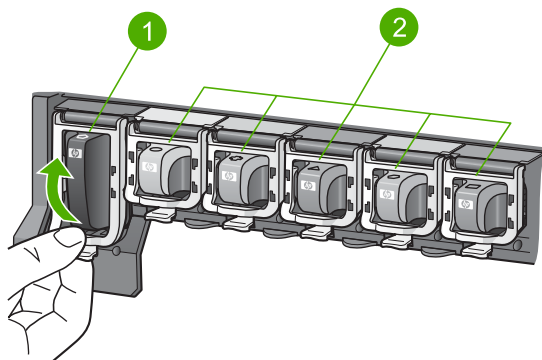
HP All-in-One から最高の印刷品質を得るために、簡単なメンテナンス手順を実行する必要があります。 このセクションでは、インク カートリッジを取り扱う際のガイドラインと、インク カートリッジの交換、プリンタの調整、プリント ヘッドとインク カートリッジの接点のクリーニングの手順について説明します。

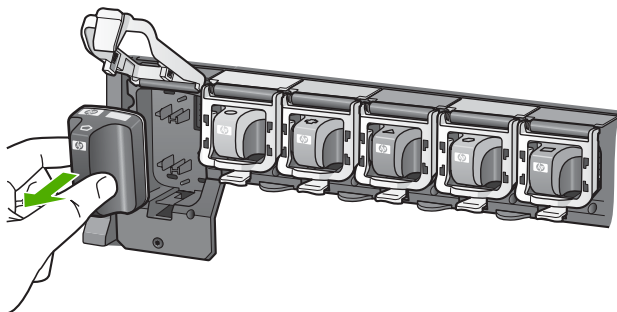
## インク カートリッジの交換

インク カートリッジのインク レベルが低下すると、カラー グラフィック ディスプレイにメッセージが表示されます。 このメッセージが表示されたら、交換用インク カートリッジが手許にあることを確認してください。

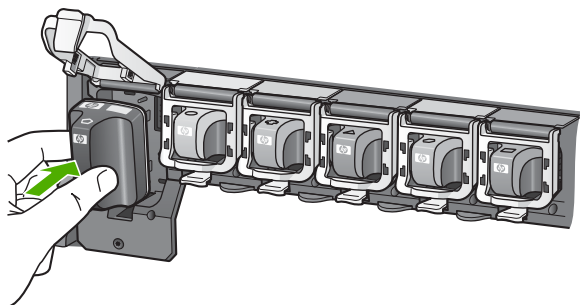
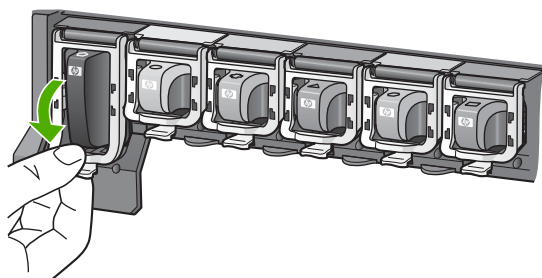
ご使用の HP All-in-One でサポートされているインク カートリッジの注文番号は、サプライ品の注文 を参照してください。 HP All-in-One 用のインク カートリッジを注文するには、japan.support.hp.com にアクセスしてください。

### インク カートリッジを交換するには

1. インク カートリッジのアクセス ドアを本体前面の中央から持ち上げて、所定の位置で止まるまで開きます。

2. インク カートリッジの下にあるタブを強く押して、HP All-in-One 内部のラッチを外し、ラッチを持ち上げます。
   黒のインク カートリッジを交換する場合、一番左のラッチを持ち上げます。
   イエロー、ライト シアン、シアン、ライト マジェンタ、マジェンタの 5 つのカラー インク カートリッジのいずれかを交換する場合、該当するラッチを持ち上げます。

| | |
|---|---|
| 1 | 黒のインク カートリッジのインク カートリッジ ラッチ |
| 2 | カラー インク カートリッジのインク カートリッジ ラッチ |

3. インク カートリッジを手前に引き、スロットから外します。

ヒント　インク不足またはインク切れで取り外したインク カートリッジはリサイクルしてください。 HPのインクジェット消耗品リサイクル プログラムは多くの国/地域で利用可能であり、これを使用すると使用済みのインク カートリッジを無料でリサイクルすることができます。 詳しくは、次の Web サイトを参照してください。

www.hp.com/hpinfo/globalcitizenship/environment/recycle/inkjet.html

4. 新しいインク カートリッジをパッケージから取り出し、インク カートリッジのハンドルを持って、空のスロットへ滑り込ませます。
取り付けるインク カートリッジと同じ形状のアイコンおよび色のスロットに、インク カートリッジを挿入してください。

5. 所定の位置にカチッとはまるまで、グレーのラッチを押し込みます。

6. 交換する各インク カートリッジに対して、ステップ 2 ～ 5 を繰り返します。
7. インク カートリッジのアクセス ドアを閉じます。

## プリンタの調整

セルフテスト レポートでカラー ブロックのいずれかに筋や白線が表示されたときに、この機能を使用してください。

プリンタを調整しても印刷品質の問題がある場合、プリント ヘッドのクリーニング に説明する手順に従ってプリント ヘッドのクリーニングを行います。 調整とクリーニングによっても印刷品質の問題が解決しない場合は、HP カスタマ サポートに連絡してください。

### コントロール パネルでプリンタを調整するには

1. メイン トレイに、A4 またはレターの白い普通紙をセットします。
2. [セットアップ] ボタンを押します。
3. [5] を押し、次に [3] を押します。
   [ツール] メニューが表示され、[プリンタの調整] が選択されます。
   HP All-in-One がテスト ページの印刷、プリント ヘッドの調整、プリンタの位置調整を行います。 この用紙は再利用するか捨てるかしてください。

HP All-in-One に付属の **[HP Image Zone]** ソフトウェアを使ってプリンタを調整する方法については、オンスクリーン **[HP Image Zone ヘルプ]** を参照してください。 詳細については、オンスクリーン ヘルプを使う を参照してください。

## プリント ヘッドのクリーニング

セルフテスト レポートでカラー ブロックのいずれかに筋や白線が表示されたときに、この機能を使用してください。 不必要にプリント ヘッドのクリーニングをしないでください。インクの無駄になり、プリント ヘッド上のインク ノズルの寿命を縮めます。

プリント ヘッドのクリーニングを行っても印刷品質が改善しない場合、プリンタの調整 に説明する手順に従ってプリンタの調整を行います。 クリーニングと調整によっても印刷品質の問題が解決しない場合は、HP カスタマ サポートに連絡してください。

### コントロール パネルからプリント ヘッドをクリーニングするには

1. メイン トレイに、A4 またはレターの白い普通紙をセットします。
2. [セットアップ] ボタンを押します。
3. [5] を押し、次に [2] を押します。
   [ツール] メニューが表示され、[プリントヘッドのクリーニング] が選択されます。
   HP All-in-One で 1 枚の用紙が印刷されます。この用紙は再利用するか捨ててください。

HP All-in-One に付属の **[HP Image Zone]** ソフトウェアを使ってプリント ヘッドをクリーニングする方法については、オンスクリーン **[HP Image Zone ヘルプ]** を参照してください。 詳細については、オンスクリーン ヘルプを使う を参照してください。

## インク カートリッジの接点のクリーニング

カラー グラフィック ディスプレイにカートリッジが欠けているか、損傷しているというメッセージが表示された場合は、インク カートリッジの銅の接点をクリーニングしてください。

インク カートリッジの接点をクリーニングする前に、インク カートリッジを取り外し、インク カートリッジの接点やインク カートリッジのスロットに何も付着していないことを確認してから取り付け直してください。 カートリッジが欠けているか、損傷しているというメッセージが引き続き表示される場合は、インク カートリッジの接点をクリーニングします。 接点をクリーニングしてもこのメッセージが表示される場合、交換用インク カートリッジが必要です。 影響を受けたインク カートリッジを取り外し、底部の保証期限の日付を確認します。 保証期限に達していない場合は、HP カスタマ サポートに連絡して、交換用インク カートリッジを入手してください。

次のものを用意してください。

- 乾いたスポンジ棒、糸くずの出ない布、繊維がちぎれたり残ったりしない柔らかい布
- 蒸留水、濾過水、瓶詰水のいずれか (水道水にはインク カートリッジを傷める汚染物質が含まれているおそれがあります)。

**注意** インク カートリッジの接点のクリーニングには、プラテン クリーナやアルコールを**使用しないでください**。 インク カートリッジまたは HP All-in-One を傷める可能性があります。

**インク カートリッジの接点をクリーニングするには**

1. 電源コードを HP All-in-One の後部から取り外します。

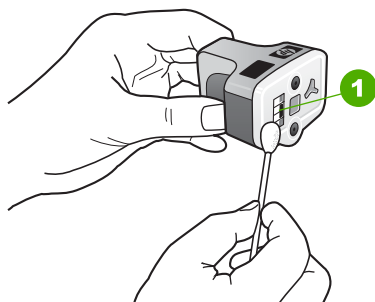
   **注記** 電源コードを抜くと、メモリ内に保存されていたファクスが消去されます。

2. インク カートリッジのアクセス ドアを持ち上げます。
3. インク カートリッジの下にあるタブを強く押して、HP All-in-One 内部のラッチを外し、ラッチを持ち上げます。

   **注記** 複数のインク カートリッジを同時に取り外さないでください。 インク カートリッジは、一度に 1 つずつ取り外してクリーニングしてください。 インク カートリッジを 30 分以上 HP All-in-One の外側に放置しないでください。

4. インク カートリッジの接点に、インクや汚れが付着していないか調べます。
5. きれいなスポンジ棒または糸くずの出ない布を蒸留水に浸し、余分な水分を絞ります。

   **注記** インク カートリッジのハンドルを持ちます。 銅色の接点には触れないでください。

6. 銅の接点のみをクリーニングします。

| 1 | 銅色の接触部 |
|---|---|

7. インク カートリッジを空のスロットに戻し、所定の位置にカチッとはまるまで、グレーのラッチを押し込みます。
8. 必要であれば、他のインク カートリッジについても同じ作業を繰り返します。
9. インク カートリッジのアクセス ドアをゆっくり閉め、HP All-in-One の後部に電源コードを差し込みます。

## セルフメンテナンス音

HP All-in-One は、プリント ヘッド アセンブリでのインク レベルの補給、プリント ヘッドのクリーニングなどの定期メンテナンス機能を実行するため、さまざまな時に機械的なノイズを発生します。 これは、正常な動作で、最高品質の出力を保証するために必要なことです。

**注意** HP All-in-Oneがメンテナンス機能を実行しているときには、カラー グラフィック ディスプレイにそれを知らせるメッセージが表示されます。 この間、デバイスの電源を切断しないでください。

# 14 トラブルシューティング情報

この章では、HP All-in-One のトラブルシューティング情報について説明します。 インストールおよび設定に関する問題や操作時のトピックについて特に詳しく説明します。 トラブルシューティングの詳細については、ソフトウェアに付属のオンスクリーン **[HP Image Zone ヘルプ]** を参照してください。 詳細については、オンスクリーン ヘルプを使う を参照してください。

HP All-in-One を USB ケーブルで接続してから、HP All-in-One ソフトウェアをコンピュータにインストールすると、いろいろな問題の原因になります。 ソフトウェア インストール画面で指示される前に HP All-in-One をコンピュータに接続した場合、次の手順に従ってください。

**セットアップ時によく起こる問題を解決するには**

1. コンピュータから USB ケーブルを取り外します。
2. ソフトウェアをアンインストールします (インストール済みの場合)。
3. コンピュータを再起動します。
4. HP All-in-One の電源をオフにし、1 分間待ってから再起動します。
5. HP All-in-One ソフトウェアを再インストールします。

注意　ソフトウェアのインストール画面で指示されるまで、USB ケーブルをコンピュータに接続しないでください。

ソフトウェアのアンインストールと再インストールの方法については、ソフトウェアのアンインストールと再インストール を参照してください。

この章で扱うトピックについては、下記の一覧を参照してください。

**本書のトラブルシューティング項目**

- **セットアップに関するトラブルシューティング**： ハードウェアの設定、ソフトウェアのインストール、ファクスのセットアップに関するトラブルシューティング情報について説明します。
- **動作時のトラブルシューティング**： HP All-in-One の機能を使用した通常の作業中に発生する可能性がある問題について説明します。
- **デバイスの更新**：HP カスタマ サポートからのアドバイスまたはカラー グラフィック ディスプレイのメッセージに基づいて、HP サポート Web サイトにアクセスし、ご使用のデバイスの更新に必要なデータを入手することができます。ここでは、ご使用のデバイスの更新について説明します。

注記　ネットワークのトラブルシューティング情報については、この章では説明していません。 詳細については、ネットワークのトラブルシューティング を参照してください。

**その他の情報ソース**

- **セットアップ ガイド**： 『セットアップ ガイド』では、HP All-in-One のセットアップ方法を説明します。
- **ユーザー ガイド**： ユーザー ガイドは本書です。 本書では、HP All-in-One の基本機能、HP All-in-One の使用方法、またセットアップや動作時のトラブルシューティング情報について説明します。
- **[HP Image Zone ヘルプ]**：オンスクリーン **[HP Image Zone ヘルプ]** は、コンピュータと HP All-in-One を使用する方法を説明しており、ユーザー ガイドでカバーされていない、追加のトラブルシューティング情報もあります。
- **Readme ファイル**： Readme ファイルは、システム要件およびインストール時に発生する問題について説明しています。 詳細については、Readme ファイルの表示 を参照してください。

オンスクリーン ヘルプまたは HP の Web サイトを使用しても問題を解決できない場合、お住まいの国/地域の HP サポートまでお電話ください。詳細については、HP 保証およびサポート を参照してください。

## Readme ファイルの表示

システム要件およびインストール時に発生する問題については、Readme ファイルを参照してください。

- Windows の場合は、タスク バーで **[スタート]** ボタンをクリックした後、**[プログラム]** または **[すべてのプログラム]**、**[HP]**、**[Photosmart All-in-One 3300 series]** の順に選択して、**[Readme]** をクリックします。
- Mac OS X で、HP All-in-One ソフトウェア CD-ROM の最上位のフォルダにあるアイコンをダブルクリックすると、Readme ファイルにアクセスできます。

## セットアップに関するトラブルシューティング

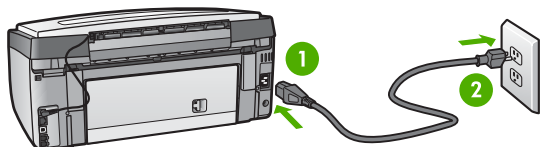
このセクションでは、ハードウェア、ソフトウェア、ファクス設定に関連してよく起こる問題のいくつかに対し、インストールおよび設定時のトラブルシューティング方法を説明します。

### ハードウェアのセットアップに関するトラブルシューティング

ここに記載されている情報は、HP All-in-One ハードウェアのセットアップ時に発生した問題を解決する際に使用してください。

#### HP All-in-One の電源がオンにならない

**解決方法**　電源コードがしっかりと接続されていることを確認した後、HP All-in-One の電源がオンになるまで数秒待ちます。 初めて HP All-in-One の電源をオンにした場合は、オンになるまで 1 分ほどかかる場合があります。 また、HP All-in-One が出力コンセントに接続さ

れている場合は、出力コンセントの電源がオンになっていることも確認してください。

| | |
|---|---|
| 1 | 電源コネクタ |
| 2 | 電源コンセント |

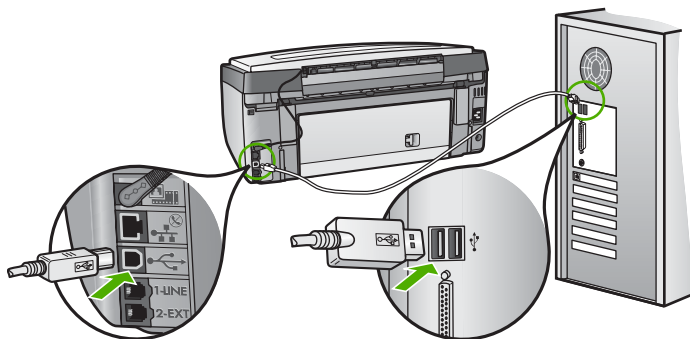
---

**USB ケーブルを接続したが、コンピュータで HP All-in-One を使用するときに問題が発生する**

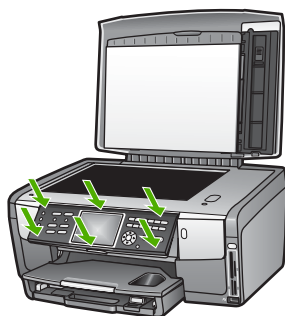
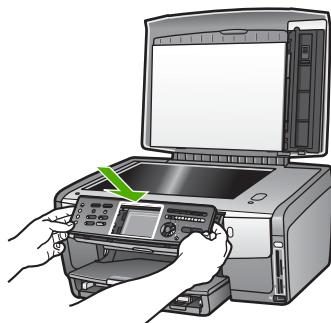
**解決方法**　USB ケーブルを接続する前に、HP All-in-One に付属するソフトウェアをインストールする必要があります。USB ケーブルは、インストール時に画面で指示があるまで接続しないでください。画面で指示される前に USB ケーブルを接続すると、エラーの原因になります。

ソフトウェアのインストールが完了したら、USB ケーブルを使用してコンピュータを HP All-in-One に接続するのは、簡単です。USB ケーブルの一方の端をコンピュータの後部に接続し、他方の端を HP All-in-One の後部に接続します。コンピュータの後部にある任意の USB ポートに接続できます。

注記　HP All-in-One の背面にある正しいポートに USB ケーブルを接続していることを確認します。

---

**カラー グラフィック ディスプレイに、コントロール パネル カバーを取り付けるようにメッセージが表示される**

**解決方法**　コントロール パネル カバーが取り付けられていないか、その取り付け方が正しくない可能性があります。 HP All-in-One 上の一連のボタンの上にカバーを合わせ、カチっと音がするまで押し込みます。

---

**カラー グラフィック ディスプレイに表示される言語が正しくない**

**解決方法**　言語の設定は [セットアップ メニュー] からいつでも変更できます。 詳細については、言語と国/地域の設定 を参照してください。

---

**コントロール グラフィック ディスプレイのメニューに表示される単位が正しくない**

**解決方法**　HP All-in-One で間違った国/地域を選択した可能性があります。 選択する国/地域で、カラー グラフィック ディスプレイに表示される用紙サイズが決まります。

国/地域を変更するには、もう一度デフォルトの言語を設定する必要があります。 言語の設定は [セットアップ メニュー] からいつでも変更できます。 詳細については、言語と国/地域の設定 を参照してください。

---

**カラー グラフィック ディスプレイにプリンタの調整を求めるメッセージが出力される**

**解決方法** 高い印刷品質を維持するために、プリンタのメンテナンスが必要です。 詳細については、プリンタの調整 を参照してください。

---

**プリンタの調整に失敗したというメッセージがカラー グラフィック ディスプレイに表示される**

**原因** メイン トレイに、カラー用紙、文字が書かれた用紙、リサイクル用紙など、間違った種類の用紙がセットされています。

**解決方法** レターまたは A4 の白い普通紙をメイン トレイにセットして、カートリッジの調整をもう一度行ってください。

引き続き調整に失敗する場合は、センサーかインク カートリッジが故障している可能性があります。 HP サポートにお問い合わせください。 japan.support.hp.com にアクセスしてください。 情報の入力を要求された場合は、国または地域を選択し、**[お問い合わせ]** をクリックしてテクニカルサポートにお問合せください。

---

**原因** インク カートリッジの接点がインク カートリッジ スロットの接点に接触していません。

**解決方法** インク カートリッジを取り出して、もう一度挿入してください。 プリント カートリッジが所定の位置にしっかりと挿入され、ロックされていることを確認してください。 詳細については、インク カートリッジの交換 を参照してください。

---

**原因** インク カートリッジまたはセンサーに問題があります。

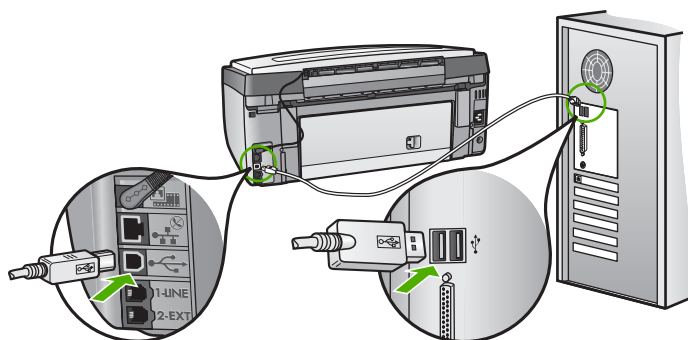
**解決方法** HP サポートにお問い合わせください。 japan.support.hp.com にアクセスしてください。 情報の入力を要求された場合は、国または地域を選択し、**[お問い合わせ]** をクリックしてテクニカルサポートにお問合せください。

---

**HP All-in-One が印刷しない**

**解決方法** ネットワーク、メモリ カード、PictBridge カメラ、ストレージ デバイスなどの通信関連の問題については、**[HP Image Zone ヘルプ]** を参照してください。 **[HP Image Zone ヘルプ]** の詳細については、オンスクリーン ヘルプを使う を参照してください。

HP All-in-One とコンピュータが USB 接続されており、互いに通信できない場合は、次のことを行ってください。

- HP All-in-One のカラー グラフィック ディスプレイを確認してください。 カラー グラフィック ディスプレイに何も表示されておらず、[**On**] ボタンが点灯していない場合は、HP All-in-One の電源が入っていません。HP All-in-One の電源コードが電源コンセントにきちんと差し込まれていることを確認してください。 [**On**] ボタンを押して、HP All-in-One の電源をオンにします。
- USB ケーブルを確認します。 古いケーブルの場合、使用できないことがあります。 別の製品に接続して、USB ケーブルが使用できるかどうか確認してください。 問題が発生した場合、USB ケーブルを交換する必要がある場合もあります。 また、USB ケーブルの長さが 3 メートル 以下であることを確認してください。
- コンピュータで USB が使用可能であることを確認します。Windows 95 や Windows NT など、一部のオペレーティング システムは USB 接続をサポートしていません。詳細については、お使いのオペレーティング システムに付属するマニュアルを参照してください。
- HP All-in-One からコンピュータまでの接続状態を確認します。 USB ケーブルが HP All-in-One の後部の USB ポートに正しく接続されていることを確認してください。また USB ケーブルのもう一方の端がコンピュータの USB ポートに正しく接続されていることを確認してください。USB ケーブルを正しく接続した後、HP All-in-One の電源を入れ直してください。

- USB ハブを介して HP All-in-One に接続している場合、ハブの電源が入っていることを確認してください。 ハブの電源が入っている場合、コンピュータに直接接続してみます。
- HP All-in-One での USB ポートの速度設定が、コンピュータの USB ポート速度と互換性があることを確認してください。 場合によって、後部 USB ポートの速度をハイスピード (USB 2.0) からフルスピ

ード (USB 1.1) へ変更する必要があります。 詳細については、USB ケーブルを使用して接続 を参照してください。

- 別のアプリケーションから印刷するか、別のファイルを印刷して、原因がファイルかどうかを確認してください。
- 他のプリンタやスキャナを確認します。コンピュータから古い製品の接続を外す必要がある場合があります。
- HP All-in-One がネットワーク接続されている場合、HP All-in-One 付属のオンスクリーン**[HP Image Zone ヘルプ]** を参照してください。 **[HP Image Zone ヘルプ]** の詳細については、オンスクリーン ヘルプを使う を参照してください。
- USB ケーブルをコンピュータの別の USB ポートに接続してみてください。 接続を確認したら、コンピュータを再起動してください。HP All-in-One の電源を入れ直してください。
- 必要ならば、**[HP Image Zone]** ソフトウェアをアンインストールしてから、もう一度インストールします。詳細については、ソフトウェアのアンインストールと再インストール を参照してください。

HP All-in-One のセットアップとコンピュータへの接続方法については、HP All-in-One に付属のセットアップ ガイドを参照してください。

---

#### 紙詰まりやプリントヘッド部品の動作停止に関するメッセージがフロント パネル ディスプレイに表示される

**解決方法**　紙詰まりやプリントヘッド部品の動作停止に関するエラー メッセージがカラー グラフィック ディスプレイに表示される場合は、HP All-in-One の内部に梱包材が詰まっている可能性があります。 インク カートリッジが見えるまでインク カートリッジ アクセスドアを持ち上げて開きます。梱包材など、プリントヘッド部品をブロックしている障害物があれば取り除きます。 紙詰まりの解消方法については、用紙のトラブルシューティング を参照してください。

---

### ソフトウェアのインストール時のトラブルシューティング

ソフトウェアのインストール時に問題が検出された場合は、以下のトピックを参照して問題を解決してください。ハードウェアのセットアップ時に問題が検出された場合は、ハードウェアのセットアップに関するトラブルシューティング を参照してください。

HP All-in-One ソフトウェアの通常のインストール時は、以下の処理が実行されます。

1. HP All-in-One ソフトウェアの CD-ROM が自動的に実行される。
2. ソフトウェアがインストールされる。
3. 一連のファイルがコンピュータにコピーされる。
4. HP All-in-One をコンピュータに接続するように要求される。

5. 緑色の OK とチェックマークがインストール ウィザード画面に表示される。
6. コンピュータを再起動するよう要求される。
7. **[ファクス セットアップ ウィザード]** (Windows) または **[ファクス セットアップ ユーティリティ]** (Mac) が実行される。
8. 登録プロセスが実行される。

これらのいずれかの処理が実行されない場合は、インストールに問題がある可能性があります。

Windows コンピュータへのインストールを確認するには、以下の事を確認します。

- **[HP ソリューション センター]** を起動し、**[画像のスキャン]**、**[ドキュメントスキャン]**、**[ファクス送信]** ボタンが表示されていることを確認します。 ボタンがすぐに表示されない場合は、お使いのコンピュータに HP All-in-One が接続中の可能性があるため、しばらくお待ちください。 または、HP ソリューション センター のボタンのいくつかが表示されない (Windows) を参照してください。
  **[HP ソリューション センター]** の起動方法の詳細は、ソフトウェアに付属のオンスクリーン **[HP Image Zone ヘルプ]** を参照してください。
- [プリンタ] ダイアログ ボックスを開き、HP All-in-One がリスト表示されることを確認します。
- Windows タスクバーの右端のシステム トレイに HP All-in-One のアイコンがあるか確認します。表示されていれば、HP All-in-One が待機中であることを示しています。

**コンピュータの CD-ROM ドライブに CD-ROM を挿入したが、何も実行されない**

**解決方法**　インストールが自動的に実行されない場合、手動で実行することができます。

**Windows コンピュータからインストールを開始するには**

1. Windows の **[スタート]** メニューから **[ファイル名を指定して実行]** をクリックします。
2. **[ファイル名を指定して実行]** ダイアログ ボックスで、**[d:\setup.exe]** と入力 (CD-ROM ドライブにドライブ文字 d が割り当てられていない場合は、該当するドライブ文字を入力してください) し、**[OK]** をクリックします。

**Mac からインストールを開始するには**

1. デスクトップの CD アイコンをダブルクリックし、CD の中身を確認します。
2. [HP All-in-One Installer] アイコンをダブルクリックします。

### 最小システム チェック画面が表示される (Windows)

解決方法　お使いのシステムが、ソフトウェアのインストールに必要な最小の要件を満たしていません。**[詳細]** をクリックして、具体的な問題を確認し、ソフトウェアのインストールを試みる前に問題を解決します。

代わりに **[HP Image Zone Express]** をインストールしてみてください。**[HP Image Zone Express]** は **[HP Image Zone]** よりも機能は少ないものの、ハードディスクのスペースとメモリの使用量が少なくて済みます。

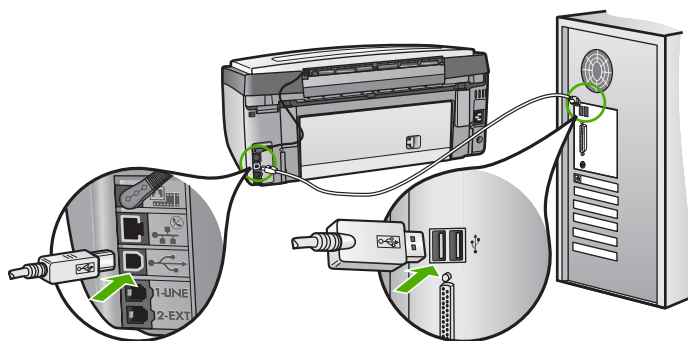
**[HP Image Zone Express]** ソフトウェアのインストール方法の詳細については、HP All-in-One に付属の『セットアップ ガイド』を参照してください。

---

### 赤の X が USB 接続プロンプトに表示される

解決方法　通常は、プラグ アンド プレイが成功したことを示す緑のチェック記号が表示されます。赤の X は、プラグ アンド プレイ が失敗したことを示します。

次の手順に従ってください。

1. コントロール パネル カバーがしっかりと取り付けられていることを確認した後、HP All-in-One の電源ケーブルをいったん抜き、もう一度差し込みます。
2. USB ケーブルおよび電源ケーブルが接続されていることを確認します。

3. **[再試行]** をクリックして、プラグ　アンド プレイ セットアップをもう一度試みます。これでも正常に機能しない場合、次の手順に進みます。

4. USB ケーブルが正しくセットアップされていることを以下のようにして確認します。
   – USB ケーブルを、いったん抜き、再度差し込みます。
   – USB ケーブルを、キーボードや給電されないハブに接続してはいけません。
   – USB ケーブルは、3 m 以下の長さとしてください。
   – お使いのコンピュータに USB デバイスが複数個接続されている場合は、インストール中、ほかのデバイスの接続を解除した方がよい場合もあります。
5. インストール処理を継続し、指示されたらコンピュータを再起動します。
6. Windows コンピュータをご使用の場合は、**[HP ソリューション センター]** を起動して、必須アイコン (**[画像のスキャン]**、**[ドキュメントスキャン]**、**[ファクス送信]**) が表示されていることを確認します。必須アイコンが表示されない場合は、本ソフトウェアを削除した後、再インストールしてください。 詳細については、ソフトウェアのアンインストールと再インストール を参照してください。

---

**不明なエラーが発生したことを示すメッセージが出力される**

解決方法　インストールを引き続き実行してみてください。 解決しない場合、中止してインストールをやり直し、画面の指示に従います。 エラーが発生した場合は、該当ソフトウェアをアンインストールした後、再インストールする必要があります。HP All-in-One のプログラム ファイルをコンピュータから単に削除するだけでは不十分です。 **[HP Image Zone]** ソフトウェアをインストールしたときに追加されたアンインストール ユーティリティを使って、該当するファイルを正しく削除してください。

詳細については、ソフトウェアのアンインストールと再インストール を参照してください。

---

**[HP ソリューション センター] のボタンのいくつかが表示されない (Windows)**

必須アイコン (**[画像のスキャン]**、**[ドキュメントスキャン]**、**[ファクス送信]**) が表示されない場合は、インストールが完了していない可能性があります。

解決方法　インストールが未完の場合は、該当ソフトウェアをアンインストールした後、再インストールする必要があります。HP All-in-One のプログラム ファイルをハード ドライブから単に削除するだけでは不十分です。HP All-in-One プログラム グループに入っているアンインストール ユーティリティを使用して、該当するファイルを正しく削除してくだ

さい。詳細については、ソフトウェアのアンインストールと再インストール を参照してください。

---

#### ファクス セットアップ ウィザード (Windows) またはファクス セットアップ ユーティリティ (Mac) が起動しない。

**解決方法**　**[ファクス セットアップ ウィザード]** (Windows) または **[ファクス セットアップ ユーティリティ]** (Mac) を手動で起動し、HP All-in-One のセットアップを完了させてください。

**[ファクス セットアップ ウィザード] を開始するには (Windows)**

➔ **[HP ソリューション センター]** で、**[設定]** をクリックし、**[ファクス設定とセットアップ]** を選択して、次に **[ファクス セットアップ ウィザード]** をクリックします。

**[ファクス セットアップ ユーティリティ] を開始するには (Mac)**

1. **[HP Image Zone]** で、**[デバイス]** タブをクリックします。
2. **[デバイスの選択]** で、HP All-in-One のアイコンをクリックします。
3. **[設定]** をクリックし、**[ファクス設定]** を選択します。

---

#### 登録画面が表示されない (Windows)

**解決方法**　Windows のタスク バーで **[スタート]** ボタンをクリックした後、**[プログラム]** または **[すべてのプログラム]**、**[HP]**、**[Photosmart All-in-One 3300 series]** の順に選択して、**[製品登録]** をクリックし、登録 (今すぐサインアップ) 画面を開きます。

---

#### システム トレイに [Digital Imaging Monitor] が表示されない (Windows)

**解決方法**　システム トレイ (通常はデスクトップの右下隅にあります) に **[Digital Imaging Monitor]** が表示されない場合は、**[HP ソリューション センター]** を起動して、必須アイコンがそこに表示されるかどうかを確認します。

**[HP ソリューション センター]** に必須アイコンが表示されない場合の詳細については、HP ソリューション センター のボタンのいくつかが表示されない (Windows) を参照してください。

---

#### ソフトウェアのアンインストールと再インストール

インストールが不完全な場合、またはソフトウェア インストール画面で指示される前に USB ケーブルをコンピュータに接続した場合は、ソフトウェア

をアンインストールしてから再インストールする必要があります。
HP All-in-One のプログラム ファイルをコンピュータから単に削除するだけでは不十分です。 **[HP Image Zone]** ソフトウェアをインストールしたときに追加されたアンインストール ユーティリティを使って、該当するファイルを正しく削除してください。

再インストールには、20 ～ 40 分かかります。 ソフトウェアのアンインストール方法は、Windows コンピュータの場合は 3 種類、Mac の場合は 1 種類あります。



**Windows コンピュータからアンインストールするには (方法 1)**

1. お使いのコンピュータから HP All-in-One の接続を解除します。ソフトウェアの再インストールが完了するまで、HP All-in-One をコンピュータに接続しないでください。
2. [On] ボタンを押して、HP All-in-Oneの電源をオフにします。
3. Windows タスクバーで、**[スタート]**、**[プログラム]** または **[すべてのプログラム]**、**[HP]**、**[Photosmart All-in-One 3300 series]**、**[アンインストール]** の順にクリックします。
4. 画面上の指示に従って操作します。
5. 共有ファイルを削除するかどうか尋ねられたら、**[いいえ]** をクリックします。
   共有ファイルを削除すると、これらのファイルを使用する他のプログラムが動作しなくなってしまう可能性があります。
6. コンピュータを再起動します。

注記　コンピュータを再起動する前に HP All-in-One の接続を解除することが重要です。ソフトウェアのアンインストールが完了するまで、HP All-in-One をコンピュータに接続しないでください。

7. ソフトウェアを再インストールするには、HP All-in-One の CD-ROM をコンピュータの CD-ROM ドライブに挿入し、画面の指示および HP All-in-One 付属の『セットアップ ガイド』の指示に従ってください。
8. ソフトウェアのインストールが完了したら、HP All-in-One をコンピュータに接続します。
9. [On] ボタンを押して、HP All-in-One の電源をオンにします。
   HP All-in-One を接続し、電源を入れると、すべてのプラグ アンド プレイ イベントが完了するまでに数分待たなければならないこともあります。
10. 画面上の指示に従って操作します。

ソフトウェアのインストールが完了したら、Windows システム トレイに [HP Digital Imaging Monitor] アイコンが表示されます。

ソフトウェアが正しくインストールされているかどうかを確認するには、デスクトップで **[HP ソリューション センター]** アイコンをダブルクリックして

ください。 **[HP ソリューション センター]** に必須アイコン (**[画像のスキャン]**、**[ドキュメント スキャン]**、**[ファクス送信]**) が表示されている場合、ソフトウェアは正しくインストールされています。

**Windows コンピュータからアンインストールするには (方法 2)**

注記　この方法は、Windows の [スタート] メニューで **[アンインストール]** が利用できない場合に使用します。

1. Windows のタスクバーから、**[スタート]**、**[設定]**、 **[コントロール パネル]** の順にクリックします。
2. **[アプリケーションの追加と削除]** をダブルクリックします。
3. **[HP PSC & Officejet 5.3]** を選択し、次に **[変更と削除]** をクリックします。
   画面上の指示に従って操作します。
4. お使いのコンピュータから HP All-in-One の接続を解除します。
5. コンピュータを再起動します。

   注記　コンピュータを再起動する前に HP All-in-One の接続を解除することが重要です。ソフトウェアのアンインストールが完了するまで、HP All-in-One をコンピュータに接続しないでください。

6. コンピュータの CD-ROM ドライブに HP All-in-One の CD-ROM を挿入し、セットアップ プログラムを起動します。
7. 画面の指示および HP All-in-One に付属の『セットアップ ガイド』の指示に従ってください。

**Windows コンピュータからアンインストールするには (方法 3)**

注記　この方法は、Windows の [スタート] メニューで **[アンインストール]** が利用できない場合に使用します。

1. コンピュータの CD-ROM ドライブに HP All-in-One の CD-ROM を挿入し、セットアップ プログラムを起動します。
2. **[アンインストール]** を選択して、画面上の指示に従って操作します。
3. お使いのコンピュータから HP All-in-One の接続を解除します。
4. コンピュータを再起動します。

   注記　コンピュータを再起動する前に HP All-in-One の接続を解除することが重要です。ソフトウェアのアンインストールが完了するまで、HP All-in-One をコンピュータに接続しないでください。

5. HP All-in-One のセットアップ プログラムをもう一度起動します。
6. インストールを行います。
7. 画面の指示と HP All-in-One に付属の『セットアップ ガイド』に記載されている指示に従います。

**Mac コンピュータからアンインストールするには**

1. Mac から HP All-in-One の接続を解除します。
2. **[アプリケーション]** の **[Hewlett-Packard]** フォルダのアイコンをダブルクリックします。
3. **[HP Uninstaller]** をダブルクリックします。
   画面上の指示に従って操作してください。
4. ソフトウェアのアンインストールが終了したら、HP All-in-One を切断し、コンピュータを再起動します。

   注記　コンピュータを再起動する前に HP All-in-One の接続を解除することが重要です。ソフトウェアのアンインストールが完了するまで、HP All-in-One をコンピュータに接続しないでください。

5. ソフトウェアを再インストールするには、コンピュータの CD-ROM ドライブに HP All-in-One の CD-ROM を挿入します。
6. デスクトップで、CD-ROM を開き、**[HP All-in-One インストーラ]** をダブルクリックします。
7. 画面の指示と HP All-in-One に付属の『セットアップ ガイド』に記載されている指示に従います。

## ファクスのセットアップに関するトラブルシューティング

ここでは、HP All-in-One のファクスのセットアップに関するトラブルシューティングについて説明します。HP All-in-One のファクス機能が正しくセットアップされていないと、ファクスの送信、受信、または送受信の両方で問題が発生することがあります。

このセクションでは、セットアップに関連したトラブルシューティングだけを説明しています。 ファクスの印刷出力や受信が遅いなどの問題に関するトラブルシューティングについては、オンスクリーン **[HP Image Zone ヘルプ]** の **[3100, 3200, 3300 series トラブルシューティング]** を参照してください。 詳細については、オンスクリーン ヘルプを使う を参照してください。

ファクスに問題がある場合、ファクス テスト レポートを印刷して、HP All-in-One の状態を確認できます。 HP All-in-One で正しくファクスがセットアップされていない場合、テストは失敗します。 このテストは、HP All-in-One のファクス機能のセットアップが完了した後に実行してください。 詳細については、ファクス設定のテスト を参照してください。

テストに失敗した場合、レポートを参照し、問題が見つかった場合は、その解決方法を確認してください。 詳細については、次のセクション ファクス テストに失敗した も参照してください。

**ファクス テストに失敗した**

ファクス テストを実行して失敗した場合、レポートを調べてエラーの基本情報を確認します。 詳細については、レポートでテストのどの部分で失敗したか確認し、このセクションの該当トピックで対処方法をご確認ください。

- 「ファクス ハードウェア テスト」に失敗した
- 「ファクスが壁側電話ジャックに接続完了」テストに失敗した
- 「電話コードがファクスの正しいポートに接続完了」テストに失敗した
- 「ファクスで正しい電話コード使用中」テストに失敗した
- 「ダイヤルトーン検出」テストが失敗した
- 「ファクス回線状態」テストが失敗した

**「ファクス ハードウェア テスト」に失敗した**

**解決方法**

- コントロール パネルの [**On**] ボタンを使用して、HP All-in-One をオフにし、次に HP All-in-One の後部から電源コードを抜きます。数秒後、電源コードを再接続し、電源をオンにします。テストをもう一度実行します。再びテストに失敗した場合、この章のトラブルシューティングを詳しく確認してください。
- テスト ファクスの送信または受信を試みます。ファクスを正しく送信または受信できる場合、問題がない可能性があります。
- Windows コンピュータを使用し、**[ファクス セットアップ ウィザード]** からテストを実行する場合、HP All-in-One が、ファクスの受信またはコピーの作成など、他のタスクを実行中でないことを確認してください。カラー グラフィック ディスプレイを見て、HP All-in-One がビジー状態であることを示すメッセージが表示されていないか確認してください。ビジー状態の場合、実行中のタスクが終了して、アイドル状態になるまで待ってから、テストを実行します。

問題が見つかったら解決してからもう一度ファクス テストを実行して、テストが成功したら、HP All-in-One でファクスを利用する準備ができています。 [**ファクス ハードウェア テスト**] が失敗し続け、ファクスができない場合、HP サポートにお問い合わせください。 www.hp.com/support にアクセスしてください。 情報の入力を要求された場合は、国または地域を選択し、**[お問い合わせ]** をクリックしてテクニカルサポートにお問合せください。

### 「ファクスが壁側電話ジャックに接続完了」テストに失敗した

**解決方法**

- 壁側のモジュラー ジャックと HP All-in-One との接続を点検して、電話コードがしっかり接続されていることを確認します。
- 必ず HP All-in-One 付属の電話コードを使用してください。 付属のコードで壁側のモジュラー ジャックと HP All-in-One を接続しないと、正常にファクスの送受信ができないことがあります。
  HP All-in-One 付属の電話コードを差し込んだら、ファクス テストをもう一度実行します。
- HP All-in-One が壁側のモジュラー ジャックに正しく接続されていることを確認します。 HP All-in-One に付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端を HP All-in-One の背面に"1-LINE"と書かれているポートに接続します。
  HP All-in-One でファクスをするためのセットアップの詳細については、ファクスのセットアップ を参照してください。
- 電話スプリッターを使用している場合、ファクスの問題の原因になることがあります。(スプリッターとは、壁側のモジュラージャックに接続する 2 コード コネクタです)。スプリッターを取り除き、HP All-in-One を壁側のモジュラージャックに直接接続してください。
- 正常に機能する電話機と電話コードを、HP All-in-One に使用している壁側のモジュラージャックに接続し、ダイヤル トーンの有無を確認します。ダイヤル トーンが聞こえない場合、電話会社に連絡して、回線の点検を依頼してください。
- テスト ファクスの送信または受信を試みます。ファクスを正しく送信または受信できる場合、問題はない可能性があります。

問題が発見された場合、問題を解決した後、ファクス テストをもう一度実行して、テストにパスすること、および HP All-in-One ファクス機能が使用可能であることを確認します。

---

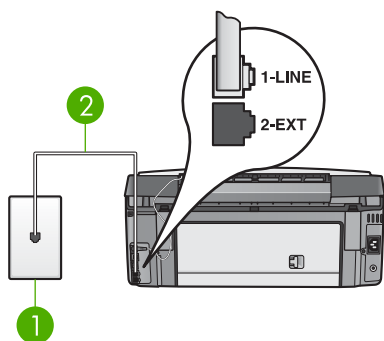
### 「電話コードがファクスの正しいポートに接続完了」テストに失敗した

**解決方法**　電話コードが、HP All-in-One の後部の間違ったポートに接続されています。

1. HP All-in-One に付属の電話コードを使用して、一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端を HP All-in-One の後部にある "1-LINE" ポートに接続します。

注記　壁側のモジュラー ジャックとの接続に "2-EXT" ポートを使用すると、ファクスの送受信ができません。"2-EXT" ポートは、留守番電話または電話機など、その他の機器と接続する場合にのみ使用します。

**HP All-in-One の背面図**

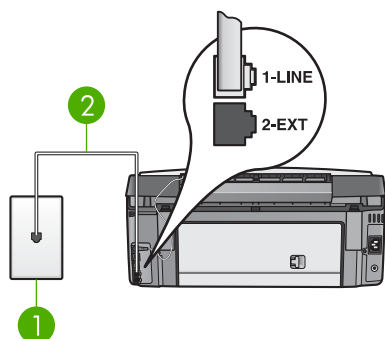
| | |
|---|---|
| 1 | 壁側のモジュラージャック |
| 2 | HP All-in-One に付属の電話コード ("1-LINE" ポートに接続) |

2. 電話コードを "1-LINE" ポートに接続した後、ファクス テストをもう一度実行し、テストにパスすること、および HP All-in-One のファクス機能が使用可能であることを確認してください。
3. テスト ファクスの送信または受信を試みます。

---

**「ファクスで正しい電話コード使用中」テストに失敗した**

**解決方法**

- HP All-in-One に付属の電話コードを使用して、壁側のモジュラージャックに接続していることを確認してください。下図のように、電話コードの一方の端を HP All-in-One の後部にある "1-LINE" ポートに接続し、もう一方の端を壁側のモジュラージャックに接続します。

| | |
|---|---|
| 1 | 壁側のモジュラー ジャック |
| 2 | HP All-in-One 付属の電話コード |

付属の電話コードの長さが足りない場合、延長することができます。詳細については、HP All-in-One に付属している電話コードの長さが足りない を参照してください。

- 壁側のモジュラー ジャックと HP All-in-One との接続を点検して、電話コードがしっかり接続されていることを確認します。

---

**「ダイヤルトーン検出」テストが失敗した**

**解決方法**

- HP All-in-One と同じ電話回線を使用している他の機器が、テスト失敗の原因である可能性があります。その他の機器が問題の原因かどうかを調べるには、 電話回線からすべての機器の接続を外して、テストをもう一度実行してください。他の機器を接続しない状態で [ダイヤル トーン検出テスト] にパスした場合、接続されていない機器のいずれかに原因があります。問題の原因となっている機器を特定できるまで、機器を一度に 1 つずつ接続し、そのたびにテストを実行してください。
- 正常に機能する電話機と電話コードを、HP All-in-One に使用している壁側のモジュラージャックに接続し、ダイヤル トーンの有無を確認します。ダイヤル トーンが聞こえない場合、電話会社に連絡して、回線の点検を依頼してください。
- HP All-in-One が壁側のモジュラー ジャックに正しく接続されていることを確認します。 HP All-in-One に付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端を HP All-in-One の背面に"1-LINE"と書かれているポートに接続します。
HP All-in-One でファクスをするためのセットアップの詳細については、ファクスのセットアップ を参照してください。
- 電話スプリッターを使用している場合、ファクスの問題の原因になることがあります。(スプリッターとは、壁側のモジュラージャック

に接続する 2 コード コネクタです)。スプリッターを取り除き、HP All-in-One を壁側のモジュラージャックに直接接続してください。

- PBX システムなど、ご使用の電話システムが通常のダイヤル トーンを使用していない場合、テストに失敗する原因になる可能性があります。 これは、ファクス送受信の問題の原因にはなりません。 テスト ファクスを送信または受信してみてください。
- お住まいの国/地域に対して、国/地域の設定が適切に設定されていることを確認してください。 国/地域が設定されてないか、間違って設定されていると、テストに失敗し、ファクスの送受信に問題が発生することがあります。 詳細については、言語と国/地域の設定 を参照してください。
- HP All-in-One をアナログ電話回線に接続していることを確認してください。接続していないと、ファクスの送受信ができません。電話回線がデジタルかどうかをチェックするには、通常のアナログ電話を回線に接続し、ダイヤル音を聞きます。通常のダイヤル音が聞こえない場合は、デジタル電話用に設定された電話回線の場合があります。HP All-in-One をアナログ回線に接続し、ファクスの送受信を試します。

問題が発見された場合、問題を解決した後、ファクス テストをもう一度実行して、テストにパスすること、および HP All-in-One ファクス機能が使用可能であることを確認します。[ダイヤル トーン検出] テストに失敗し続ける場合、電話会社に連絡して、電話回線の点検を依頼してください。

---

### 「ファクス回線状態」テストが失敗した

**解決方法**

- HP All-in-One をアナログ電話回線に接続していることを確認してください。接続していないと、ファクスの送受信ができません。電話回線がデジタルかどうかをチェックするには、通常のアナログ電話を回線に接続し、ダイヤル音を聞きます。通常のダイヤル音が聞こえない場合は、デジタル電話用に設定された電話回線の場合があります。HP All-in-One をアナログ回線に接続し、ファクスの送受信を試します。
- 壁側のモジュラー ジャックと HP All-in-One との接続を点検して、電話コードがしっかり接続されていることを確認します。
- HP All-in-One が壁側のモジュラー ジャックに正しく接続されていることを確認します。 HP All-in-One に付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端を HP All-in-One の背面に"1-LINE"と書かれているポートに接続します。

HP All-in-One でファクスをするためのセットアップの詳細については、ファクスのセットアップ を参照してください。

- HP All-in-One と同じ電話回線を使用している他の機器が、テスト失敗の原因である可能性があります。その他の機器が問題の原因かどうかを調べるには、 電話回線からすべての機器の接続を外して、テストをもう一度実行してください。
  – 他の機器を接続しない状態で [ファクス回線状態テスト] にパスした場合、接続されていない機器のいずれかに原因があります。問題の原因となっている機器を特定できるまで、機器を一度に 1 つずつ接続し、そのたびにテストを実行してください。
  – その他の機器を接続していない状態でも [ファクス回線状態テスト] に失敗する場合、HP All-in-One を正常に機能している電話回線に接続して、この章のトラブルシューティング情報をさらに確認してください。
- 電話スプリッターを使用している場合、ファクスの問題の原因になることがあります。(スプリッターとは、壁側のモジュラージャックに接続する 2 コード コネクタです)。スプリッターを取り除き、HP All-in-One を壁側のモジュラージャックに直接接続してください。

問題が発見された場合、問題を解決した後、ファクス テストをもう一度実行して、テストにパスすること、および HP All-in-One ファクス機能が使用可能であることを確認します。[ファクス回線状態テスト] にパスできず、ファクスの問題が発生し続ける場合、電話会社に連絡して、電話回線の点検を依頼してください。

---

### カラー グラフィック ディスプレイに受話器が外れていることを知らせるメッセージが常に表示される

**解決方法**　間違った種類の電話コードを使用しています。 デバイスを電話回線に接続する際は、必ず HP All-in-One 付属の電話コードを使用してください。 詳細については、「ファクスで正しい電話コード使用中」テストに失敗した を参照してください。

---

### HP All-in-One でファクスの送受信がうまくできない

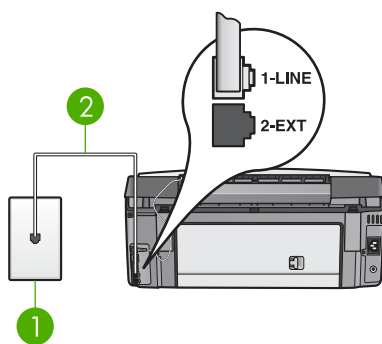
**解決方法**　HP All-in-Oneの電源がオンになっていることを確認します。HP All-in-One のカラー グラフィック ディスプレイを確認してください。 カラー グラフィック ディスプレイに何も表示されておらず、[On] ランプが点灯していない場合は、HP All-in-One の電源が入っていません。HP All-in-One の電源コードが電源コンセントにきちんと差し込まれていることを確認してください。 [On] ボタンを押して、HP All-in-One の電源をオンにします。

HP All-in-One の電源をオンにしたら、5分ほど待ってから、ファクスの送受信を行うようお勧めします。 電源をオンにしても、初期化中は送受信できません。

---

**解決方法**

- HP All-in-One に付属の電話コードを使用して、壁側のモジュラージャックに接続していることを確認してください。下図のように、電話コードの一方の端を HP All-in-One の後部にある "1-LINE" ポートに接続し、もう一方の端を壁側のモジュラージャックに接続します。

| | |
|---|---|
| 1 | 壁側のモジュラージャック |
| 2 | HP All-in-One 付属の電話コード |

付属の電話コードの長さが足りない場合、延長することができます。詳細については、HP All-in-One に付属している電話コードの長さが足りない を参照してください。

- 正常に機能する電話機と電話コードを、HP All-in-One に使用している壁側のモジュラージャックに接続し、ダイヤル トーンの有無を確認します。ダイヤル トーンが聞こえない場合、電話会社に連絡して、回線の点検を依頼してください。
- HP All-in-One と同じ電話回線の他の機器が使用中である可能性があります。 内線電話の受話器が外れている場合や、コンピュータ モデムを使用して電子メールの送信やインターネットへのアクセスを行っている場合は、HP All-in-Oneを使用してファクスを送受信することはできません。
- 他のプロセスがエラーの原因となっていないか確認してください。 カラー グラフィック ディスプレイまたはコンピュータで、問題とその解決法のエラー メッセージを確認してください。 エラーが解決するまで、HP All-in-One はファクスの送受信をすることができません。

- 電話回線の接続ノイズが発生している可能性があります。 電話回線の音質が悪い (ノイズがある) と、ファクスの使用時に問題が発生することがあります。 電話を壁側のモジュラー ジャックに接続し、静電ノイズなどのノイズに注意して、電話線の音質をチェックしてください。 ノイズが聞こえたら、[エラー補正モード] (ECM) をオフにして、もう一度ファクスしてみてください。 ECM の変更方法の詳細については、オンスクリーン **[HP Image Zone ヘルプ]** を参照してください。 問題が解決しない場合、電話会社に連絡してください。
- デジタル加入者線 (DSL) サービスの使用時は、DSL フィルタが接続されていることを確認してください。そうしないと、ファクスを使用することができません。 詳細については、ケース B: DSL の環境で HP All-in-One をセットアップ を参照してください。
- HP All-in-One が、デジタル電話用に設定された壁側のモジュラー ジャックに接続されていないことを確認してください。電話回線がデジタルかどうかをチェックするには、通常のアナログ電話を回線に接続し、ダイヤル音を聞きます。通常のダイヤル音が聞こえない場合は、デジタル電話用に設定された電話回線の場合があります。
- PBX (構内交換機) または ISDN コンバータ/ターミナル アダプタを使用している場合は、HP All-in-Oneが正しいポートに接続され、ターミナル アダプタがお住まいの国または地域に適した種類のスイッチに設定されていることを確認してください。 詳細については、ケース C: PBX システムまたは ISDN 回線の環境で HP All-in-One をセットアップ を参照してください。
- HP All-in-One は、DSL サービスと同じ電話回線を使用しており、DSL モデムが正しく接地されていない可能性があります。DSL モデムが正しく接地されていない場合、電話回線にノイズが発生することがあります。電話回線の音質が悪い (ノイズがある) と、ファクスの使用時に問題が発生することがあります。電話機を壁側のモジュラージャックに接続して、静的ノイズなどのノイズの有無を聞き取ると、電話回線の音質を確認できます。ノイズが聞こえる場合、DSL モデムの電源をオフにして、最低 15 分は完全に電源コードを抜きます。DSL モデムをオンにして、ダイヤル トーンをもう一度聞きます。

  
  注記　今後、電話回線で静的ノイズが聞こえる場合があります。HP All-in-One でファクスの送受信が中止された場合は、この手順を繰り返します。

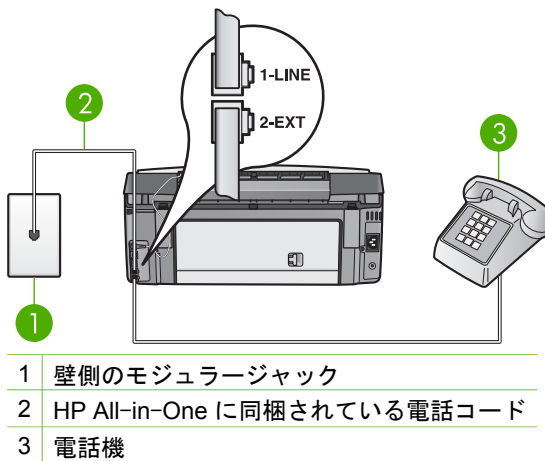
  電話回線のノイズが消えない場合、電話会社に連絡してください。DSL モデムをオフにする方法については、DSL プロバイダにお問い合わせください。
- 電話スプリッターを使用している場合、ファクスの問題の原因になることがあります。(スプリッターとは、壁側のモジュラージャックに接続する 2 コード コネクタです)。スプリッターを取り除き、

HP All-in-One を壁側のモジュラージャックに直接接続してください。

### HP All-in-One で手動によるファクスの送信がうまくできない

**解決方法**

- ファクスを送信するときに使用する電話機が HP All-in-One に直接接続されていることを確認してください。ファクスを手動で送信するには、下図のように、HP All-in-One の後部にある "2-EXT" ポートに電話機のコードを直接接続してください。ファクスの手動送信については、電話からのファクスの手動送信 を参照してください。

| | |
|---|---|
| 1 | 壁側のモジュラージャック |
| 2 | HP All-in-One に同梱されている電話コード |
| 3 | 電話機 |

- HP All-in-One に直接接続されている電話機から手動でファクスを送信する場合、電話機のキーパッドを使用する必要があります。
HP All-in-One のコントロール パネルにあるキーパッドは使用できません。

### HP All-in-One でファクスの受信はできないが、送信はできる

**解決方法**

- 着信識別サービスを使用していない場合は、HP All-in-One の [**応答呼出し音のパターン**] 機能に [**すべての呼び出し**] が設定されていることを確認してください。 詳細については、応答呼出し音のパターンの変更 (着信識別音) を参照してください。
- [**自動応答**] が [**オフ**] に設定されている場合、ファクスを手動で受信する必要があります。手動で操作しないと、HP All-in-One はファクス

を受信しません。ファクスの手動受信については、ファクスの手動受信 を参照してください。

- ファクスと同じ電話番号でボイスメール サービスをお使いの場合は、ファクスを手動で受信しなければなりません。自動受信することはできません。 受信ファクスの着信に応答するためにその場にいる必要があります。 ボイスメール サービスをお使いの場合に HP All-in-One でファクスをセットアップする方法については、ファクスのセットアップ を参照してください。 ファクスの手動受信についての詳細は、ファクスの手動受信 を参照してください。
- HP All-in-One と同じ電話回線上にコンピュータのモデムがある場合は、PC モデムのソフトウェアがファクスを自動受信するような設定になっていないことを確認してください。 ファクスを自動的に受信するように設定されたモデムは、電話回線を監視してすべての着信ファクスを受信するため、HP All-in-One でファクスの受信ができません。
- HP All-in-One と同じ電話回線上に留守番電話がある場合は、次のいずれかの問題が発生している可能性があります。
  – 留守番電話が HP All-in-One に対して適切にセットアップされていません。
  – 発信メッセージが長すぎる、または発信メッセージの音量が大きすぎるために HP All-in-One がファクス トーンを検出できず、送信元のファクス機が切断されます。
  – 留守番電話が、相手からのメッセージがない (ファクスの場合など) ことを検出した場合に、再生メッセージの後、電話を早く切りすぎることがあります。この場合、HP All-in-One はファクス トーンを検出できません。この問題は、デジタル留守番電話の場合に最もよく発生します。

  次の処理を行うと、この問題を解決できることがあります。
  – ファクスと同じ電話回線で留守番電話を使用する場合、ファクスのセットアップ の説明のとおり、留守番電話を HP All-in-One に直接接続してください。
  – 必ず、HP All-in-One がファクスを自動受信するように設定してください。 HP All-in-One でファクスを自動受信するように設定する方法については、ファクスのセットアップ を参照してください。
  – [応答呼び出し回数] 設定を留守番電話よりも多い回数に設定していることを確認します。 詳細については、応答までの呼び出し回数を設定する を参照してください。
  – 留守番電話の接続を解除し、ファクスを受信します。留守番電話の接続を外した状態でファクスを受信できる場合は、留守番電話が問題の原因である可能性があります。
  – 留守番電話をもう一度接続し、発信メッセージを録音し直します。 約 10 秒の長さのメッセージを録音します。 メッセージを

録音するときには、低い音量で、ゆっくりと話してください。音声メッセージの後、沈黙した状態で 5 秒以上録音を続けます。 この沈黙時間を録音するときには、バックグラウンド ノイズが入らないよう注意します。 もう一度ファクスを受信してください。

注記 デジタル式の留守番電話機の中には、発信メッセージの最後に無音部分が録音されない機種があります。発信メッセージを再生して、確認してください。

- HP All-in-One が、留守番電話やコンピュータのモデム、マルチポート スイッチ ボックスなど、その他のタイプの電話機器と同じ電話回線を共有している場合は、ファクスの信号レベルが減衰することがあります。 これが原因でファクス受信時に問題が発生することがあります。
その他の機器が問題の原因となっているかどうかを調べるには、HP All-in-One 以外のすべての機器を電話回線から取り外して、ファクスを受信してください。ファクスの受信に成功した場合は、取り外した機器のいずれかに原因があります。問題の原因となっている機器がわかるまで、機器を 1 つずつ取り付け、ファクスを受信してください。
- ファクス用電話番号の呼び出し音のパターンが特殊な場合 (電話会社を通じて着信識別サービスを使用している場合) は、HP All-in-One の [応答呼出し音のパターン] 機能がそれに合致するように設定されていることを確認してください。 詳細については、応答呼出し音のパターンの変更 (着信識別音) を参照してください。

---

### HP All-in-One でファクスの送信はできないが受信はできる

**解決方法**

- HP All-in-One のダイヤルする速度が速すぎるか、またはダイヤルの間隔が短すぎます。 ファクス番号の途中に間隔の挿入が必要になることがあります。 たとえば、電話番号をダイヤルする前に外線にアクセスする必要がある場合、外線番号の後ろに間隔を挿入してください。 お使いの番号が 95555555 で、9 が外線番号の場合、9-555-5555 のように間隔を挿入する必要があります。ダイヤル中に間隔を挿入するには、カラー グラフィック ディスプレイにダッシュ ([-]) が表示されるまで、▲ を押すか、[スペース (#)] ボタンを繰り返し押します。
ダイヤルのモニタ機能を使用してファクスを送信できます。 これにより、ダイヤル時に電話回線の音を聞くことができます。 ダイヤルのペースを設定し、ダイヤル時にプロンプトに応答できます。 詳細

については、ダイヤルのモニタ機能を使用したファクス送信 を参照してください。
- ファクス送信の際に入力したファクス番号の形式が正しくないか、受信中のファクス機に問題が発生しています。 問題がないか調べるには、電話からファクス番号をダイヤルし、ファクス トーンを聞いてみてください。 ファクス トーンが聞こえない場合は、受信側のファクス機の電源が入っていなかったり、接続されていなかったりする場合があります。また、ボイス メール サービスが、受信側の電話回線を妨害している場合もあります。 受信者に、受信側のファクス機に問題がないか確認するように依頼してください。

---

### ファクス トーンが留守番電話に録音されている

**解決方法**
- ファクスと同じ電話回線で留守番電話を使用する場合、ファクスのセットアップ の説明のとおり、留守番電話を HP All-in-One に直接接続してください。 留守番電話を推奨される方法で接続しないと、ファクス トーンが留守番電話に録音される場合があります。
- 必ず、HP All-in-One がファクスを自動受信するように設定してください。 HP All-in-One が手動でファクスを受信するように設定されていると、HP All-in-One が受信ファクスに応答しません。 受信ファクスに応答するには、ユーザーが手動で受信操作をしなければなりません。この操作を行わないと、HP All-in-One はファクスを受信せず、留守番電話がファクス トーンを録音するだけになります。
HP All-in-One でファクスを自動受信するように設定する方法については、ファクスのセットアップ を参照してください。
- [応答呼び出し回数] 設定を留守番電話よりも多い回数に設定していることを確認します。 詳細については、応答までの呼び出し回数を設定する を参照してください。

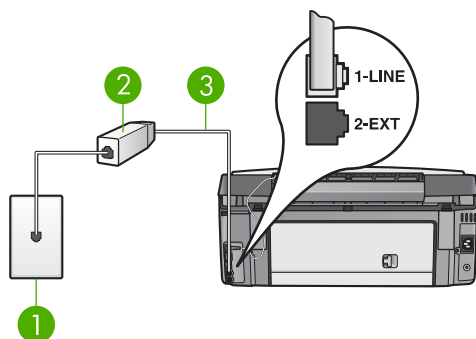
---

### HP All-in-One に付属している電話コードの長さが足りない

**解決方法**　HP All-in-One に付属している電話コードの長さが足りない場合、カップラーを使用して、長さを延長することができます。カップラーは電話アクセサリを販売している家電販売店で購入できます。延長する場合には、電話コードがもう 1 本必要です。自宅またはオフィスですでに使用している標準の電話コードを使用できます。

ヒント　HP All-in-One に 2 線式電話コード アダプタが付属している場合、4 線式電話コードをそのアダプタに接続して、コードの長さを延長できます。2 線式電話コード アダプタの使用方法については、付属のマニュアルを参照してください。

**電話コードを延長するには**

1. HP All-in-One に付属の電話コードを使用して、一方の端をカップラーに、もう一方の端を HP All-in-One の後部にある "1-LINE" ポートに接続します。
2. 下図のように、別の電話コードをカップラーの空きポートと壁側のモジュラー ジャックに接続します。

| | |
|---|---|
| 1 | 壁側のモジュラージャック |
| 2 | カップラー |
| 3 | HP All-in-One に同梱されている電話コード |



## 動作に関するトラブルシューティング

**[HP Image Zone ヘルプ]** の **[3100, 3200, 3300 series トラブルシューティング]** には、HP All-in-One に関連するいくつかの一般的な問題に対するトラブルシューティングのヒントが記載されています。

Windows コンピュータでトラブルシューティング情報にアクセスするには、**[HP Image Zone]** に移動し、**[ヘルプ]** をクリックした後、**[トラブルシューティングとサポート]** を選択します。 トラブルシューティング情報は、一部のエラー メッセージに表示される [ヘルプ] ボタンを使っても表示できます。

Mac でトラブルシューティング情報にアクセスするには、Dock で **[HP Image Zone]** アイコンをクリックし、メニュー バーから **[ヘルプ]** を選択し、**[ヘルプ]** メニューから **[HP Image Zone ヘルプ]** を選択してから、ヘルプ ビューアで **[3100, 3200, 3300 series トラブルシューティング]** を選択します。

インターネットにアクセス可能な場合は、HP Web サイト japan.support.hp.com からヘルプ情報を入手することができます。 この Web サイトには、よく寄せられる質問に対する回答も掲載されています。

## 用紙のトラブルシューティング

紙詰まりを防止するために、ご使用の HP All-in-One で推奨している用紙の種類をお使いください。 推奨されている用紙の一覧については、オンスクリーン **[HP Image Zone ヘルプ]** を参照するか、japan.support.hp.com にアクセスしてください。

波打ったり、しわが寄ったりしている用紙や端が曲がったり、破れたりしている用紙は、給紙トレイにセットしないでください。詳細については、紙詰まりの防止 を参照してください。

### HP All-in-One に紙が詰まった

**解決方法**　デバイスの中で紙が詰まった場合、次の指示に従い、紙詰まりを解消してください。

1. 後部アクセス ドアにあるタブを押し込んで、このカバーを取り外します。

**注意**　HP All-in-One の上部から詰まった紙を取り除くと、本体が損傷する場合があります。 可能な限り、後部アクセス ドアを開けて、詰まった紙を背面から取り除いてください。

2. 詰まっている用紙をローラーからゆっくり引き出します。

**注意**　ローラーから引き出している途中に用紙が破れた場合、ローラーとホイールを点検して、本体の中に紙切れが残っていないか確認してください。HP All-in-One に紙切れが残っていると、紙詰まりが起こりやすくなります。

3. 後部アクセスドアを取り付けます。パチンと音がするまでカバーをゆっくり押し込みます。
4. 現在のジョブを続行するには、[**OK**] を押します。

**注記**　用紙がまだ詰まっている場合は、**[HP Image Zone]** ソフトウェアに付属のオンスクリーン 『トラブルシューティング ヘルプ』 を参照してください。

---

### オプションの自動両面印刷モジュールに用紙が詰まった

**解決方法**　両面印刷モジュールを取り外す必要があります。詳細については、両面印刷モジュールに付属するマニュアルを参照してください。

注記　紙詰まりを解消する前に HP All-in-One の電源をオフにした場合は、電源を入れてから印刷ジョブやコピー ジョブを再開してください。

### インク カートリッジのトラブルシューティング

印刷に問題がある場合は、インク カートリッジの 1 つに問題がある可能性があります。 次の指示に従います。

1. インク カートリッジを取り外してからもう一度挿入し、カートリッジが所定の位置にしっかりと挿入され、ロックされていることを確認してください。
2. インク カートリッジを装着し直しても問題が解決しない場合は、セルフテスト レポートを印刷して、インク カートリッジに問題がないか確認します。
   このレポートには、ステータス情報など、インク カートリッジに関する役立つ情報が表示されます。
3. セルフテスト レポートで問題が確認された場合、プリント ヘッドのクリーニングを行ってください。
4. 問題が解決しない場合はプリンタの調整を行ってください。
5. まだ印刷に問題がある場合、どのインク カートリッジに問題があるか確認し、そのインク カートリッジを交換してください。

セルフテスト レポートの印刷、プリント ヘッドのクリーニング、プリンタの調整方法については、HP All-in-One のメンテナンス を参照してください。

## デバイスの更新

最新の高度なテクノロジーを搭載した HP All-in-One が円滑に機能し続けるためには、HP サポート Web サイトから最新のデバイスの更新を入手し、**[デバイスの更新ウィザード]** を使用してインストールしてください。 また、次の内容に該当する場合は、HP All-in-One にデバイスの更新をインストールする必要があります。

- HP カスタマ サポートに連絡したところ、サポート技術者から HP Web サイトからデバイスの更新をダウンロードするように指示された
- HP All-in-One のカラー グラフィック ディスプレイで、デバイスを更新するように指示された

### デバイスの更新 (Windows)

次のいずれかを実行して、デバイスの更新を入手してください。

**[ソフトウェアの更新]** ユーティリティを使用し、HP サポート Web サイトを指定の周期で自動的に検索してデバイスの更新を探します。

注記 Windows ユーザーであれば、**[ソフトウェア アップデート]** ユーティリティ (コンピュータにインストールされている **[HP Image Zone]** ソフトウェアの一部) を設定して、あらかじめ決めた間隔で自動的に HP サポート Web サイトを検索できます。 インストールのときに **[ソフトウェア アップデート]** ユーティリティの最新バージョンがなければ、コンピュータにダイアログ ボックスが表示され、更新するように指示します。 更新に同意します。 **[ソフトウェア アップデート]** ユーティリティの詳細については、オンスクリーン **[HP Image Zone ヘルプ]** を参照してください。



## デバイスの更新 (Mac)

デバイス更新インストーラにより、HP All-in-One に更新を適用する方法が提供されます。次の手順に従ってください。

1. Web ブラウザを使用して、ご使用の HP All-in-One 用の更新を japan.support.hp.com からダウンロードします。
2. ダウンロードしたファイルをダブルクリックします。
   インストーラがコンピュータ上に開きます。
3. 画面の指示に従って、更新を HP All-in-One にインストールします。
4. HP All-in-One を再起動して、インストール作業を完了します。

# 15 HP 保証およびサポート

弊社では、ご使用の HP All-in-One のサポートをインターネットおよび電話で提供しております。

この章では、保証に関する情報ならびにインターネットからのサポートの入手、HP カスタマ サポートへの問い合わせ、シリアル番号とサービス ID の確認、保証期間内の HP カスタマ サポートへの連絡、HP All-in-One の発送準備について説明します。

製品に付属する印刷マニュアルまたはオンライン マニュアルで必要な答えが見つからない場合は、以下のページに記載されている HP サポート サービスに問い合わせることができます。 一部のサポート サービスは米国とカナダでしか利用できませんが、その他のサポート サービスは世界中の多くの国/地域で利用できます。 お住まいの国/地域のサポート サービスの電話番号が記載されていない場合は、最寄の HP 正規代理店までお問い合わせください。

## 保証

HP リペア サービスを利用するには、まず HP サービス オフィスに連絡するか、HP カスタマ サポート センターに連絡して、基本的なトラブルシューティングを行っていただく必要があります。 カスタマ サポートに連絡する前に実行する手順については、HP カスタマ サポートに連絡する前に を参照してください。

注記　この情報は、日本のカスタマには当てはまりません。 日本でのサービス オプションについては、HP Quick Exchange Service を参照してください。

### 保証のアップグレード

お住まいの国/地域によって、HP は標準の製品保証を延長または拡張する保証アップグレード オプション (有償) を提供します。 たとえば、優先的な電話サポート、返送サービス、または翌営業日の交換などが追加されることがあります。 通常、製品購入日がサービスの適用開始日となりますが、製品の購入日から一定の期間内にサービスを購入する必要があります。

詳細については、以下を参照してください。

- 米国では、1-866-234-1377 にダイヤルして HP アドバイザーにお問合せください。
- 米国以外の場合は、最寄の HP カスタマ サポートまでお問い合わせください。 詳細ならびに各国のカスタマ サポートの電話番号リストは、他国のサポートへの問い合わせ を参照してください。
- HP Web サイト www.hp.com/support を参照してください。 メッセージが表示されたら、お住まいの国/地域を選択し、保証に関する情報を検索してください。

### 保証に関する情報

| HP 製品 | 限定保証期間 |
|---|---|
| ソフトウェア | 90 日 |
| プリント カートリッジ | HP インクが空になった時点か、カートリッジに記載されている「保証期限」のいずれか早い時点まで。本保証は、インクの詰め替え、改造、誤使用、または不正な改修が行われた HP インク製品には適用されません。 |
| アクセサリ | 90 日 |
| プリンタ周辺ハードウェア (詳細については下記を参照) | 1 年 |

A. 限定保証の有効範囲
1. Hewlett-Packard (以下 HP) は、ご購入日から上記の指定期間中、設計上および製造上の不具合のないことを保証いたします。
2. HP のソフトウェア製品に関する保証は、プログラムの実行エラーのみに限定されています。HP は、製品操作によって電磁波障害が引き起こされた場合は保証しません。
3. HP の限定保証は、製品の通常使用により発生した欠陥のみを対象とします。下記に起因する不具合を含むその他の不具合には適用されません。
   a. 不適切なメンテナンスや改修
   b. 他社により提供またはサポートされているソフトウェア、部品、またはサプライ品の使用
   c. 製品使用外の操作
   d. 不正な改修や、誤使用
4. HP プリンタ製品に HP 製品以外のインク カートリッジやインクを詰め替えたカートリッジを使用した場合は、保証の対象、または HP サポートの対象から外れます。ただし、プリンタの故障や損傷が HP 製以外の詰め替え用インクカートリッジの使用によって発生した場合は HP は標準時間と実費にて特定の故障または損傷を修理いたします。
5. HP は、保証期間中に HP の保証対象となる製品の不良通知を受け取った場合、HP の判断に従って製品を修理または交換するものとします。
6. HP の保証対象となる欠陥製品の修理や交換が適用範囲で行えない場合、HP は、欠陥通知を受け取ってからしかるべき期間内に購入代金返還を行います。
7. HP は、お客様が欠陥製品を HP へ返却するまでは、修理、交換、返金を行う義務はないものとします。
8. 交換製品は、新品、またはそれに類する製品で、機能的には少なくとも交換に出された製品と同等のものとします。
9. HP 製品は、パーツ、コンポーネントや素材を再利用して製造する場合がありますが、これらの性能は新しいものと同等です。
10. HP の限定保証は、HP 製品が販売されているすべての国と地域で有効とします。出張修理などの追加保証サービス契約については、HP 製品販売国/地域における正規の HP サービス センタ、または正規輸入代理店までご相談ください。.

B. 保証の限定
   国/地域の法律によって認められる範囲内で、当社および第三者の納入業者のいずれも、保証条件、製品品質、および特定の目的に関して本保証以外に明示的または黙示的に保証をすることはありません。

C. 限定責任
1. 国/地域の法律によって認められる範囲内で、本保証に規定された救済が、お客様のみに限定された唯一の救済になります。
2. 本保証に規定された義務を除いて、HP または第三者は、損傷について、直接的、間接的、特別、偶発的、必然的であるかどうか、あるいは、契約、不法行為、その他の法的理論に基づくかどうかに関わらず、またそのような損傷の可能性を説明しているかどうかに関わらず、責任は負わないものとします。.

D. 国/地域ごとの法律
1. 本保証によって、お客様に特定の法的権利が付与されます。この権利は、米国およびカナダについては州ごとに、その他の国については国ごとに付与されることがあります。
2. この保証書の内容と国/地域の法律が整合しない場合、本保証書は地域の法律に合致するように修正されるものとします。このような国/地域の法律の下で、一部の警告文と限定保証はお客様に適用されない場合があります。たとえば、米国の複数の州、また米国以外の政府 (カナダの州を含む) などでは、以下のとおりとなります。
   a. 本保証書の警告文と限定保証を、お客様の法廷権利の制限からあらかじめ除外する場合があります
   (例：イギリス)。
   b. その他に製造元が保証を認めないことや限定を設けることとについて規制すること。
   c. お客様に追加の保証権利を提供すること、製造業者が責任を逃れられない暗黙の保証期間を規定すること、および暗黙の保証期間に対する限定を認めないこと。
3. 本保証の条項は法律の及ぶ範囲内までとし、除外、制限、または修正などはしないものとします。また、義務づけられた法的権利は、お客様への HP 製品の販売に適用されます。

## HP カスタマ サポートに連絡する前に

HP All-in-One には、他社のソフトウェア プログラムが付属している場合があります。このようなプログラムで問題が発生した場合は、そのメーカーの担当技術者に問い合わせると最適な技術サポートが受けられます。

HP カスタマ サポートに問い合わせる必要がある場合は、連絡する前に以下の作業を行ってください。

注記　この情報は、日本のカスタマには当てはまりません。 日本でのサービス オプションについては、HP Quick Exchange Service を参照してください。

1. 以下の事項を確認します。
   a. HP All-in-One が接続され、電源がオンになっていること。
   b. 指定のインク カートリッジが正しく取り付けられていること。
   c. 推奨されている用紙が給紙トレイに正しくセットされていること。
2. 以下の手順に従って HP All-in-One をリセットします。
   a. [**On**] ボタンを押して HP All-in-One の電源をオフにします。
   b. 電源コードを HP All-in-One の後部から取り外します。
   c. 電源コードを HP All-in-One にもう一度差し込みます。
   d. [**On**] ボタンを押して HP All-in-One の電源を入れます。
3. 詳細は、www.hp.com/support を参照してください。
   この Web サイトには、技術サポート、ドライバ、サプライ品、および注文に関する情報が用意されています。
4. 上記の作業を行っても問題が解決されず、HP カスタマ サポート担当に問い合わせる必要がある場合は、以下の作業を行います。
   a. 本体のコントロール パネルに明記されている HP All-in-One のモデル名をメモします。
   b. セルフテスト レポートを印刷します。セルフテスト レポートの印刷方法については、セルフテスト レポートの印刷 を参照してください。
   c. サンプル出力として利用できるカラー コピーを作成します。
   d. 発生した問題を詳しく説明できるように準備します。
   e. シリアル番号とサービス ID をメモします。シリアル番号とサービス ID を確認する方法については、シリアル番号とサービス ID の確認 を参照してください。
5. HP カスタマ サポートに連絡します。 連絡するときは、HP All-in-One の近くで行ってください。

## シリアル番号とサービス ID の確認

HP All-in-One の [**情報メニュー**] を使用すると、重要な情報を確認できます。

注記　HP All-in-One の電源がオンになっていない場合は、HP All-in-One の底部に貼られたラベルでシリアル番号を確認できます。 シリアル番号は 10 文字のコードです。

1. [*****] を押し、[**#**] を押します。 次に、[**1**]、[**2**]、[**3**] を押します。
   [**Support (サポートメニュー)**] が表示されます。
2. [**Information Menu (情報メニュー)**] が表示されるまで ▶ を押し、次に [**OK**] ボタンを押します。
3. [**Model Number (モデル番号)**] が表示されるまで ▶ を押し、次に [**OK**] ボタンを押します。
   サービス ID が表示されます。 表示されたサービス ID を省略せずにメモしてください。
4. [**キャンセル**] ボタンを押し、次に [**Serial Number (シリアル番号)**] が表示されるまで ▶ を押します。

5. [OK] を押します。
シリアル番号が表示されます。 表示されたシリアル番号を省略せずにメモしてください。
6. [キャンセル] ボタンを押して [サポートメニュー] を終了します。

## インターネットからのサポートの利用およびその他の情報の入手

インターネットにアクセスできる場合は、japan.support.hp.com を参照できます。 情報の入力を要求された場合は、国または地域を選択して、**[お問い合わせ]** をクリックして情報を参照しテクニカル サポートにお問合せください。 この Web サイトには、技術サポート、ドライバ、消耗品、注文に関する情報のほか、次のようなオプションが用意されています。

- オンライン サポート ページにアクセスする
- 質問を電子メール メッセージにまとめて、HP 宛てに送信する
- オンライン サポートを使用して、HP の専門技術者に問い合わせる
- ソフトウェアの更新がないか確認する

サポートのオプションと提供の可否は、製品、国/地域、および言語に応じて異なります。

## 保証期間中の北アメリカ サポートへの問い合わせ

**1-800-474-6836 (1-800-HP invent)** にご連絡ください。 米国の電話サポートは英語とスペイン語で、一日 24 時間、週に 7 日間使用可能です (サポートの提供日や時間は、予告なしに変更されることがあります)。 保証期間中、本サービスは無料でご利用いただけます。 保証期間外は、有料になる場合があります。

## 他国のサポートへの問い合わせ

以下に記載されている電話番号は、このガイドの発行日の時点での番号です。 各国向け HP サポート サービスの最新の電話番号一覧を参照するには、www.hp.com/support にアクセスし、お住まいの国または地域か、言語を選択してください。

保証期間中、サポート サービスは無料でご利用いただけますが、電話の場合、標準の長距離通話料金がかかります。 場合によっては、1 回のお問い合わせごとに分単位、30 秒単位、または定額の料金が適用されることがあります。

ヨーロッパについては、国または地域によって電話でのサポート内容や条件が異なりますので、弊社の Web サイト www.hp.com/support でご確認ください。

あるいは、代理店に問い合わせる、またはこのガイドに記載されている電話番号の HP に連絡することもできます。

当社では、電話サポート サービスを向上させるために絶えず努力しています。定期的に当社の Web サイトを確認して、サービスの機能や提供方法に関する新しい情報を入手することをおすすめします。

www.hp.com/support

| | |
|---|---|
| 61 56 45 43 | الجزائر |
| Argentina (Buenos Aires)<br>Argentina | 54-11-4708-1600<br>0-800-555-5000 |
| Australia<br>Australia (out-of-warranty) | 1300 721 147<br>1902 910 910 |
| Österreich | + 43 1 86332 1000<br>0810-0010000<br>(in-country) |
| 800 171 | البحرين |
| België<br>Belgique | 070 300 005<br>070 300 004 |
| Brasil (Sao Paulo)<br>Brasil | 55-11-4004-7751<br>0-800-709-7751 |
| Canada (Mississauga Area)<br>Canada | (905) 206-4663<br>1-800-474-6836 |
| Central America &<br>The Caribbean | www.hp.com/support |
| Chile | 800-360-999 |
| 中国 | 021-3881-4518<br>800-810-3888 : 3002 |
| Colombia (Bogota)<br>Colombia | 571-606-9191<br>01-8000-51-4746-8368 |
| Costa Rica | 0-800-011-1046 |
| Česká republika | 261 307 310 |
| Danmark | + 45 70 202 845 |
| Ecuador (Andinatel)<br><br>Ecuador (Pacifitel) | 1-999-119<br>800-711-2884<br>1-800-225-528<br>800-711-2884 |
| 2 532 5222 | مصر |
| El Salvador | 800-6160 |
| España | 902 010 059 |
| France | +33 (0)892 69 60 22 |
| Deutschland | +49 (0)180 5652 180 |
| Ελλάδα (από το εξωτερικό)<br>Ελλάδα (εντός Ελλάδας)<br>Ελλάδα (από Κύπρο) | + 30 210 6073603<br>801 11 22 55 47<br>800 9 2649 |
| Guatemala | 1-800-711-2884 |
| 香港特別行政區 | 2802 4098 |
| Magyarország | 1 382 1111 |
| India | 1 600 44 7737 |
| Indonesia | +62 (21) 350 3408 |
| Ireland | 1 890 923 902 |
| (0) 9 830 4848 | ישראל |
| Italia | 848 800 871 |
| Jamaica | 1-800-711-2884 |
| 日本<br>日本 (携帯電話の場合) | 0570-000511<br>03-3335-9800 |
| 한국 | 1588-3003 |
| Luxembourg<br>Luxemburg | 900 40 006<br>900 40 007 |
| Malaysia | 1800 88 8588 |
| Mexico (Mexico City)<br>Mexico | 55-5258-9922<br>01-800-472-68368 |
| 22 404747 | المغرب |
| Nederland | 0900 2020 165 |
| New Zealand | 0800 441 147 |
| Nigeria | 1 3204 999 |
| Norge | +46 (0)77 120 4765 |
| Panama | 1-800-711-2884 |
| Paraguay | 009 800 54 1 0006 |
| Perú | 0-800-10111 |
| Philippines | (63) 2 867 3551<br>1800 1441 0094 |
| Polska | 0 801 800 235 |
| Portugal | 808 201 492 |
| Puerto Rico | 1-877-232-0589 |
| República Dominicana | 1-800-711-2884 |
| România | (21) 315 4442 |
| Россия (Москва)<br>Россия (Санкт-Петербург) | 095 7973520<br>812 3467997 |
| 800 897 1444 | السعودية |
| Singapore | 6 272 5300 |
| Slovensko | 2 50222444 |
| South Africa (international)<br>South Africa (RSA) | + 27 11 2589301<br>086 0001030 |
| Rest of West Africa | + 351 213 17 63 80 |
| Suomi | +358 (0)203 66 767 |
| Sverige | +46 (0)77 120 4765 |
| Switzerland | 0848 672 672 |
| 臺灣 | 02-8722-8000 |
| ไทย | +66 (2) 353 9000 |
| 71 89 12 22 | تونس |
| Trinidad & Tobago | 1-800-711-2884 |
| Türkiye | 90 212 444 71 71 |
| Україна | (380 44) 4903520 |
| 800 4910 | الإمارات العربية المتحدة |
| United Kingdom | +44 (0)870 010 4320 |
| United States | 1-(800)-474-6836 |
| Uruguay | 0004-054-177 |
| Venezuela (Caracas)<br>Venezuela | 58-212-278-8666<br>0-800-474-68368 |
| Viêt Nam | +84 88234530 |

## HP Quick Exchange Service

製品に問題がある場合は以下に記載されている電話番号に連絡してください。製品が故障している、または欠陥があると判断された場合、HP Quick Exchange Serviceがこの製品を正常品と交換し、故障した製品を回収します。保証期間中は、修理代と配送料は無料です。また、お住まいの地域にも依りますが、プリンタを次の日までに交換することも可能です。

電話番号：0570-000511（自動応答）
:03-3335-9800（自動応答システムが使用できない場合）
サポート時間:平日の午前 9:00 から午後 5:00 まで
土日の午前 10:00 から午後 5:00 まで。
祝祭日および1月1日から 3日は除きます。

### サービスの条件

- サポートの提供は、カスタマケアセンターを通してのみ行われます。
- カスタマケアセンターがプリンタの不具合と判断した場合に、サービスを受けることができます。
  **ご注意**:ユーザの扱いが不適切であったために故障した場合は、保証期間中であっても修理は有料となります。詳細については保証書を参照してください。

### その他の制限

- 運送の時間はお住まいの地域によって異なります。 詳しくは、カスタマケアターに連絡してご確認ください。
- 出荷配送は、当社指定の配送業者が行います。
  **ご注意**： デバイスはインクカートリッジを取り外さないで返還してください。
- 配送は交通事情などの諸事情によって、遅れる場合があります。
- このサービスは、将来予告なしに変更することがあります。

## HP 日本サポートへの問い合わせ

カスタマー・ケア・センター
http://japan.support.hp.com

**TEL : 0570-000-511**（ナビダイヤル）
**03-3335-9800**（ナビダイヤルをご利用いただけない場合）
**FAX : 03-3335-8338**
月～金 **9:00 ～ 17:00**
土・日 **10:00 ～ 17:00**（祝祭日、**1/1**～**3** を除く）
**FAX** によるお問い合わせは、ご質問内容とともに、ご連絡先、
弊社製品名、接続コンピュータ名をご記入ください。

HP 保証およびサポート

# 16 技術情報

この章には、HP All-in-One のシステム要件、用紙、印刷、コピー、ファクス、メモリ カード、およびスキャンの仕様、物理的仕様、電気的仕様、環境仕様、規制に関する告知、および適合宣言に関する情報が記載されています。

## システム要件

ソフトウェアのシステム要件は Readme ファイルに記載されています。Readme ファイルの表示方法については、Readme ファイルの表示 を参照してください。

## 用紙の仕様

ここには、用紙トレイの収容枚数、用紙サイズ、印刷余白の仕様に関する情報が記載されています。

### 用紙トレイの収容枚数

| | 収容枚数[1] | 最大用紙サイズ[2] | 最小用紙サイズ |
|---|---|---|---|
| メイン トレイ | 最高 100 枚 | 216 x 356 mm | 76 x 127 mm |
| フォト トレイ | 最高 20 枚 | 105 x 165 mm | 89 x 127 mm |
| 排紙トレイ | 最高 50 枚 | 該当なし | 該当なし |

1　最大収容枚数。
2　パノラマ用紙最大 610 mm (24インチ) 長は連続手差しの場合です。

注記　排紙トレイは、頻繁に空にしてください。

### 用紙サイズ

| 種類 | サイズ | 重量 |
|---|---|---|
| 用紙 | レター： 216 x 279 mm<br>A4： 210 x 297 mm<br>A5: 148 x 210 mm<br>エグゼクティブ: 184 x 267 mm<br>リーガル[1]: 216 x 356 mm<br>L 判： 89 x 127 mm<br>2L判： 127 x 178 mm<br>六つ切り： 203 mm x 254 mm<br>パノラマ：<br>102 x 254 mm | 60 ～ 90 gsm |

技術情報

| 種類 | サイズ | 重量 |
| --- | --- | --- |
| | 102 x 279 mm<br>102 x 305 mm<br>204 x 594 mm | |
| 封筒 | US No.10： 104 x 241 mm<br>A2： 111 x 146 mm<br>DL： 110 x 220 mm<br>C6： 114 x 162 mm | 75 ～ 90 gsm |
| OHP フィルム | レター： 216 x 279 mm<br>A4： 210 x 297 mm | 該当なし |
| フォト用紙 | 102 x 152 mm | 236 gsm |
| | 127 x 178 mm<br>レター： 216 x 279 mm<br>A4： 210 x 297 mm<br>パノラマ：<br>102 x 254 mm<br>102 x 279 mm<br>102 x 305 mm<br>204 x 594 mm | 該当なし |
| カード | インデックス カード： 76.2 x 127 mm<br>インデックス カード： 101 x 152 mm | 200 gsm |
| | インデックス カード： 127 x 203.2 mm<br>127 x 178 mm<br>A6: 105 x 148.5 mm<br>はがき： 100 x 148 mm | 該当なし |
| ラベル | レター： 216 x 279 mm<br>A4： 210 x 297 mm | 該当なし |
| カスタム | 76 x 127 ～ 216 x 356 mm | 該当なし |

1 20 ポンド以上

### 印刷余白の仕様

| | 上 (先端) | 下部 (下端) | 左 | 右 |
|---|---|---|---|---|
| U.S. (レター、リーガル) | 1.8 mm | 3 mm | 3.2 mm | 3.2 mm |
| エグゼクティブ | 1.8 mm | 6.0 mm | 3.2 mm | 3.2 mm |
| ISO (A4) | 1.8 mm | 3 mm | 3.2 mm | 3.2 mm |
| ISO (A5、A6) および JIS (B5) | 1.8 mm | 6.0 mm | 3.2 mm | 3.2 mm |
| 封筒 | 1.8 mm | 14.3 mm | 3.2 mm | 3.2 mm |
| インデックス カード 7.62 x 12.7 cm, 12.7 x 20.32 cm | 1.8 mm | 6.0 mm | 3.2 mm | 3.2 mm |
| インデックス カード 10 x 15 cm, 100 x 148 mm | 1.8 mm | 3 mm | 3.2 mm | 3.2 mm |
| 10 x 15 cm フォト用紙 | 3.2 mm | 3.2 mm | 3.2 mm | 3.2 mm |

## 印刷の仕様

- 最大解像度 1200 x 1200 dpi はコンピュータからモノクロ印刷した場合
- 最大解像度 4800 x 1200 dpi は入力データ解像度を 1200 dpi に設定し、コンピュータからカラー印刷した場合
- 印刷速度は、文書の複雑さによって異なります。
- パノラマサイズ印刷
- 方法：オンデマンド型サーマル インクジェット
- 言語：HP PCL レベル 3、PCL3 GUI または PCL 10
- インク カートリッジ： 6 個のインク カートリッジは、インクの効率的使用を目的に設計された HP Vivera インクを採用
- 動作周期： 3,000 ページ印刷/月

| モード | | 普通紙での印刷速度 (ppm) | 10 x 15 cm (4 x 6 インチ) のフチ無し写真での印刷速度 (秒) |
|---|---|---|---|
| 最大 dpi | モノクロおよびカラー | 最大 1.3 | 約 150 秒 |
| 高画質 | モノクロおよびカラー | 最大 2.1 | 約 96 秒 |

| モード | | 普通紙での印刷速度 (ppm) | 10 x 15 cm (4 x 6 インチ) のフチ無し写真での印刷速度 (秒) |
|---|---|---|---|
| きれい | モノクロ | 最大 7.8 | 約 53 秒 |
| | カラー | 最大 5.7 | 約 53 秒 |
| はやい (標準) | モノクロ | 最大 7.9 | 約 33 秒 |
| | カラー | 最大 7.3 | 約 33 秒 |
| はやい (最速) | モノクロ | 最大 32 | 約 27 秒 |
| | カラー | 最大 31 | 約 27 秒 |

## コピーの仕様

- デジタル画像処理
- 原稿からのコピーは 50 枚まで (モデルによって異なります)
- 25 ～ 400% のデジタル ズーム (モデルによって異なります)
- ページに合わせる、ページに複数枚
- 最大コピー 32 枚/分 (黒)、コピー 31 枚/分 (カラー、モデルによって異なります)
- コピーの速度は、文書の複雑さによって異なります。

| モード | | 速度 (ppm) | スキャンの解像度 (dpi) |
|---|---|---|---|
| 最大 dpi | モノクロ | 最大 0.35 | 1200 x 1200 |
| | カラー | 最大 0.35 | 1200 x 1200 |
| 高画質 | モノクロ | 最大 1.0 | 600 x 600 |
| | カラー | 最大 1.0 | 600 x 600 |
| きれい | モノクロ | 最大 7.8 | 300 x 300 |
| | カラー | 最大 5.7 | 300 x 300 |
| はやい | モノクロ | 最大 32 | 300 x 300 |
| | カラー | 最大 31 | 300 x 300 |

## ファクスの仕様

- Walk-up 方式のモノクロおよびカラー ファクス機能
- 最大 75 個の短縮ダイヤル (モデルによって異なります)
- 最大 90 ページ分のメモリ (モデルによって異なります。標準解像度で ITU-T Test Image #1 を使用した場合の例です)さらに複雑なページまたは高い解像度の場合、所要時間が長くなり、使用するメモリも増えます。
- 手動での複数ページ ファクス

- 最大 5 回の自動ビジー リダイヤル (モデルによって異なります)
- 自動無応答リダイヤル 2 回 (モデルによって異なります)
- 確認レポートおよびアクティビティ レポート
- CCITT/ITU Group 3 ファクス (エラー補正モードあり)
- 33.6 Kbps での送信
- 36.6 Kbps の場合の伝送速度は 3 秒/枚 (ITU-T Test Image #1 を標準解像度で受信した場合)。 より複雑なページあるいは高解像度のページの場合は受信に時間がかかり、消費メモリも多くなります。
- 自動ファクス/自動切り替えによる呼び出し音検出

| | 写真 (dpi) | 高画質 (dpi) | きれい (dpi) |
|---|---|---|---|
| モノクロ | 200 x 200 | 200 x 200 | 200 x 100 |
| カラー | 200 x 200 | 200 x 200 | 200 x 200 |

## メモリ カードの仕様

- メモリーカード上の推奨最大ファイル数： 1,000
- 最大画像ファイル サイズ(個別)： 8 MB
- 最大画像サイズ(個別)： 12 メガピクセル
- 最大ビデオ長 (個別)： 3分

注記　メモリ カードの最大値に近づくと、HP All-in-One のパフォーマンスが期待値より遅くなる場合があります。

サイズの大きなビデオ ファイルは、ファイルを開くのに数分かかる場合があります。

**サポートされるメモリ カードの種類**

- CompactFlash (TM) (Type I および II)
- Memory Stick
- Memory Stick Pro
- Memory Stick Magic Gate
- Secure Digital
- MultiMediaCard (MMC)
- xD-Picture カード

Memory Stick Magic Gate Duo、Memory Stick Duo および Secure Multimedia Card を使用するにはアダプタが必要です。 詳細については、メモリカードに付属する説明を参照してください。

**サポートしているビデオ ファイル形式**

- Motion-JPEG Quicktime (.mov)
- Motion-JPEG AVI (.avi)
- MPEG-1 (.mpg、.mpe または .mpeg)

本プリンタは、その他の形式のビデオ クリップには対応していません。

## スキャンの仕様

- イメージ エディタ付属
- 組込みの OCR ソフトウェアによって、スキャンしたテキストを編集可能なテキストに自動的に変換 (Windows のみ)
- 内蔵の 35 mmフィルム スキャン機能、最大 6 ネガまたは 4 スライド

  注記　35 mm ポジフィルムに対応。 スライドとしてセットした 35 mm ネガ フィルムには対応してません。

- スキャンの速度は、文書の複雑さによって異なります。
- Twain 対応インタフェース
- 解像度： 光学解像度 4800 x 4800 dpi、最大補間解像度 19200 dpi
- カラー：48 ビット カラー、8 ビット グレースケール (256 階調の灰色)
- ガラス板からの最大スキャン サイズ： 216 x 305 mm

## 物理的仕様

- 高さ： 22 cm
- 幅：46.4 cm
- 奥行き： 39.5 cm
- 重量： 12 kg

## 電気的仕様

- 消費電力： 最大 95 W
- 入力電圧： AC 100 ～ 240 V、2 A、50 / 60 Hz、アース済み
- アイドル時の消費電力：11.5 W

## 環境仕様

- 推奨される動作時の温度範囲： 15°～ 35°C（59°～ 86°F）
- 許容される動作時の温度範囲： 5°～ 40°C（41°～ 104°F）
- 湿度： 20 ～ 80% RH (結露しないこと)
- 輸送時の温度範囲： -40°～ 60°C（-40°～ 140°F）

強い電磁気が発生している場所では、HP All-in-One の印刷結果に多少の歪みが出るおそれがあります。

高磁場が原因で発生する放出ノイズを最小限に抑えるため、Ethernet ケーブルまたは USB ケーブルは長さが 3 m 以下のものをご使用ください。

## その他の仕様

メモリ：16 MB ROM、64 MB DRAM

インターネットにアクセス可能な場合は、騒音に関する情報を次の HP Web サイトから入手することができます 。

www.hp.com/support

# 環境保全のためのプロダクト スチュワード プログラム

ここでは、環境の保護、オゾン生成、エネルギー消費、化学物質安全性データシート、リサイクル プログラムについて説明します。

ここには、環境基準に関する情報も記載されています。

### 環境の保護

Hewlett-Packard では、優れた製品を環境に対して適切な方法で提供することに積極的に取り組んでいます。 この製品は、環境への影響を最も少なくする特性を備えるように設計されています。

詳細については、以下の「HP の環境への取り組み」に関する Web サイトをご覧ください。

www.hp.com/hpinfo/globalcitizenship/environment/index.html

### オゾンの生成

この製品では、検出可能なオゾン ガス (O3) は生成されません。

### Energy consumption

Energy usage drops significantly while in ENERGY STAR® mode, which saves natural resources, and saves money without affecting the high performance of this product. This product qualifies for ENERGY STAR, which is a voluntary program established to encourage the development of energy-efficient office products.

ENERGY STAR is a U.S. registered service mark of the U.S. EPA. As an ENERGY STAR partner, HP has determined that this product meets ENERGY STAR guidelines for energy efficiency.

For more information on ENERGY STAR guidelines, go to the following website:

www.energystar.gov

### 用紙の使用

この製品は、DIN 19309 に準拠したリサイクル用紙の使用に適しています。

### プラスチック

25 グラムを超えるプラスチック部品は、製品が役目を終えたときにリサイクルするため、プラスチックを識別しやすくする国際規格に従って記号が付けられています。

### 化学物質安全性データシート

化学物質安全性データシートは、次の HP Web サイトから入手できます。

www.hp.com/go/msds

インターネットにアクセスできないユーザーは、最寄りの HP カスタマ ケア センターにお問い合わせください。

### リサイクル プログラム

HP では、より多くの製品を返却してもらえるよう、リサイクル プログラムを多くの国で展開しているほか、世界で最大の電子機器リサイクル センターのいくつかと協力しています。また、HP では最も広く使用されている製品のいくつかを再生し、再度販売することによって、資源を保護しています。

HP の本製品には、製品が役目を終えたときに特別な取り扱いが必要な以下のものが含まれています。

- スキャナの蛍光ランプ内の水銀 (< 2 mg)、スライド/ネガ フィルム ランプ内の水銀
- ハンダ内の鉛 (2006 年 7 月 1日現在、HP 製品は EU 指令 2002/95/EC、 “Restriction of the use of Certain Hazardous Substances in Electrical and Electronic Equipment“、および中国の “Management Methods on the Prevention and Control of Pollution Caused by Electronic Information Products” に適合しています)。

### HP インクジェット消耗品リサイクル プログラム

HP では、環境の保護に積極的に取り組んでいます。 HPのインクジェット消耗品リサイクル プログラムは多くの国/地域で利用可能であり、これを使用すると使用済みのインク カートリッジを無料でリサイクルすることができます。 詳しくは、次の Web サイトを参照してください。

www.hp.com/hpinfo/globalcitizenship/environment/recycle/inkjet.html

### Disposal of Waste Equipment by Users in Private Households in the European Union

This symbol on the product or on its packaging indicates that this product must not be disposed of with your other household waste. Instead, it is your responsibility to dispose of your waste equipment by handing it over to a designated collection point for the recycling of waste electrical and electronic equipment. The separate collection and recycling of your waste equipment at the time of disposal will help to conserve natural resources and ensure that it is recycled in a manner that protects human health and the environment. For more information about where you can drop off your waste equipment for recycling, please contact your local city office, your household waste disposal service, or the shop where you purchased the product.

HP 製品の一般的な返送とリサイクルに関する詳細については、以下にアクセスしてください。 http://www.hp.com/hpinfo/globalcitizenship/environment/recycle/index.html

## 規制に関する告知

HP All−in−One は、お住まいの国/地域の規制当局が設定している製品要件を満たしています。

### 規制モデルの ID 番号

規制上の識別を行うために、本製品には規制モデル番号が指定されています。 本製品の規制モデル番号は、SDGOB-0501-03 です。この規制番号は、商品名 (HP Photosmart 3300 All−in−One series) とはまったく別のものです。

### Notice to users of the U.S. telephone network: FCC requirements

This equipment complies with FCC rules, Part 68. On this equipment is a label that contains, among other information, the FCC Registration Number and Ringer Equivalent Number (REN) for this equipment. If requested, provide this information to your telephone company.

An FCC compliant telephone cord and modular plug is provided with this equipment. This equipment is designed to be connected to the telephone network or premises wiring using a compatible modular jack which is Part 68 compliant. This equipment connects to the telephone network through the following standard network interface jack: USOC RJ-11C.

The REN is useful to determine the quantity of devices you may connect to your telephone line and still have all of those devices ring when your number is called. Too many devices on one line might result in failure to ring in response to an incoming call. In most, but not all, areas the sum of the RENs of all devices should not exceed five (5). To be certain of the number of devices you may connect to your line, as determined by the REN, you should call your local telephone company to determine the maximum REN for your calling area.

If this equipment causes harm to the telephone network, your telephone company might discontinue your service temporarily. If possible, they will notify you in advance. If advance notice is not practical, you will be notified as soon as possible. You will also be advised of your right to file a complaint with the FCC. Your telephone company might make changes in its facilities, equipment, operations, or procedures that could affect the proper operation of your equipment. If they do, you will be given advance notice so you will have the opportunity to maintain uninterrupted service.

If you experience trouble with this equipment, please contact the manufacturer, or look elsewhere in this manual, for warranty or repair information. Your telephone company might ask you to disconnect this equipment from the network until the problem has been corrected or until you are sure that the equipment is not malfunctioning.

This equipment may not be used on coin service provided by the telephone company. Connection to party lines is subject to state tariffs. Contact your state public utility commission, public service commission, or corporation commission for more information.

This equipment includes automatic dialing capability. When programming and/or making test calls to emergency numbers:

- Remain on the line and explain to the dispatcher the reason for the call.
- Perform such activities in the off-peak hours, such as early morning or late evening.

Note The FCC hearing aid compatibility rules for telephones are not applicable to this equipment.

The Telephone Consumer Protection Act of 1991 makes it unlawful for any person to use a computer or other electronic device, including fax machines, to send any

message unless such message clearly contains in a margin at the top or bottom of each transmitted page or on the first page of transmission, the date and time it is sent and an identification of the business, other entity, or other individual sending the message and the telephone number of the sending machine or such business, other entity, or individual. (The telephone number provided might not be a 900 number or any other number for which charges exceed local or long-distance transmission charges.) In order to program this information into your fax machine, you should complete the steps described in the software.

### FCC statement

The United States Federal Communications Commission (in 47 CFR 15.105) has specified that the following notice be brought to the attention of users of this product.

Declaration of Conformity: This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that might cause undesired operation. Class B limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy, and, if not installed and used in accordance with the instructions, might cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and the receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

For more information, contact the Product Regulations Manager, Hewlett-Packard Company, San Diego, (858) 655-4100.

The user might find the following booklet prepared by the Federal Communications Commission helpful: How to Identify and Resolve Radio-TV Interference Problems. This booklet is available from the U.S. Government Printing Office, Washington DC, 20402. Stock No. 004-000-00345-4.

Caution Pursuant to Part 15.21 of the FCC Rules, any changes or modifications to this equipment not expressly approved by the Hewlett-Packard Company might cause harmful interference and void the FCC authorization to operate this equipment.

#### Exposure to radio frequency radiation

Caution The radiated output power of this device is far below the FCC radio frequency exposure limits. Nevertheless, the device shall be used in such a manner that the potential for human contact during normal operation is minimized. This product and any attached external antenna, if supported, shall be placed in such a manner to minimize the potential for human contact during normal operation. In order to avoid the possibility of exceeding the FCC radio

frequency exposure limits, human proximity to the antenna shall not be less than 20 cm (8 inches) during normal operation.

### Note à l’attention des utilisateurs du réseau téléphonique canadien/notice to users of the Canadian telephone network

Cet appareil est conforme aux spécifications techniques des équipements terminaux d’Industrie Canada. Le numéro d’enregistrement atteste de la conformité de l’appareil. L’abréviation IC qui précède le numéro d’enregistrement indique que l’enregistrement a été effectué dans le cadre d’une Déclaration de conformité stipulant que les spécifications techniques d’Industrie Canada ont été respectées. Néanmoins, cette abréviation ne signifie en aucun cas que l’appareil a été validé par Industrie Canada.

Pour leur propre sécurité, les utilisateurs doivent s’assurer que les prises électriques reliées à la terre de la source d’alimentation, des lignes téléphoniques et du circuit métallique d’alimentation en eau sont, le cas échéant, branchées les unes aux autres. Cette précaution est particulièrement importante dans les zones rurales.

Le numéro REN (Ringer Equivalence Number) attribué à chaque appareil terminal fournit une indication sur le nombre maximal de terminaux qui peuvent être connectés à une interface téléphonique. La terminaison d’une interface peut se composer de n’importe quelle combinaison d’appareils, à condition que le total des numéros REN ne dépasse pas 5.

Basé sur les résultats de tests FCC Partie 68, le numéro REN de ce produit est 0.0B.

This equipment meets the applicable Industry Canada Terminal Equipment Technical Specifications. This is confirmed by the registration number. The abbreviation IC before the registration number signifies that registration was performed based on a Declaration of Conformity indicating that Industry Canada technical specifications were met. It does not imply that Industry Canada approved the equipment.

Users should ensure for their own protection that the electrical ground connections of the power utility, telephone lines and internal metallic water pipe system, if present, are connected together. This precaution might be particularly important in rural areas.

Note The Ringer Equivalence Number (REN) assigned to each terminal device provides an indication of the maximum number of terminals allowed to be connected to a telephone interface. The termination on an interface might consist of any combination of devices subject only to the requirement that the sum of the Ringer Equivalence Numbers of all the devices does not exceed 5.

The REN for this product is 0.0B, based on FCC Part 68 test results.

### 日本のユーザーに対する告知

VCCI-2

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（ＶＣＣＩ）の基準に基づくクラスＢ情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると受信障害を引き起こすことがあります。
取り扱い説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

製品には、同梱された電源コードをお使い下さい。
同梱された電源コードは、他の製品では使用出来ません。

한국 사용자 공지사항

**사용자 안내문(B급 기기)**

이 기기는 비업무용으로 전자파 적합 등록을 받은 기기로서, 주거지역에서는 물론 모든 지역에서 사용할 수 있습니다.

### Notice to users in the European Economic Area

This product is designed to be connected to the analog Switched Telecommunication Networks (PSTN) of the European Economic Area (EEA) countries/regions.

Network compatibility depends on customer selected settings, which must be reset to use the equipment on a telephone network in a country/region other than where the product was purchased. Contact the vendor or Hewlett-Packard Company if additional product support is necessary.

This equipment has been certified by the manufacturer in accordance with Directive 1999/5/EC (annex II) for Pan-European single-terminal connection to the public switched telephone network (PSTN). However, due to differences between the individual PSTNs provided in different countries, the approval does not, of itself, give an unconditional assurance of successful operation on every PSTN network termination point.

In the event of problems, you should contact your equipment supplier in the first instance.

This equipment is designed for DTMF tone dialing and loop disconnect dialing. In the unlikely event of problems with loop disconnect dialing, it is recommended to use this equipment only with the DTMF tone dial setting.

### Notice to users of the German telephone network

This HP fax product is designed to connect only to the analogue public-switched telephone network (PSTN). Please connect the TAE N telephone connector plug, provided with the HP All−in−One into the wall socket (TAE 6) code N. This HP fax product can be used as a single device and/or in combination (in serial connection) with other approved terminal equipment.

### Geräuschemission

LpA < 70 dB am Arbeitsplatz im Normalbetrieb nach DIN 45635 T. 19

## ワイヤレス製品の規制に関する告知

ここでは、ワイヤレス製品を対象とする規制について説明します。

### Aviso aos usuários no Brasil

Este equipamento opera em caráter secundário, isto é, não tem direito á proteção contra interferência prejudicial, mesmo de estações do mesmo tipo, e não pode causar interferência a sistemas operando em caráter primário. (Res.ANATEL 282/2001)

### Note à l’attention des utilisateurs canadiens/notice to users in Canada

**For Indoor Use.** This digital apparatus does not exceed the Class B limits for radio noise emissions from the digital apparatus set out in the Radio Interference Regulations of the Canadian Department of Communications. The internal wireless radio complies with RSS 210 of Industry Canada.

**Pour une utilisation en intérieur.** Le présent appareil numérique n‘émet pas de bruit radioélectrique dépassant les limites applicables aux appareils numériques de la classe B prescrites dans le Règlement sur le brouillage radioélectrique édicté par le ministère des Communications du Canada. Le composant RF interne est conforme a la norme RSS-210 d’Industrie Canada.

### ARIB STD-T66 (日本)

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。

1　この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運用されていないことを確認して下さい。

2　万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか又は電波の発射を停止した上、下記連絡先にご連絡頂き、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談して下さい。

3　その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、次の連絡先へお問い合わせ下さい。

連絡先：日本ヒューレット・パッカード株式会社　ＴＥＬ：０１２０－０１４１２１

### Notice to users in the European Economic Area (wireless products)

Radio complies with the R&TTE Directive (1999/5/EC) issued by the Commission of the European Community.

### Note à l’attention des utilisateurs en France

Pour une utilisation en réseau sans fil 2,4 GHz de ce produit, certaines restrictions s'appliquent : cet appareil peut être utilisé à l'intérieur des bâtiments sur toute la bande de fréquences 2400-2483,5 MHz (canaux 1 13). Pour une utilisation à l'extérieur des bâtiments, seule la partie 2454-2483,5 MHz (canaux 10 13) peut être utilisée. Pour connaître les dernières réglementations en vigueur, consultez le site Web www.art-telecom.fr.

# Declaration of conformity (European Economic Area)

The Declaration of Conformity in this document complies with ISO/IEC Guide 22 and EN 45014. It identifies the product, manufacturer's name and address, and applicable specifications recognized in the European community.

# HP Photosmart 3300 All-in-One series declaration of conformity

**DECLARATION OF CONFORMITY**
according to ISO/IEC Guide 22 and EN 45014

**Manufacturer's Name:** Hewlett-Packard Company

**Manufacturer's Address:** 16399 West Bernardo Drive
San Diego CA 92127, USA

**Declares, that the product**

**Regulatory Model Number:** SDGOB-0501-03
**Product Name:** Photosmart 3300 Series
**Power Adapter(s) HP part#:** 0957-2104
**Radio Module Model No:** RSVLD-0403

**conforms to the following Product Specifications:**

Safety:
IEC 60950-1: 2001
EN 60950-1: 2002
IEC 60950: 1999 3rd Edition
EN 60950: 1999 3rd Edition
UL 60950-1: 2003, CAN/CSA-22.2 No. 60950-1-03
NOM 019-SFCI-1993, AS/NZS 60950: 2000, GB4943: 2001

EMC:
CISPR 22:1997 / EN 55022:1998 Class B
CISPR 24:1997 / EN 55024:1998
IEC 61000-3-2: 2000 / EN 61000-3-2: 2000
IEC 61000-3-3/A1: 2001 / EN 61000-3-3/ A1: 2001
AS/NZS CISPR 22: 2002
CNS13438:1998, VCCI-2
FCC Part 15-Class B/ICES-003, Issue 2
GB9254: 1998

Telecom:
TBR 21:1998
AS/ACIF S002: 2001+A1
TIA/EIA/968:2001
FCC Part 68

Radio:
EN 300 328:2003
EN 301 489-1:2002 / EN 301 489-17:2002
CE ⓘ

Health:
EU: 1999/519/EC

**Supplementary Information:**

The product herewith complies with the requirements of the Low Voltage Directive 73/23/EC, the EMC Directive 89/336/EC and with the R&TTE Directive 1999/5/EC (Annex II & IV) and carries the CE-marking accordingly. The product was tested in a typical configuration. For regulatory purpose, this product is assigned a Regulatory Model Number (RMN). This number should not be confused with the product name or number.

San Diego, CA, USA February 4, 2005

European Contact for regulatory topics only: Hewlett Packard GmbH, HQ-TRE, Herrenberger Strasse 140, D-71034, Böblingen, Germany. (FAX +49-7031-14-3143)

# 索引